

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ 設置者	ガクコホクシツ デイブツンカガクエン 学校法人 大東文化学園							
フリガナ 大学の名称	デイトブンカガク 大東文化大学							
大学の位置	東京都板橋区高島平1-9-1							
大学の目的	本大学は、建学の精神に基づき、学問の理論と応用を教授・研究して真理と正義を愛する自主的精神に充ちた良識ある人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	本学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科において、スポーツをとりまく現代社会の諸問題解決に貢献できるより多様な人材を養成することを目指し、入学定員を増員することに伴い、大学全体の収容定員を増員することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部 〔Faculty of Literature〕	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	日本文学科 〔Department of Japanese Literature〕	4	150	—	600	学士 （日本文学）	昭和37年4月 第1年次	（1・2年次） 埼玉県東松山市岩殿560 （3・4年次） 東京都板橋区高島平1-9-1
	中国文学科 〔Department of Chinese Literature〕	4	70	—	280	学士 （中国文学）	昭和37年4月 第1年次	同上
	英米文学科 〔Department of English and American Literature〕	4	130	—	520	学士 （英米文学）	昭和42年4月 第1年次	同上
	教育学科 〔Department of Education〕	4	120	—	480	学士 （教育学）	昭和47年4月 第1年次	同上
	書道学科 〔Department of Calligraphy〕	4	60	—	240	学士 （書道学）	平成12年4月 第1年次	同上
	歴史文化学科 〔Department of History and Culture〕	4	100	—	400	学士 （歴史文化学）	平成30年4月 第1年次	同上
	経済学部 〔Faculty of Economics〕							
	社会経済学科 〔Department of Socio-Economics〕	4	205	—	820	学士 （経済学）	昭和37年4月 第1年次	同上
	現代経済学科 〔Department of Modern Economics〕	4	165	—	660	学士 （経済学）	平成13年4月 第1年次	同上
	外国語学部 〔Faculty of Foreign Languages〕							
	中国語学科 〔Department of Chinese Language〕	4	70	—	280	学士 （中国語学）	昭和47年4月 第1年次	同上
	英語学科 〔Department of English Language〕	4	230	—	920	学士 （英語学）	昭和47年4月 第1年次	同上
日本語学科 〔Department of Japanese Language〕	4	60	—	240	学士 （日本語学）	平成5年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	法学部 [Faculty of Law]								
	法律学科 [Department of Law]	4	225	—	900	学士 (法学)	昭和48年4月 第1年次	同上	
	政治学科 [Department of Political Science]	4	150	—	600	学士 (政治学)	平成2年4月 第1年次	同上	
	国際関係学部 [Faculty of International Relations]								
	国際関係学科 [Department of International Relations]	4	100	—	400	学士 (国際関係)	昭和61年4月 第1年次	(1~4年次) 埼玉県東松山市岩殿560	
	国際文化学科 [Department of International Cultures]	4	100	—	400	学士 (国際文化)	昭和61年4月 第1年次	(1~4年次) 埼玉県東松山市岩殿560	
	経営学部 [Faculty of Business Administration]								
	経営学科 [Department of Business Management]	4	365	—	1460	学士 (経営学)	平成12年4月 第1年次	(1・2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3・4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1	
	スポーツ・健康科学部 [Faculty of Sports and Health Science]								
	スポーツ科学科 [Department of Sports Science]	4	165 (125)	—	660 (500)	学士 (スポーツ科学)	令和6年4月 第1年次	(1~4年次) 埼玉県東松山市岩殿560	
健康科学科 [Department of Health Science]	4	100	—	400	学士 (健康科学)	平成17年4月 第1年次	同上		
看護学科 [Department of Nursing]	4	100	—	400	学士 (看護学)	平成30年4月 第1年次	同上		
社会学部 [Faculty of Sociology]									
社会学科 [Department of Sociology]	4	200	—	800	学士 (社会学)	平成30年4月 第1年次	(1・2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3・4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1		
計		2,865 (2,825)	—	11,460 (11,300)					

同一設置者内における
変更状況
(定員の移行, 名称の
変更等)

該当なし

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	—	一科目	一科目	一科目	一科目	一単位

教員組織の概要	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等
		教授 人	准教授 人	講師 人	助教 人	計 人	助手 人	
新設	文学部 日本文学科	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	34 (34)
	中国文学科	3 (3)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	14 (14)
	英米文学科	5 (5)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	52 (52)
	教育学科	12 (12)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	36 (36)
	書道学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	25 (25)
	歴史文化学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	22 (22)

教 員 組 織 の 分	新 設	経済学部 社会経済学科	12 (12)	6 (6)	2 (2)	1 (1)	21 (21)	0 (0)	24 (24)		
		現代経済学科	9 (9)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	17 (17)		
		外国語学部 中国語学科	8 (8)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	34 (34)		
		英語学科	11 (11)	7 (7)	6 (6)	1 (1)	25 (25)	0 (0)	87 (87)		
		日本語学科	6 (6)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	26 (26)		
		法学部 法律学科	16 (16)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	44 (44)		
		政治学科	10 (10)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	26 (26)		
		国際関係学部 国際関係学科	10 (10)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	15 (15)		
		国際文化学科	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	12 (12)		
		経営学部 経営学科	22 (22)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	20 (20)		
		スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科	12 (12)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	27 (27)		
		健康科学科	12 (12)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	18 (18)	6 (6)	4 (4)		
		看護学科	7 (7)	7 (7)	5 (5)	7 (7)	26 (26)	12 (12)	7 (7)		
		社会学部 社会学科	9 (9)	8 (8)	2 (2)	1 (1)	20 (20)	0 (0)	32 (32)		
		計	188 (188)	98 (98)	41 (41)	14 (14)	341 (341)	18 (18)	— (—)		
		概 要	既 設	東洋研究所	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
				書道研究所	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
				教職課程センター	3 (3)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	29 (29)
				国際交流センター	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	9 (9)
計	6 (6)			4 (4)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	— (—)		
合 計		194 (194)	102 (102)	43 (43)	14 (14)	353 (353)	18 (18)	— (—)			
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計				
	事 務 職 員		195 (195)		58 (58)		253 (253)				
	技 術 職 員		2 (2)		24 (24)		26 (26)				
	図 書 館 専 門 職 員		12 (12)		8 (8)		20 (20)				
	そ の 他 の 職 員		0 (0)		2 (2)		2 (2)				
計		209 (209)		92 (92)		301 (301)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地	68770.45㎡	0㎡	0㎡		68770.45㎡					
	運 動 場 用 地	47531.69㎡	0㎡	0㎡		47531.69㎡					
	小 計	116302.14㎡	0㎡	0㎡		116302.14㎡					
	そ の 他	160243.34㎡	0㎡	0㎡		160243.34㎡					
合 計	276545.48㎡	0㎡	0㎡		276545.48㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計					
		115084.81㎡ (115084.81㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		115084.81㎡ (115084.81㎡)					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設					
	186室	44室	101室	25室 (補助職員 13人)		9室 (補助職員3人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数							
		大学全体		352		室					

大学全体
内 借上面積
2,635.10㎡
(内訳)
①105.10㎡
(平成17年4月1日～
令和7年3月31日)
②2530.00㎡
(平成16年4月1日～
令和7年3月31日)

大学全体
情報処理学習施設お
よび語学学習施設は
実験実習室の内数

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
		冊	種	冊	種				
大学全体		1,694,000 [366,000]	82,899 [74,408]	71,859 [71,819]	9,500	31,852	—		
		(1,635,000 [362,000])	(82,899 [74,408])	(71,859 [71,819])	(9,100)	(31,852)	(—)		
計		1,694,000 [366,000]	82,899 [74,408]	71,859 [71,819]	9,500	31,852	—		
		(1,635,000 [362,000])	(82,899 [74,408])	(71,859 [71,819])	(9,100)	(31,852)	(—)		
図書館	面積		閲覧座席数			収納可能冊数			
	14,659.66㎡		1,769			1,751,833			
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	13,956.96㎡		野球場、ラグビー場、テニスコート、弓道場						
経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	専任教員（助手を除く）、特任教員 助手、助教 スポーツ・健康科学部特任助手 電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コストを含む）
	教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—	—	
	教員1人当り研究費等		280千円	280千円	280千円	280千円	—	—	
	教員1人当り研究費等		200千円	200千円	200千円	200千円	—	—	
	共同研究費等		24,600千円	24,600千円	24,600千円	24,600千円	—	—	
	図書購入費	300,000千円	300,000千円	300,000千円	300,000千円	300,000千円	—	—	
	設備購入費	314,000千円	314,000千円	314,000千円	314,000千円	314,000千円	—	—	
	学生の維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	文学部（教育学科、書道学科を除く） 文学部（教育学科） 文学部（書道学科） 経済学部 外国語学部 法学部 国際関係学部 経営学部 環境創造学部 スポーツ・健康科学部（スポーツ科学科） スポーツ・健康科学部（健康科学科） スポーツ・健康科学部（看護学科） 社会学部
			1,214千円	1,004千円	1,004千円	1,004千円	—千円	—千円	
			1,238千円	1,028千円	1,028千円	1,028千円	—千円	—千円	
			1,416千円	1,206千円	1,206千円	1,206千円	—千円	—千円	
			1,194千円	984千円	984千円	984千円	—千円	—千円	
			1,214千円	1,004千円	1,004千円	1,004千円	—千円	—千円	
1,194千円			984千円	984千円	984千円	—千円	—千円		
1,214千円			1,004千円	1,004千円	1,004千円	—千円	—千円		
1,194千円			984千円	984千円	984千円	—千円	—千円		
—千円			979千円	979千円	979千円	—千円	—千円		
1,421千円			1,211千円	1,211千円	1,211千円	—千円	—千円		
1,781千円			1,571千円	1,571千円	1,571千円	—千円	—千円		
1,950千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	—千円	—千円				
1,194千円	984千円	984千円	984千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							
既設大学等の状況	大学の名称	大東文化大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	文学部	年	人	年次人	人		倍		
	日本文学科	4	150	—	600	学士（日本文学）	1.05	昭和37年度	(1・2年次) 東京都板橋区高島平1-9-1 (3・4年次) 埼玉県東松山市岩殿560
	中国文学科	4	70	—	280	学士（中国文学）	0.80	昭和37年度	同上
英米文学科	4	130	—	520	学士（英米文学）	0.93	昭和42年度	同上	
教育学科	4	120	—	480	学士（教育学）	1.03	昭和47年度	同上	

既設大学等の状況	書道学科	4	60	—	240	学士 (書道学)	1.05	平成12年度	同上	
	歴史文化学科	4	100	—	400	学士 (歴史文化学)	0.96	平成30年度	同上	
	経済学部						1.01			
	社会経済学科	4	205	—	820	学士 (経済学)	1.02	昭和37年度	同上	
	現代経済学科	4	165	—	660	学士 (経済学)	0.99	平成13年度	同上	
	外国語学部						0.95			
	中国語学科	4	70	—	280	学士 (中国語学)	1.01	昭和47年度	同上	
	英語学科	4	230	—	920	学士 (英語学)	0.92	昭和47年度	同上	
	日本語学科	4	60	—	240	学士 (日本語学)	0.96	平成5年度	同上	
	法学部						1.02			
	法律学科	4	225	—	900	学士 (法学)	1.00	昭和48年度	同上	
	政治学科	4	150	—	600	学士 (政治学)	1.05	平成2年度	同上	
	国際関係学部						0.99			
	国際関係学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.06	昭和61年度	埼玉県東松山市岩殿560	
	国際文化学科	4	100	—	400	学士 (国際文化)	0.92	昭和61年度	同上	
	経営学部						0.98			
	経営学科	4	365	—	1,460	学士 (経営学)	0.98	平成12年度	(1・2年次) 東京都板橋区高島平1-9-1 (3・4年次) 埼玉県東松山市岩殿560	
	環境創造学部						—			
	環境創造学科	4	—	—	—	学士 (環境創造学)	—	平成13年度	同上	平成30年より 学生募集停止
	スポーツ・健康科学部						0.96			
	スポーツ科学科	4	125	—	500	学士 (スポーツ科学)	1.07	平成17年度	埼玉県東松山市岩殿560	
健康科学科	4	100	—	400	学士 (健康科学)	0.79	平成17年度	同上		
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.01	平成30年度	同上		

既設大学等の状況	社会学部						0.95		
	社会学科	4	200	—	800	学士 (社会学)	0.95	平成30年度	(1・2年次) 東京都板橋区高島平1-9-1 (3・4年次) 埼玉県東松山市岩殿560
	文学研究科								
	日本文学専攻 (博士前期課程)	2	3	—	6	修士 (日本文学)	0.50	昭和39年度	東京都板橋区高島平1-9-1
	中国学専攻 (博士前期課程)	2	3	—	6	修士 (中国学)	0.50	昭和39年度	同上
	英文学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (英文学)	0.60	昭和53年度	同上
	書道学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (書道学)	0.85	平成15年度	同上
	教育学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.60	平成20年度	同上
	日本文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (日本文学)	0.00	昭和47年度	同上
	中国学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (中国学)	0.00	昭和42年度	同上
	書道学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (書道学)	1.22	平成17年度	同上
	経済学研究科								
	経済学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (経済学) (公共政策学)	0.50	昭和47年度	同上
	経済学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (経済学)	0.00	昭和53年度	同上
	法学研究科								
	法律学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (法学)	0.30	昭和52年度	同上
	政治学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士 (政治学) (公共政策学)	0.00	平成6年度	同上
	法律学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (法学)	0.00	平成3年度	同上
	政治学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (政治学)	0.16	平成8年度	同上
	外国語学研究科								
	英語学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (英語学)	0.00	平成11年度	同上
	日本語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (日本語文化学)	0.70	平成11年度	同上
	中国言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (中国言語文化学)	0.30	平成11年度	同上

既設 大学等 の 状 況	英語学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (英語学)	0.77	平成17年度	同上	
	日本語文化学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (日本語文化学)	1.33	平成19年度	同上	
	中国言語文化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (中国言語文化学)	0.33	平成23年度	同上	
	アジア地域研究科									
	アジア地域研究専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (アジア地域研究)	0.71	平成11年度	埼玉県東松山市岩殿560	
	アジア地域研究専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (アジア地域研究)	0.50	平成13年度	同上	
	経営学研究科									
	経営学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.40	平成15年度	東京都板橋区高島平1-9-1	
	経営学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	平成15年度	同上	
	スポーツ・健康科学研究科									
スポーツ・健康科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ科学) (健康科学)	1.05	平成21年度	埼玉県東松山市岩殿560		
法務研究科										
法務専攻 (専門職学位課程)	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成16年度	東京都板橋区高島平1-9-1	平成27年より 学生募集停止	
附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人 大東文化学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	→	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
大東文化大学					大東文化大学				
文学部					文学部				
日本文学科	150	-	600		日本文学科	150	-	600	
中国文学科	70	-	280		中国文学科	70	-	280	
英米文学科	130	-	520		英米文学科	130	-	520	
教育学科	120	-	480		教育学科	120	-	480	
書道学科	60	-	240		書道学科	60	-	240	
歴史文化学科	100	-	400		歴史文化学科	100	-	400	
経済学部					経済学部				
社会経済学科	205	-	820		社会経済学科	205	-	820	
現代経済学科	165	-	660		現代経済学科	165	-	660	
外国語学部					外国語学部				
中国語学科	70	-	280		中国語学科	70	-	280	
英語学科	230	-	920		英語学科	230	-	920	
日本語学科	60	-	240		日本語学科	60	-	240	
法学部					法学部				
法律学科	225	-	900		法律学科	225	-	900	
政治学科	150	-	600		政治学科	150	-	600	
国際関係学部					国際関係学部				
国際関係学科	100	-	400		国際関係学科	100	-	400	
国際文化学科	100	-	400		国際文化学科	100	-	400	
経営学部					経営学部				
経営学科	365	-	1,460		経営学科	365	-	1,460	
スポーツ・健康科学部					スポーツ・健康科学部				
スポーツ科学科	125	-	500		<u>スポーツ科学科</u>	<u>165</u>	-	<u>660</u>	定員の変更(40)
健康科学科	100	-	400		健康科学科	100	-	400	
看護学科	100	-	400		看護学科	100	-	400	
社会学部					社会学部				
社会学科	200	-	800		社会学科	200	-	800	
計	2,825	-	11,300		計	<u>2,865</u>	-	<u>11,460</u>	
大東文化大学大学院					大東文化大学大学院				
文学研究科					文学研究科				
日本文学専攻(M)	5	-	10		日本文学専攻(M)	5	-	10	
日本文学専攻(D)	5	-	15		日本文学専攻(D)	5	-	15	
中国学専攻(M)	5	-	10		中国学専攻(M)	5	-	10	
中国学専攻(D)	3	-	9		中国学専攻(D)	3	-	9	
英文学専攻(M)	5	-	10		英文学専攻(M)	5	-	10	
書道学専攻(M)	7	-	14		書道学専攻(M)	7	-	14	
書道学専攻(D)	3	-	9		書道学専攻(D)	3	-	9	
教育学専攻(M)	10	-	20		教育学専攻(M)	10	-	20	
経済学研究科					経済学研究科				
経済学専攻(M)	10	-	20		経済学専攻(M)	10	-	20	
経済学専攻(D)	5	-	15		経済学専攻(D)	5	-	15	
法学研究科					法学研究科				
法律学専攻(M)	10	-	20		法律学専攻(M)	10	-	20	
法律学専攻(D)	5	-	15		法律学専攻(D)	5	-	15	
政治学専攻(M)	7	-	14		政治学専攻(M)	7	-	14	
政治学専攻(D)	4	-	12		政治学専攻(D)	4	-	12	
外国語学研究科					外国語学研究科				
中国言語文化学専攻(M)	5	-	10		中国言語文化学専攻(M)	5	-	10	
中国言語文化学専攻(D)	3	-	9		中国言語文化学専攻(D)	3	-	9	
英語学専攻(M)	5	-	10		英語学専攻(M)	5	-	10	
英語学専攻(D)	3	-	9		英語学専攻(D)	3	-	9	
日本語文化学専攻(M)	10	-	20		日本語文化学専攻(M)	10	-	20	
日本語文化学専攻(D)	3	-	9		日本語文化学専攻(D)	3	-	9	
アジア地域研究科					アジア地域研究科				
アジア地域研究専攻(M)	12	-	24		アジア地域研究専攻(M)	12	-	24	
アジア地域研究専攻(D)	4	-	12		アジア地域研究専攻(D)	4	-	12	
経営学研究科					経営学研究科				
経営学専攻(M)	15	-	30		経営学専攻(M)	15	-	30	
経営学専攻(D)	5	-	15		経営学専攻(D)	5	-	15	
スポーツ・健康科学研究科					スポーツ・健康科学研究科				
スポーツ・健康科学専攻(M)	10	-	20		スポーツ・健康科学専攻(M)	10	-	20	
計	159	-	361		計	159	-	361	

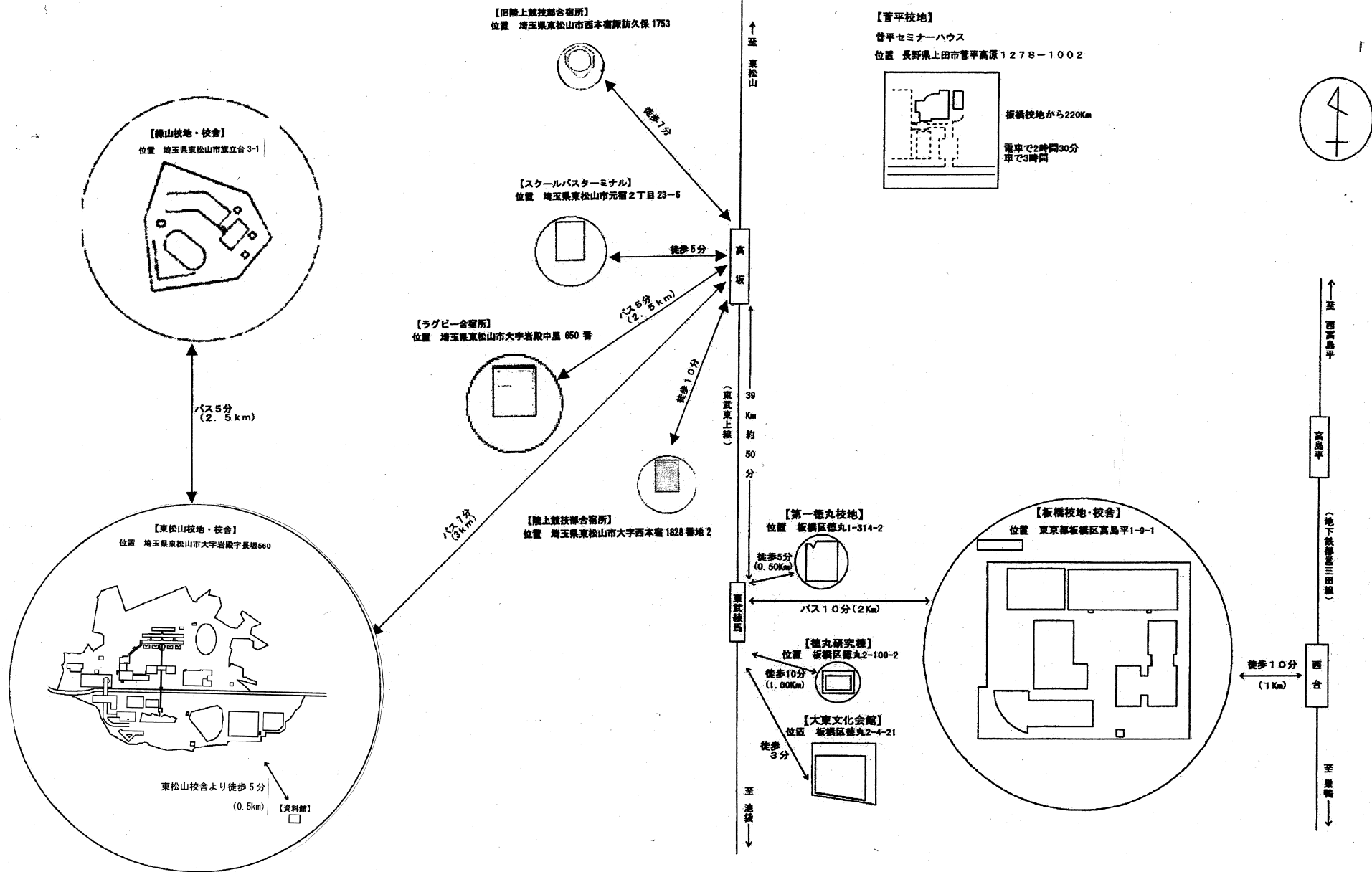
都道府県内における位置関係

大東文化大学東松山校舎
(埼玉県東松山市)

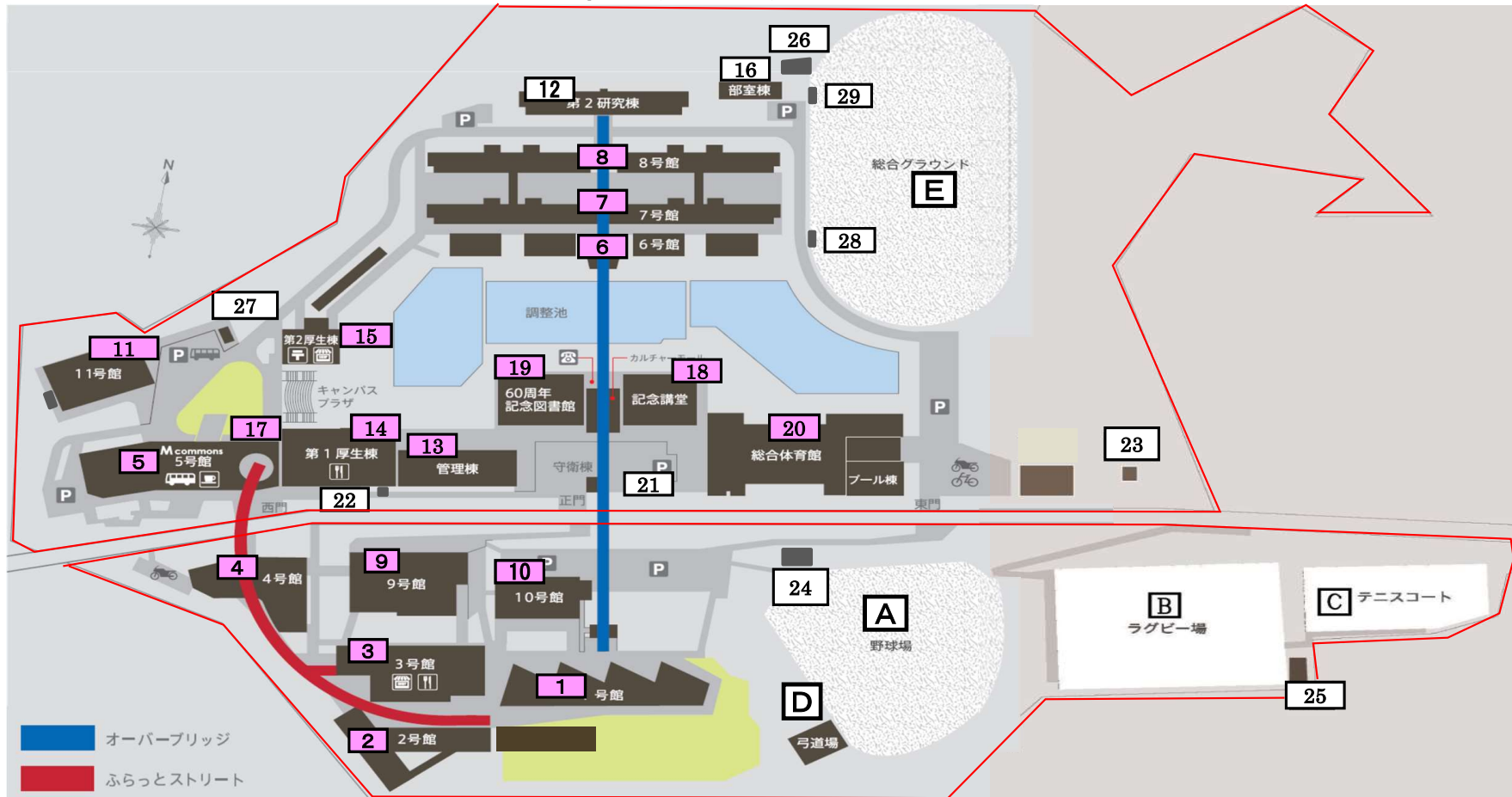


大東文化大学板橋校舎
(東京都板橋区)

1 大学所有校地の配置図



大東文化大学東松山校舎 校舎配置図



番号	建屋名称	延床面積(m ²)	種類	構造・備考
1	1号館	2,076.18	講義室	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
2	2号館	8,239.95	講義室・研究室	鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階付3階建 鉄筋コンクリート造4階建
3	3号館	3,392.50	講義室	鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建
4	4号館	3,902.40	講義室・研究室	鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
5	5号館	5,771.05	講義室・宿舍・課外活動施設	鉄骨・鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板葺8階建
6	6号館	1,783.91	講義室	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建
7	7号館	8,048.58	講義室	鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付5階建て
8	8号館	9,821.78	講義室	鉄筋コンクリート造陸屋根6階建
9	9号館	7,241.36	講義室・研究室・体育施設	鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
10	10号館	3,978.10	講義室・研究室	鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根・アルミニウム板葺4階建
11	11号館	3,236.40	講義室	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
12	第2研究棟	4,520.49	研究室	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
13	管理棟	5,057.70	事務室	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
14	第1厚生棟	3,773.29	学生会館	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
15	第2厚生棟	1,246.37	学生会館	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
16	運動部部室棟	923.40	課外活動施設	鉄骨造合金メッキ鋼板葺3階建
17	バス待合室	38.10	待合室	鉄筋コンクリート・鉄骨造コンクリート屋根平屋建
18	記念講堂	3,660.23	講堂	鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付4階建
19	記念図書館	8,916.33	図書館	鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下3階付5階建

番号	建屋名称	延床面積(m ²)	種類	構造・備考
20	総合体育館	11,443.20	体育施設	鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺陸屋根地下1階付5階建
21	守衛棟	747.42	事務室	鉄骨・鉄筋コンクリート造ビニール板・亜鉛メッキ鋼板葺2階建
22	プロパンガス庫	34.34	その他	鉄筋コンクリート造平屋建
23	ポンプ室	11.84	その他	鉄筋コンクリート造平屋建
24	野球場管理室	121.72	体育施設	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
25	屋外トイレ	32.00	その他	鉄筋コンクリート組積造平屋建
26	総合グラウンド倉庫棟	244.84	体育施設	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建
27	運転手控室	66.17	事務室	鉄骨・鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板葺2階建
28	プレハブ小屋(計測小屋)	9.51	課外活動施設	プレハブ造平屋建
29	プレハブ小屋(倉庫側)	9.68	課外活動施設	プレハブ造平屋建
A	野球場	11,444.00	体育施設	
B	ラグビー場	8,125.00	体育施設	
C	テニスコート	3,438.00	体育施設	
D	弓道場	430.28	体育施設	
E	総合グラウンド	20,813.69	体育施設	

…校地面積(252,237.46㎡)算入部分
 (校舎敷地:55,553.34㎡、運動場用地:47,531.69㎡、その他:149,152.43㎡)
 …当該申請等に係る学部等(スポーツ科学科)が使用する校舎

学則（目次）

（1） 学則案の全文	…2
（2） 変更事項を記載した書類	…430
（3） 変更部分の新旧対照表	…431

(1) 学則案の全文

○大東文化大学学則

		昭和37年4月1日 制定
改正	昭和39年4月1日	昭和41年4月1日
	昭和43年4月1日	昭和43年9月1日
	昭和45年3月23日	昭和46年4月1日
	昭和47年4月1日	昭和48年4月1日
	昭和50年4月1日	昭和51年4月1日
	昭和52年4月1日	昭和53年4月1日
	昭和53年6月1日	昭和54年4月1日
	昭和55年4月1日	昭和56年4月1日
	昭和57年3月31日	昭和57年6月8日
	昭和57年11月2日	昭和57年12月24日
	昭和58年3月9日	昭和58年10月27日
	昭和59年5月31日	昭和59年12月5日
	昭和59年12月21日	昭和60年12月25日
	昭和61年3月7日	昭和61年3月27日
	昭和61年5月28日	昭和61年7月30日
	昭和61年12月17日	昭和62年1月28日
	昭和62年11月25日	昭和62年12月23日
	昭和63年1月27日	昭和63年7月14日
	平成元年3月8日	平成元年10月25日
	平成元年12月20日	平成元年12月22日
	平成2年2月28日	平成2年3月26日
	平成2年3月28日	平成2年7月25日
	平成2年10月31日	平成2年12月19日
	平成2年12月21日	平成3年1月23日
	平成3年2月27日	平成3年3月27日
	平成3年10月30日	平成3年11月27日
	平成3年12月20日	平成4年1月29日

平成4年2月26日	平成4年6月24日
平成4年9月28日	平成4年10月28日
平成4年12月21日	平成4年12月22日
平成5年1月27日	平成5年3月17日
平成5年3月30日	平成5年4月28日
平成5年9月29日	平成5年10月27日
平成6年3月2日	平成6年3月9日
平成6年7月20日	平成6年10月26日
平成7年3月1日	平成7年3月29日
平成7年11月29日	平成8年2月28日
平成8年3月27日	平成8年11月27日
平成8年12月18日	平成9年2月26日
平成9年3月26日	平成9年10月29日
平成10年2月17日	平成10年2月25日
平成10年7月29日	平成10年10月7日
平成10年10月28日	平成10年11月25日
平成11年2月24日	平成11年3月17日
平成11年6月23日	平成11年7月21日
平成11年9月22日	平成11年10月22日
平成11年11月24日	平成11年12月22日
平成12年1月26日	平成12年2月23日
平成12年3月21日	平成12年3月29日
平成12年5月24日	平成12年7月26日
平成12年10月26日	平成12年11月29日
平成12年12月21日	平成13年1月31日
平成13年2月28日	平成13年3月21日
平成13年6月28日	平成13年10月31日
平成13年11月28日	平成14年6月19日
平成14年12月18日	平成15年2月26日
平成15年3月19日	平成15年5月21日
平成15年7月30日	平成15年9月24日

平成15年10月29日	平成15年12月17日
平成16年2月25日	平成16年5月26日
平成16年6月30日	平成16年7月28日
平成16年10月27日	平成16年11月30日
平成16年12月22日	平成17年1月26日
平成17年3月23日	平成17年3月29日
平成17年6月29日	平成17年10月26日
平成17年11月30日	平成17年12月21日
平成18年3月13日	平成18年3月23日
平成18年11月29日	平成19年1月31日
平成19年2月28日	平成19年4月25日
平成19年5月23日	平成19年7月25日
平成20年1月30日	平成20年2月27日
平成20年3月19日	平成20年6月25日
平成20年11月26日	平成20年12月17日
平成21年1月28日	平成21年4月30日
平成21年7月29日	平成21年10月28日
平成21年11月25日	平成22年1月25日
平成22年2月24日	平成22年9月29日
平成22年11月24日	平成23年1月26日
平成23年3月23日	平成23年7月27日
平成23年12月21日	平成24年9月26日
平成24年11月28日	平成24年12月19日
平成25年1月30日	平成25年2月28日
平成25年6月26日	平成25年11月27日
平成26年1月29日	平成26年2月27日
平成26年3月19日	平成26年7月30日
平成26年10月29日	平成26年11月26日
平成27年1月28日	平成27年2月25日
平成27年3月18日	平成27年4月22日
平成27年5月1日	平成27年7月29日

平成27年 9 月 30日	平成27年11月 25日
平成28年 1 月 27日	平成28年 3 月 24日
平成28年 5 月 25日	平成28年 7 月 1 日
平成28年 7 月 27日	平成28年12月 21日
平成29年 1 月 25日	平成29年 2 月 22日
平成29年 5 月 24日	平成29年 6 月 28日
平成29年 7 月 26日	平成29年 8 月 29日
平成29年10月 25日	平成29年11月 29日
平成29年12月 20日	平成30年 1 月 31日
平成30年 2 月 28日	平成30年 7 月 4 日
平成30年 7 月 25日	平成30年 9 月 26日
平成30年10月 31日	平成30年12月 19日
平成31年 1 月 30日	平成31年 2 月 27日
令和元年 5 月 29日	令和元年 7 月 31日
令和元年10月 30日	令和元年11月 27日
令和 2 年 1 月 29日	令和 2 年 2 月 27日
令和 2 年 4 月 22日	令和 2 年 7 月 22日
令和 2 年10月 28日	令和 3 年 2 月 24日
令和 3 年 3 月 17日	令和 3 年 7 月 7 日
令和 3 年 7 月 28日	令和 3 年10月 27日
令和 3 年11月 24日	令和 3 年12月 22日
令和 4 年 1 月 26日	令和 4 年 2 月 24日
令和 4 年 3 月 16日	令和 4 年 5 月 25日
令和 4 年 7 月 27日	令和 4 年10月 26日
令和 4 年11月 30日	令和 4 年12月 21日
令和 5 年 1 月 25日	令和 5 年 2 月 22日

第 1 章 総則

第 1 節 目的

(目的)

第 1 条 本大学は、建学の精神に基づき、学問の理論と応用を教授・研究して真理と正義を愛する自主的精神に充ちた良識ある人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献す

ることを目的とする。

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価を受けるものとする。

2 前項の点検及び評価並びに認証評価に関する事項は、別に定める。

第2節 構成

（学部及び学科）

第2条 本大学は、次の9学部・21学科を置く。

- (1) 文学部 日本文学科・中国文学科・英米文学科・教育学科・書道学科・歴史文化学科
- (2) 経済学部 社会経済学科・現代経済学科
- (3) 外国語学部 中国語学科・英語学科・日本語学科
- (4) 法学部 法律学科・政治学科
- (5) 国際関係学部 国際関係学科・国際文化学科
- (6) 経営学部 経営学科
- (7) 環境創造学部 環境創造学科
- (8) スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科・健康科学科・看護学科
- (9) 社会学部 社会学科

（教育研究上の目的）

第2条の2 各学部学科は、教育研究上の目的を次のとおり定める。

- (1) 文学部は、人文諸科学に関する学識を修めることを通し、広い識見と深い洞察力をもち、人間の生き方やあり方を考究し、多様な現代社会ならびに国際社会の諸問題に対応できる人材を養成することを目的とする。

文学部日本文学科は、日本文学に関する学識を修め、多様な現代社会に対応できる能力を有する人材の養成を目的とする。

文学部中国文学科は、中国古典学に関する学識を修め、中国文化圏に対する深い洞察力と国際感覚を有する人材の養成を目的とする。

文学部英米文学科は、英語圏の文学・語学・文化に関する学識を修め、国際語としての英語の基盤の上に立った広い見識を持つ人材の養成を目的とする。

文学部教育学科は、教育学に関する学識を修め、教育に関する知識・技能について、理論的実践的に優れた能力を有する人材の養成を目的とする。

文学部書道学科は、書道学に関する学識を修め、書表現および書学に秀でた人材の養成を目的とする。

文学部歴史文化学科は、歴史・文化に関する学識を修め、世界の中の日本を自覚し、多様な現代社会に対応できる能力を有する人材の養成を目的とする。

- (2) 経済学部は、経済学の専門知識と幅広い教養を修得することによって、社会人としての健全な判断力、新たな価値を創造する力、社会的諸問題への適応力、情報収集・分析・発信能力など、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決するといった「主体性」の涵養を目的とする。

経済学部社会経済学科は、経済学および経済に関連する諸領域についての理論と歴史・現状分析の手法を学修し、複雑で多様な社会の諸相を包括的な視点で考察、分析する能力を備えた人材の養成を目的とする。

経済学部現代経済学科は、経済学および経済に関連する諸領域についての理論と数理・計量分析の手法を学修し、現実の経済的諸問題についての具体的解決策を見出す能力を備えた人材の養成を目的とする。

- (3) 外国語学部は言語に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有し、専攻する言語およびその言語が使用される地域の文化、社会、歴史等の教育・研究を通じて、国際的な幅広い知識と教養を身につけた外国語のスペシャリストを育成することを目的とする。

外国語学部中国語学科は、中国語学に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人材の養成を目的とする。

外国語学部英語学科は、英語学に加えてドイツ語学、フランス語学に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人材の養成を目的とする。

外国語学部日本語学科は、日本語学に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人材の養成を目的とする。

- (4) 法学部は、法学および政治学に関する専門的知識を教授することにより、広い視野に立ち、論理的に物事を考え、正しい判断ができる、バランス感覚に満ちた人材を育成することおよび法学・政治学の各分野において創造的で水準の高い研究成果を継続的に世に問うていくことを目的とする。

法学部法律学科は、法に関する学識を修め、専門的な職業能力を有する人材の養成を目的とする。

法学部政治学科は、政治学に関する学識を修め、専門的な職業能力を有する人材の養成を目的とする。

- (5) 国際関係学部はアジア諸地域を中心に、国際政治・経済・社会の課題を考え、また豊かな伝統と多様性に富むアジア諸地域の歴史・芸術・文化を学ぶことを通して、異文化を理解する心を育てるとともに、アジアの地域言語および英語の運用能力を身につけ、多文化共生の実現と広義の国際協力や国際交流に貢献できる人材の育成を目的とする。

国際関係学部国際関係学科は、社会科学の視点でアジア地域研究を修め、多文化共生の実現と広義の国際協力や国際交流に貢献できる人材の育成を目的とする。

国際関係学部国際文化学科は、比較文化の視点でアジア地域研究を修め、多文化共生の実現と広義の国際協力や国際交流に貢献できる人材の育成を目的とする。

- (6) 経営学部は、経営学の基礎的・専門的知識を教授し、情報教育、語学教育、インターンシップなどの実践教育を通じて、経営学、会計学、知識情報マネジメントおよびマーケティングに関する専門的な知識と能力を身につけ、広い視野から現代社会を分析するとともに、自主的に判断できる力をもった人材を育成することを目的とする。

経営学部経営学科は、経営学の基礎的・専門的知識を教授し、情報教育、語学教育、インターンシップなどの実践教育を通じて、経営学、会計学、知識情報マネジメントおよびマーケティングに関する専門的な知識と能力を身につけ、広い視野から現代社会を分析するとともに、自主的に判断できる力をもった人材を育成することを目的とする。

- (7) 環境創造学部は、主として社会科学的な観点から地球および人間の環境に関する知識と手法を修め、その課題の発見と解決に複合的視野から創造的・実践的に取り組める主体性をもつ人材の養成を目的とする。

環境創造学部環境創造学科は、主として社会科学的な観点から地球および人間の環境に関する知識と手法を修め、その課題の発見と解決に創造的・実践的に取り組める人材の養成を目的とする。

- (8) スポーツ・健康科学部は、本学の建学精神とその教育理念に基づき、国民の健康の維持と増進を視野に、スポーツを通して文化の発展と健康づくりに貢献できる人材の育成、医学・健康関連分野で健康の増進に寄与できる人材の育成を目的とする。

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成を目的とする。

スポーツ・健康科学部健康科学科は、生命の尊厳に基づいた生活の質を理解し、医療と保健の幅広い分野で国民の健康づくりに貢献できる人材の養成を目的とする。

スポーツ・健康科学部看護学科は、主体的に学問を探究し、人格形成とさまざまな人々への理解の涵養により、地域社会における生活者の健康回復・維持・増進に向けて創造的に活躍できる人材の養成を目的とする。

- (9) 社会学部は、問題の発見、多様性への理解、実証的調査能力、理論的な思考、社会を構想し提言する能力などを備え、現代社会の構成員として一定の役割を果たせる人材の養成を目的とする。

社会学部社会学科は、問題の発見、多様性への理解、実証的調査能力、理論的な思考、社会を構想し提言する能力などを備え、現代社会の構成員として一定の役割を果たせる人材の養成を目的とする。

(大学院)

第3条 本大学に、大学院を置く。

- 2 大学院に関する事項は、別にこれを定める。

第4条 削除

第4条の2 削除

(図書館)

第5条 本大学に、図書館を置く。

- 2 図書館に関する事項は、別にこれを定める。

(ビアトリクス・ポターTM資料館)

第5条の2 本大学に、ビアトリクス・ポターTM資料館（以下「ポター資料館」という。）を置く。

- 2 ポター資料館に関する事項は、別にこれを定める。

(東洋研究所)

第5条の3 本大学に、東洋研究所を置く。

- 2 東洋研究所に関する事項は、別にこれを定める。

(書道研究所)

第5条の4 本大学に、書道研究所を置く。

- 2 書道研究所に関する事項は、別にこれを定める。

(学生支援センター)

第6条 本大学に、学生支援センターを置く。

2 学生支援センターに関する事項は、別にこれを定める。

(キャリアセンター)

第6条の2 本大学に、キャリアセンターを置く。

2 キャリアセンターに関する事項は、別にこれを定める。

(国際交流センター)

第6条の3 本大学に、国際交流センターを置く。

2 国際交流センターに関する事項は、別にこれを定める。

(北京事務所)

第6条の4 本大学に、北京事務所を置く。

2 北京事務所に関する事項は、別にこれを定める。

(スポーツ振興センター)

第6条の5 本大学に、スポーツ振興センターを置く。

2 スポーツ振興センターに関する事項は、別にこれを定める。

(地域連携センター)

第6条の6 本大学に、地域連携センターを置く。

2 地域連携センターに関する事項は、別にこれを定める。

(教職課程センター)

第6条の7 本大学に、教職課程センターを置く。

2 教職課程センターに関する事項は、別にこれを定める。

(入学センター)

第6条の8 本大学に、入学センターを置く。

2 入学センターに関する事項は、別にこれを定める。

(学務局)

第7条 本大学に、学務局を置く。

2 学務局に関する事項は、別にこれを定める。

第7条の2 学部に学部事務室を置く。

2 学部事務室に関する事項は、別にこれを定める。

第3節 教職員組織

(学長)

第8条 本大学に学長を置く。

2 学長は、本大学を代表し、本大学の教育理念に基づき、校務をつかさどり、その教職

員を統督する。

- 3 学長に事故あるときは、学長があらかじめ指名する者が学長の職務を代理する。
- 4 学長の選任及び任期については、別に定める。

(副学長)

第8条の2 本大学に副学長を置くことができる。

- 2 副学長は、学長の職務を補佐する。ただし、学長が必要と認めた場合には、その命を受けて、校務をつかさどることができる。
- 3 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

(学部長、学科主任、東松山キャンパス運営委員会委員長及び東松山担当主任)

第8条の3 本学の各学部で学部長を、各学科で学科主任を置く。

- 2 東松山校舎に東松山キャンパス運営委員会委員長及び東松山担当主任を置く。
- 3 学部長は、当該学部に関する校務をつかさどる。
- 4 学科主任は、当該学科に関して学部長を補佐する。当該学部の東松山キャンパス運営委員会に関する校務の運営については、東松山担当主任が学部長を補佐する。
- 5 学部長、学科主任及び東松山担当主任は、当該学部の専任の教授の中から補する。
- 6 東松山キャンパス運営委員会委員長は、副学長をもつて補する。

(付属機関等の長)

第8条の4 図書館、ポター資料館、東洋研究所、書道研究所、入学センター、学生支援センター、キャリアセンター、国際交流センター、北京事務所、スポーツ振興センター、地域連携センター、教職課程センター及び学務局に、それぞれ図書館長、ポター資料館長、東洋研究所長、書道研究所長、入学センター所長、学生支援センター所長、キャリアセンター所長、国際交流センター所長、北京事務所長、スポーツ振興センター所長、地域連携センター所長、教職課程センター所長及び学務局長を置く。

- 2 図書館長、ポター資料館長、東洋研究所長、書道研究所長、入学センター所長、学生支援センター所長、キャリアセンター所長、国際交流センター所長、北京事務所長、スポーツ振興センター所長、地域連携センター所長及び教職課程センター所長は、専任の教授の中から補する。
- 3 図書館長、ポター資料館長、東洋研究所長、書道研究所長、入学センター所長、学生支援センター所長、キャリアセンター所長、国際交流センター所長、北京事務所長、スポーツ振興センター所長、地域連携センター所長及び教職課程センター所長は、それぞれ図書館、ポター資料館、東洋研究所、書道研究所、学生支援センター、キャリアセン

ター、国際交流センター、北京事務所、スポーツ振興センター、地域連携センター及び教職課程センターの事務を総掌する。

4 学務局長は、学務局の事務を総掌する。

(教育職員)

第9条 本大学の教育職員として、専任の教授、准教授、講師、助手及び実験助手（以下「専任教員」という。）を置く。このほかに特任教員、助教、スポーツ・健康科学部特任助手、客員教員（特別招聘教授を含む。）、非常勤講師、研究補助員、教育補助員、法務研究科学習指導員及び非常勤助手を置くことができる。

2 前項に定める助手については、スポーツ・健康科学部健康科学科、東洋研究所及び書道研究所に置くことができるものとする。

3 専任教員の職務については、学校教育法並びに学園及び本大学の諸規則の定めるところによる。

4 特任教員、助教、スポーツ・健康科学部特任助手、客員教員（特別招聘教授を含む。）、非常勤講師、研究補助員、教育補助員、法務研究科学習指導員及び非常勤助手の職務については、別に定める。

(事務職員)

第10条 本大学に、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

第2章 学部教授会、大学評議会及び連合教授会

第1節 学部教授会

(学部教授会)

第11条 本大学の各学部に学部教授会（以下「教授会」という。）を置く。

(構成)

第11条の2 教授会は、当該学部に所属する専任教員（ただし、助手及び実験助手を除く。）、特任教員及び助教で構成する（以下「教授会構成員」という。）。ただし、第11条の8第1項第11号に定める事項を審議する教授会については、特任教員及び助教を除くほか、必要に応じて各教授会で定めることができる。

2 削除

3 教授会は、必要に応じて、第1項に定める教授会構成員以外の教職員を教授会に出席させて、その意見を聴くことができる。

4 削除

(招集及び議長)

第11条の3 教授会は、毎月1回開催する。ただし、必要に応じて、臨時にこれを開くことができる。

2 教授会は、学部長が招集しその議長となる。

3 前条第1項に定める教授会構成員の3分の1以上から付議すべき事項を示して教授会開催の請求があつたときは、学部長は、10日以内にこれを招集しなければならない。

(学部長の職務の代行)

第11条の4 学部長に事故があるとき、又は学部長が欠けたときは、学部長があらかじめ指名してある者が、学部長の職務を代行する。

(議事の定足数)

第11条の5 教授会は、第11条の2第1項に定める教授会構成員の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができない。ただし、第11条の8第1項第11号に定める事項のうち専任教員、助教、特任教員及び客員教員(特別招聘教授を含む。)の人事については、専任教員の3分の2以上の出席を要する。

2 次の各号の一に該当する者は、前項の場合について、その数に算入しない。

- (1) 学校法人大東文化学園校務のための海外出張取扱い要領に定める海外出張者
- (2) 学校法人大東文化学園職員任免規則第18条に定める休職中の者
- (3) 大東文化大学専任教員就業規則第21条及び大東文化大学特任教員就業規則第26条に定める欠勤1月以上の者
- (4) 大東文化大学海外研究員派遣規則に定める海外研究員
- (5) 大東文化大学海外留学者派遣規則に定める海外留学者
- (6) 大東文化大学海外出張者派遣規則に定める海外出張者
- (7) 大東文化大学海外派遣研究員の取扱いに関する要領に定める海外派遣研究員
- (8) 大東文化大学国内研究員規則に定める国内研究員
- (9) 大東文化大学特別研究期間制度規程に定める特別研究期間制度適用者
- (10) 学校法人大東文化学園育児休業規則に定める育児休業中の者
- (11) 学校法人大東文化学園介護休業規則に定める介護休業中の者
- (12) 学校法人大東文化学園職員懲戒規程第4条に定める出勤停止中の者

(議決要件)

第11条の6 教授会の議事は、出席した教授会構成員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第11条の8第1項第11号に定める事項については、出席した専任教員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

(非公開)

第11条の7 教授会の会議は、非公開とする。

(審議及び議決事項)

第11条の8 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議及び議決し、学長に建議するものとする。

- (1) 学生の入学（再入学、転入学及び編入学を含む。）、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 入学試験に関する事項
- (4) 教育課程及び授業科目の編成に関する事項
- (5) 学生の試験その他の成績評価に関する事項
- (6) 学生の進級に関する事項
- (7) 学生の指導及び賞罰に関する事項
- (8) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に関する事項
- (9) 学部長、学科主任、東松山担当主任及び学部附置の研究所所長の推薦に関する事項
- (10) 教員の授業担当に関する事項
- (11) 教員の選考、昇格その他の教員の人事に関する事項（ただし、懲戒審査を除く。）
- (12) 学則の改廃、これに基づく規則等の制定及び改廃に関する事項
- (13) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議及び議決し、学長等に建議及び答申することができる。

- (1) 学部運営の方針に関する事項
- (2) 学生の転学部、転学科、転学、休学、退学、除籍、復学等の学籍に関する事項
- (3) 学生の留学及び海外からの留学生の受入れに関する事項
- (4) 各種委員会委員の選出に関する事項
- (5) 教員の在外研究その他の研究に関する事項

- (6) 名誉教授の推薦に関する事項
- (7) 研究室の運営及び改善に関する事項
- (8) その他教授会が必要と認める事項
- (9) 前各号に掲げるもののほか、その都度、学長等が教授会の意見を求めるもの
(幹事)

第11条の9 教授会に幹事を置く。

2 幹事は、学部事務室が当り、教授会の事務を処理する。

(議事録)

第11条の10 教授会の議事録は、幹事が作成し、議決に加わった専任教員2人が署名したうえ、学部長がこれを保管する。

2 教授会は、議事録の写しを学長に提出しなければならない。

3 教授会の議事録は、その要旨を大学のホームページ等に公開するものとする。利害関係者等からの議事録の開示請求については、学校法人大東文化学園情報公開規程の定めるところによる。ただし、開示請求の対象に個人情報が含まれる場合は、学校法人大東文化学園個人情報の保護に関する規程に定める手続に従うものとする。

第1節の2 削除

第11条の11から第11条の21まで 削除

第1節の3 大学評議会及び連合教授会

(大学評議会及び連合教授会)

第11条の22 本大学に、大学評議会及び連合教授会を置く。

(大学評議会の構成)

第11条の23 大学評議会は、次に掲げる大学評議会委員（以下「評議会委員」という。）をもつて構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学部長
- (4) 学科主任
- (5) 教授会から選出された専任教員（ただし、助手及び実験助手を除く。） 各2名
- (6) 図書館長
- (7) 東洋研究所長
- (8) 書道研究所長

- 2 前項第5号の評議会委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 任期の途中で評議会委員の交代のあつたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 大学評議会は、必要に応じて評議会委員以外の者を会議に出席させてその意見を聴くことができる。

(非公開)

第11条の24 大学評議会の会議は、非公開とする。

(審議及び議決事項)

第11条の25 大学評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議及び議決し、学長に建議する。

- (1) 学則の改廃、これに基づく規則等の制定及び改廃並びにこれらの解釈に関する事項
 - (2) 学長、図書館長、ポター資料館長、東洋研究所長、書道研究所長、入学センター所長、学生支援センター所長、キャリアセンター所長、国際交流センター所長、北京事務所長、スポーツ振興センター所長、地域連携センター所長、教職課程センター所長、大東文化歴史資料館長、学園総合情報センター所長及び診療所長の推薦に関する事項
 - (3) 副学長の選任に関する事項
 - (4) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に関する事項
 - (5) 入学者選抜に関する基本的事項
 - (6) 教員の研究教育業績の審査等の基準その他の人事に関する基本的事項
 - (7) 全学に関する各種委員会委員の選出に関する事項
 - (8) 連合教授会から再審議の要求のあつた事項
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、大学に関する重要な事項で大学評議会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 大学評議会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議及び議決し、学長に建議及び答申することができる。
- (1) 全学に関する共通事項
 - (2) その他大学評議会が必要と認める事項
 - (3) 前各号に掲げるもののほか、その都度、学長が大学評議会の意見を求めるもの

3 大学評議会は、次に掲げる事項について審議及び議決し、理事長に上申する。

(1) 学長の選任

(2) 学長の解任

4 大学評議会は、とくに必要と認めた事項について、その審議及び議決を連合教授会に委ねることができる。

(招集及び議長)

第11条の26 学長は、必要に応じて大学評議会を招集し、その議長となる。

2 学長に支障がある場合及び第11条の25第3項第2号の場合には、学長が、あらかじめ指名する者が、前項の職務を行う。

(定足数)

第11条の27 大学評議会は、評議会委員の3分の2以上の出席をもつて成立し、その議事は、出席評議会委員の過半数の賛成により、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第11条の25第1項第1号及び第3項については、出席評議会委員の3分の2以上の賛成を必要とする。

2 第11条の5第2項の規定は、前項の場合についてこれを準用する。

(連合教授会の構成)

第11条の28 連合教授会は、学部、大学院法務研究科、東洋研究所、書道研究所及び国際交流センターに所属する専任教員、特任教員及び助教をもつて構成する（以下「連合教授会構成員」という。）。

2 連合教授会は、必要に応じて前記以外の者を会議に出席させてその意見を聴くことができる。

(非公開)

第11条の29 連合教授会の会議は、非公開とする。

(審議及び議決事項)

第11条の30 連合教授会は、全学に関する重要事項について審議及び議決して関係機関に建議することができる。

2 削除

3 削除

(招集及び議長)

第11条の31 連合教授会は、各学部長が連名で招集し、その議長は、各学部長の互選による。

2 削除

3 学長若しくは学部長の過半数が必要と認めた場合又は2学部以上の学部教授会から議案を示して開催要求のあつた場合には、10日以内に招集しなければならない。

(定足数)

第11条の32 連合教授会は、第11条の28第1項に定める連合教授会構成員の過半数の出席をもつて成立し、その議事は、出席した連合教授会構成員の過半数の賛成により決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 第11条の5第2項の規定は、前項の場合についてこれを準用する。

(幹事)

第11条の33 大学評議会及び連合教授会に、それぞれ幹事を置き、学務部長及び学務部長が指名する学務部員が、これに当たる。

(議事録)

第11条の34 大学評議会及び連合教授会の議事録には、大学評議会については、議決に加わつた評議会委員2人が、また連合教授会については、会議に出席した各学部長が、署名捺印する。

2 大学評議会及び連合教授会の議事録は、その要旨を大学のホームページ等に公開するものとする。利害関係者等からの議事録の開示請求については、第11条の10第3項の規定を準用する。

(学長推薦の手続)

第11条の35 第11条の25第1項第2号の学長の推薦にかかわる選考手続は、別に定める学長選考規程によるものとする。

(図書館長推薦の手続)

第11条の36 第11条の25第1項第2号の図書館長の推薦にかかわる選考手続は、別に定める図書館長選考規程によるものとする。

第3章 学生の定員

(定員)

第12条 本大学の各学部及び各学科の学生定員は、次のとおりとする。

(1) 毎年入学定員

文学部 630名

日本文学科 150名

中国文学科 70名

英米文学科 130名
教育学科 120名
書道学科 60名
歴史文化学科 100名
経済学部 370名
社会経済学科 205名
現代経済学科 165名
外国語学部 360名
中国語学科 70名
英語学科 230名
日本語学科 60名
法学部 375名
法律学科 225名
政治学科 150名
国際関係学部 200名
国際関係学科 100名
国際文化学科 100名
経営学部 365名
経営学科 365名
スポーツ・健康科学部 365名
スポーツ科学科 165名
健康科学科 100名
看護学科 100名
社会学部 200名
社会学科 200名

(2) 総学生定員

文学部 2,520名
日本文学科 600名
中国文学科 280名
英米文学科 520名
教育学科 480名

書道学科 240名
歴史文化学科 400名
経済学部 1,480名
社会経済学科 820名
現代経済学科 660名
外国語学部 1,440名
中国語学科 280名
英語学科 920名
日本語学科 240名
法学部 1,500名
法律学科 900名
政治学科 600名
国際関係学部 800名
国際関係学科 400名
国際文化学科 400名
経営学部 1,460名
経営学科 1,460名
スポーツ・健康科学部 1,460名
スポーツ科学科 660名
健康科学科 400名
看護学科 400名
社会学部 800名
社会学科 800名

第4章 学年、学期、授業期間等及び休業

(学年)

第13条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第14条 学年を分けて、次の2学期とする。

前学期 4月1日から9月15日まで

後学期 9月16日から翌年3月31日まで

2 学長は、大学評議会の議を経て、前項に定める期日を変更することができる。

(授業期間等)

第14条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたるものとする。

- 2 各授業科目の授業は、前学期及び後学期それぞれ15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができるものとする。

(休業日)

第15条 次に掲げる日を休業日とする。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - (2) 学園創立記念日（9月20日）
 - (3) 学年暦において定める春季休業日、夏季休業日及び冬季休業日
- 2 学長は、大学評議会の議を経て、前項に定める休業日を変更することができる。
 - 3 学長は、大学評議会の議を経て、臨時休業日を定めることができる。

第5章 教育課程

第1節 学部通則

(修業年限)

第16条 本大学の修業年限は、4年とし、学生は、この間に所定の単位を履修しなければならない。ただし、各学部とも在学期間は、8年をこえることができない。

2 削除

(教育課程)

第17条 各学部各学科における教育課程は、本章の第2節から第9節に定めるとおりとする。

(単位の算定基準)

第18条 授業科目に対する単位は、次の基準によつて計算する。

- (1) 講義については、1時間の講義に対して、教室外における2時間の準備のための学習を必要とすることを考慮し、毎週1時間15週の講義をもつて1単位とする。
- (2) 演習については、2時間の演習に対して、教室外における1時間の準備のための学習を必要とすることを考慮し、毎週2時間15週の演習をもつて1単位とする。ただし、教育効果を考慮し、1時間の演習に対して、教室外における2時間の準備のための学習を必要とするものについては、毎週1時間15週の演習をもつて1単位とする。
- (3) 実験・実習及び実技については、毎週2時間又は3時間15週の実験・実習及び実技

をもつて1単位とする。

(メディアを利用して行う授業)

第18条の2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前条に規定する講義、演習、実験、実習及び実技による授業科目を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(履修科目の登録)

第19条 学生は、各学年又は各学期における授業科目の履修届を、指定の日時に、係に提出して承認を得なければならない。

2 学生は、他の学部又は他の学科の授業科目を履修しようとする場合は、当該学部の承認を得てこれを行うことができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第19条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定を実施するにあたっては、あらかじめ、当該他の大学又は短期大学と対象となる学生数、履修できる授業科目、単位の認定方法その他必要な具体的措置について協議するものとする。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第19条の3 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第3項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第19条の4 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行つた前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 削除

4 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に本大学において履修した授業科目で履修を認定されたものについて、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

5 第1項、第2項及び第4項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第19条の2第1項及び第3項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

6 第1項、第2項及び第4項の規定により単位の認定を行つた場合においても、修業年限は、これを短縮しない。

7 第1項、第5項及び第6項の規定は、外国の大学又は短期大学の場合に準用する。

(試験の施行)

第20条 履修した授業科目については、学期末又は学年末において期間を定めて試験（以下「定期試験」という。）を行うものとし、必要に応じて臨時に試験を行うことができる。ただし、論文考査・口頭試問等によってこれに代えることができる。

2 やむを得ない事由のために、前項の試験を受けることができなかつた者については、追試験を行うことができる。

3 前2項に定める4年次の定期試験等において、不合格となった科目については、学部教授会が必要と認めた場合には、再試験を行うことができる。

(学業の評価)

第21条 学業の成績は、S・A・B・C・D及びEに区分し、S・A・B及びCを合格、Dを不合格、Eを評価の対象外とする。

2 合格した授業科目については、所定の単位を与える。

3 履修した授業科目について、学業成績評価でNと表示された科目を除き、学業成績の表示に応じて、グレード・ポイントを与える。

4 前項の定めに従って与えるグレード・ポイントを基に履修科目1単位あたりの成績の平均点（以下「GPA」という。）を算出する。GPAの計算方法は別に定めるところによ

る。

(卒業要件)

第22条 本大学に4年(第32条に該当する者は通算して4年)以上在学して本章第2節以下に定める各学部の卒業要件を満たした者を卒業とし、卒業証書を授与する。

(学位)

第23条 前条によつて卒業証書を授与された者には、学士の学位を授与する。

2 学位及びその授与については、大東文化大学学位規則に定める。

(資格課程)

第23条の2 本学に、次の各号に掲げる資格課程を置く。

- (1) 教職課程(副免許教職課程を含む。)
- (2) 司書・司書教諭課程
- (3) 社会教育士(養成課程)課程
- (4) 学芸員課程
- (5) 保育士課程

2 前項各号に規定する資格課程に関し必要な事項は、別にこれを定める。

(教育職員免許状)

第23条の3 本大学において取得できる教育職員免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
文学部	日本文学科	中学校教諭一種	国語
		高等学校教諭一種	国語・書道
	中国文学科	中学校教諭一種	国語
		高等学校教諭一種	国語・書道
	英米文学科	中学校教諭一種	英語
		高等学校教諭一種	英語
	教育学科	小学校教諭一種 幼稚園教諭一種	
書道学科	中学校教諭一種	国語	
	高等学校教諭一種	国語・書道	
歴史文化学科	中学校教諭一種	社会	

		高等学校教諭一種	地理歴史
経済学部	社会経済学科	中学校教諭一種	社会
		高等学校教諭一種	地理歴史・公民
外国語学部	中国語学科	中学校教諭一種	中国語
		高等学校教諭一種	中国語
	英語学科	中学校教諭一種	英語
		高等学校教諭一種	英語
	日本語学科	中学校教諭一種	国語
		高等学校教諭一種	国語
法学部	政治学科	中学校教諭一種	社会
		高等学校教諭一種	地理歴史・公民
経営学部	経営学科	高等学校教諭一種	商業
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	中学校教諭一種	保健体育
		高等学校教諭一種	保健体育
	健康科学科	中学校教諭一種	理科
		高等学校教諭一種	理科

第2節 文学部

(授業科目の区分等)

第23条の4 文学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 教職課程関連科目
- (6) 司書・司書教諭課程関連科目
- (7) 社会教育士（養成課程）課程関連科目
- (8) 学芸員課程関連科目
- (9) 保育士課程関連科目
- (10) 副専攻科目等

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に

分け、これを各年次に配当して編成する。

- 3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。
- 4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。
- 5 第1項第2号に定める専門教育科目は、教育の目的に応じ、各授業科目について選択科目の履修条件を変えることにより、歴史文化学科に次のコースを設けるものとする。
日本史コース、東西文化コース、観光歴史学コース
(授業科目の開設等)

第23条の5 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目

日本文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基礎英語A	1		1		
基礎英語B	1		1		
英語リーディングA	1		1		
英語リーディングB	1		1		
口語英語A	1		1		
口語英語B	1		1		
総合英語A	1		1		
総合英語B	1		1		
時事英語A	1		1		
時事英語B	1		1		
英米文化表現A	1		1		
英米文化表現B	1		1		
英米作品講読A	1		1		
英米作品講読B	1		1		
現代英語応用A	1		1		
現代英語応用B	1		1		

上級コミュニケーション英語A	1	1
上級コミュニケーション英語B	1	1
上級時事英語A	1	1
上級時事英語B	1	1
上級英語A	1	1
上級英語B	1	1
フランス語基礎1A	1	1
フランス語基礎1B	1	1
フランス語基礎2A	1	1
フランス語基礎2B	1	1
フランス語中級3A	1	1
フランス語中級3B	1	1
フランス語中級4A	1	1
フランス語中級4B	1	1
フランス語上級1A	1	1
フランス語上級1B	1	1
フランス語上級2A	1	1
フランス語上級2B	1	1
ドイツ語基礎1A	1	1
ドイツ語基礎1B	1	1
ドイツ語基礎2A	1	1
ドイツ語基礎2B	1	1
ドイツ語中級3A	1	1
ドイツ語中級3B	1	1
ドイツ語中級4A	1	1
ドイツ語中級4B	1	1
ドイツ語上級1A	1	1
ドイツ語上級1B	1	1
ドイツ語上級2A	1	1

ドイツ語上級2B	1	1	
中国語基礎1A	1	1	
中国語基礎1B	1	1	
中国語基礎2A	1	1	
中国語基礎2B	1	1	
中国語中級3A	1	1	
中国語中級3B	1	1	
中国語中級4A	1	1	
中国語中級4B	1	1	
中国語上級1A	1	1	
中国語上級1B	1	1	
中国語上級2A	1	1	
中国語上級2B	1	1	
フランス語初級1A	1		1
フランス語初級1B	1		1
フランス語初級2A	1		1
フランス語初級2B	1		1
フランス語中級1A	1		1
フランス語中級1B	1		1
フランス語中級2A	1		1
フランス語中級2B	1		1
ドイツ語初級1A	1		1
ドイツ語初級1B	1		1
ドイツ語初級2A	1		1
ドイツ語初級2B	1		1
ドイツ語中級1A	1		1
ドイツ語中級1B	1		1
ドイツ語中級2A	1		1
ドイツ語中級2B	1		1
中国語初級1A	1		1
中国語初級1B	1		1

中国語初級2A	1	1
中国語初級2B	1	1
中国語中級1A	1	1
中国語中級1B	1	1
中国語中級2A	1	1
中国語中級2B	1	1
コリア語基礎1A	1	1
コリア語基礎1B	1	1
コリア語基礎2A	1	1
コリア語基礎2B	1	1
インドネシア語初級A	1	1
インドネシア語初級B	1	1
タイ語初級A	1	1
タイ語初級B	1	1
ラテン語初級A	1	1
ラテン語初級B	1	1
ギリシア語初級A	1	1
ギリシア語初級B	1	1
ロシア語基礎1A	1	1
ロシア語基礎1B	1	1
ロシア語基礎2A	1	1
ロシア語基礎2B	1	1
イタリア語初級A	1	1
イタリア語初級B	1	1
スペイン語基礎1A	1	1
スペイン語基礎1B	1	1
スペイン語基礎2A	1	1
スペイン語基礎2B	1	1
スペイン語中級A	1	1
スペイン語中級B	1	1
ポルトガル語初級A	1	1

ポルトガル語初級B	1		1
情報処理A	2		2
情報処理B	2		2
情報処理C	2		2
情報処理D	2		2
海外研修英語	2		2
海外研修中国語	2		2

中国文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
中国語学基礎演習1（会話）	2	2			
中国語学基礎演習2（会話）	2	2			
中国語学基礎演習3	2	2			
中国語学基礎演習4	2	2			
基礎英語A	1			1	
基礎英語B	1			1	
英語リーディングA	1			1	
英語リーディングB	1			1	
英語リーディングC	1			1	
英語リーディングD	1			1	
フランス語基礎1A	1			1	
フランス語基礎1B	1			1	
フランス語基礎2A	1			1	
フランス語基礎2B	1			1	
ドイツ語基礎1A	1			1	
ドイツ語基礎1B	1			1	
ドイツ語基礎2A	1			1	
ドイツ語基礎2B	1			1	
口語英語A	1			1	

口語英語B	1	1	
総合英語A	1	1	
総合英語B	1	1	
時事英語A	1	1	
時事英語B	1	1	
英米文化表現A	1	1	
英米文化表現B	1	1	
英米作品講読A	1	1	
英米作品講読B	1	1	
現代英語応用A	1	1	
現代英語応用B	1	1	
上級コミュニケーション英語A	1		1
上級コミュニケーション英語B	1		1
上級時事英語A	1		1
上級時事英語B	1		1
上級英語A	1		1
上級英語B	1		1
フランス語初級1A	1	1	
フランス語初級1B	1	1	
フランス語初級2A	1	1	
フランス語初級2B	1	1	
フランス語中級1A	1	1	
フランス語中級1B	1	1	
フランス語中級2A	1	1	
フランス語中級2B	1	1	
フランス語上級1A	1		1
フランス語上級1B	1		1
フランス語上級2A	1		1
フランス語上級2B	1		1

フランス語中級3A	1	1	
フランス語中級3B	1	1	
フランス語中級4A	1	1	
フランス語中級4B	1	1	
ドイツ語初級1A	1	1	
ドイツ語初級1B	1	1	
ドイツ語初級2A	1	1	
ドイツ語初級2B	1	1	
ドイツ語中級1A	1	1	
ドイツ語中級1B	1	1	
ドイツ語中級2A	1	1	
ドイツ語中級2B	1	1	
ドイツ語上級1A	1		1
ドイツ語上級1B	1		1
ドイツ語上級2A	1		1
ドイツ語上級2B	1		1
ドイツ語中級3A	1	1	
ドイツ語中級3B	1	1	
ドイツ語中級4A	1	1	
ドイツ語中級4B	1	1	
中国語初級1A	1		1
中国語初級1B	1		1
中国語初級2A	1		1
中国語初級2B	1		1
中国語中級1A	1		1
中国語中級1B	1		1
中国語中級2A	1		1
中国語中級2B	1		1
中国語上級1A	1		1
中国語上級1B	1		1
中国語上級2A	1		1

中国語上級2B	1		1
中国語中級3A	1		1
中国語中級3B	1		1
中国語中級4A	1		1
中国語中級4B	1		1
コリア語基礎1A	1		1
コリア語基礎1B	1		1
コリア語基礎2A	1		1
コリア語基礎2B	1		1
インドネシア語初級A	1		1
インドネシア語初級B	1		1
タイ語初級A	1		1
タイ語初級B	1		1
ラテン語初級A	1		1
ラテン語初級B	1		1
ギリシア語初級A	1		1
ギリシア語初級B	1		1
ロシア語基礎1A	1		1
ロシア語基礎1B	1		1
ロシア語基礎2A	1		1
ロシア語基礎2B	1		1
イタリア語初級A	1		1
イタリア語初級B	1		1
スペイン語基礎1A	1		1
スペイン語基礎1B	1		1
スペイン語基礎2A	1		1
スペイン語基礎2B	1		1
スペイン語中級A	1		1
スペイン語中級B	1		1
ポルトガル語初級A	1		1
ポルトガル語初級B	1		1

情報処理A	2			2
情報処理B	2			2
情報処理C	2			2
情報処理D	2			2
海外研修英語	2			2
海外研修中国語	2			2

英米文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
Freshman Seminar	2	2			
Freshman English : Culture A	1	1			
Freshman English : Culture B	1	1			
Freshman English : Speaking A	1	1			
Freshman English : Speaking B	1	1			
Freshman English : Writing A	1	1			
Freshman English : Writing B	1	1			
Freshman English : Reading A	1	1			
Freshman English : Reading B	1	1			
Freshman English : Reading C	1	1			
Freshman English : Reading D	1	1			
Culture through English	1	1			

A				
Culture through English	1	1		
B				
Speaking English A	1	1		
Speaking English B	1	1		
Writing English A	1	1		
Writing English B	1	1		
Reading English A	1	1		
Reading English B	1	1		
Reading English C	1	1		
Reading English D	1	1		
フランス語基礎1A	1		1	
フランス語基礎1B	1		1	
フランス語基礎2A	1		1	
フランス語基礎2B	1		1	
ドイツ語基礎1A	1		1	
ドイツ語基礎1B	1		1	
ドイツ語基礎2A	1		1	
ドイツ語基礎2B	1		1	
スペイン語基礎1A	1		1	
スペイン語基礎1B	1		1	
スペイン語基礎2A	1		1	
スペイン語基礎2B	1		1	
Basic English A	1			1
Basic English B	1			1
フランス語中級3A	1			1
フランス語中級3B	1			1
フランス語中級4A	1			1
フランス語中級4B	1			1
フランス語初級1A	1			1
フランス語初級1B	1			1

フランス語初級2A	1	1
フランス語初級2B	1	1
フランス語中級1A	1	1
フランス語中級1B	1	1
フランス語中級2A	1	1
フランス語中級2B	1	1
フランス語上級1A	1	1
フランス語上級1B	1	1
フランス語上級2A	1	1
フランス語上級2B	1	1
ドイツ語中級3A	1	1
ドイツ語中級3B	1	1
ドイツ語中級4A	1	1
ドイツ語中級4B	1	1
ドイツ語初級1A	1	1
ドイツ語初級1B	1	1
ドイツ語初級2A	1	1
ドイツ語初級2B	1	1
ドイツ語中級1A	1	1
ドイツ語中級1B	1	1
ドイツ語中級2A	1	1
ドイツ語中級2B	1	1
ドイツ語上級1A	1	1
ドイツ語上級1B	1	1
ドイツ語上級2A	1	1
ドイツ語上級2B	1	1
スペイン語中級A	1	1
スペイン語中級B	1	1
中国語中級3A	1	1
中国語中級3B	1	1
中国語中級4A	1	1

中国語中級4B	1		1
中国語初級1A	1		1
中国語初級1B	1		1
中国語初級2A	1		1
中国語初級2B	1		1
中国語中級1A	1		1
中国語中級1B	1		1
中国語中級2A	1		1
中国語中級2B	1		1
中国語上級1A	1		1
中国語上級1B	1		1
中国語上級2A	1		1
中国語上級2B	1		1
コリア語基礎1A	1		1
コリア語基礎1B	1		1
コリア語基礎2A	1		1
コリア語基礎2B	1		1
インドネシア語初級A	1		1
インドネシア語初級B	1		1
タイ語初級A	1		1
タイ語初級B	1		1
ラテン語初級A	1		1
ラテン語初級B	1		1
ギリシア語初級A	1		1
ギリシア語初級B	1		1
ロシア語基礎1A	1		1
ロシア語基礎1B	1		1
ロシア語基礎2A	1		1
ロシア語基礎2B	1		1
イタリア語初級A	1		1
イタリア語初級B	1		1

ポルトガル語初級A	1			1
ポルトガル語初級B	1			1
情報処理A	2			2
情報処理B	2			2
情報処理C	2			2
情報処理D	2			2

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基礎英語A	1		1		
基礎英語B	1		1		
英語リーディングA	1		1		
英語リーディングB	1		1		
口語英語A	1		1		
口語英語B	1		1		
総合英語A	1		1		
総合英語B	1		1		
時事英語A	1		1		
時事英語B	1		1		
英米文化表現A	1		1		
英米文化表現B	1		1		
英米作品講読A	1		1		
英米作品講読B	1		1		
現代英語応用A	1		1		
現代英語応用B	1		1		
上級コミュニケーション英語A	1		1		
上級コミュニケーション英語B	1		1		
上級時事英語A	1		1		
上級時事英語B	1		1		

上級英語A	1	1
上級英語B	1	1
フランス語基礎1A	1	1
フランス語基礎1B	1	1
フランス語基礎2A	1	1
フランス語基礎2B	1	1
フランス語中級3A	1	1
フランス語中級3B	1	1
フランス語中級4A	1	1
フランス語中級4B	1	1
フランス語初級1A	1	1
フランス語初級1B	1	1
フランス語初級2A	1	1
フランス語初級2B	1	1
フランス語中級1A	1	1
フランス語中級1B	1	1
フランス語中級2A	1	1
フランス語中級2B	1	1
フランス語上級1A	1	1
フランス語上級1B	1	1
フランス語上級2A	1	1
フランス語上級2B	1	1
ドイツ語基礎1A	1	1
ドイツ語基礎1B	1	1
ドイツ語基礎2A	1	1
ドイツ語基礎2B	1	1
ドイツ語中級3A	1	1
ドイツ語中級3B	1	1
ドイツ語中級4A	1	1
ドイツ語中級4B	1	1
ドイツ語初級1A	1	1

ドイツ語初級1B	1	1
ドイツ語初級2A	1	1
ドイツ語初級2B	1	1
ドイツ語中級1A	1	1
ドイツ語中級1B	1	1
ドイツ語中級2A	1	1
ドイツ語中級2B	1	1
ドイツ語上級1A	1	1
ドイツ語上級1B	1	1
ドイツ語上級2A	1	1
ドイツ語上級2B	1	1
中国語基礎1A	1	1
中国語基礎1B	1	1
中国語基礎2A	1	1
中国語基礎2B	1	1
中国語中級3A	1	1
中国語中級3B	1	1
中国語中級4A	1	1
中国語中級4B	1	1
中国語初級1A	1	1
中国語初級1B	1	1
中国語初級2A	1	1
中国語初級2B	1	1
中国語中級1A	1	1
中国語中級1B	1	1
中国語中級2A	1	1
中国語中級2B	1	1
中国語上級1A	1	1
中国語上級1B	1	1
中国語上級2A	1	1
中国語上級2B	1	1

코리아語基礎1A	1	1	
코리아語基礎1B	1	1	
코리아語基礎2A	1	1	
코리아語基礎2B	1	1	
インドネシア語初級A	1	1	
インドネシア語初級B	1	1	
タイ語初級A	1	1	
タイ語初級B	1	1	
ラテン語初級A	1	1	
ラテン語初級B	1	1	
ギリシア語初級A	1	1	
ギリシア語初級B	1	1	
ロシア語基礎1A	1	1	
ロシア語基礎1B	1	1	
ロシア語基礎2A	1	1	
ロシア語基礎2B	1	1	
イタリア語初級A	1	1	
イタリア語初級B	1	1	
スペイン語基礎1A	1	1	
スペイン語基礎1B	1	1	
スペイン語基礎2A	1	1	
スペイン語基礎2B	1	1	
スペイン語中級A	1	1	
スペイン語中級B	1	1	
ポルトガル語初級A	1	1	
ポルトガル語初級B	1	1	
情報処理A	2		2
情報処理B	2		2
情報処理C	2		2
情報処理D	2		2
海外研修英語	2	2	

海外研修中国語	2	2		
---------	---	---	--	--

書道学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
書道学基礎演習	2	2			
中国語学基礎演習1	2	2			
中国語学基礎演習2	2	2			
中国語学基礎演習3	2	2			
中国語学基礎演習4	2	2			
基礎英語A	1			1	
基礎英語B	1			1	
英語リーディングA	1			1	
英語リーディングB	1			1	
口語英語A	1			1	
口語英語B	1			1	
総合英語A	1			1	
総合英語B	1			1	
時事英語A	1			1	
時事英語B	1			1	
英米文化表現A	1			1	
英米文化表現B	1			1	
英米作品講読A	1			1	
英米作品講読B	1			1	
現代英語応用A	1			1	
現代英語応用B	1			1	
中国語初級1A	1			1	
中国語初級1B	1			1	
中国語初級2A	1			1	
中国語初級2B	1			1	
中国語中級1A	1			1	
中国語中級1B	1			1	

中国語中級2A	1	1	
中国語中級2B	1	1	
中国語中級3A	1	1	
中国語中級3B	1	1	
中国語中級4A	1	1	
中国語中級4B	1	1	
フランス語基礎1A	1	1	
フランス語基礎1B	1	1	
フランス語基礎2A	1	1	
フランス語基礎2B	1	1	
ドイツ語基礎1A	1	1	
ドイツ語基礎1B	1	1	
ドイツ語基礎2A	1	1	
ドイツ語基礎2B	1	1	
中国語上級1A	1	1	
中国語上級1B	1	1	
中国語上級2A	1	1	
中国語上級2B	1	1	
海外研修英語	2	2	
海外研修中国語	2	2	
情報処理A	2		2
情報処理B	2		2
情報処理C	2		2
情報処理D	2		2

歴史文化学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基礎英語A	1		1		
基礎英語B	1		1		
英語リーディングA	1		1		
英語リーディングB	1		1		

口語英語A	1	1
口語英語B	1	1
総合英語A	1	1
総合英語B	1	1
時事英語A	1	1
時事英語B	1	1
英米文化表現A	1	1
英米文化表現B	1	1
英米作品講読A	1	1
英米作品講読B	1	1
現代英語応用A	1	1
現代英語応用B	1	1
上級英語A	1	1
上級英語B	1	1
フランス語基礎1A	1	1
フランス語基礎1B	1	1
フランス語基礎2A	1	1
フランス語基礎2B	1	1
フランス語初級1A	1	1
フランス語初級1B	1	1
フランス語初級2A	1	1
フランス語初級2B	1	1
フランス語中級1A	1	1
フランス語中級1B	1	1
フランス語中級2A	1	1
フランス語中級2B	1	1
フランス語中級3A	1	1
フランス語中級3B	1	1
フランス語中級4A	1	1
フランス語中級4B	1	1
フランス語上級1A	1	1

フランス語上級1B	1	1
フランス語上級2A	1	1
フランス語上級2B	1	1
ドイツ語基礎1A	1	1
ドイツ語基礎1B	1	1
ドイツ語基礎2A	1	1
ドイツ語基礎2B	1	1
ドイツ語初級1A	1	1
ドイツ語初級1B	1	1
ドイツ語初級2A	1	1
ドイツ語初級2B	1	1
ドイツ語中級1A	1	1
ドイツ語中級1B	1	1
ドイツ語中級2A	1	1
ドイツ語中級2B	1	1
ドイツ語中級3A	1	1
ドイツ語中級3B	1	1
ドイツ語中級4A	1	1
ドイツ語中級4B	1	1
ドイツ語上級1A	1	1
ドイツ語上級1B	1	1
ドイツ語上級2A	1	1
ドイツ語上級2B	1	1
中国語基礎1A	1	1
中国語基礎1B	1	1
中国語基礎2A	1	1
中国語基礎2B	1	1
中国語初級1A	1	1
中国語初級1B	1	1
中国語初級2A	1	1
中国語初級2B	1	1

中国語中級1A	1	1
中国語中級1B	1	1
中国語中級2A	1	1
中国語中級2B	1	1
中国語中級3A	1	1
中国語中級3B	1	1
中国語中級4A	1	1
中国語中級4B	1	1
中国語上級1A	1	1
中国語上級1B	1	1
中国語上級2A	1	1
中国語上級2B	1	1
コリア語基礎1A	1	1
コリア語基礎1B	1	1
コリア語基礎2A	1	1
コリア語基礎2B	1	1
ロシア語基礎1A	1	1
ロシア語基礎1B	1	1
ロシア語基礎2A	1	1
ロシア語基礎2B	1	1
イタリア語初級A	1	1
イタリア語初級B	1	1
スペイン語基礎1A	1	1
スペイン語基礎1B	1	1
スペイン語基礎2A	1	1
スペイン語基礎2B	1	1
スペイン語中級A	1	1
スペイン語中級B	1	1
ポルトガル語初級A	1	1
ポルトガル語初級B	1	1
海外研修英語	2	2

海外研修中国語	2	2	
情報処理A	2		2
情報処理B	2		2
情報処理C	2		2
情報処理D	2		2

(2) 専門教育科目

日本文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
日本文学基礎演習	4	4			
卒業論文	6	6			
日本文学史概説1A	2	2			
日本文学史概説1B	2	2			
日本文学史概説2	4	4			
日本文学演習1	2		2		
日本文学演習2	2		2		
日本文学演習3	2		2		
日本文学演習4	2		2		
日本文学演習5	2		2		
日本文学演習6	2		2		
日本語学概説（音声言語を含む。）	4		4		
言語学概説A	2		2		
言語学概説B	2		2		
日本文法論A	2		2		
日本文法論B	2		2		
日本文学講読1A	2		2		
日本文学講読1B	2		2		
日本文学講読2A	2		2		
日本文学講読2B	2		2		
日本文学講読3A	2		2		

日本文学講読3B	2	2
日本文学講読4A	2	2
日本文学講読4B	2	2
日本文学講読5A	2	2
日本文学講読5B	2	2
日本文学講読6A	2	2
日本文学講読6B	2	2
日本文学講読7A	2	2
日本文学講読7B	2	2
日本文学講読8A	2	2
日本文学講読8B	2	2
日本文学講読9A	2	2
日本文学講読9B	2	2
日本文学講読10A	2	2
日本文学講読10B	2	2
日本語学講読1A	2	2
日本語学講読1B	2	2
日本語学講読2A	2	2
日本語学講読2B	2	2
日本文化史講読1A	2	2
日本文化史講読1B	2	2
日本文化史講読2A	2	2
日本文化史講読2B	2	2
古典文学特殊講義1A	2	2
古典文学特殊講義1B	2	2
古典文学特殊講義2A	2	2
古典文学特殊講義2B	2	2
古典文学特殊講義3A	2	2
古典文学特殊講義3B	2	2
古典文学特殊講義4A	2	2
古典文学特殊講義4B	2	2

近・現代文学特殊講義1A	2	2	
近・現代文学特殊講義1B	2	2	
近・現代文学特殊講義2A	2	2	
近・現代文学特殊講義2B	2	2	
近・現代文学特殊講義3A	2	2	
近・現代文学特殊講義3B	2	2	
近・現代文学特殊講義4A	2	2	
近・現代文学特殊講義4B	2	2	
日本語学特殊講義1A	2	2	
日本語学特殊講義1B	2	2	
日本語学特殊講義2A	2	2	
日本語学特殊講義2B	2	2	
比較文学・文化特殊講義 1A	2	2	
比較文学・文化特殊講義 1B	2	2	
比較文学・文化特殊講義 2A	2	2	
比較文学・文化特殊講義 2B	2	2	
比較文学・文化特殊講義 3A	2	2	
比較文学・文化特殊講義 3B	2	2	
比較文学・文化特殊講義 4A	2	2	
比較文学・文化特殊講義 4B	2	2	
日本文化史特殊講義1A	2	2	
日本文化史特殊講義1B	2	2	
日本文化史特殊講義2A	2	2	

日本文化史特殊講義2B	2	2	
日本文化史特殊講義3A	2	2	
日本文化史特殊講義3B	2	2	
日本文化史特殊講義4A	2	2	
日本文化史特殊講義4B	2	2	
上代文学演習	8	8	
中古文学演習	8	8	
中世文学演習	8	8	
近世文学演習	8	8	
近・現代文学演習	8	8	
日本語学演習	8	8	
比較文学・文化演習	8	8	
基礎古典	2		2
文章表現法1	2		2
文章表現法2	2		2
創作	4		4
中国哲学史	4		4
中国文学史	4		4
中国哲学史講義	4		4
中国文学史講義	4		4
中国文学講義1	4		4
中国哲学講義1	4		4
中国文学講義2	4		4
中国文学講義3	4		4
中国哲学講義3	4		4
中国文学特殊講義	4		4
中国哲学特殊講義	4		4
日本漢文学史概説	4		4
漢文学講読	4		4
日本文学概説1	2		2
日本文学概説2	2		2

日本文学情報処理	4	4
漢字教育法	4	4
教科教育法（国語）1A	2	2
教科教育法（国語）1B	2	2
教科教育法（国語）2A	2	2
教科教育法（国語）2B	2	2
日本語教授法A	2	2
日本語教授法B	2	2
中国美術史	2	2
書論研究	2	2
教科教育法（書道）A	2	2
教科教育法（書道）B	2	2
日本美術史	2	2
中国絵画演習	2	2
近現代書道史概説	2	2
日本書道史概説A	2	2
日本書道史概説B	2	2
中国書道史概説A	2	2
中国書道史概説B	2	2
書論・鑑賞概説	4	4
漢字作品制作研究	4	4
仮名作品制作研究	4	4
漢字仮名交じりの書法	2	2
書道美学概説	2	2
教科教育法特殊講義（漢文）	4	4
篆刻学概論	2	2
古文書学概説	2	2
漢字書法演習	2	2
仮名書法演習	2	2
篆刻法演習	2	2

日本文学特殊講義（古筆学）	2			2	
---------------	---	--	--	---	--

中国文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
漢文入門	4	4			
中国語入門	4	4			
中国文学基礎演習1（唐詩）	2	2			
中国哲学基礎演習1（論語）	2	2			
中国文学基礎演習2（十八史略）	2	2			
中国哲学基礎演習2（孟子）	2	2			
中国語基礎演習	2	2			
卒業論文	6	6			
中国文学特別演習1	2		2		
中国哲学特別演習1	2		2		
中国文学特別演習2	2		2		
中国哲学特別演習2	2		2		
中国文学史	4		4		
中国哲学史	4		4		
中国文学講読1	4		4		
中国哲学講読1	4		4		
中国語講読1	4		4		
中国文学講読2	4		4		
中国哲学講読2	4		4		
中国語講読2	4		4		
中国文学講義1	4		4		
中国哲学講義1	4		4		

中国文学講義2	4	4	
中国哲学講義2	4	4	
中国文学講読3	4	4	
中国哲学講読3	4	4	
中国文学特殊講義	4	4	
中国哲学特殊講義	4	4	
日本漢文学史	4	4	
漢字教育法	4	4	
古典入門	2		2
中国文化特別研究1	4		4
中国文化特別研究2	4		4
国文学史概説	4		4
言語学概論	4		4
文章表現法1	2		2
文章表現法2	2		2
教科教育法（国語）1A	2		2
教科教育法（国語）1B	2		2
教科教育法（国語）2A	2		2
教科教育法（国語）2B	2		2
教科教育法（書道）A	2		2
教科教育法（書道）B	2		2
教科教育法特殊講義（漢文）	4		4
中国書道史A	2		2
中国書道史B	2		2
日本書道史A	2		2
日本書道史B	2		2
書論・鑑賞	4		4
国語文法論A	2		2
国語文法論B	2		2
国文学概説1	2		2

国文学概説2	2	2
古典文学特殊講義1A	2	2
古典文学特殊講義1B	2	2
古典文学特殊講義2A	2	2
古典文学特殊講義2B	2	2
国文学読解1	4	4
国文学読解2	4	4
比較文学・文化特殊講義 1A	2	2
比較文学・文化特殊講義 1B	2	2
日本文化史特殊講義1A	2	2
日本文化史特殊講義1B	2	2
古典文学特殊講義3A	2	2
古典文学特殊講義3B	2	2
古典文学特殊講義4A	2	2
古典文学特殊講義4B	2	2
比較文学・文化特殊講義 3A	2	2
比較文学・文化特殊講義 3B	2	2
日本文化史特殊講義3A	2	2
日本文化史特殊講義3B	2	2
漢字作品制作研究	4	4
仮名作品制作研究	4	4
漢字書法演習	2	2
仮名書法演習	2	2
漢字仮名交じりの書法2	2	2
篆刻法演習	2	2
書跡鑑賞研究	2	2
書道美学概論	2	2

篆刻学概論	2			2
書写書道教育学概説	2			2
古文書学概説	2			2
書跡文化財学概説	2			2
近現代書道史概論	2			2
日本文学特殊講義（古筆学）	2			2
中国美術史	2			2
日本美術史	2			2
実用書法	1			1
書写書道教育学演習	2			2
書論読解	2			2
中国絵画演習	2			2
美術概論	2			2
美術教育1	2			2
美術教育2	2			2
美術教育3	4			4
美術研究1	2			2
美術研究2	2			2
美術研究3	2			2
美術研究4	2			2
美術研究5	2			2
美術研究6	2			2

英米文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
英文学入門	2	2			
米文学入門	2	2			
英語学入門A	2	2			
英語学入門B	2	2			
《ゼミナール形式科目》					

ゼミナール	4	4
卒業論文	6	6
《英米文学系科目群》		
英米小説を味わうA	2	2
英米小説を味わうB	2	2
英語の詩を味わうA	2	2
英語の詩を味わうB	2	2
英語の演劇を味わうA	2	2
英語の演劇を味わうB	2	2
英米児童文学を味わうA	2	2
英米児童文学を味わうB	2	2
英米小説演習1A	2	2
英米小説演習1B	2	2
英米小説演習2A	2	2
英米小説演習2B	2	2
英米詩演習1A	2	2
英米詩演習1B	2	2
英米詩演習2A	2	2
英米詩演習2B	2	2
英米演劇演習1A	2	2
英米演劇演習1B	2	2
英米演劇演習2A	2	2
英米演劇演習2B	2	2
英米児童文学演習1A	2	2
英米児童文学演習1B	2	2
英米児童文学演習2A	2	2
英米児童文学演習2B	2	2
《英語学系科目群》		
英語の音声A	2	2
英語の音声B	2	2
英語学演習1A	2	2

英語学演習1B	2	2
英語学演習2A	2	2
英語学演習2B	2	2
英文法論A	2	2
英文法論B	2	2
英語文体論A	2	2
英語文体論B	2	2
翻訳論演習A	2	2
翻訳論演習B	2	2
英語コーパス演習A	2	2
英語コーパス演習B	2	2
《文化論系科目群》		
文化の中の英米女性A	2	2
文化の中の英米女性B	2	2
東西文化交流論A	2	2
東西文化交流論B	2	2
比較文化論演習A	2	2
比較文化論演習B	2	2
演劇文化論A	2	2
演劇文化論B	2	2
《英語運用能力を高めるための科目》		
現代英語応用A	1	1
現代英語応用B	1	1
上級英語A	1	1
上級英語B	1	1
English Composition A	1	1
English Composition B	1	1
English Conversation A	1	1
English Conversation B	1	1
英語・文化コミュニケーション	2	2

ジョン演習1			
英語・文化コミュニケーション	2	2	
ジョン演習2			
《英米文学系科目》			
英米詩の世界A	2		2
英米詩の世界B	2		2
英米小説と批評A	2		2
英米小説と批評B	2		2
文学と精神分析A	2		2
文学と精神分析B	2		2
シェイクスピアの世界A	2		2
シェイクスピアの世界B	2		2
英米児童文学の世界A	2		2
英米児童文学の世界B	2		2
《英語学系科目群》			
言語のしくみA	2		2
言語のしくみB	2		2
メディアと英語A	2		2
メディアと英語B	2		2
英語の歴史A	2		2
英語の歴史B	2		2
ことばと社会A	2		2
ことばと社会B	2		2
教科教育法（英語）基礎A	2		2
教科教育法（英語）基礎B	2		2
教科教育法（英語）応用A	2		2
教科教育法（英語）応用B	2		2
《文化論系科目群》			
イギリス文化論A	2		2
イギリス文化論B	2		2
アメリカ文化論A	2		2

アメリカ文化論B	2			2
Multicultural Writers A	2			2
Multicultural Writers B	2			2
Lesbian/Gay Studies A	2			2
Lesbian/Gay Studies B	2			2
ウェールズの文化とことば A	2			2
ウェールズの文化とことば B	2			2
写本と活字の出版文化A	2			2
写本と活字の出版文化B	2			2
文学と美術A	2			2
文学と美術B	2			2
Film Studies A	2			2
Film Studies B	2			2
英米文学とキリスト教A	2			2
英米文学とキリスト教B	2			2

教育学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
(必修科目)						
	基礎演習1	4	4			
	基礎演習2A	2	2			
	基礎演習2B	2	2			
	教育学概論1 (人間と教 育)	2	2			
	教育学概論2 (社会と教 育)	2	2			
	教育心理学概論1 (発達と 教育1)	2	2			
	教育心理学概論2 (発達と	2	2			

教育2)				
教育学演習1	4	4		
(選択必修科目)				
教育思想	2		2	
日本教育史概論	2		2	
教育社会学	2		2	
教育法	2		2	
教育行政	2		2	
学校論	2		2	
教育と社会特別研究1	2		2	
教育と社会特別研究2	2		2	
道徳教育論	2		2	
教育史1	2		2	
教育史2	2		2	
人権と教育	2		2	
教育課程論	2		2	
教育方法論 (ICT活用を含む)	2		2	
現代子ども論1	2		2	
現代子ども論2	2		2	
学校教育特別研究1	2		2	
学校教育特別研究2	2		2	
野外教育	2		2	
教育メディアとICT	2		2	
臨床心理学	2		2	
コミュニティ心理学	2		2	
児童文学教育論	2		2	
算数・数学教育実践論	2		2	
児童文化	2		2	
子ども家庭福祉	2		2	
社会福祉	2		2	

社会的養護 I	2	2
保育心理学	2	2
子ども家庭支援の心理学	2	2
障害児保育	2	2
子育て支援	1	1
学校地域福祉論	2	2
発達心理学A	2	2
発達心理学B	2	2
青年の理解と指導（進路指導を含む）	2	2
保育内容総論	2	2
幼児教育論	2	2
家庭支援論	2	2
乳児保育	2	2
保育相談支援	1	1
教育と人間特別研究1	2	2
教育と人間特別研究2	2	2
特別支援教育	2	2
特別支援教育指導法	2	2
幼児と健康	1	1
幼児と人間関係	1	1
幼児と環境	1	1
幼児と言葉	1	1
幼児と表現	1	1
領域「健康」の指導法	2	2
領域「人間関係」の指導法	2	2
領域「環境」の指導法	2	2
領域「言葉」の指導法	2	2
領域「表現」の指導法	2	2
生涯学習概論1	2	2
生涯学習概論2	2	2

生涯学習支援論1	2	2
生涯学習支援論2	2	2
社会教育経営論1	2	2
社会教育経営論2	2	2
文化と生涯教育	2	2
平和と教育	2	2
ダイバーシティと教育	2	2
博物館学概論1	2	2
博物館学概論2	2	2
社会心理学	2	2
社会教育特別研究1	2	2
社会教育特別研究2	2	2
社会教育演習1	2	2
社会教育演習2	1	1
学校経営と学校図書館	2	2
学習指導と学校図書館	2	2
読書と豊かな人間性	2	2
美術概論	2	2
音楽概論	2	2
表現と教育	2	2
美術教育1	2	2
美術教育2	2	2
美術教育3	4	4
美術研究1	2	2
美術研究2	2	2
美術研究3	2	2
美術研究4	2	2
美術研究5	2	2
美術研究6	2	2
美術研究7A	1	1
美術研究7B	1	1

音楽研究1	2	2
音楽研究2	2	2
音楽研究3	2	2
音楽研究4	2	2
音楽研究5	2	2
音楽研究6	2	2
ピアノ1	2	2
ピアノ2	2	2
表現と教育特別研究	2	2
書道（漢字Ⅰ）	2	2
書道（仮名Ⅰ）	2	2
舞台芸術研究	2	2
舞踊文化研究	2	2
コミュニケーション論A	2	2
コミュニケーション論B	2	2
カウンセリング研究	2	2
美術史1	2	2
美術史2	2	2
現代美術論	2	2
音楽史	2	2
現代音楽論	2	2
生徒指導論	2	2
進路指導論	1	1
教師論	2	2
教育相談	2	2
総合的な学習の理論と方法	2	2
特別活動論	1	1
幼児の理解と指導	2	2
教育とメディア特別研究	2	2
教科教育法（国語）	2	2
教科教育法（国語・書写）	1	1

教科教育法（社会）	2	2	
教科教育法（算数）	2	2	
教科教育法（理科）	2	2	
教科教育法（生活）	2	2	
教科教育法（音楽）	2	2	
教科教育法（図工）	2	2	
教科教育法（体育）	2	2	
教科教育法（家庭）	2	2	
教科教育法（外国語）	2	2	
小学校外国語教育の研究	2	2	
教育学演習2	4	4	
卒業論文	6	6	

書道学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(必修科目)					
書道学概論1	2	2			
書道学概論2	2	2			
楷書法1（書写を含む）	2	2			
行草書法1（書写を含む）	2	2			
篆隸書法1	2	2			
仮名書法1（書写を含む）	2	2			
中国書道史通論	2	2			
中国書道史特論	2	2			
日本書道史通論	2	2			
日本書道史特論	2	2			
書学基礎研究1	2	2			
書学基礎研究2	2	2			
(選択必修科目)					
書学					
書学演習A	2		2		

書学演習B	2	2
書学演習C	2	2
書学演習D	2	2
書作		
書作演習A	2	2
書作演習B	2	2
書作演習C	2	2
書作演習D	2	2
卒業論文A	3	3
卒業論文B	3	3
卒業論文C	3	3
卒業論文D	3	3
卒業制作A	3	3
卒業制作B	3	3
卒業制作C	3	3
卒業制作D	3	3
日本文学史概説A	2	2
日本文学史概説B	2	2
漢文学入門	4	4
漢文学講読演習	4	4
日本語学概説（音声言語を含む）	4	4
言語学概説	4	4
日本文化実地演習	2	2
漢字文化実地演習	2	2
古文書学概説A	2	2
古文書学概説B	2	2
日本文学特殊講義（古筆学）	2	2
日本文学特殊講義（写本学）	2	2

日本文学特殊講義（文学者と書齋活動）	2	2
国文学講読1	4	4
国文学講読2	4	4
文章表現法	4	4
漢文学講読	4	4
漢文哲学講読	4	4
楷書法2	1	1
行草書法2	1	1
篆隸書法2	1	1
仮名書法2	2	2
篆刻法	2	2
篆刻学概論	2	2
漢字仮名交じりの書法1	2	2
書写書道教育学概説	2	2
近現代書道史	2	2
漢字作品制作研究	4	4
仮名作品制作研究	4	4
漢字書法演習	2	2
仮名書法演習	2	2
用具用材研究	2	2
書論講読	2	2
表装研究A（表装基礎）	2	2
表装研究B（保存修復）	2	2
漢字仮名交じりの書法2	2	2
篆刻法演習	2	2
書跡鑑賞研究	2	2
書道美学論	2	2
教科教育法（書道）A	2	2
教科教育法（書道）B	2	2
教科教育法（国語）1A	2	2

教科教育法（国語）1B	2	2	
教科教育法（国語）2A	2	2	
教科教育法（国語）2B	2	2	
（選択科目）			
美術概論	2		2
美術教育1	2		2
美術教育2	2		2
美術教育3	4		4
音楽概論	2		2
中国文学史	4		4
中国哲学史	4		4
美術研究1	2		2
美術研究2	2		2
美術研究3	2		2
美術研究4	2		2
美術研究5	2		2
美術研究6	2		2
古典文学特殊講義1A	2		2
古典文学特殊講義1B	2		2
古典文学特殊講義2A	2		2
古典文学特殊講義2B	2		2
近・現代文学特殊講義1A	2		2
近・現代文学特殊講義1B	2		2
日本語学特殊講義1A	2		2
日本語学特殊講義1B	2		2
比較文学・文化特殊講義 1A	2		2
比較文学・文化特殊講義 1B	2		2
日本文化史特殊講義1A	2		2
日本文化史特殊講義1B	2		2

中国美術史	2	2
日本美術史	2	2
古典文学特殊講義3A	2	2
古典文学特殊講義3B	2	2
古典文学特殊講義4A	2	2
古典文学特殊講義4B	2	2
近・現代文学特殊講義3A	2	2
近・現代文学特殊講義3B	2	2
日本語学特殊講義2A	2	2
日本語学特殊講義2B	2	2
比較文学・文化特殊講義 3A	2	2
比較文学・文化特殊講義 3B	2	2
日本文化史特殊講義3A	2	2
日本文化史特殊講義3B	2	2
実用書法	1	1
書写書道教育学演習	2	2
中国文学講読2	4	4
中国哲学講読2	4	4
中国文学講義1	4	4
中国哲学講義1	4	4
中国文学講義2	4	4
中国哲学講義2	4	4
中国文学講読3	4	4
中国哲学講読3	4	4
中国文学特殊講義	4	4
中国哲学特殊講義	4	4
日本漢文学史	4	4
中国絵画演習	2	2
書道（仮名 I）	2	2

書道（漢字Ⅰ）	2			2
書道（仮名Ⅱ）	2			2
書道（漢字Ⅱ）	2			2
書道（漢字仮名交じりの書）	2			2
書道（篆刻）	2			2

歴史文化学科（日本史コース、東西文化コース、観光歴史学コース）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
（必修科目）					
歴史文化学入門A	2	2			
歴史文化学入門B	2	2			
基礎演習A	2	2			
基礎演習B	2	2			
専門演習	4	4			
卒業研究	6	6			
（専門基礎科目）					
日本史概説A	2		2		
日本史概説B	2		2		
西洋史概説A	2		2		
西洋史概説B	2		2		
東洋史概説A	2		2		
東洋史概説B	2		2		
宗教学概説A	2		2		
宗教学概説B	2		2		
西洋文化史概論	2		2		
東洋文化史概論	2		2		
観光歴史学概論A	2		2		
観光歴史学概論B	2		2		
日本考古学概説A	2		2		
日本考古学概説B	2		2		

専門支援科目				
漢文入門A	2		2	
漢文入門B	2		2	
漢文基礎A	2		2	
漢文基礎B	2		2	
西洋古典語入門1A	2		2	
西洋古典語入門2A	2		2	
西洋古典語基礎1B	2		2	
西洋古典語基礎2B	2		2	
観光英語A	1		1	
観光英語B	1		1	
上級観光英語A	1		1	
上級観光英語B	1		1	
添乗英語A	1		1	
添乗英語B	1		1	
日本史コース科目				
日本古代・中世史研究A	2		2	
日本古代・中世史研究B	2		2	
日本近世・近代史研究A	2		2	
日本近世・近代史研究B	2		2	
日本古代・中世史史料講読 A	2		2	
日本古代・中世史史料講読 B	2		2	
日本近世・近代史史料講読 A	2		2	
日本近世・近代史史料講読 B	2		2	
鎌倉時代史研究A	2		2	
鎌倉時代史研究B	2		2	
戦国時代史研究A	2		2	

戦国時代史研究B	2	2	
江戸文化史研究	2	2	
明治維新史研究A	2	2	
明治維新史研究B	2	2	
昭和史研究A	2	2	
昭和史研究B	2	2	
日本古代・中世史史料演習 A	2	2	
日本古代・中世史史料演習 B	2	2	
日本近世・近代史史料演習 A	2	2	
日本近世・近代史史料演習 B	2	2	
江戸文化史演習	2	2	
東西文化コース科目			
西洋古代・中世史研究	2	2	
ヨーロッパ史研究A	2	2	
西洋近世・近代史研究	2	2	
ヨーロッパ史研究B	2	2	
東洋古代・中世史研究	2	2	
西アジア史研究	2	2	
東洋近世・近代史研究	2	2	
シルクロード史研究	2	2	
西洋史史料講読	2	2	
東洋史史料講読	2	2	
仏教史研究	2	2	
現代史研究	2	2	
近代文化史研究	2	2	
交流史研究	2	2	
ヨーロッパ史研究C	2	2	

中東史研究	2	2	
ギリシア・ラテン文化史研究	2	2	
キリスト教史研究	2	2	
中国文化史研究	2	2	
西洋古典演習	2	2	
中国書演習	2	2	
比較文明論演習	2	2	
ドイツ書演習	2	2	
フランス書演習	2	2	
東西文化特別演習	2	2	
観光歴史学コース科目			
旅行業務概論A	2	2	
旅行業務概論B	2	2	
旅行業・観光事業の現状と 課題研究A	2	2	
旅行業・観光事業の現状と 課題研究B	2	2	
観光と現代社会研究A	2	2	
観光と現代社会研究B	2	2	
世界遺産と観光研究A	2	2	
世界遺産と観光研究B	2	2	
博物館概論A	2	2	
博物館概論B	2	2	
日本観光史研究A	2	2	
日本観光史研究B	2	2	
世界観光史研究A	2	2	
世界観光史研究B	2	2	
ミュージアムと観光研究A	2	2	
ミュージアムと観光研究B	2	2	
観光歴史学実習A	2	2	

観光歴史学実習B	2	2	
選択科目			
人文地理学概説A	2		2
人文地理学概説B	2		2
自然地理学概説A	2		2
自然地理学概説B	2		2
地誌学概説A	2		2
地誌学概説B	2		2
行政法概説A	2		2
行政法概説B	2		2
政治学概説A	2		2
政治学概説B	2		2
地方自治概説A	2		2
地方自治概説B	2		2
行政学概説A	2		2
行政学概説B	2		2
社会学概説A	2		2
社会学概説B	2		2
経済学概説A	2		2
経済学概説B	2		2
哲学概説A	2		2
哲学概説B	2		2
倫理学概説A	2		2
倫理学概説B	2		2
教科教育法（社会）A	2		2
教科教育法（社会）B	2		2
教科教育法（社会）C	2		2
教科教育法（社会）D	2		2
教科教育法（地理歴史）A	2		2
教科教育法（地理歴史）B	2		2

(3) 全学共通科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	
宗教学B	2			2	
歴史学A	2			2	
歴史学B	2			2	
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
芸術学A	2			2	
芸術学B	2			2	
地理学A	2			2	
地理学B	2			2	
言語学A	2			2	
言語学B	2			2	
B系 社会と生活（社会系）					
法学A	2			2	
法学B	2			2	
社会学A	2			2	

社会学B	2			2
政治学A	2			2
政治学B	2			2
経済学A	2			2
経済学B	2			2
心理学A	2			2
心理学B	2			2
教育学A	2			2
教育学B	2			2
民俗学A	2			2
民俗学B	2			2
文化人類学A	2			2
文化人類学B	2			2
C系 自然と環境（自然系）				
数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		

健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2

自己・人間をみつめるB	2		2
第7群			
キャリアデザインA	2		2
キャリアデザインB	2		2
第8群			
インターンシップA	2		2
インターンシップB	2		2
第9群			
全学共通特殊講義A	2		2
全学共通特殊講義B	2		2
3. 発展科目			
日本史概論A	2		2
日本史概論B	2		2
西洋史概論	2		2
東洋史概論	2		2
日本の人文地理	2		2
世界の人文地理	2		2
日本の自然地理	2		2
世界の自然地理	2		2
日本地誌概論	2		2
世界地誌概論	2		2
日本国憲法	2		2
法学概論	2		2
情報処理	2		2
哲学概論A	2		2
哲学概論B	2		2
倫理学概論A	2		2
倫理学概論B	2		2
心理学概論	2		2
社会病理	2		2
4. 単位互換科目			

5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、中国文学科及び英米文学科においては12単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、中国文学科は28単位、英米文学科は12単位を上限として選択単位とする。
- ③ 日本文学科においては、前①及び②の単位数の合計を、12単位を上限として選択単位とする。

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2		2		
哲学B	2		2		
文学A	2		2		
文学B	2		2		
論理学A	2		2		
論理学B	2		2		
倫理学A	2		2		
倫理学B	2		2		
宗教学A	2		2		
宗教学B	2		2		
歴史学A	2		2		
歴史学B	2		2		
考古学A	2		2		
考古学B	2		2		
文化史A	2		2		
文化史B	2		2		

芸術学A	2	2	
芸術学B	2	2	
地理学A	2	2	
地理学B	2	2	
言語学A	2	2	
言語学B	2	2	
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2	2	
法学B	2	2	
社会学A	2	2	
社会学B	2	2	
政治学A	2	2	
政治学B	2	2	
経済学A	2	2	
経済学B	2	2	
心理学A	2	2	
心理学B	2	2	
教育学A	2	2	
教育学B	2	2	
民俗学A	2	2	
民俗学B	2	2	
文化人類学A	2	2	
文化人類学B	2	2	
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2	2	
数学B	2	2	
地学A	2	2	
地学B	2	2	
生物学A	2	2	
生物学B	2	2	
生態学A	2	2	

生態学B	2		2	
現代科学A	2		2	
現代科学B	2		2	
情報科学A	2		2	
情報科学B	2		2	
自然科学A	2		2	
自然科学B	2		2	
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1		1	
総合体育B	1		1	
健康スポーツ科学A	2		2	
健康スポーツ科学B	2		2	
体育実技A	1		1	
体育実技B	1		1	
野外実習A	1		1	
野外実習B	1		1	
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2		2	
データサイエンスB	2		2	
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2		2	
地域・国家・民族の考察B	2		2	
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2		2	
女性・子ども・老人への視点B	2		2	
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2		2	

人権・民主主義・平和を考 えるB	2		2		
第4群					
現代社会の諸問題A	2		2		
現代社会の諸問題B	2		2		
第5群					
異文化・世界にふれるA	2		2		
異文化・世界にふれるB	2		2		
第6群					
自己・人間をみつめるA	2		2		
自己・人間をみつめるB	2		2		
第7群					
キャリアデザインA	2		2		
キャリアデザインB	2		2		
第8群					
インターンシップA	2		2		
インターンシップB	2		2		
第9群					
全学共通特殊講義A	2		2		
全学共通特殊講義B	2		2		
3. 発展科目					
日本史概論A	2		2		
日本史概論B	2		2		
西洋史概論	2		2		
東洋史概論	2		2		
日本の人文地理	2		2		
世界の人文地理	2		2		
日本の自然地理	2		2		
世界の自然地理	2		2		
日本地誌概論	2		2		
世界地誌概論	2		2		

日本国憲法	2		2		
法学概論	2		2		
情報処理	2		2		
哲学概論A	2		2		
哲学概論B	2		2		
倫理学概論A	2		2		
倫理学概論B	2		2		
心理学概論	2		2		
社会病理	2		2		
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、8単位を上限として選択必修単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、8単位を上限として選択必修単位とする。

書道学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	

宗教学A	2		2
宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2
民俗学B	2		2
文化人類学A	2		2
文化人類学B	2		2

C系 自然と環境（自然系）					
数学A	2			2	
数学B	2			2	
地学A	2			2	
地学B	2			2	
生物学A	2			2	
生物学B	2			2	
生態学A	2			2	
生態学B	2			2	
現代科学A	2			2	
現代科学B	2			2	
情報科学A	2			2	
情報科学B	2			2	
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
D系 健康とスポーツ（保健体育系）					
総合体育A	1			1	
総合体育B	1			1	
健康スポーツ科学A	2			2	
健康スポーツ科学B	2			2	
体育実技A	1			1	
体育実技B	1			1	
野外実習A	1			1	
野外実習B	1			1	
E系 知識創造と実践（総合系）					
データサイエンスA	2			2	
データサイエンスB	2			2	
2. 課題（テーマ）科目					
第1群					
地域・国家・民族の考察A	2			2	
地域・国家・民族の考察B	2			2	

第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2
第9群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2
3. 発展科目				
日本史概論A	2			2
日本史概論B	2			2

西洋史概論	2			2	
東洋史概論	2			2	
日本の人文地理	2			2	
世界の人文地理	2			2	
日本の自然地理	2			2	
世界の自然地理	2			2	
日本地誌概論	2			2	
世界地誌概論	2			2	
日本国憲法	2			2	
法学概論	2			2	
情報処理	2			2	
哲学概論A	2			2	
哲学概論B	2			2	
倫理学概論A	2			2	
倫理学概論B	2			2	
心理学概論	2			2	
社会病理	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、6単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、16単位を上限として選択単位とする。

歴史文化学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					

哲学A	2		2
哲学B	2		2
文学A	2		2
文学B	2		2
論理学A	2		2
論理学B	2		2
倫理学A	2		2
倫理学B	2		2
宗教学A	2		2
宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2

心理学A	2			2
心理学B	2			2
教育学A	2			2
教育学B	2			2
民俗学A	2			2
民俗学B	2			2
文化人類学A	2			2
文化人類学B	2			2
C系 自然と環境（自然系）				
数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1

野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				

インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2
第9群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2
3. 発展科目				
日本国憲法	2			2
4. 単位互換科目				
5. 「他学部・他学科開放」科目				

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、歴史文化学科においては12単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、歴史文化学科は28単位を上限として選択単位とする。
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等

日本文学科、歴史文化学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2		2		
日本の文化・芸術A	2		2		
日本の歴史A	2		2		
現代日本の諸相A	2		2		
日本の政治・経済・社会B	2		2		
日本の文化・芸術B	2		2		
日本の歴史B	2		2		

現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2	2		
理解とコミュニケーション A	1	1		
理解とコミュニケーション B	1	1		
資料・文献読解A	1	1		
資料・文献読解B	1	1		
日本語文章表現A	1	1		
日本語文章表現B	1	1		

中国文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	
日本の文化・芸術B	2			2	
日本の歴史B	2			2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2			2	
理解とコミュニケーション A	1			1	
理解とコミュニケーション B	1			1	
資料・文献読解A	1			1	

資料・文献読解B	1			1
日本語文章表現A	1			1
日本語文章表現B	1			1

英米文学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	
日本の文化・芸術B	2			2	
日本の歴史B	2			2	
現代日本の諸相B	2			2	
(言語コース(発展))					
理解とコミュニケーション A	1		1		
理解とコミュニケーション B	1		1		
資料・文献読解A	1		1		
資料・文献読解B	1		1		
日本語文章表現A	1		1		
日本語文章表現B	1		1		

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					

フィールドワークA	2		2
フィールドワークB (内容コース)	2		2
日本の政治・経済・社会A	2	2	
日本の文化・芸術A	2	2	
日本の歴史A	2	2	
現代日本の諸相A	2	2	
日本の政治・経済・社会B	2	2	
日本の文化・芸術B	2	2	
日本の歴史B	2	2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2	2	
理解とコミュニケーション A	1	1	
理解とコミュニケーション B	1	1	
資料・文献読解A	1	1	
資料・文献読解B	1	1	
日本語文章表現A	1	1	
日本語文章表現B	1	1	

書道学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB (内容コース)	2			2	
日本の政治・経済・社会A	2		2		
日本の文化・芸術A	2		2		
日本の歴史A	2		2		
現代日本の諸相A	2		2		

日本の政治・経済・社会B	2	2	
日本の文化・芸術B	2	2	
日本の歴史B	2	2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2	2	
理解とコミュニケーション A	1	1	
理解とコミュニケーション B	1	1	
資料・文献読解A	1	1	
資料・文献読解B	1	1	
日本語文章表現A	1	1	
日本語文章表現B	1	1	

(5) 教職課程関連科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科、書道学科、歴史文化学科(共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育社会学	2				2
教育法・行政	2				2
教育心理学概論	2				2
特別支援教育(介護等体験 の指導を含む。)	2				2
教育課程論	1				1
道德教育論	2				2
特別活動論・総合的な学習 の理論と指導法	2				2
教育方法論(中高)	2				2
情報通信技術活用論	1				1

生徒指導論（進路指導を含む。）	2				2
教育相談（カウンセリングを含む。）	2				2
教育実習1	1				1
教育実習2（小中）	4				4
教育実習2（中学）	4				4
教育実習2（高校）	2				2
教育実習A	1				1
教育実習B	2				2
教育実習C	2				2
教育実習D	3				3
教職実践演習（中高）	2				2
教育史1	2				2
教育史2	2				2
平和と教育	2				2
ダイバーシティと教育	2				2
教職特別演習1	2				2
教職特別演習2	2				2
教職特別演習3	2				2
学校安全論	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育実習1	1				1
教育実習2（幼小）	4				4
教育実習2（小中）	4				4
教育実習A	1				1

教育実習B	2				2
教育実習C	2				2
教育実習D	3				3
教職実践演習（幼小）	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2
教科科目					
国語	2				2
社会1（歴史）	2				2
社会2（地理）	2				2
社会3（公民）	2				2
算数	2				2
理科1（地学）	2				2
理科2（生物）	2				2
理科3（化学）	2				2
理科4（物理）	2				2
生活	2				2
音楽	2				2
図画工作	2				2
体育	2				2
家庭	2				2
外国語	2				2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科、書道学科、歴史文化学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2

学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2
学校経営と学校図書館	2				2
学習指導と学校図書館	2				2
読書と豊かな人間性	2				2
情報メディアの活用	2				2

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2		2		
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2

図書館サービス特論	2			2
図書館情報技術論	2			2
情報サービス論	2			2
児童サービス論	2			2
情報サービス演習1	1			1
情報サービス演習2	1			1
コミュニケーション論B	2		2	
読書と豊かな人間性	2		2	
情報メディアの活用	2			2
学校経営と学校図書館	2		2	
学習指導と学校図書館	2		2	

(7) 社会教育士（養成課程）課程関連科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科、書道学科、歴史文化学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
生涯学習支援論1	2				2
生涯学習支援論2	2				2
社会教育経営論1	2				2
社会教育経営論2	2				2
文化と生涯教育	2				2
学校地域福祉論	2				2
地域福祉論	2				2
平和と教育	2				2
ダイバーシティと教育	2				2
教育社会学	2				2
社会教育実習1	2				2
社会教育実習2	2				2
社会教育演習1	2				2
社会教育演習2	1				1

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2		2		
生涯学習概論2	2		2		
生涯学習支援論1	2		2		
生涯学習支援論2	2		2		
社会教育経営論1	2		2		
社会教育経営論2	2		2		
文化と生涯教育	2		2		
学校地域福祉論	2		2		
平和と教育	2		2		
ダイバーシティと教育	2		2		
教育社会学	2		2		
社会教育実習1	2				2
社会教育実習2	2				2
社会教育演習1	2		2		
社会教育演習2	1		1		

(8) 学芸員課程関連科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科、書道学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2

博物館実習1	1			1
博物館実習2	2			2
文化史A	2		2	
文化史B	2		2	
美術史1	2			2
美術史2	2			2
考古学A	2		2	
考古学B	2		2	
民俗学A	2		2	
民俗学B	2		2	
自然科学A	2		2	
自然科学B	2		2	
理科1 (地学)	2			2
理科2 (生物)	2			2
理科3 (化学)	2			2
理科4 (物理)	2			2

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2		2		
博物館学概論2	2		2		
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1			2		
生涯学習概論2			2		
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2		2		

文化史B	2		2	
美術史1	2		2	
美術史2	2		2	
考古学A	2		2	
考古学B	2		2	
民俗学A	2		2	
民俗学B	2		2	
自然科学A	2		2	
自然科学B	2		2	
理科1 (地学)	2			2
理科2 (生物)	2			2
理科3 (化学)	2			2
理科4 (物理)	2			2

歴史文化学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2

考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
民俗学A	2			2	
民俗学B	2			2	
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
理科1（地学）	2				2
理科2（生物）	2				2
理科3（化学）	2				2
理科4（物理）	2				2

(9) 保育士課程関連科目

教育学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
保育原理	2				2
保育者論	2				2
子ども家庭福祉	2		2		
社会福祉	2		2		
社会的養護 I	2		2		
子どもの理解と援助	1				1
保育心理学	2		2		
子ども家庭支援の心理学	2		2		
子どもの保健	2				2
子どもの健康と安全	1				1
子どもの食と栄養	2				2
家庭支援論	2		2		
保育の計画と評価	2				2
保育内容の理解と方法	2				2
乳児保育	2		2		
乳児保育Ⅱ	1				1
障害児保育	2		2		

社会的養護Ⅱ	1				1
子育て支援	1		1		
保育相談支援	1		1		
保育実習Ⅰ	4				4
保育実習指導Ⅰ	2				2
保育実践演習	2				2
保育実習Ⅱ（保育所）	2				2
保育実習指導Ⅱ（保育所）	1				1
保育実習Ⅱ（社会福祉施設）	2				2
保育実習指導Ⅱ（社会福祉施設）	1				1

(10) 副専攻科目等（各学科共通）

イ スポーツ科学系副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
スポーツ科学入門	2			2	
スポーツの指導	2			2	
スポーツ選手の医学	2			2	
スポーツ選手の生理	2			2	
スポーツ選手の心理	2			2	
スポーツマネジメント論	2			2	
トレーニング理論と実践	2			2	
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2	

ロ 留学（英語）副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					

(初級)					
Basic Skills (Reading,Listening,Writing,Speaking)	1				1
(中級)					
Reading and Writing I	1				1
Reading and Writing II	1				1
Communication and Discussion I	1				1
Communication and Discussion II	1				1
(上級)					
Academic Writing	1				1
Discussion and Presentation	1				1
2. 教養系科目					
グローバル教養系					
グローバルスタディ1	2				2
グローバルスタディ2	2				2
グローバルスタディ3	2				2
グローバルスタディ4	2				2
グローバルスタディ5	2				2
グローバルスタディ6	2				2
グローバルスタディ7	2				2
グローバルスタディ8	2				2
海外留学系					

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

（履修方法、卒業要件及び進級要件）

第23条の6 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

日本文学科

選択必修科目

英語、フランス語、ドイツ語、中国語及び日本語の5言語中、1言語又は2言語を8単位以上。ただし、未修外国語を履修する場合は、1言語について4単位以上を修得しなければならない。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

中国文学科

必修科目 8単位

選択必修科目

英語、フランス語及びドイツ語の3言語中、1言語4単位を含め4単位以上

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

英米文学科

必修科目 22単位

選択必修科目

フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ、スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ中、2科目4単位以上。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。ただし、日本語及び日本事情は、外国人留学生のみ履修することができる。

教育学科

選択必修科目

15言語中、任意の言語について8単位以上。ただし、外国人留学生は、外国人留学生に関する日本語科目等について6単位以上、母国語以外の任意の言語について2単位以上。

書道学科

必修科目 10単位

選択必修科目

中国語、英語、フランス語及びドイツ語の4言語のうち、1言語4単位以上。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

歴史文化学科

選択必修科目

英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語及びポルトガル語の9言語中、任意の言語について8単位以上。

選択科目

単位取得の条件及び制限は設けない。

(2) 専門教育科目

日本文学科

必修科目 18単位

選択必修科目

次に定める単位40単位以上。

- ① 日本文学演習1～6中、2科目4単位以上。
- ② 日本語学概説（音声言語を含む。）、言語学概説A・B、日本文法論A・B中、4単位以上。
- ③ 日本文学講読1A～5B、日本語学講読1A～1B、日本文化史講読1A～1B中、2科目4単位以上。
- ④ 日本文学講読6A～10B、日本語学講読2A～2B、日本文化史講読2A～2B中、2科目4単位以上。
- ⑤ 古典文学特殊講義1A～2B、近・現代文学特殊講義1A～2B、日本語学特殊講義1A～1B、比較文学・文化特殊講義1A～2B、日本文化史特殊講義1A～2B中、4科目8単位以上。
- ⑥ 古典文学特殊講義3A～4B、近・現代文学特殊講義3A～4B、日本語学特殊講義2A～2B、比較文学・文化特殊講義3A～4B、日本文化史特殊講義3A～4B中、4科目8単位以上。
- ⑦ 上代文学演習、中古文学演習、中世文学演習、近世文学演習、近・現代文学演習、日本語学演習、比較文学・文化演習中、1科目8単位以上。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

中国文学科

必修科目 24単位

選択必修科目

次に定める2科目4単位を含め40単位以上。

① 中国文学特別演習1、中国哲学特別演習1から1科目2単位のみ。

② 中国文学特別演習2、中国哲学特別演習2から1科目2単位のみ。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

英米文学科

必修科目 8単位

選択必修科目 32単位以上

但し、4年次に4単位以上履修しなければならない。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

教育学科

必修科目 20単位

選択必修科目 次に定める単位を含め56単位以上

- ① 教育思想、日本教育史概論、教育社会学、教育法、教育行政、学校論、教育と社会特別研究1～2、道徳教育論、教育史1～2、人権と教育、教育課程論、教育方法論（ICT活用を含む）、現代子ども論1～2、学校教育特別研究1～2、野外教育、教育メディアとICT、児童文学教育論、算数・数学教育実践論、児童文化、保育内容総論、幼児教育論、特別支援教育、特別支援教育指導法、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と環境、幼児と言葉、幼児と表現、領域「健康」の指導法、領域「人間関係」の指導法、領域「環境」の指導法、領域「言葉」の指導法、領域「表現」の指導法、生涯学習概論1～2、生涯学習支援論1～2、社会教育経営論1～2、文化と生涯教育、平和と教育、ダイバーシティと教育、博物館学概論1～2、社会教育特別研究1～2、学校経営と学校図書館、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性、生徒指導論、進路指導論、教師論、総合的な学習の理論と方法、特別活動論、幼児の理解と指導、教育とメディア特別研究、教科教育法（国語）、教科教育法（国語・書写）、教科教育法（社会）、教

科教育法（算数）、教科教育法（理科）、教科教育法（生活）、教科教育法（音楽）、教科教育法（図工）、教科教育法（体育）、教科教育法（家庭）、教科教育法（外国語）、小学校外国語教育の研究中、2科目4単位以上。

- ② 臨床心理学、コミュニティ心理学、保育心理学、子ども家庭支援の心理学、発達心理学A～B、青年の理解と指導（進路指導を含む）、教育と人間特別研究1～2、社会心理学、コミュニケーション論A～B、カウンセリング研究、教育相談中、2科目4単位以上。
- ③ 子ども家庭福祉、社会福祉、社会的養護Ⅰ、障害児保育、子育て支援、学校地域福祉論、家庭支援論、乳児保育、保育相談支援中、2科目4単位以上。
- ④ 美術概論、音楽概論、表現と教育、美術教育1～3、美術研究1～6、美術研究7A～7B、音楽研究1～6、ピアノ1～2、表現と教育特別研究、書道（漢字Ⅰ）、書道（仮名Ⅰ）、舞台芸術研究、舞踊文化研究、美術史1～2、現代美術論、音楽史、現代音楽論中、2科目4単位以上。

書道学科

必修科目 24単位

選択必修科目

次に定める単位を含め40単位以上。

書学、書作から、各演習を履修し、計4単位を必修とする。

書学

書学演習A、書学演習B、書学演習C、書学演習D。

書作

書作演習A、書作演習B、書作演習C、書作演習D。

卒業論文ABCD、卒業制作ABCDは書学演習、書作演習に対応した科目を選択すること。

日本文学史概説A・B計4単位、あるいは漢文学入門4単位のいずれか4単位を必ず修得すること。

漢文学講読演習、日本語学概説（音声言語を含む）、言語学概説、日本文化実地演習、漢字文化実地演習、古文書学概説A、古文書学概説B、日本文学特殊講義（古筆学）、日本文学特殊講義（写本学）、日本文学特殊講義（文学者と書斎活動）、国文学講読1、国文学講読2、文章表現法、漢文学講読、漢文哲学講読の中から16単位を必ず修得すること。

選択科目

単位修得の条件及び制限は設けない。

歴史文化学科

必修科目 18単位

選択必修科目

次に定める単位44単位以上

専門基礎科目14科目中、8単位以上

専門支援科目14科目中、4単位以上

① 日本史コース履修者

ア. 日本古代・中世史研究A・B、日本近世・近代史研究A・B、日本古代・近世史研究A・B、日本古代・中世史史料講読A・B、日本近世・近代史史料講読A・Bから、史料講読科目2科目4単位以上を含む5科目10単位以上。

イ. 西洋古代・中世史研究、ヨーロッパ史研究A、西洋近世・近代史研究、ヨーロッパ史研究B、東洋古代・中世史研究、西アジア史研究、東洋近世・近代史研究、シルクロード史研究、西洋史史料講読、東洋史史料講読、旅行業務概論A・B、旅行業・観光事業の現状と課題研究A・B、観光と現代社会A・B、世界遺産と観光研究A・Bから2科目4単位以上。

ウ. 鎌倉時代史研究A・B、戦国時代史研究A・B、江戸文化史研究、明治維新史研究A・B、昭和史研究A・B、日本古代・中世史史料演習A・B、日本近世・近代史史料演習A・B、江戸文化史演習から、史料演習科目2科目4単位以上を含む14単位以上。

エ. 仏教史研究、現代史研究、近代文化史研究、交流史研究、ヨーロッパ史研究C、中東史研究、ギリシア・ラテン文化史研究、キリスト教史研究、中国文化史研究、西洋古典演習、中国書演習、比較文明論演習、ドイツ書演習、フランス書演習、東西文化特別演習、博物館概論A・B、日本観光史研究A・B、世界観光史研究A・B、ミュージアムと観光研究A・B、観光歴史学実習A・Bから2科目4単位以上。

② 東西文化コース履修者

ア. 西洋古代・中世史研究、ヨーロッパ史研究A、西洋近世・近代史研究、ヨーロッパ史研究B、東洋古代・中世史研究、西アジア史研究、東洋近世・近代史研究、シルクロード史研究、西洋史史料講読、東洋史史料講読から史料講読科

目 1 科目 2 単位以上を含む 5 科目 10 単位以上。

イ. 日本古代・中世史研究A・B、日本近世・近代史研究A・B、日本古代・近世史研究A・B、日本古代・中世史史料講読A・B、日本近世・近代史史料講読A・B、旅行業務概論A・B、旅行業・観光事業の現状と課題研究A・B、観光と現代社会A・B、世界遺産と観光研究A・Bから 2 科目 4 単位以上。

ウ. 仏教史研究、現代史研究、近代文化史研究、交流史研究、ヨーロッパ史研究C、中東史研究、ギリシア・ラテン文化史研究、キリスト教史研究、中国文化史研究、西洋古典演習、中国書演習、比較文明論演習、ドイツ書演習、フランス書演習、東西文化特別演習から、演習科目 2 科目 4 単位以上を含む 7 科目 14 単位以上。

エ. 鎌倉時代史研究A・B、戦国時代史研究A・B、江戸文化史研究、明治維新史研究A・B、昭和史研究A・B、日本古代・中世史史料演習A・B、日本近世・近代史史料演習A・B、江戸文化史演習、博物館概論A・B、日本観光史研究A・B、世界観光史研究A・B、ミュージアムと観光研究A・B、観光歴史学実習A・Bから 2 科目 4 単位以上。

③ 観光歴史学コース履修者

ア. 旅行業務概論A・B、旅行業・観光事業の現状と課題研究A・B、観光と現代社会A・B、世界遺産と観光研究A・Bから概論科目 1 科目 2 単位以上を含む 5 科目 10 単位以上。

イ. 日本古代・中世史研究A・B、日本近世・近代史研究A・B、日本古代・近世史研究A・B、日本古代・中世史史料講読A・B、日本近世・近代史史料講読A・B、西洋古代・中世史研究、ヨーロッパ史研究A、西洋近世・近代史研究、ヨーロッパ史研究B、東洋古代・中世史研究、西アジア史研究、東洋近世・近代史研究、シルクロード史研究、西洋史史料講読、東洋史史料講読から 2 科目 4 単位以上。

ウ. 博物館概論A・B、日本観光史研究A・B、世界観光史研究A・B、ミュージアムと観光研究A・B、観光歴史学実習A・Bから実習科目 1 科目 2 単位以上を含む 7 科目 14 単位以上。

エ. 鎌倉時代史研究A・B、戦国時代史研究A・B、江戸文化史研究、明治維新史研究A・B、昭和史研究A・B、日本古代・中世史史料演習A・B、日本近世・近代史史料演習A・B、江戸文化史演習、仏教史研究、現代史研究、近代文化史研

究、交流史研究、ヨーロッパ史研究C、中東史研究、ギリシア・ラテン文化史研究、キリスト教史研究、中国文化史研究、西洋古典演習、中国書演習、比較文明論演習、ドイツ書演習、フランス書演習、東西文化特別演習から2科目4単位以上。

選択科目

単位取得の条件及び制限は設けない。

(3) 全学共通科目

日本文学科、中国文学科、英米文学科、歴史文化学科（共通）

必修科目 2単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

教育学科

選択必修科目 8単位以上

書道学科

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

① 外国人留学生及び本科目の履修を学科が必要と認めた者以外の者が、本科目を履修することはできない。

② 本号により修得した単位は、以下に定める範囲で基礎教育科目及び専門教育科目の単位に代えることができる。

日本文学科、歴史文化学科（共通）

内容コース及び言語コース（発展）の科目から選択して8単位以上修得する。ただし、その内の8単位を基礎教育科目の選択必修科目の単位に代えることができる。

中国文学科

内容コース及び言語コース（発展）の科目から修得した単位数に応じて基礎教育科目の必修科目及び選択必修科目並びに専門教育科目の必修科目の単位に代えることができる。

英米文学科

言語コース（発展）の科目から選択して4単位以上修得する。ただし、その内の4単位を基礎教育科目の選択必修科目の単位に代えることができる。

教育学科

内容コースの科目から4単位以上、言語コース（発展）の科目から2単位以上修得する。ただし、その内の6単位を基礎教育科目の選択必修科目の単位に代えることができる。

書道学科

内容コース及び言語コース（発展）の科目からそれぞれ2単位以上を含む計8単位以上を修得する。ただし、その単位数に応じて基礎教育科目の必修科目及び選択必修科目の単位に代えることができる。

(5) 教職課程関連科目（各学科共通）

教育職員免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則の定めるところに従い、専門教育科目、全学共通科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(6) 司書・司書教諭課程関連科目（各学科共通）

司書の資格を取得しようとする者は、図書館法及び同法施行規則の定めるところに従い、又司書教諭の資格を取得しようとする者は、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(7) 社会教育士（養成課程）課程関連科目（各学科共通）

社会教育士（養成課程）の資格を取得しようとする者は、社会教育法及び社会教育主事講習等規程の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(8) 学芸員課程関連科目（各学科共通）

学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法及び同法施行規則の定めるところに従い、本区分の授業科目から資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(9) 保育士課程関連科目（教育学科）

保育士の資格を取得しようとする者は、大東文化大学文学部教育学科保育士課程の履修に関する規程に基づき、基礎教育科目、専門教育科目、全学共通科目及び本区分の授業科目から資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(10) 副専攻科目等（各学科共通）

イ スポーツ科学系副専攻

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得

るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻

- ① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。
- ② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に各学科の英語研修及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

2 1年間の履修単位数の上限は、第1項第5号、第6号、第7号、第8号、第9号及び第10号ロに定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては49単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第10号イに定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号、第4号及び第10号イに定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。

4 前項に定める卒業要件単位のうち教育学科を除き、次に定める単位を2年次終了時点において修得できない者は、3年次に進級することができない。

日本文学科 40単位以上

中国文学科 44単位以上

英米文学科 44単位以上

書道学科 44単位以上（基礎教育科目の書道学基礎演習、専門教育科目の書学基礎研究1・2の6単位を含む。）

歴史文化学科 44単位以上

第3節 経済学部

（授業科目の区分等）

第23条の7 経済学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 教職課程関連科目
- (6) 司書・司書教諭課程関連科目

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目

(9) 副専攻科目等

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。

4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。

(授業科目の開設等)

第23条の8 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目

社会経済学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基礎演習	4	4			
アクティブ・リーディング A	2	2			
アクティブ・リーディング B	2	2			
プロジェクト・イングリッ シュA	2			2	
アクティブ・リーディング C	2			2	
プロジェクト・イングリッ シュB	2			2	
プロジェクト・イングリッ シュC	2			2	
コミュニケーション・イング リッシュA	2			2	

コミュニケーション・イングリッシュB	2	2	
中国語ⅠA	2	2	
中国語ⅠB	2	2	
中国語ⅡA	2	2	
中国語ⅡB	2	2	
中国語ⅢA	2	2	
中国語ⅢB	2	2	
入門数理	2	2	
フランス語初級1A	1		1
フランス語初級1B	1		1
フランス語初級2A	1		1
フランス語初級2B	1		1
フランス語中級1A	1		1
フランス語中級1B	1		1
フランス語中級2A	1		1
フランス語中級2B	1		1
フランス語上級1A	1		1
フランス語上級1B	1		1
フランス語上級2A	1		1
フランス語上級2B	1		1
ドイツ語初級1A	1		1
ドイツ語初級1B	1		1
ドイツ語初級2A	1		1
ドイツ語初級2B	1		1
ドイツ語中級1A	1		1
ドイツ語中級1B	1		1
ドイツ語中級2A	1		1
ドイツ語中級2B	1		1
ドイツ語上級1A	1		1
ドイツ語上級1B	1		1

ドイツ語上級2A	1			1
ドイツ語上級2B	1			1
中国語初級1A	1			1
中国語初級1B	1			1
中国語初級2A	1			1
中国語初級2B	1			1
中国語中級1A	1			1
中国語中級1B	1			1
中国語中級2A	1			1
中国語中級2B	1			1
中国語上級1A	1			1
中国語上級1B	1			1
中国語上級2A	1			1
中国語上級2B	1			1
外国語特殊講座A	2			2
外国語特殊講座B	2			2
外国語特別演習A	1			1
外国語特別演習B	1			1
外国語特別演習C	1			1
外国語特別演習D	1			1
外国語特別演習E	1			1
外国語特別演習F	1			1
外国語特別演習G	1			1
外国語特別演習H	1			1
海外研修A	1			1
海外研修B	1			1
海外研修C	1			1
海外研修D	1			1

現代経済学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
------	----	------	--------	------	------

基礎演習	4	4	
アクティブ・リーディング A	2	2	
アクティブ・リーディング B	2	2	
入門数理	2	2	
アクティブ・リーディング C	2		2
プロジェクト・イングリッ シュA	2		2
プロジェクト・イングリッ シュB	2		2
プロジェクト・イングリッ シュC	2		2
コミュニケーション・イング リッシュA	2		2
コミュニケーション・イング リッシュB	2		2
中国語ⅠA	2		2
中国語ⅠB	2		2
中国語ⅡA	2		2
中国語ⅡB	2		2
中国語ⅢA	2		2
中国語ⅢB	2		2
フランス語初級1A	1		1
フランス語初級1B	1		1
フランス語初級2A	1		1
フランス語初級2B	1		1
フランス語中級1A	1		1
フランス語中級1B	1		1
フランス語中級2A	1		1

フランス語中級2B	1		1
フランス語上級1A	1		1
フランス語上級1B	1		1
フランス語上級2A	1		1
フランス語上級2B	1		1
ドイツ語初級1A	1		1
ドイツ語初級1B	1		1
ドイツ語初級2A	1		1
ドイツ語初級2B	1		1
ドイツ語中級1A	1		1
ドイツ語中級1B	1		1
ドイツ語中級2A	1		1
ドイツ語中級2B	1		1
ドイツ語上級1A	1		1
ドイツ語上級1B	1		1
ドイツ語上級2A	1		1
ドイツ語上級2B	1		1
外国語特殊講座A	2		2
外国語特殊講座B	2		2
外国語特別演習A	1		1
外国語特別演習B	1		1
外国語特別演習C	1		1
外国語特別演習D	1		1
外国語特別演習E	1		1
外国語特別演習F	1		1
外国語特別演習G	1		1
外国語特別演習H	1		1
海外研修A	1		1
海外研修B	1		1
海外研修C	1		1
海外研修D	1		1

(2) 専門教育科目

社会経済学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
経済学の基礎A	2	2			
経済学の基礎B	2	2			
マクロ経済学 I	2	2			
ミクロ経済学 I	2	2			
選択必修 I 群					
経済史総論A	2		2		
経済史総論B	2		2		
経済史A	2		2		
経済史B	2		2		
経済・社会思想A	2		2		
経済・社会思想B	2		2		
経済・社会思想C	2		2		
経済・社会思想D	2		2		
経済データ分析入 門	2		2		
経済データ分析A	2		2		
経済データ分析B	2		2		
マクロ経済学 II	2		2		
ミクロ経済学 II	2		2		
日本経済史A	2		2		
日本経済史B	2		2		
西洋経済史A	2		2		
西洋経済史B	2		2		
経済倫理学A	2		2		
経済倫理学B	2		2		
選択必修 II 群					
現代日本経済	2		2		
現代世界経済	2		2		

金融A	2	2	
金融B	2	2	
財政A	2	2	
財政B	2	2	
国際経済A	2	2	
国際経済B	2	2	
国際経済C	2	2	
国際経済D	2	2	
地域経済・社会論 A	2	2	
地域経済・社会論 B	2	2	
経済地理A	2	2	
経済地理B	2	2	
社会保障A	2	2	
社会保障B	2	2	
公共経済学A	2	2	
公共経済学B	2	2	
中国経済・社会論 A	2	2	
中国経済・社会論 B	2	2	
専門演習 I	4	4	
専門演習 II	4	4	
卒業研究	4	4	
チュートリアルA	1	1	
チュートリアルB	1	1	
チュートリアルC	1	1	
チュートリアルD	1	1	
一般演習	4	4	

外国語経済書講読A	2	2
外国語経済書講読B	2	2
経済学史A	2	2
経済学史B	2	2
制度の経済学A	2	2
制度の経済学B	2	2
少子高齢社会の経済学A	2	2
少子高齢社会の経済学B	2	2
環境経済学A	2	2
環境経済学B	2	2
現代産業論A	2	2
現代産業論B	2	2
産業心理学A	2	2
産業心理学B	2	2
交通経済A	2	2
交通経済B	2	2
労働経済A	2	2
労働経済B	2	2
経済政策A	2	2
経済政策B	2	2
開発経済論A	2	2
開発経済論B	2	2
応用数理A	2	2
応用数理B	2	2
民法A	2	2
民法B	2	2
商法A	2	2
商法B	2	2
経済法A	2	2
経済法B	2	2
経済学特殊講義A	2	2

経済学特殊講義B	2	2
経済学特殊講義C	2	2
経済学特殊講義D	2	2
経済学特殊講義E	2	2
経済学特殊講義F	2	2
経済学特殊講義G	2	2
経済学特殊講義H	2	2
経済史特殊講義A	2	2
経済史特殊講義B	2	2
経済政策特殊講義A	2	2
経済政策特殊講義B	2	2
地域経済特殊講義A	2	2
地域経済特殊講義B	2	2
地域経済特殊講義C	2	2
地域経済特殊講義D	2	2
法学特殊講義A	2	2
法学特殊講義B	2	2
政治学特殊講義A	2	2
政治学特殊講義B	2	2
国際関係論特殊講義A	2	2
国際関係論特殊講義B	2	2
経済統計特論A	2	2
経済統計特論B	2	2
経済統計特論C	2	2
経済統計特論D	2	2
財政・公共経済特論A	2	2
財政・公共経済特論B	2	2
財政・公共経済特論C	2	2
財政・公共経済特論D	2	2
金融・ファイナンス特論A	2	2
金融・ファイナンス特論B	2	2

金融・ファイナンス特論C	2	2
金融・ファイナンス特論D	2	2
経済地理特論A	2	2
経済地理特論B	2	2
生活経済特論A	2	2
生活経済特論B	2	2
キャリア特別講座A	2	2
キャリア特別講座B	2	2
キャリア特別講座C	2	2
キャリア特別講座D	2	2
キャリア特別講座E	2	2
キャリア特別講座F	2	2
キャリア特別講座G	2	2
キャリア特別講座H	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座A	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座B	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座C	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座D	2	2
経済実務実習A	1	1
経済実務実習B	1	1
経済実務実習C	1	1
経済実務実習D	1	1
海外実務実習A	2	2
海外実務実習B	2	2
集中セミナーA	1	1
集中セミナーB	1	1
集中セミナーC	1	1

集中セミナーD	1	1
日本社会経済史A	2	2
日本社会経済史B	2	2
日本通史A	2	2
日本通史B	2	2
西洋史概論A	2	2
西洋史概論B	2	2
東洋史概論A	2	2
東洋史概論B	2	2
人文地理学概論A	2	2
人文地理学概論B	2	2
自然地理学概論A	2	2
自然地理学概論B	2	2
地誌学概論A	2	2
地誌学概論B	2	2
法学概説	2	2
国際法概論A	2	2
国際法概論B	2	2
地方自治概論A	2	2
地方自治概論B	2	2
社会調査概論A	2	2
社会調査概論B	2	2
哲学総論A	2	2
哲学総論B	2	2
倫理学総論A	2	2
倫理学総論B	2	2
心理学概論A	2	2
心理学概論B	2	2
宗教学概説A	2	2
宗教学概説B	2	2
教科教育法（社会）A	2	2

教科教育法（社会）B	2			2
教科教育法（社会）C	2			2
教科教育法（社会）D	2			2
教科教育法（地理歴史）A	2			2
教科教育法（地理歴史）B	2			2
教科教育法（公民）A	2			2
教科教育法（公民）B	2			2

現代経済学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
経済学の基礎A	2	2			
経済学の基礎B	2	2			
マクロ経済学Ⅰ	2	2			
ミクロ経済学Ⅰ	2	2			
経済データ分析入門	2	2			
選択必修 I群					
マクロ経済学Ⅱ	2		2		
ミクロ経済学Ⅱ	2		2		
理論経済学A	2		2		
理論経済学B	2		2		
理論経済学C	2		2		
理論経済学D	2		2		
経済数学	4		4		
経済データ分析A	2		2		
経済データ分析B	2		2		
計量経済学A	2		2		
計量経済学B	2		2		
経済会計原理A	2		2		
経済会計原理B	2		2		
財務諸表分析A	2		2		
財務諸表分析B	2		2		

	現代経済史	2	2	
選択必修	現代日本経済	2	2	
II群	現代世界経済	2	2	
	産業組織A	2	2	
	産業組織B	2	2	
	金融A	2	2	
	金融B	2	2	
	財政A	2	2	
	財政B	2	2	
	情報と経済A	2	2	
	情報と経済B	2	2	
	国際経済A	2	2	
	国際経済B	2	2	
	国際経済C	2	2	
	国際経済D	2	2	
	国際経済E	2	2	
	国際経済F	2	2	
	応用経済学A	2	2	
	応用経済学B	2	2	
	応用経済学C	2	2	
	応用経済学D	2	2	
専門演習 I		4	4	
専門演習 II		4	4	
卒業研究		4	4	
チュートリアルA		1	1	
チュートリアルB		1	1	
チュートリアルC		1	1	
チュートリアルD		1	1	
一般演習		4	4	
外国語経済書講読A		2		2

外国語経済書講読B	2	2
経済学史A	2	2
経済学史B	2	2
制度の経済学A	2	2
制度の経済学B	2	2
少子高齢社会の経済学A	2	2
少子高齢社会の経済学B	2	2
環境経済学A	2	2
環境経済学B	2	2
現代産業論A	2	2
現代産業論B	2	2
産業心理学A	2	2
産業心理学B	2	2
交通経済A	2	2
交通経済B	2	2
労働経済A	2	2
労働経済B	2	2
経済政策A	2	2
経済政策B	2	2
開発経済論A	2	2
開発経済論B	2	2
応用数理A	2	2
応用数理B	2	2
民法A	2	2
民法B	2	2
商法A	2	2
商法B	2	2
経済法A	2	2
経済法B	2	2
経済学特殊講義A	2	2
経済学特殊講義B	2	2

経済学特殊講義C	2	2
経済学特殊講義D	2	2
経済学特殊講義E	2	2
経済学特殊講義F	2	2
経済学特殊講義G	2	2
経済学特殊講義H	2	2
経済史特殊講義A	2	2
経済史特殊講義B	2	2
経済政策特殊講義A	2	2
経済政策特殊講義B	2	2
地域経済特殊講義A	2	2
地域経済特殊講義B	2	2
地域経済特殊講義C	2	2
地域経済特殊講義D	2	2
法学特殊講義A	2	2
法学特殊講義B	2	2
政治学特殊講義A	2	2
政治学特殊講義B	2	2
国際関係論特殊講義A	2	2
国際関係論特殊講義B	2	2
経済統計特論A	2	2
経済統計特論B	2	2
経済統計特論C	2	2
経済統計特論D	2	2
財政・公共経済特論A	2	2
財政・公共経済特論B	2	2
財政・公共経済特論C	2	2
財政・公共経済特論D	2	2
金融・ファイナンス特論A	2	2
金融・ファイナンス特論B	2	2
金融・ファイナンス特論C	2	2

金融・ファイナンス特論D	2	2
経済地理特論A	2	2
経済地理特論B	2	2
生活経済特論A	2	2
生活経済特論B	2	2
キャリア特別講座A	2	2
キャリア特別講座B	2	2
キャリア特別講座C	2	2
キャリア特別講座D	2	2
キャリア特別講座E	2	2
キャリア特別講座F	2	2
キャリア特別講座G	2	2
キャリア特別講座H	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座A	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座B	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座C	2	2
ビジネス・コンピュータ講 座D	2	2
経済実務実習A	1	1
経済実務実習B	1	1
経済実務実習C	1	1
経済実務実習D	1	1
海外実務実習A	2	2
海外実務実習B	2	2
集中セミナーA	1	1
集中セミナーB	1	1
集中セミナーC	1	1
集中セミナーD	1	1

日本社会経済史A	2			2
日本社会経済史B	2			2
国際法概論A	2			2
国際法概論B	2			2
地方自治概論A	2			2
地方自治概論B	2			2
社会調査概論A	2			2
社会調査概論B	2			2

(3) 全学共通科目 (両学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	
宗教学B	2			2	
歴史学A	2			2	
歴史学B	2			2	
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
芸術学A	2			2	
芸術学B	2			2	

地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2
民俗学B	2		2
文化人類学A	2		2
文化人類学B	2		2
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2		2
数学B	2		2
地学A	2		2
地学B	2		2
生物学A	2		2
生物学B	2		2
生態学A	2		2
生態学B	2		2
現代科学A	2		2

現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1			1
総合体育B	1			1
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2

第4群					
現代社会の諸問題A	2			2	
現代社会の諸問題B	2			2	
第5群					
異文化・世界にふれるA	2			2	
異文化・世界にふれるB	2			2	
第6群					
自己・人間をみつめるA	2			2	
自己・人間をみつめるB	2			2	
第7群					
キャリアデザインA	2			2	
キャリアデザインB	2			2	
第8群					
インターンシップA	2			2	
インターンシップB	2			2	
第9群					
全学共通特殊講義A	2			2	
全学共通特殊講義B	2			2	
3. 発展科目					
日本国憲法	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、10単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、20単位を上限として選択単位とする。
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の文化・芸術B	2			2	
日本の歴史A	2			2	
日本の歴史B	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
現代日本の諸相B	2			2	
国際理解演習A	2			2	
国際理解演習B	2			2	
国際理解演習C	2			2	
国際理解演習D	2			2	
(言語コース (発展))					
理解とコミュニケーション A	1			1	
理解とコミュニケーション B	1			1	
資料・文献読解A	1	1			
資料・文献読解B	1	1			
日本語文章表現A	1	1			
日本語文章表現B	1	1			

(5) 教職課程関連科目 (社会経済学科)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育社会学	2				2

教育法・行政	2			2
教育心理学概論	2			2
特別支援教育（介護等体験 の指導を含む。）	2			2
教育課程論	1			1
道徳教育論	2			2
特別活動論・総合的な学習 の理論と指導法	2			2
教育方法論（中高）	2			2
情報通信技術活用論	1			1
生徒指導論（進路指導を含 む。）	2			2
教育相談（カウンセリング を含む。）	2			2
教育実習1	1			1
教育実習2（小中）	4			4
教育実習2（中学）	4			4
教育実習2（高校）	2			2
教育実習A	1			1
教育実習B	2			2
教育実習C	2			2
教育実習D	3			3
教職実践演習（中高）	2			2
教育史1	2			2
教育史2	2			2
平和と教育	2			2
ダイバーシティと教育	2			2
教職特別演習1	2			2
教職特別演習2	2			2
教職特別演習3	2			2
学校安全論	2			2

特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目（司書は両学科共通、司書教諭は社会経済学科のみ）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2
学校経営と学校図書館	2				2
学習指導と学校図書館	2				2
読書と豊かな人間性	2				2
情報メディアの活用	2				2

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位

博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
民俗学A	2			2	
民俗学B	2			2	
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
理科1（地学）	2				2
理科2（生物）	2				2
理科3（化学）	2				2
理科4（物理）	2				2

(9) 副専攻科目等（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(スポーツ科学系副専攻)					
スポーツ科学入門	2			2	
スポーツの指導	2			2	

スポーツ選手の医学	2		2
スポーツ選手の生理	2		2
スポーツ選手の心理	2		2
スポーツマネジメント論	2		2
トレーニング理論と実践	2		2
競技スポーツ演習Ⅰ	2		2
競技スポーツ演習Ⅱ	2		2
競技スポーツ演習Ⅲ	2		2
競技スポーツ演習Ⅳ	2		2

(履修方法、卒業要件及び進級要件)

第23条の9 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

社会経済学科

必修科目 8単位

選択必修科目 8単位以上

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

現代経済学科

必修科目 10単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

社会経済学科・現代経済学科共通

他学科が開設する基礎教育科目から、当該学科の基礎教育科目・選択科目および自由科目の単位として履修することができる。ただし、他学科の選択必修科目については、選択科目として履修することができる。

(2) 専門教育科目

社会経済学科

必修科目 8単位

選択必修科目 選択必修Ⅰ群から12単位以上、選択必修Ⅱ群から12単位以上を含む

36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、Ⅰ・Ⅱともに同一教員履修と

し、担当教員の承認を得なければならない。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

現代経済学科

必修科目 10単位

選択必修科目 選択必修Ⅰ群から12単位以上、選択必修Ⅱ群から12単位以上を含む36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、Ⅰ・Ⅱともに同一教員履修とし、担当教員の承認を得なければならない。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

社会経済学科・現代経済学科共通

他学科が開設する専門教育科目から、当該学科の専門教育科目・選択科目および自由科目の単位として履修することができる。ただし、他学科の選択必修科目については、選択科目として履修することができる。

以上を含め専門教育科目から74単位以上。

なお、単位数の規定中、自由科目については単位数には算入しない。

(3) 全学共通科目（両学科共通）

選択科目 12単位以上。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等（両学科共通）

① 外国人留学生以外の者が、本科目を履修することはできない。

② 履修方法は、次のとおりとする。

必修科目 4単位

選択科目 内容コース及び言語コース（発展）から、10単位までを卒業要件単位とすることができる。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(5) 教職課程関連科目（社会経済学科）

教育職員免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則の定めるところに従い、専門教育科目、全学共通科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(6) 司書・司書教諭課程関連科目（司書は両学科共通、司書教諭は社会経済学科のみ）

司書の資格を取得しようとする者は、図書館法及び同法施行規則の定めるところに

従い、又司書教諭の資格を取得しようとする者は、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目（両学科共通）

学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法及び同法施行規則の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(9) 副専攻科目等（両学科共通）

（スポーツ科学系副専攻）

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

- 2 前条、第1号及び第2号に定める科目として開設する授業科目のうち、ローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）で表示する授業科目については、Ⅰの科目の単位を修得しなければⅡの科目を履修することはできない。また、Ⅰ及びⅡの科目の単位を修得しなければⅢの科目を履修することはできない。
- 3 1年間の履修単位数の上限は、卒業要件単位として算入される単位数として、1年次から2年次においては44単位まで、3年次から4年次においては49単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。前条第1号、第2号、第3号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号及び第9号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。ただし、外国人留学生については、前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。
- 4 2年次終了の時点において、社会経済学科は基礎教育科目「基礎演習」・「アクティブ・リーディングA」、専門教育科目「経済学の基礎A・B」を含め40単位以上、現代経済学科は、基礎教育科目「基礎演習」・「アクティブ・リーディングA」・「入門数理」、専門教育科目「経済学の基礎A・B」・「経済データ分析入門」を含め、卒業要件単位として算入される単位数として40単位以上を修得できない者は、3年次に進級することができない。

- 5 外国人留学生は、前項に定める要件に加えて、外国人留学生に関する日本語科目等の「資料・文献読解A・B」・「日本語文章表現A・B」を修得していないときは、3年次に進級することができない。

第4節 外国語学部

(授業科目の区分等)

第23条の10 外国語学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
 - (2) 専門教育科目
 - (3) 全学共通科目
 - (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
 - (5) 教職課程関連科目
 - (6) 司書・司書教諭課程関連科目
 - (7) 削除
 - (8) 学芸員課程関連科目
 - (9) 副専攻科目等
- 2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。
- 3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。
- 4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。

(授業科目の開設等)

第23条の11 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目

中国語学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
総合英語1A	1	1			
総合英語1B	1	1			
英語コミュニケーション	1	1			

1A				
英語コミュニケーション	1	1		
1B				
教養基礎演習A	1	1		
教養基礎演習B	1	1		
ITリテラシーA	1	1		
ITリテラシーB	1	1		
総合英語2A	1			1
総合英語2B	1			1
英語コミュニケーション	1			1
2A				
英語コミュニケーション	1			1
2B				
上級英語A	1			1
上級英語B	1			1
上級時事英語A	1			1
上級時事英語B	1			1
上級コミュニケーション英 語A	1			1
上級コミュニケーション英 語B	1			1
フランス語初級1A	1			1
フランス語初級1B	1			1
フランス語初級2A	1			1
フランス語初級2B	1			1
フランス語中級1A	1			1
フランス語中級1B	1			1
フランス語中級2A	1			1
フランス語中級2B	1			1
ドイツ語初級1A	1			1
ドイツ語初級1B	1			1

ドイツ語初級2A	1			1
ドイツ語初級2B	1			1
ドイツ語中級1A	1			1
ドイツ語中級1B	1			1
ドイツ語中級2A	1			1
ドイツ語中級2B	1			1

英語学科

(英語コース)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修科目					
ライティング1A	1	1			
ライティング1B	1	1			
リーディング1A	1	1			
リーディング1B	1	1			
スピーキング1A	1	1			
スピーキング1B	1	1			
リスニング1A	1	1			
リスニング1B	1	1			
ライティング2A	1	1			
ライティング2B	1	1			
リーディング2A	1	1			
リーディング2B	1	1			
スピーキング2A	1	1			
スピーキング2B	1	1			
ライティング3A	1	1			
ライティング3B	1	1			
日本語表現法1 (含情報収集)	1	1			
日本語表現法2 (含情報収集)	1	1			

	情報処理1	1	1		
	情報処理2	1	1		
	キャリアプランニング	2	2		
選択必修 科目1	中国語基礎1A	1		1	
	中国語基礎1B	1		1	
	中国語基礎2A	1		1	
	中国語基礎2B	1		1	
	中国語中級1A	1		1	
	中国語中級1B	1		1	
	ドイツ語基礎1A (英語コース)	1		1	
	ドイツ語基礎1B (英語コース)	1		1	
	ドイツ語基礎2A (英語コース)	1		1	
	ドイツ語基礎2B (英語コース)	1		1	
	ドイツ語中級1A (英語コース)	1		1	
	ドイツ語中級1B (英語コース)	1		1	
	フランス語基礎 1A (英語コー ス)	1		1	
	フランス語基礎 1B (英語コー ス)	1		1	
	フランス語基礎 2A (英語コー	1		1	

	ス)				
	フランス語基礎 2B (英語コー ス)	1		1	
	フランス語中級 1A (英語コー ス)	1		1	
	フランス語中級 1B (英語コー ス)	1		1	
	スペイン語基礎 1A	1		1	
	スペイン語基礎 1B	1		1	
	スペイン語基礎 2A	1		1	
	スペイン語基礎 2B	1		1	
	スペイン語中級 1A	1		1	
	スペイン語中級 1B	1		1	
選択必修 科目2	中国語上級1A	1		1	
	中国語上級1B	1		1	
	ドイツ語上級1A (英語コース)	1		1	
	ドイツ語上級1B (英語コース)	1		1	
	フランス語上級 1A (英語コー	1		1	

ス)				
フランス語上級 1B (英語コー ス)	1		1	
スペイン語上級 1A	1		1	
スペイン語上級 1B	1		1	
中国語初級1A	1		1	
中国語初級1B	1		1	
ドイツ語初級1A	1		1	
ドイツ語初級1B	1		1	
フランス語初級 1A	1		1	
フランス語初級 1B	1		1	
ポルトガル語初級 A	1		1	
ポルトガル語初級 B	1		1	
イタリア語初級A	1		1	
イタリア語初級B	1		1	
ロシア語初級A	1		1	
ロシア語初級B	1		1	
コリア語初級A	1		1	
コリア語初級B	1		1	
インドネシア語初 級A	1		1	
インドネシア語初 級B	1		1	

	アラビア語初級A	1		1	
	アラビア語初級B	1		1	
	モンゴル語初級A	1		1	
	モンゴル語初級B	1		1	
	ベトナム語初級A	1		1	
	ベトナム語初級B	1		1	
	ラテン語初級A	1		1	
	ラテン語初級B	1		1	
	ギリシア語初級A	1		1	
	ギリシア語初級B	1		1	
選択科目	キャリアデザイン 演習1A（秘書検 定1）	2			2
	キャリアデザイン 演習1B（ビジネ ス検定1）	2			2
	キャリアデザイン 演習2A（秘書検 定2）	2			2
	キャリアデザイン 演習2B（ビジネ ス検定2）	2			2
	情報処理研究1A	2			2
	情報処理研究1B	2			2
	情報処理研究2A	2			2
	情報処理研究2B	2			2
	情報処理研究3A	2			2
	情報処理研究3B	2			2
	身体表現演習（英 独系）	2			2

ドイツ語初級2A (英独系)	1		1
ドイツ語初級2B (英独系)	1		1
ドイツ語中級2A (英独系)	1		1
ドイツ語中級2B (英独系)	1		1
ドイツ語中級3A (英独系)	1		1
ドイツ語中級3B (英独系)	1		1
ドイツ語中級4A (英独系)	1		1
ドイツ語中級4B (英独系)	1		1
身体表現演習 (英 仏系)	2		2
フランス語初級 2A (英仏系)	1		1
フランス語初級 2B (英仏系)	1		1
フランス語中級 2A (英仏系)	1		1
フランス語中級 2B (英仏系)	1		1
フランス語中級 3A (英仏系)	1		1
フランス語中級 3B (英仏系)	1		1

フランス語中級 4A (英仏系)	1			1
フランス語中級 4B (英仏系)	1			1

(ヨーロッパ2言語コース 英独系)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
必修科目					
ライティング1A	1	1			
ライティング1B	1	1			
リーディング1A	1	1			
リーディング1B	1	1			
スピーキング1A	1	1			
スピーキング1B	1	1			
ライティング2A	1	1			
ライティング2B	1	1			
リーディング2A	1	1			
リーディング2B	1	1			
スピーキング2A	1	1			
スピーキング2B	1	1			
ライティング3A	1	1			
ライティング3B	1	1			
日本語表現法1 (含情報収集)	1	1			
日本語表現法2 (含情報収集)	1	1			
情報処理1	1	1			
情報処理2	1	1			
キャリアプランニ ング	2	2			
身体表現演習 (英	2	2			

独系)				
ドイツ語基礎1A (英独系)	1	1		
ドイツ語基礎1B (英独系)	1	1		
ドイツ語基礎2A (英独系)	1	1		
ドイツ語基礎2B (英独系)	1	1		
ドイツ語初級2A (英独系)	1	1		
ドイツ語初級2B (英独系)	1	1		
ドイツ語中級1A (英独系)	1	1		
ドイツ語中級1B (英独系)	1	1		
ドイツ語中級2A (英独系)	1	1		
ドイツ語中級2B (英独系)	1	1		
ドイツ語中級3A (英独系)	1	1		
ドイツ語中級3B (英独系)	1	1		
ドイツ語中級4A (英独系)	1	1		
ドイツ語中級4B (英独系)	1	1		
ドイツ語上級3A	1	1		

	(英独系)				
	ドイツ語上級3B	1	1		
	(英独系)				
	ドイツ語上級4A	1	1		
	(英独系)				
	ドイツ語上級4B	1	1		
	(英独系)				
選択科目	中国語基礎1A	1			1
	中国語基礎1B	1			1
	中国語基礎2A	1			1
	中国語基礎2B	1			1
	中国語中級1A	1			1
	中国語中級1B	1			1
	スペイン語基礎 1A	1			1
	スペイン語基礎 1B	1			1
	スペイン語基礎 2A	1			1
	スペイン語基礎 2B	1			1
	スペイン語中級 1A	1			1
	スペイン語中級 1B	1			1
	中国語上級1A	1			1
	中国語上級1B	1			1
	フランス語上級 1A (英語コー ス)	1			1

フランス語上級 1B (英語コー ス)	1		1
スペイン語上級 1A	1		1
スペイン語上級 1B	1		1
中国語初級1A	1		1
中国語初級1B	1		1
ドイツ語初級1A	1		1
ドイツ語初級1B	1		1
フランス語初級 1A	1		1
フランス語初級 1B	1		1
ポルトガル語初級 A	1		1
ポルトガル語初級 B	1		1
イタリア語初級A	1		1
イタリア語初級B	1		1
ロシア語初級A	1		1
ロシア語初級B	1		1
コリア語初級A	1		1
コリア語初級B	1		1
インドネシア語初 級A	1		1
インドネシア語初 級B	1		1
アラビア語初級A	1		1

アラビア語初級B	1	1
モンゴル語初級A	1	1
モンゴル語初級B	1	1
ベトナム語初級A	1	1
ベトナム語初級B	1	1
ラテン語初級A	1	1
ラテン語初級B	1	1
ギリシア語初級A	1	1
ギリシア語初級B	1	1
リスニング1A	1	1
リスニング1B	1	1
フランス語基礎 1A (英語コー ス)	1	1
フランス語基礎 1B (英語コー ス)	1	1
フランス語基礎 2A (英語コー ス)	1	1
フランス語基礎 2B (英語コー ス)	1	1
フランス語中級 1A (英語コー ス)	1	1
フランス語中級 1B (英語コー ス)	1	1
キャリアデザイン	2	2

演習1A (秘書検定1)				
キャリアデザイン演習1B (ビジネス検定1)	2			2
キャリアデザイン演習2A (秘書検定2)	2			2
キャリアデザイン演習2B (ビジネス検定2)	2			2
情報処理研究1A	2			2
情報処理研究1B	2			2
情報処理研究2A	2			2
情報処理研究2B	2			2
情報処理研究3A	2			2
情報処理研究3B	2			2

(ヨーロッパ2言語コース 英仏系)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修科目					
ライティング1A	1	1			
ライティング1B	1	1			
リーディング1A	1	1			
リーディング1B	1	1			
スピーキング1A	1	1			
スピーキング1B	1	1			
ライティング2A	1	1			
ライティング2B	1	1			
リーディング2A	1	1			
リーディング2B	1	1			

スピーキング2A	1	1		
スピーキング2B	1	1		
ライティング3A	1	1		
ライティング3B	1	1		
日本語表現法1 (含情報収集)	1	1		
日本語表現法2 (含情報収集)	1	1		
情報処理1	1	1		
情報処理2	1	1		
キャリアプランニ ング	2	2		
身体表現演習 (英 仏系)	2	2		
フランス語基礎 1A (英仏系)	1	1		
フランス語基礎 1B (英仏系)	1	1		
フランス語基礎 2A (英仏系)	1	1		
フランス語基礎 2B (英仏系)	1	1		
フランス語初級 2A (英仏系)	1	1		
フランス語初級 2B (英仏系)	1	1		
フランス語中級 1A (英仏系)	1	1		
フランス語中級 1B (英仏系)	1	1		

	フランス語中級 2A (英仏系)	1	1		
	フランス語中級 2B (英仏系)	1	1		
	フランス語中級 3A (英仏系)	1	1		
	フランス語中級 3B (英仏系)	1	1		
	フランス語中級 4A (英仏系)	1	1		
	フランス語中級 4B (英仏系)	1	1		
	フランス語上級 3A (英仏系)	1	1		
	フランス語上級 3B (英仏系)	1	1		
	フランス語上級 4A (英仏系)	1	1		
	フランス語上級 4B (英仏系)	1	1		
選択科目	中国語基礎1A	1			1
	中国語基礎1B	1			1
	中国語基礎2A	1			1
	中国語基礎2B	1			1
	中国語中級1A	1			1
	中国語中級1B	1			1
	スペイン語基礎 1A	1			1
	スペイン語基礎 1B	1			1

スペイン語基礎 2A	1			1
スペイン語基礎 2B	1			1
スペイン語中級 1A	1			1
スペイン語中級 1B	1			1
中国語上級1A	1			1
中国語上級1B	1			1
ドイツ語上級1A (英語コース)	1			1
ドイツ語上級1B (英語コース)	1			1
スペイン語上級 1A	1			1
スペイン語上級 1B	1			1
中国語初級1A	1			1
中国語初級1B	1			1
ドイツ語初級1A	1			1
ドイツ語初級1B	1			1
フランス語初級 1A	1			1
フランス語初級 1B	1			1
ポルトガル語初級 A	1			1
ポルトガル語初級 B	1			1

イタリア語初級A	1	1
イタリア語初級B	1	1
ロシア語初級A	1	1
ロシア語初級B	1	1
コリア語初級A	1	1
コリア語初級B	1	1
インドネシア語初級A	1	1
インドネシア語初級B	1	1
アラビア語初級A	1	1
アラビア語初級B	1	1
モンゴル語初級A	1	1
モンゴル語初級B	1	1
ベトナム語初級A	1	1
ベトナム語初級B	1	1
ラテン語初級A	1	1
ラテン語初級B	1	1
ギリシア語初級A	1	1
ギリシア語初級B	1	1
リスニング1A	1	1
リスニング1B	1	1
ドイツ語基礎1A (英語コース)	1	1
ドイツ語基礎1B (英語コース)	1	1
ドイツ語基礎2A (英語コース)	1	1
ドイツ語基礎2B (英語コース)	1	1

ドイツ語中級1A (英語コース)	1			1
ドイツ語中級1B (英語コース)	1			1
キャリアデザイン 演習1A (秘書検 定1)	2			2
キャリアデザイン 演習1B (ビジネ ス検定1)	2			2
キャリアデザイン 演習2A (秘書検 定2)	2			2
キャリアデザイン 演習2B (ビジネ ス検定2)	2			2
情報処理研究1A	2			2
情報処理研究1B	2			2
情報処理研究2A	2			2
情報処理研究2B	2			2
情報処理研究3A	2			2
情報処理研究3B	2			2

日本語学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
コンピューター演習	1	1			
リサーチ・スキルズ	1	1			
文章表現法A	2			2	
文章表現法B	2			2	
キャリア・プランニングA	2			2	

キャリア・プランニングB	2			2
--------------	---	--	--	---

(2) 専門教育科目

中国語学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修科目	総合中国語1A (文型)	1	1			
	総合中国語1B (文型)	1	1			
	総合中国語1A (語彙)	1	1			
	総合中国語1B (語彙)	1	1			
	総合中国語1A (会話)	1	1			
	総合中国語1B (会話)	1	1			
	総合中国語2A (文型)	1	1			
	総合中国語2B (文型)	1	1			
	総合中国語2A (語彙)	1	1			
	総合中国語2B (語彙)	1	1			
	総合中国語2A (会話)	1	1			
	総合中国語2B (会話)	1	1			
	中国語作文1A	1	1			

	中国語作文1B	1	1		
	中国語作文2A	1	1		
	中国語作文2B	1	1		
	講読A	1	1		
	講読B	1	1		
	中国語時事文1A	1	1		
	中国語時事文1B	1	1		
	中国語時事文2A	1	1		
	中国語時事文2B	1	1		
コース選 択必修科 目	中国語・社会（ビ ジネス）コース				
	ビジネス中国語A	1		1	
	ビジネス中国語B	1		1	
	中国へのアプロー チA	2		2	
	中国へのアプロー チB	2		2	
	中国現代経済論A	2		2	
	中国現代経済論B	2		2	
	中国語通信文A	1		1	
	中国語通信文B	1		1	
	ビジネスIT演習A	1		1	
	ビジネスIT演習B	1		1	
	国際政治経済論A	2		2	
	国際政治経済論B	2		2	
	中国語・言語（通 訳翻訳）コース				
	観光中国語A	1		1	
	観光中国語B	1		1	
	中国語学概論A	2		2	

	中国語学概論B	2		2	
	中国語文法概論A	2		2	
	中国語文法概論B	2		2	
	中国語通訳法A	1		1	
	中国語通訳法B	1		1	
	中国語翻訳法A	1		1	
	中国語翻訳法B	1		1	
	日中対照言語概論 A	2		2	
	日中対照言語概論 B	2		2	
共通選択 必修科目	中国現代文学概論 A	2		2	
	中国現代文学概論 B	2		2	
	日中比較文化概論 A	2		2	
	日中比較文化概論 B	2		2	
	中国語語彙論A	2		2	
	中国語語彙論B	2		2	
	中国語音韻論A	2		2	
	中国語音韻論B	2		2	
	中国語資格対策講 座A	2		2	
	中国語資格対策講 座B	2		2	
	中国語コミュニケーション1A	1		1	
	中国語コミュニケーション1B	1		1	

ーション1B				
中国語コミュニケ	1		1	
ーション2A				
中国語コミュニケ	1		1	
ーション2B				
中国現代政治論A	2		2	
中国現代政治論B	2		2	
国際企業A	2		2	
国際企業B	2		2	
ベンチャービジネ	2		2	
スA				
ベンチャービジネ	2		2	
スB				
中国言語情報演習	2		2	
1A				
中国言語情報演習	2		2	
1B				
中国言語情報演習	2		2	
2A				
中国言語情報演習	2		2	
2B				
中国社会文化演習	2		2	
1A				
中国社会文化演習	2		2	
1B				
中国社会文化演習	2		2	
2A				
中国社会文化演習	2		2	
2B				
学科共通海外現地研修1	2		2	

選択科目	海外現地研修2	2			2
	海外現地研修3	2			2
	海外現地研修4	2			2
	海外現地研修5	2			2
	海外現地研修6	2			2
	海外現地研修7	2			2
	海外現地研修8	2			2
	海外現地研修9	2			2
	海外現地研修10	2			2
	インターンシップ 実習1	2			2
	インターンシップ 実習2	2			2
	教科教育法（中国語）基礎A	2			2
	教科教育法（中国語）基礎B	2			2
	教科教育法（中国語）応用A	2			2
	教科教育法（中国語）応用B	2			2
学部共通	コリア語初級A	1			1
選択科目	コリア語初級B	1			1
	インドネシア語初級A	1			1
	インドネシア語初級B	1			1
	スペイン語基礎1A	1			1
	スペイン語基礎	1			1

1B			
スペイン語基礎	1		1
2A			
スペイン語基礎	1		1
2B			
スペイン語中級A	1		1
スペイン語中級B	1		1
スペイン語上級A	1		1
スペイン語上級B	1		1
ポルトガル語初級	1		1
A			
ポルトガル語初級	1		1
B			
ポルトガル語中級	1		1
A			
ポルトガル語中級	1		1
B			
ロシア語初級A	1		1
ロシア語初級B	1		1
アラビア語初級A	1		1
アラビア語初級B	1		1
モンゴル語初級A	1		1
モンゴル語初級B	1		1
ベトナム語初級A	1		1
ベトナム語初級B	1		1
ラテン語初級A	1		1
ラテン語初級B	1		1
ギリシア語初級A	1		1
ギリシア語初級B	1		1
イタリア語初級A	1		1

イタリア語初級B	1	1
イタリア語中級A	1	1
イタリア語中級B	1	1
情報処理研究1A	2	2
情報処理研究1B	2	2
情報処理研究2A	2	2
情報処理研究2B	2	2
情報処理研究3A	2	2
情報処理研究3B	2	2
国際関係論A	2	2
国際関係論B	2	2
国際経済論A	2	2
国際経済論B	2	2
国際法A	2	2
国際法B	2	2
多文化社会A	2	2
多文化社会B	2	2
移民政策A	2	2
移民政策B	2	2
民法A	2	2
民法B	2	2
商法A	2	2
商法B	2	2
会計学A	2	2
会計学B	2	2
日本文化学概説A	2	2
日本文化学概説B	2	2
日本語学概論A	2	2
日本語学概論B	2	2
日本語学演習A	1	1

日本語学演習B	1	1
日本語教授法A	2	2
日本語教授法B	2	2
文章表現法A	2	2
文章表現法B	2	2
日本語情報処理研究A	2	2
日本語情報処理研究B	2	2
日本語教育学演習A	2	2
日本語教育学演習B	2	2
日本語特別演習A	1	1
日本語特別演習B	1	1
日本語教育学A	2	2
日本語教育学B	2	2
マスコミュニケーション論A	2	2
マスコミュニケーション論B	2	2
東アジア地域研究A	2	2
東アジア地域研究B	2	2
東南アジア地域研究A	2	2
東南アジア地域研究B	2	2
アメリカ研究A	2	2

アメリカ研究B	2			2
南米地域研究A	2			2
南米地域研究B	2			2
オーストラリア研究	2			2
ニュージーランド研究	2			2

英語学科

(英語コース・ヨーロッパ2言語コース共通 必修科目)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修科目					
ゼミナールⅠA	2	2			
ゼミナールⅠB	2	2			
ゼミナールⅡA	2	2			
ゼミナールⅡB	2	2			
ゼミナールⅢA	2	2			
ゼミナールⅢB	2	2			
ゼミナールⅣA	2	2			
ゼミナールⅣB	2	2			
英語学入門	2	2			
英語文学入門（文学史）	2	2			
英語圏地域研究入門	2	2			
ヨーロッパ地域研究入門	2	2			
英語学と関連領域：知の森を覗くA	2	2			
英語学と関連領域	2	2			

域：知の森を覗く B					
検定英語1A	1	1			
検定英語1B	1	1			
検定英語2A	1	1			
検定英語2B	1	1			
検定英語3A	1	1			
検定英語3B	1	1			

(英語コース・ヨーロッパ2言語コース共通 選択必修科目A)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
選択必修 科目A					
オーラル・コミュニ ケーション演習 1 (発音トレーニ ング)	1		1		
オーラル・コミュニ ケーション演習 2A (ドラマA)	1		1		
オーラル・コミュニ ケーション演習 2B (ドラマB)	1		1		
オーラル・コミュニ ケーション演習 3A (パブリッ ク・スピーキング A)	1		1		
オーラル・コミュニ ケーション演習 3B (パブリッ ク・スピーキング	1		1		

B)				
オーラル・コミュニケーション演習 4A (ディベート A)	1		1	
オーラル・コミュニケーション演習 4B (ディベート B)	1		1	
メディア・コミュニケーション演習 1A (メディア・ イングリッシュ 1A)	1		1	
メディア・コミュニケーション演習 1B (メディア・ イングリッシュ 1B)	1		1	
メディア・コミュニケーション演習 2A (メディア・ イングリッシュ 2A)	1		1	
メディア・コミュニケーション演習 2B (メディア・ イングリッシュ 2B)	1		1	
アドバンスト・イングリッシュ1A	1		1	

アドバンスト・イ ングリッシュ1B	1		1	
アドバンスト・イ ングリッシュ2A	1		1	
アドバンスト・イ ングリッシュ2B	1		1	
スーパー・アドバ ンスト・イングリ ッシュ1A	1		1	
スーパー・アドバ ンスト・イングリ ッシュ1B	1		1	
スーパー・アドバ ンスト・イングリ ッシュ2A	1		1	
スーパー・アドバ ンスト・イングリ ッシュ2B	1		1	
英語圏現地研修A	2		2	
英語圏現地研修B	2		2	

(英語コース・選択必修科目B)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
英語学系 (選択必 修科目 B)	英語学概論A	2		2	
	英語学概論B	2		2	
	英文法概論A	2		2	
	英文法概論B	2		2	
	英語音声学概論A	2		2	
	英語音声学概論B	2		2	
	英語学研究1A	2		2	

(英語史A)			
英語学研究1B	2		2
(英語史B)			
英語学研究2A	2		2
(社会言語学A)			
英語学研究2B	2		2
(社会言語学B)			
英語学研究3A	2		2
(対照言語学A)			
英語学研究3B	2		2
(対照言語学B)			
英語学研究4A	2		2
(一般音声学A)			
英語学研究4B	2		2
(一般音声学B)			
英語学研究5A	2		2
(理論言語学A)			
英語学研究5B	2		2
(理論言語学B)			
英語学研究6A	2		2
(認知言語学A)			
英語学研究6B	2		2
(認知言語学B)			
英語学研究7A	2		2
(コーパス言語学 A)			
英語学研究7B	2		2
(コーパス言語学 B)			
英語コミュニケー	2		2

	シヨン研究1A (異文化コミュニケーション論A)	2		2	
	英語コミュニケーション研究1B (異文化コミュニケーション論B)	2		2	
	英語コミュニケーション研究2A (英語翻訳法A)	2		2	
	英語コミュニケーション研究2B (英語翻訳法B)	2		2	
	英語コミュニケーション研究3A (英語通訳法A)	2		2	
	英語コミュニケーション研究3B (英語通訳法B)	2		2	
	卒業論文A	2		2	
	卒業論文B	2		2	
英語教育学系(選択必修科目B)	英語教育学概論A	2		2	
	英語教育学概論B	2		2	
	教科教育法(英語)基礎A	2		2	
	教科教育法(英語)基礎B	2		2	
	教科教育法(英語)応用A	2		2	
	教科教育法(英	2		2	

	語) 応用B				
	英語教育学研究 1A (小学校英語 教育A)	2		2	
	英語教育学研究 1B (小学校英語 教育B)	2		2	
	英語教育学研究 2A (言語評価法 A)	2		2	
	英語教育学研究 2B (言語評価法 B)	2		2	
	英語教育学研究 3A (ICT&CALL A)	2		2	
	英語教育学研究 3B (ICT&CALL B)	2		2	
	英語教育学研究 4A (第二言語習 得論A)	2		2	
	英語教育学研究 4B (第二言語習 得論B)	2		2	
	卒業論文A	2		2	
	卒業論文B	2		2	
地域文化 学系 (選 択必修科 目B)	英語圏の文化と社 会概論A	2		2	
	英語圏の文化と社 会概論B	2		2	

イギリス研究A	2	2
イギリス研究B	2	2
アメリカ研究A	2	2
アメリカ研究B	2	2
オーストラリア研究	2	2
ニュージーランド研究	2	2
カナダ研究	2	2
中近東地域研究A	2	2
中近東地域研究B	2	2
東アジア地域研究A	2	2
東アジア地域研究B	2	2
東南アジア地域研究A	2	2
東南アジア地域研究B	2	2
南米地域研究A	2	2
南米地域研究B	2	2
地域文化学研究1A (英米言語文化研究A)	2	2
地域文化学研究1B (英米言語文化研究B)	2	2
地域文化学研究2A (英語文学研究A)	2	2

地域文化学研究 2B (英語文学研 究B)	2		2
地域文化学研究 3A (異文化理解 A)	2		2
地域文化学研究 3B (異文化理解 B)	2		2
地域文化学研究 4A (ライフスタ イル研究A)	2		2
地域文化学研究 4B (ライフスタ イル研究B)	2		2
地域文化学研究 5A (カルチャー ル・スタディーズ 研究A)	2		2
地域文化学研究 5B (カルチャー ル・スタディーズ 研究B)	2		2
地域文化学研究 6A (ファッショ ン文化研究A)	2		2
地域文化学研究 6B (ファッショ ン文化研究B)	2		2
地域文化学研究 7A (比較日本文	2		2

	化論A)				
	地域文化学研究	2		2	
	7B (比較日本文 化論B)				
	地域文化学研究	2		2	
	8A (キリスト教 研究A)				
	地域文化学研究	2		2	
	8B (キリスト教 研究B)				
	卒業論文A	2		2	
	卒業論文B	2		2	
社会科学系 (選択必修科目B)	社会科学概論A	2		2	
	社会科学概論B	2		2	
	国際関係論A	2		2	
	国際関係論B	2		2	
	国際経済論A	2		2	
	国際経済論B	2		2	
	国際法A	2		2	
	国際法B	2		2	
	商法A	2		2	
	商法B	2		2	
	民法A	2		2	
	民法B	2		2	
	会計学A	2		2	
	会計学B	2		2	
	マスコミュニケーション論A	2		2	
	マスコミュニケーション論B	2		2	

	多文化社会A	2		2	
	多文化社会B	2		2	
	移民政策A	2		2	
	移民政策B	2		2	
	社会科学研究1A (多言語主義A)	2		2	
	社会科学研究1B (多言語主義B)	2		2	
	社会科学研究2A (国際機構研究 A)	2		2	
	社会科学研究2B (国際機構研究 B)	2		2	
	社会科学研究3A (国際交流研究 A)	2		2	
	社会科学研究3B (国際交流研究 B)	2		2	
	卒業論文A	2		2	
	卒業論文B	2		2	
観光学系 (選択必修科目 B)	ツーリズム概論A	2		2	
	ツーリズム概論B	2		2	
	ESP演習1A (観光英語A)	2		2	
	ESP演習1B (観光英語B)	2		2	
	ESP演習2A (ビジネス英語A)	2		2	

ESP演習2B (ビジネス英語B)	2		2	
ツーリズム研究1A (サービス・マネージメント)	2		2	
ツーリズム研究1B (ツーリズム・マネージメント)	2		2	
ツーリズム研究2A (旅行・宿泊業論)	2		2	
ツーリズム研究2B (航空産業論)	2		2	
ツーリズム研究3A (ツーリズム政策論)	2		2	
ツーリズム研究3B (ツーリズム・プロジェクト)	2		2	
卒業論文A	2		2	
卒業論文B	2		2	

(ヨーロッパ2言語コース 選択必修科目B)

授業科目		単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
英独系 (選択必修科目B)	ドイツ語圏の文化と社会概論A	2		2		
	ドイツ語圏の文化と社会概論B	2		2		

	ドイツ語圏現地研究A	2		2	
	ドイツ語圏現地研究B	2		2	
	ドイツ語圏地域研究A	2		2	
	ドイツ語圏地域研究B	2		2	
	ドイツ語圏文化研究A	2		2	
	ドイツ語圏文化研究B	2		2	
	東欧・中欧地域研究A	2		2	
	東欧・中欧地域研究B	2		2	
	卒業論文A	2		2	
	卒業論文B	2		2	
英仏系 (選択必修科目B)	フランス語圏の文化と社会概論A	2		2	
	フランス語圏の文化と社会概論B	2		2	
	フランス語圏現地研修A	2		2	
	フランス語圏現地研修B	2		2	
	フランス語圏地域研究A	2		2	
	フランス語圏地域研究B	2		2	

フランス語圏文化 研究A	2		2	
フランス語圏文化 研究B	2		2	
アフリカ地域研究 A	2		2	
アフリカ地域研究 B	2		2	
卒業論文A	2		2	
卒業論文B	2		2	

(英語コース・ヨーロッパ2言語コース共通 選択科目)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
共通選択 科目					
英語教育学入門A	2			2	
英語教育学入門B	2			2	
海外研修認定科目 1A	1			1	
海外研修認定科目 1B	1			1	
海外研修認定科目 1C	1			1	
海外研修認定科目 1D	1			1	
海外研修認定科目 2A	2			2	
海外研修認定科目 2B	2			2	
海外研修認定科目 3A	4			4	
海外研修認定科目	4			4	

3B			
海外研修認定科目	4		4
3C			
海外研修認定科目	4		4
3D			
海外研修認定科目	8		8
4A			
海外研修認定科目	8		8
4B			
インディペンデント・スタディA	2		2
インディペンデント・スタディB	2		2
インターンシップA	2		2
インターンシップB	2		2
日本文化学概説A	2		2
日本文化学概説B	2		2
日本語学概論A	2		2
日本語学概論B	2		2
日本語学演習A	1		1
日本語学演習B	1		1
日本語教授法A	2		2
日本語教授法B	2		2
文章表現法A	2		2
文章表現法B	2		2
日本語情報処理研究A	2		2
日本語情報処理研	2		2

究B					
日本語教育学演習	2				2
A					
日本語教育学演習	2				2
B					
日本語特別演習A	1				1
日本語特別演習B	1				1
日本語教育学A	2				2
日本語教育学B	2				2

日本語学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
日本語	日本語学概論	4	4			
学・言語	日本語学基礎演習	2	2			
学系列	言語学概論	4	4			
	日本語学1A	2		2		
	日本語学1B	2		2		
	日本語学2	4		4		
	日本語学3	4		4		
	日本語学4	4		4		
	日本語学5A	2		2		
	日本語学5B	2		2		
	日本語学演習A	1		1		
	日本語学演習B	1		1		
	音声学	4		4		
	言語調査法	4		4		
	言語学講義	2		2		
	言語学演習	2		2		
	日本語情報処理研究A	2		2		

	日本語情報処理研究B	2		2	
日本語教育学系列	日本語教育学概論	4	4		
	多文化社会A	2		2	
	多文化社会B	2		2	
	日本語教育学	4		4	
	応用言語学（第2言語習得論）	4		4	
	日本語教育学演習A	2		2	
	日本語教育学演習B	2		2	
	日本語教授法A	2		2	
	日本語教授法B	2		2	
日本語文化学系列	日本文学概説	4		4	
	日本文学史概説A	2		2	
	日本文学史概説B	2		2	
	古文講読1A	2		2	
	古文講読1B	2		2	
	古文講読2	4		4	
	日本文化学概説A	2		2	
	日本文化学概説B	2		2	
	漢文講読	4		4	
	日本文化特別演習A	1		1	
	日本文化特別演習B	1		1	
	書道（仮名）	2		2	
	書道（漢字）	2		2	
共修日本	日本語特別演習	1		1	

語系列	1A (教える・学ぶ)					
	日本語特別演習	1			1	
	1B (教える・学ぶ)					
	日本語特別演習	1			1	
	2A (教える・学ぶ)					
	日本語特別演習	1			1	
	2B (教える・学ぶ)					
	日本語特別演習	1			1	
	3A (キャリア生活のための日本語)					
	日本語特別演習	1			1	
	3B (キャリア生活のための日本語)					
母語日本語系列	英語彙・読解1A	1	1			
	英語彙・読解1B	1	1			
英語系列	英語彙・読解2A	1				1
	英語彙・読解2B	1				1
	英語リーディング1A	1	1			
	英語リーディング1B	1	1			
	英語コンプリヘンシブ1A	1	1			
	英語コンプリヘンシブ1B	1	1			

シブ1B				
英語コミュニケー ション1A	1	1		
英語コミュニケー ション1B	1	1		
英語リーディング 2A	1			1
英語リーディング 2B	1			1
英語コンプリヘン シブ2A	1			1
英語コンプリヘン シブ2B	1			1
英語コミュニケー ション2A	1			1
英語コミュニケー ション2B	1			1
英語コンテンツ・ スタディA	1			1
英語コンテンツ・ スタディB	1			1
英語コンプリヘン シブ3A	1			1
英語コンプリヘン シブ3B	1			1
英語コミュニケー ション3A	1			1
英語コミュニケー ション3B	1			1
一般英語A	1			1

	一般英語B	1			1
	オーラル・コミュニケーションA	1			1
	オーラル・コミュニケーションB	1			1
	上級英語A	1			1
	上級英語B	1			1
	上級時事英語A	1			1
	上級時事英語B	1			1
	上級コミュニケーション英語A	1			1
	上級コミュニケーション英語B	1			1
留学生 日本語系列	日本語理解1A	1	1		
	日本語理解1B	1	1		
	日本語表現1A	1	1		
	日本語表現1B	1	1		
	日本語古典文法A	1	1		
	日本語古典文法B	1	1		
	日本語理解2A	1	1		
	日本語理解2B	1	1		
	日本語表現2A	1	1		
	日本語表現2B	1	1		
	日本事情A	1	1		
	日本事情B	1	1		
	日本語漢字A	1	1		
	日本語漢字B	1	1		
	日本語選択1A (理解とコミュニケーションA)	1			1

	日本語選択1B (理解とコミュニケーションB)	1			1
	日本語選択2A (資料・文献読解A)	1			1
	日本語選択2B (資料・文献読解B)	1			1
	日本語選択3A (日本語文章表現A)	1			1
	日本語選択3B (日本語文章表現B)	1			1
	日本の政治・経済・社会A	2			2
	日本の政治・経済・社会B	2			2
	日本の文化・芸術A	2			2
	日本の文化・芸術B	2			2
	日本の歴史A	2			2
	日本の歴史B	2			2
演習系列	卒業研究	4	4		
	専門演習1	4		4	
	専門演習2	4		4	
	専門演習3	4		4	
	専門演習4	4		4	

	専門演習5	4		4	
	専門演習6	4		4	
	専門演習7	4		4	
	専門演習8	4		4	
多言語系 列	中国語初級1A	1		1	
	中国語初級1B	1		1	
	中国語中級A	1		1	
	中国語中級B	1		1	
	コリア語初級A	1		1	
	コリア語初級B	1		1	
	インドネシア語初 級A	1		1	
	インドネシア語初 級B	1		1	
	タイ語初級A	1		1	
	タイ語初級B	1		1	
	ドイツ語初級1A	1		1	
	ドイツ語初級1B	1		1	
	フランス語初級 1A	1		1	
	フランス語初級 1B	1		1	
	スペイン語基礎 1A	1		1	
	スペイン語基礎 1B	1		1	
	スペイン語基礎 2A	1		1	
	スペイン語基礎 2B	1		1	

	スペイン語中級A	1		1	
	スペイン語中級B	1		1	
	スペイン語上級A	1		1	
	スペイン語上級B	1		1	
	ポルトガル語初級 A	1		1	
	ポルトガル語初級 B	1		1	
	ロシア語初級A	1		1	
	ロシア語初級B	1		1	
	アラビア語初級A	1		1	
	アラビア語初級B	1		1	
	モンゴル語初級A	1		1	
	モンゴル語初級B	1		1	
	ベトナム語初級A	1		1	
	ベトナム語初級B	1		1	
	ラテン語初級A	1		1	
	ラテン語初級B	1		1	
	ギリシア語初級A	1		1	
	ギリシア語初級B	1		1	
	イタリア語初級A	1		1	
	イタリア語初級B	1		1	
選択科目	情報処理研究1A	2			2
	情報処理研究1B	2			2
	情報処理研究2A	2			2
	情報処理研究2B	2			2
	情報処理研究3A	2			2
	情報処理研究3B	2			2
	国際関係論A	2			2
	国際関係論B	2			2

国際経済論A	2	2
国際経済論B	2	2
国際法A	2	2
国際法B	2	2
移民政策A	2	2
移民政策B	2	2
民法A	2	2
民法B	2	2
商法A	2	2
商法B	2	2
会計学A	2	2
会計学B	2	2
マスコミュニケーション論A	2	2
マスコミュニケーション論B	2	2
東アジア地域研究A	2	2
東アジア地域研究B	2	2
東南アジア地域研究A	2	2
東南アジア地域研究B	2	2
アメリカ研究A	2	2
アメリカ研究B	2	2
南米地域研究A	2	2
南米地域研究B	2	2
オーストラリア研究	2	2

ニュージーランド 研究	2			2
教科教育法（国 語）1A	2			2
教科教育法（国 語）1B	2			2
教科教育法（国 語）2A	2			2
教科教育法（国 語）2B	2			2

(3) 全学共通科目

中国語学科、英語学科、日本語学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2		2		
哲学B	2		2		
文学A	2		2		
文学B	2		2		
論理学A	2		2		
論理学B	2		2		
倫理学A	2		2		
倫理学B	2		2		
宗教学A	2		2		
宗教学B	2		2		
歴史学A	2		2		
歴史学B	2		2		
考古学A	2		2		
考古学B	2		2		
文化史A	2		2		

文化史B	2	2	
芸術学A	2	2	
芸術学B	2	2	
地理学A	2	2	
地理学B	2	2	
言語学A	2	2	
言語学B	2	2	
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2	2	
法学B	2	2	
社会学A	2	2	
社会学B	2	2	
政治学A	2	2	
政治学B	2	2	
経済学A	2	2	
経済学B	2	2	
心理学A	2	2	
心理学B	2	2	
教育学A	2	2	
教育学B	2	2	
民俗学A	2	2	
民俗学B	2	2	
文化人類学A	2	2	
文化人類学B	2	2	
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2	2	
数学B	2	2	
地学A	2	2	
地学B	2	2	
生物学A	2	2	
生物学B	2	2	

生態学A	2	2		
生態学B	2	2		
現代科学A	2	2		
現代科学B	2	2		
情報科学A	2	2		
情報科学B	2	2		
自然科学A	2	2		
自然科学B	2	2		
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
健康スポーツ科学A	2	2		
健康スポーツ科学B	2	2		
体育実技A	1	1		
体育実技B	1	1		
野外実習A	1	1		
野外実習B	1	1		
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2	2		
データサイエンスB	2	2		
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2	2		
地域・国家・民族の考察B	2	2		
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2	2		
女性・子ども・老人への視点B	2	2		
第3群				
人権・民主主義・平和を考	2	2		

えるA 人権・民主主義・平和を考 えるB	2		2		
第4群 現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B	2 2		2 2		
第5群 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	2 2		2 2		
第6群 自己・人間をみつめるA 自己・人間をみつめるB	2 2		2 2		
第7群 キャリアデザインA キャリアデザインB	2 2		2 2		
第8群 インターンシップA インターンシップB	2 2		2 2		
第9群 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B	2 2		2 2		
3. 発展科目					
日本史概論A	2		2		
日本史概論B	2		2		
西洋史概論	2		2		
東洋史概論	2		2		
日本の人文地理	2		2		
世界の人文地理	2		2		
日本の自然地理	2		2		
世界の自然地理	2		2		
日本地誌概論	2		2		

世界地誌概論	2		2		
日本国憲法	2		2		
法学概論	2		2		
情報処理	2		2		
哲学概論A	2		2		
哲学概論B	2		2		
倫理学概論A	2		2		
倫理学概論B	2		2		
心理学概論	2		2		
社会病理	2		2		
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、12単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、12単位を上限として選択単位とする。
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等

中国語学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2		2		
日本の文化・芸術A	2		2		
日本の歴史A	2		2		
現代日本の諸相A	2		2		

日本の政治・経済・社会B	2		2	
日本の文化・芸術B	2		2	
日本の歴史B	2		2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2		2	
理解とコミュニケーション A	1	1		
理解とコミュニケーション B	1	1		
資料・文献読解A	1	1		
資料・文献読解B	1	1		
日本語文章表現A	1		1	
日本語文章表現B (言語コース(集中基礎))	1		1	
集中日本語基礎演習1A1	1			1
集中日本語基礎演習1A2	1			1
集中日本語基礎演習1A3	1			1
集中日本語基礎演習1A4	1			1
集中日本語基礎演習1A5	1			1
集中日本語基礎演習1A6	1			1
集中日本語基礎演習1A7	1			1
集中日本語基礎演習1A8	1			1
集中日本語基礎演習2A1	1			1
集中日本語基礎演習2A2	1			1
集中日本語基礎演習2A3	1			1
集中日本語基礎演習2A4	1			1
集中日本語基礎演習2A5	1			1
集中日本語基礎演習2A6	1			1
集中日本語基礎演習2A7	1			1
集中日本語基礎演習2A8	1			1

集中日本語基礎演習3A1	1	1
集中日本語基礎演習3A2	1	1
集中日本語基礎演習3A3`	1	1
集中日本語基礎演習3A4	1	1
集中日本語基礎演習3A5	1	1
集中日本語基礎演習3A6	1	1
集中日本語基礎演習3A7	1	1
集中日本語基礎演習3A8	1	1
集中日本語基礎演習1B1	1	1
集中日本語基礎演習1B2	1	1
集中日本語基礎演習1B3	1	1
集中日本語基礎演習1B4	1	1
集中日本語基礎演習1B5	1	1
集中日本語基礎演習1B6	1	1
集中日本語基礎演習1B7	1	1
集中日本語基礎演習1B8	1	1
集中日本語基礎演習2B1	1	1
集中日本語基礎演習2B2	1	1
集中日本語基礎演習2B3	1	1
集中日本語基礎演習2B4	1	1
集中日本語基礎演習2B5	1	1
集中日本語基礎演習2B6	1	1
集中日本語基礎演習2B7	1	1
集中日本語基礎演習2B8	1	1
集中日本語基礎演習3B1	1	1
集中日本語基礎演習3B2	1	1
集中日本語基礎演習3B3	1	1
集中日本語基礎演習3B4	1	1
集中日本語基礎演習3B5	1	1
集中日本語基礎演習3B6	1	1
集中日本語基礎演習3B7	1	1

集中日本語基礎演習3B8	1			1
--------------	---	--	--	---

英語学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	
日本の文化・芸術B	2			2	
日本の歴史B	2			2	
現代日本の諸相B	2			2	
(言語コース (発展))					
理解とコミュニケーション A	1	1			
理解とコミュニケーション B	1	1			
資料・文献読解A	1	1			
資料・文献読解B	1	1			
日本語文章表現A	1	1			
日本語文章表現B	1	1			
(言語コース (集中基礎))					
集中日本語基礎演習1A1	1			1	
集中日本語基礎演習1A2	1			1	
集中日本語基礎演習1A3	1			1	
集中日本語基礎演習1A4	1			1	

集中日本語基礎演習1A5	1			1
集中日本語基礎演習1A6	1			1
集中日本語基礎演習1A7	1			1
集中日本語基礎演習1A8	1			1
集中日本語基礎演習2A1	1			1
集中日本語基礎演習2A2	1			1
集中日本語基礎演習2A3	1			1
集中日本語基礎演習2A4	1			1
集中日本語基礎演習2A5	1			1
集中日本語基礎演習2A6	1			1
集中日本語基礎演習2A7	1			1
集中日本語基礎演習2A8	1			1
集中日本語基礎演習3A1	1			1
集中日本語基礎演習3A2	1			1
集中日本語基礎演習3A3	1			1
集中日本語基礎演習3A4	1			1
集中日本語基礎演習3A5	1			1
集中日本語基礎演習3A6	1			1
集中日本語基礎演習3A7	1			1
集中日本語基礎演習3A8	1			1
集中日本語基礎演習1B1	1			1
集中日本語基礎演習1B2	1			1
集中日本語基礎演習1B3	1			1
集中日本語基礎演習1B4	1			1
集中日本語基礎演習1B5	1			1
集中日本語基礎演習1B6	1			1
集中日本語基礎演習1B7	1			1
集中日本語基礎演習1B8	1			1
集中日本語基礎演習2B1	1			1
集中日本語基礎演習2B2	1			1
集中日本語基礎演習2B3	1			1

集中日本語基礎演習2B4	1			1
集中日本語基礎演習2B5	1			1
集中日本語基礎演習2B6	1			1
集中日本語基礎演習2B7	1			1
集中日本語基礎演習2B8	1			1
集中日本語基礎演習3B1	1			1
集中日本語基礎演習3B2	1			1
集中日本語基礎演習3B3	1			1
集中日本語基礎演習3B4	1			1
集中日本語基礎演習3B5	1			1
集中日本語基礎演習3B6	1			1
集中日本語基礎演習3B7	1			1
集中日本語基礎演習3B8	1			1

日本語学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2				2
フィールドワークB	2				2
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2				2
日本の文化・芸術A	2				2
日本の歴史A	2				2
現代日本の諸相A	2				2
日本の政治・経済・社会B	2				2
日本の文化・芸術B	2				2
日本の歴史B	2				2
現代日本の諸相B	2				2
(言語コース(発展))					
理解とコミュニケーション A	1				1

理解とコミュニケーション	1			1
B				
資料・文献読解A	1			1
資料・文献読解B	1			1
日本語文章表現A	1			1
日本語文章表現B	1			1
(言語コース (集中基礎))				
集中日本語基礎演習1A1	1			1
集中日本語基礎演習1A2	1			1
集中日本語基礎演習1A3	1			1
集中日本語基礎演習1A4	1			1
集中日本語基礎演習1A5	1			1
集中日本語基礎演習1A6	1			1
集中日本語基礎演習1A7	1			1
集中日本語基礎演習1A8	1			1
集中日本語基礎演習2A1	1			1
集中日本語基礎演習2A2	1			1
集中日本語基礎演習2A3	1			1
集中日本語基礎演習2A4	1			1
集中日本語基礎演習2A5	1			1
集中日本語基礎演習2A6	1			1
集中日本語基礎演習2A7	1			1
集中日本語基礎演習2A8	1			1
集中日本語基礎演習3A1	1			1
集中日本語基礎演習3A2	1			1
集中日本語基礎演習3A3	1			1
集中日本語基礎演習3A4	1			1
集中日本語基礎演習3A5	1			1
集中日本語基礎演習3A6	1			1
集中日本語基礎演習3A7	1			1

集中日本語基礎演習3A8	1				1
集中日本語基礎演習1B1	1				1
集中日本語基礎演習1B2	1				1
集中日本語基礎演習1B3	1				1
集中日本語基礎演習1B4	1				1
集中日本語基礎演習1B5	1				1
集中日本語基礎演習1B6	1				1
集中日本語基礎演習1B7	1				1
集中日本語基礎演習1B8	1				1
集中日本語基礎演習2B1	1				1
集中日本語基礎演習2B2	1				1
集中日本語基礎演習2B3	1				1
集中日本語基礎演習2B4	1				1
集中日本語基礎演習2B5	1				1
集中日本語基礎演習2B6	1				1
集中日本語基礎演習2B7	1				1
集中日本語基礎演習2B8	1				1
集中日本語基礎演習3B1	1				1
集中日本語基礎演習3B2	1				1
集中日本語基礎演習3B3	1				1
集中日本語基礎演習3B4	1				1
集中日本語基礎演習3B5	1				1
集中日本語基礎演習3B6	1				1
集中日本語基礎演習3B7	1				1
集中日本語基礎演習3B8	1				1

(5) 教職課程関連科目 (各学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1

教育社会学	2			2
教育法・行政	2			2
教育心理学概論	2			2
特別支援教育（介護等体験の指導を含む。）	2			2
教育課程論	1			1
道徳教育論	2			2
特別活動論・総合的な学習の理論と指導法	2			2
教育方法論（中高）	2			2
情報通信技術活用論	1			1
生徒指導論（進路指導を含む。）	2			2
教育相談（カウンセリングを含む。）	2			2
教育実習1	1			1
教育実習2（小中）	4			4
教育実習2（中学）	4			4
教育実習2（高校）	2			2
教育実習A	1			1
教育実習B	2			2
教育実習C	2			2
教育実習D	3			3
教職実践演習（中高）	2			2
教育史1	2			2
教育史2	2			2
平和と教育	2			2
ダイバーシティと教育	2			2
教職特別演習1	2			2
教職特別演習2	2			2
教職特別演習3	2			2

学校安全論	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目 (各学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2
学校経営と学校図書館	2				2
学習指導と学校図書館	2				2
読書と豊かな人間性	2				2
情報メディアの活用	2				2

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目 (各学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
------	----	------	--------	------	------

			位		
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2		2		
文化史B	2		2		
美術史1	2				2
美術史2	2				2
考古学A	2		2		
考古学B	2		2		
民俗学A	2		2		
民俗学B	2		2		
自然科学A	2		2		
自然科学B	2		2		
理科1 (地学)	2				2
理科2 (生物)	2				2
理科3 (化学)	2				2
理科4 (物理)	2				2

(9) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻 (各学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(スポーツ科学系副専攻)					

スポーツ科学入門	2			2
スポーツの指導	2			2
スポーツ選手の医学	2			2
スポーツ選手の生理	2			2
スポーツ選手の心理	2			2
スポーツマネジメント論	2			2
トレーニング理論と実践	2			2
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2

ロ 留学（英語）副専攻（英語学科・日本語学科）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) BasicSkills (Reading,Listening,Writing,Speaking)	1				1
(中級) ReadingandWriting I	1				1
ReadingandWriting II	1				1
CommunicationandDiscussion I	1				1
CommunicationandDiscussion II	1				1
(上級) AcademicWriting	1				1
DiscussionandPresentation	1				1
2. 教養系科目					

グローバル教養系					
グローバルスタディ1		2			2
グローバルスタディ2		2			2
グローバルスタディ3		2			2
グローバルスタディ4		2			2
グローバルスタディ5		2			2
グローバルスタディ6		2			2
グローバルスタディ7		2			2
グローバルスタディ8		2			2
海外留学系					

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき英語学科・日本語学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

（履修方法、進級要件及び卒業要件）

第23条の12 前条各号に定める各区分の授業科目の履修方法及び修得単位は、次に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

中国語学科

必修科目 8単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

英語学科

（英語コース）

必修科目 22単位

選択必修科目 8単位

① 選択必修科目1から1言語を選択し6単位。

② 選択必修科目2から2単位、ただし、選択必修科目1で選択した言語の初級は除く。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

（ヨーロッパ2言語コース）

必修科目 40単位

選択科目 英独系を専攻する場合は英語コースのドイツ語を、英仏系を専攻する場合は英語コースのフランス語を選択科目として履修することはできない。

日本語学科

必修科目 2単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(2) 専門教育科目

中国語学科

必修科目 22単位

選択必修科目

次に定める単位40単位以上

① コース選択必修科目

中国語・社会（ビジネス）コース、中国語・言語（通訳翻訳）コースのいずれか一つのコースを選択し、次に定める単位を修得しなければならない。

中国語・社会（ビジネス）コース選択必修科目 18単位

中国語・言語（通訳翻訳）コース選択必修科目 18単位

② 共通選択必修科目

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

英語学科

(英語コース)

必修科目 34単位

選択必修科目 次に定める単位 28単位以上

① 選択必修科目Aから4単位

② 選択必修科目Bから24単位

ただし選択した専攻系から16単位以上。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(ヨーロッパ2言語コース)

必修科目 34単位

選択必修科目 次に定める単位 24単位

① 選択必修科目Aから4単位

② 選択必修科目Bから20単位

ただし選択した専攻系から12単位以上

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

日本語学科

必修科目 18単位

外国人留学生以外

上記単位数に加えて母語日本語系列、英語系列より必修科目 8単位

外国人留学生

上記単位数に加えて留学生日本語系列より必修科目 14単位

選択必修科目

次に定める①～⑥迄のそれぞれの選択必修科目群の中から、それぞれの所定の単位を修得すること。

- ① 日本語学・言語学系列科目 16単位以上
- ② 日本語教育学系列科目 8単位以上
- ③ 日本言語文化学系列科目 8単位以上
- ④ 共修日本語系列科目 4単位以上
- ⑤ 演習系列科目 4単位以上
- ⑥ 多言語系列科目 4単位以上

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(3) 全学共通科目

中国語学科、英語学科、日本語学科（共通）

選択必修科目 12単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等（日本語学科を除く。）

- ① 学科が本科目の履修を必要と認めた者以外の者が、本科目を履修することはできない。
- ② 履修方法及び修得単位は、次のとおりとする。

中国語学科

必修科目 4単位

選択必修科目 2単位

上の必修科目4単位は、基礎教育科目の必修科目総合英語1A/B・英語コミュニケーション1A/Bに代えることができる。

英語学科

必修科目 6単位

上6単位は、基礎教育科目の専攻外国語以外の外国語科目（選択必修科目1）の単位に代えることができる。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

日本語学科

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(5) 教職課程関連科目（各学科共通）

教育職員免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則の定めるところに従い、専門教育科目、全学共通科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

(6) 司書・司書教諭課程関連科目（各学科共通）

第23条の9第1項第6号の定めに従う。

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目（各学科共通）

第23条の9第1項第8号の定めに従う。

(9) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻（各学科共通）

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻（英語学科・日本語学科）

① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。

② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に各学科の英語研修及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

2 1年間の履修単位数の上限は、第1項第5号、第6号、第7号及び第8号に定める科目の単位を除き、48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 前条第1号、第2号、第3号、第4号（外国人留学生のみ。）及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号、第4号（外国人留学生のみ。）及び第9

号に定める単位を含め、中国語学科及び英語学科については124単位以上を修得した者及び日本語学科については、前条第1号、第2号、第3号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号及び第9号に定める単位を含め、124単位を修得した者を卒業とする。

4 削除

5 2年次終了の時点において、中国語学科専門教育科目の必修科目12単位を含む卒業要件単位30単位、英語学科卒業要件単位40単位、日本語学科卒業要件単位36単位を修得できない者は、3年次に進級することができない。

第5節 法学部

(授業科目の区分等)

第23条の13 法学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 教職課程関連科目
- (6) 司書・司書教諭課程関連科目
- (7) 削除
- (8) 学芸員課程関連科目

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に参入し、自由科目については卒業要件単位には参入しない。

4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。

5 削除

(授業科目の開設等)

第23条の14 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目

法律学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
必修	英語A	1	1			
	英語B	1	1			
	英語C	1	1			
	英語D	1	1			
	英語応用A	1	1			
	英語応用B	1	1			
	現代英語A	1	1			
	現代英語B	1	1			
	文章表現法1A (日本語)	1	1			
	文章表現法1B (日本語)	1	1			
選択	文章表現法2A (日本語)	1			1	
	文章表現法2B (日本語)	1			1	
	ドイツ語初級1A	1			1	
	ドイツ語初級1B	1			1	
	ドイツ語初級2A	1			1	
	ドイツ語初級2B	1			1	
	フランス語初級 1A	1			1	
	フランス語初級 1B	1			1	
	フランス語初級 2A	1			1	
	フランス語初級 2B	1			1	

中国語初級1A	1	1
中国語初級1B	1	1
中国語初級2A	1	1
中国語初級2B	1	1
情報処理A	2	2
情報処理B	2	2
コンピュータ基礎 A	2	2
コンピュータ基礎 B	2	2
コミュニケーション 英語A	1	1
コミュニケーション 英語B	1	1
コミュニケーション 英語C	1	1
コミュニケーション 英語D	1	1
TOEFL準備講座	2	2
上級英語（留学準備用）A	2	2
上級英語（留学準備用）B	2	2
ドイツ語中級3A	1	1
ドイツ語中級3B	1	1
ドイツ語中級4A	1	1
ドイツ語中級4B	1	1
フランス語中級 3A	1	1
フランス語中級	1	1

3B	フランス語中級	1			1
4A	フランス語中級	1			1
4B	中国語中級3A	1			1
	中国語中級3B	1			1
	中国語中級4A	1			1
	中国語中級4B	1			1

政治学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修	英語A	1	1			
	英語B	1	1			
	英語C	1	1			
	英語D	1	1			
	英語応用A	1	1			
	英語応用B	1	1			
	英語応用C	1	1			
	英語応用D	1	1			
選択	ドイツ語基礎1A	1			1	
	ドイツ語基礎1B	1			1	
	ドイツ語基礎2A	1			1	
	ドイツ語基礎2B	1			1	
	ドイツ語中級3A	1			1	
	ドイツ語中級3B	1			1	
	ドイツ語中級4A	1			1	
	ドイツ語中級4B	1			1	
	フランス語基礎1A	1			1	

フランス語基礎 1B	1			1
フランス語基礎 2A	1			1
フランス語基礎 2B	1			1
フランス語中級 3A	1			1
フランス語中級 3B	1			1
フランス語中級 4A	1			1
フランス語中級 4B	1			1
中国語基礎1A	1			1
中国語基礎1B	1			1
中国語基礎2A	1			1
中国語基礎2B	1			1
中国語中級3A	1			1
中国語中級3B	1			1
中国語中級4A	1			1
中国語中級4B	1			1
スペイン語基礎 1A	1			1
スペイン語基礎 1B	1			1
スペイン語基礎 2A	1			1
スペイン語基礎 2B	1			1

スペイン語中級A	1			1
スペイン語中級B	1			1
ロシア語基礎1A	1			1
ロシア語基礎1B	1			1
ロシア語基礎2A	1			1
ロシア語基礎2B	1			1
ロシア語中級A	1			1
ロシア語中級B	1			1
ロシア語基礎1A	1			1
ロシア語基礎1B	1			1
ロシア語基礎2A	1			1
ロシア語基礎2B	1			1
ロシア語中級A	1			1
ロシア語中級B	1			1
小論文の書き方A	1			1
小論文の書き方B	1			1
コミュニケーション英語A	1			1
コミュニケーション英語B	1			1
コミュニケーション英語C	1			1
コミュニケーション英語D	1			1
英語CALL演習A	1			1
英語CALL演習B	1			1

(2) 専門教育科目

法律学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位

必修	現代社会と法A	2	2	
	現代社会と法B	2	2	
	基本法学概論A	2	2	
	基本法学概論B	2	2	
	憲法1A	2	2	
	憲法1B	2	2	
	刑法1A	2	2	
	刑法1B	2	2	
	刑法2A	2	2	
	民法1A	2	2	
	民法1B	2	2	
	民法2A	2	2	
	民法2B	2	2	
	民法2C	2	2	
	民法2D	2	2	
選択必修	憲法2A	2		2
	憲法2B	2		2
	刑法2B	2		2
	行政法1A	2		2
	行政法1B	2		2
	行政法2A	2		2
	行政法2B	2		2
	国際法1A	2		2
	国際法1B	2		2
	国際法2A	2		2
	国際法2B	2		2
	税法A	2		2
	税法B	2		2
	教育法A	2		2
	教育法B	2		2

刑事訴訟法A	2	2
刑事訴訟法B	2	2
刑事政策A	2	2
刑事政策B	2	2
民法3A	2	2
民法3B	2	2
民法4A	2	2
民法4B	2	2
会社法概説A	2	2
会社法概説B	2	2
株式会社法A	2	2
株式会社法B	2	2
商法総則・手形小 切手法A	2	2
商法総則・手形小 切手法B	2	2
商行為法・保険法 A	2	2
商行為法・保険法 B	2	2
民事訴訟法A	2	2
民事訴訟法B	2	2
民事執行法A	2	2
民事執行法B	2	2
倒産処理法A	2	2
倒産処理法B	2	2
労働法基礎A	2	2
労働法基礎B	2	2
労働法展開A	2	2
労働法展開B	2	2

社会保障法A	2	2
社会保障法B	2	2
經濟法A	2	2
經濟法B	2	2
國際經濟法A	2	2
國際經濟法B	2	2
知的所有權法A	2	2
知的所有權法B	2	2
國際私法A	2	2
國際私法B	2	2
法思想史A	2	2
法思想史B	2	2
法哲学A	2	2
法哲学B	2	2
法制史A	2	2
法制史B	2	2
法社会学A	2	2
法社会学B	2	2
外国法1A	2	2
外国法1B	2	2
外国法2A	2	2
外国法2B	2	2
法情報学・情報法学	2	2
法学特殊講義1A	2	2
法学特殊講義1B	2	2
法学特殊講義1C	2	2
法学特殊講義1D	2	2
法学特殊講義2A	2	2
法学特殊講義2B	2	2

現代政治理論A	2	2
現代政治理論B	2	2
国際政治学A	2	2
国際政治学B	2	2
行政学A	2	2
行政学B	2	2
公共政策論A	2	2
公共政策論B	2	2
経済理論A	2	2
経済理論B	2	2
国際経済論A	2	2
国際経済論B	2	2
経済政策A	2	2
経済政策B	2	2
財政学A	2	2
財政学B	2	2
会計学A	2	2
会計学B	2	2
情報論A	2	2
情報論B	2	2
基礎演習	4	4
専門演習A	4	4
専門演習B	4	4
専門演習C	4	4

摘要

- ① 「現代社会と法A」、「現代社会と法B」、「基本法学概論A」及び「基本法学概論B」は、法律学科学生のみ履修可とする。
- ② 必修科目30単位を含め、専門教育科目を94単位を超えて修得した場合には、その単位は選択科目の単位として卒業要件に含めることができる。

政治学科

区分	授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
必修科目	憲法A	2	2			
	憲法B	2	2			
	入門演習A	2	2			
	入門演習B	2	2			
基幹選択	(政治外交史)					
必修科目	西洋政治外交史A	2		2		
	西洋政治外交史B	2		2		
	日本政治外交史A	2		2		
	日本政治外交史B	2		2		
	東洋政治外交史A	2		2		
	東洋政治外交史B	2		2		
	(理論)					
	現代政治理論A	2		2		
	現代政治理論B	2		2		
	政治過程論A	2		2		
	政治過程論B	2		2		
	(行政)					
	行政学A	2		2		
	行政学B	2		2		
	地方自治論A	2		2		
	地方自治論B	2		2		
	公共政策論A	2		2		
	公共政策論B	2		2		
	(国際)					
	国際政治学A	2		2		
	国際政治学B	2		2		
	国際関係論A	2		2		
	国際関係論B	2		2		

(地域)				
海外地域政治研究 (東南アジアA)	2		2	
海外地域政治研究 (東南アジアB)	2		2	
海外地域政治研究 (中国A)	2		2	
海外地域政治研究 (中国B)	2		2	
海外地域政治研究 (朝鮮A)	2		2	
海外地域政治研究 (朝鮮B)	2		2	
海外地域政治研究 (北アメリカA)	2		2	
海外地域政治研究 (北アメリカB)	2		2	
海外地域政治研究 (中南米A)	2		2	
海外地域政治研究 (中南米B)	2		2	
海外地域政治研究 (ロシアA)	2		2	
海外地域政治研究 (ロシアB)	2		2	
海外地域政治研究 (EU A)	2		2	
海外地域政治研究 (EU B)	2		2	
海外地域政治研究	2		2	

(オセアニアA)			
海外地域政治研究	2		2
(オセアニアB)			
海外地域政治研究	2		2
(日本の対外関係 A)			
海外地域政治研究	2		2
(日本の対外関係 B)			
海外地域政治研究	2		2
(北欧A)			
海外地域政治研究	2		2
(北欧B)			
海外地域政治研究	2		2
(英国A)			
海外地域政治研究	2		2
(英国B)			
海外地域政治研究	2		2
(フランスA)			
海外地域政治研究	2		2
(フランスB)			
海外地域政治研究	2		2
(ドイツA)			
海外地域政治研究	2		2
(ドイツB)			
海外地域政治研究	2		2
(中東A)			
海外地域政治研究	2		2
(中東B)			
海外地域政治研究	2		2

	(アフリカA)				
	海外地域政治研究	2		2	
	(アフリカB)				
	地誌学通論A	2		2	
	地誌学通論B	2		2	
	人文地理学通論A	2		2	
	人文地理学通論B	2		2	
	自然地理学通論A	2		2	
	自然地理学通論B	2		2	
展開選択	(展開政治学)				
必修科目	西洋政治思想史A	2		2	
	西洋政治思想史B	2		2	
	日本政治思想史A	2		2	
	日本政治思想史B	2		2	
	東洋政治思想史A	2		2	
	東洋政治思想史B	2		2	
	政治文化論A	2		2	
	政治文化論B	2		2	
	比較政治学A	2		2	
	比較政治学B	2		2	
	都市政治論A	2		2	
	都市政治論B	2		2	
	平和学A	2		2	
	平和学B	2		2	
	現代政治のイシューA	2		2	
	現代政治のイシューB	2		2	
	現代政治のイシューC	2		2	

現代政治のイッシ ューD	2	2
現代行政のイッシ ューA	2	2
現代行政のイッシ ューB	2	2
現代行政のイッシ ューC	2	2
現代行政のイッシ ューD	2	2
地域政策総合研究 A	2	2
地域政策総合研究 B	2	2
Political Studies in English A	2	2
Political Studies in English B	2	2
基礎演習	4	4
専門演習A	4	4
専門演習B	4	4
専門演習C	4	4
政治学インターン シップA	2	2
政治学インターン シップB	2	2
政治学インターン シップC	2	2
政治学インターン シップD	2	2

	日本史通論	2		2	
	西洋史通論	2		2	
	東洋史通論	2		2	
	哲学通論A	2		2	
	哲学通論B	2		2	
	倫理学通論A	2		2	
	倫理学通論B	2		2	
	宗教学概説A	2		2	
	宗教学概説B	2		2	
	教科教育法（社会）A	2			2
	教科教育法（社会）B	2			2
	教科教育法（社会）C	2			2
	教科教育法（社会）D	2			2
	教科教育法（地理歴史）A	2			2
	教科教育法（地理歴史）B	2			2
	教科教育法（公民）A	2			2
	教科教育法（公民）B	2			2
他系列選	（法律学系列）				
択必修科目	民法1（日常生活と法A）	2		2	
	民法1（日常生活と法B）	2		2	

民法2（取引社会 と法A）	2		2	
民法2（取引社会 と法B）	2		2	
行政法A	2		2	
行政法B	2		2	
刑法A	2		2	
刑法B	2		2	
商法総則・手形小 切手法A	2		2	
商法総則・手形小 切手法B	2		2	
会社法A	2		2	
会社法B	2		2	
労働法A	2		2	
労働法B	2		2	
社会保障法A	2		2	
社会保障法B	2		2	
経済法A	2		2	
経済法B	2		2	
外国法A	2		2	
外国法B	2		2	
国際法A	2		2	
国際法B	2		2	
国際経済法A	2		2	
国際経済法B	2		2	
（経済学系列）				
経済理論A	2		2	
経済理論B	2		2	
財政学A	2		2	

財政学B	2		2	
経営学A	2		2	
経営学B	2		2	
社会福祉概論A	2		2	
社会福祉概論B	2		2	
経済政策A	2		2	
経済政策B	2		2	
国際経済論A	2		2	
国際経済論B	2		2	
社会政策A	2		2	
社会政策B	2		2	
労働経済A	2		2	
労働経済B	2		2	
地方財政A	2		2	
地方財政B	2		2	
国際金融論A	2		2	
国際金融論B	2		2	
金融論A	2		2	
金融論B	2		2	
(社会学系列)				
マス・コミュニケーション論A	2		2	
マス・コミュニケーション論B	2		2	
社会学原論A	2		2	
社会学原論B	2		2	
社会心理学A	2		2	
社会心理学B	2		2	
社会調査論A	2		2	
社会調査論B	2		2	

時事英語A	2		2	
時事英語B	2		2	
実践的外国語A	2		2	
実践的外国語B	2		2	
社会情報論A	2		2	
社会情報論B	2		2	
(情報学系列)				
コンピュータ基礎 A	2		2	
コンピュータ基礎 B	2		2	
情報の分析A	2		2	
情報の分析B	2		2	
情報と論理A	2		2	
情報と論理B	2		2	
情報と数理A	2		2	
情報と数理B	2		2	
情報と統計A	2		2	
情報と統計B	2		2	

(3) 全学共通科目

法律学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2		2		
哲学B	2		2		
文学A	2		2		
文学B	2		2		
論理学A	2		2		

論理学B	2		2	
倫理学A	2		2	
倫理学B	2		2	
宗教学A	2		2	
宗教学B	2		2	
歴史学A	2		2	
歴史学B	2		2	
考古学A	2		2	
考古学B	2		2	
文化史A	2		2	
文化史B	2		2	
芸術学A	2		2	
芸術学B	2		2	
地理学A	2		2	
地理学B	2		2	
言語学A	2		2	
言語学B	2		2	
B系 社会と生活 (社会系)				
法学 (法律学入門) A	2	2		
法学 (法律学入門) B	2	2		
社会学A	2		2	
社会学B	2		2	
政治学A	2		2	
政治学B	2		2	
経済学A	2		2	
経済学B	2		2	
心理学A	2		2	
心理学B	2		2	
教育学A	2		2	
教育学B	2		2	
民俗学A	2		2	

民俗学B	2	2	
文化人類学A	2	2	
文化人類学B	2	2	
C系 自然と環境（自然系）			
数学A	2	2	
数学B	2	2	
地学A	2	2	
地学B	2	2	
生物学A	2	2	
生物学B	2	2	
生態学A	2	2	
生態学B	2	2	
現代科学A	2	2	
現代科学B	2	2	
情報科学A	2	2	
情報科学B	2	2	
自然科学A	2	2	
自然科学B	2	2	
D系 健康とスポーツ（保健体育系）			
総合体育A	1	1	
総合体育B	1	1	
健康スポーツ科学A	2	2	
健康スポーツ科学B	2	2	
体育実技A	1	1	
体育実技B	1	1	
野外実習A	1	1	
野外実習B	1	1	
E系 知識創造と実践（総合系）			
データサイエンスA	2	2	
データサイエンスB	2	2	
2. 課題（テーマ）科目			

第1群					
地域・国家・民族の考察A	2		2		
地域・国家・民族の考察B	2		2		
第2群					
女性・子ども・老人への視点A	2		2		
女性・子ども・老人への視点B	2		2		
第3群					
人権・民主主義・平和を考えるA	2		2		
人権・民主主義・平和を考えるB	2		2		
第4群					
現代社会の諸問題A	2		2		
現代社会の諸問題B	2		2		
第5群					
異文化・世界にふれるA	2		2		
異文化・世界にふれるB	2		2		
第6群					
自己・人間をみつめるA	2		2		
自己・人間をみつめるB	2		2		
第7群					
キャリアデザインA	2		2		
キャリアデザインB	2		2		
第8群					
インターンシップA	2		2		
インターンシップB	2		2		
第9群					
全学共通特殊講義A	2		2		
全学共通特殊講義B	2		2		

3. 発展科目					
日本史概論A	2		2		
日本史概論B	2		2		
西洋史概論	2		2		
東洋史概論	2		2		
日本の人文地理	2		2		
世界の人文地理	2		2		
日本の自然地理	2		2		
世界の自然地理	2		2		
日本地誌概論	2		2		
世界地誌概論	2		2		
哲学概論A	2		2		
哲学概論B	2		2		
倫理学概論A	2		2		
倫理学概論B	2		2		
心理学概論	2		2		
社会病理	2		2		

摘要

- ① 「法学（法律学入門）A」及び「法学（法律学入門）B」は、法律学科学生のみ履修可とする。
- ② 必修科目4単位を含め、全学共通科目を10単位を超えて修得した場合は、その単位は選択科目の単位として卒業要件に含めることができる。

政治学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2		2		
哲学B	2		2		
文学A	2		2		
文学B	2		2		

論理学A	2		2	
論理学B	2		2	
倫理学A	2		2	
倫理学B	2		2	
宗教学A	2		2	
宗教学B	2		2	
歴史学A	2		2	
歴史学B	2		2	
考古学A	2		2	
考古学B	2		2	
文化史A	2		2	
文化史B	2		2	
芸術学A	2		2	
芸術学B	2		2	
地理学A	2		2	
地理学B	2		2	
言語学A	2		2	
言語学B	2		2	
B系 社会と生活 (社会系)				
法学A	2		2	
法学B	2		2	
社会学A	2		2	
社会学B	2		2	
政治学A	2	2		
政治学B	2	2		
経済学A	2		2	
経済学B	2		2	
心理学A	2		2	
心理学B	2		2	
教育学A	2		2	
教育学B	2		2	

民俗学A	2	2	
民俗学B	2	2	
文化人類学A	2	2	
文化人類学B	2	2	
C系 自然と環境（自然系）			
数学A	2	2	
数学B	2	2	
地学A	2	2	
地学B	2	2	
生物学A	2	2	
生物学B	2	2	
生態学A	2	2	
生態学B	2	2	
現代科学A	2	2	
現代科学B	2	2	
情報科学A	2	2	
情報科学B	2	2	
自然科学A	2	2	
自然科学B	2	2	
D系 健康とスポーツ（保健体育系）			
総合体育A	1	1	
総合体育B	1	1	
健康スポーツ科学A	2	2	
健康スポーツ科学B	2	2	
体育実技A	1	1	
体育実技B	1	1	
野外実習A	1	1	
野外実習B	1	1	
E系 知識創造と実践（総合系）			
データサイエンスA	2	2	
データサイエンスB	2	2	

2. 課題 (テーマ) 科目					
第1群					
地域・国家・民族の考察A	2		2		
地域・国家・民族の考察B	2		2		
第2群					
女性・子ども・老人への視点A	2		2		
女性・子ども・老人への視点B	2		2		
第3群					
人権・民主主義・平和を考えるA	2		2		
人権・民主主義・平和を考えるB	2		2		
第4群					
現代社会の諸問題A	2		2		
現代社会の諸問題B	2		2		
第5群					
異文化・世界にふれるA	2		2		
異文化・世界にふれるB	2		2		
第6群					
自己・人間をみつめるA	2		2		
自己・人間をみつめるB	2		2		
第7群					
キャリアデザインA	2		2		
キャリアデザインB	2		2		
第8群					
インターンシップA	2		2		
インターンシップB	2		2		
第9群					
全学共通特殊講義A	2		2		

全学共通特殊講義B	2	2		
3. 発展科目				
日本国憲法	2	2		
情報処理	2	2		

摘要

- ① 政治学科学生は、それぞれ指定された時間割上の「政治学A」と「政治学B」を履修するものとする。
- ② 政治学科については、全学共通科目における選択必修科目は16単位とする。これを超えて修得した場合には、その単位は選択単位として卒業要件に含めることができる。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

法律学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2	2			
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2	2			
(言語コース (発展))					
理解とコミュニケーションA	1	1			
理解とコミュニケーションB	1	1			
資料・文献読解A	1	1			
資料・文献読解B	1	1			

政治学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(内容コース)					

日本の政治・経済・社会A	2		2	
日本の文化・芸術A	2		2	
日本の歴史A	2		2	
現代日本の諸相A	2		2	
日本の政治・経済・社会B	2		2	
日本の文化・芸術B	2		2	
日本の歴史B	2		2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2		2	
理解とコミュニケーション A	1		1	
理解とコミュニケーション B	1		1	
資料・文献読解A	1	1		
資料・文献読解B	1	1		
日本語文章表現A	1	1		
日本語文章表現B	1	1		

(5) 教職課程関連科目 (政治学科)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育社会学	2				2
教育法・行政	2				2
教育心理学概論	2				2
特別支援教育(介護等体験 の指導を含む。)	2				2
教育課程論	1				1
道徳教育論	2				2
特別活動論・総合的な学習	2				2

理論と指導法（中高）				
教育方法論（中高）	2			2
情報通信技術活用論	1			1
生徒指導論（進路指導を含む。）	2			2
教育相談（カウンセリングを含む。）	2			2
教育実習1	1			1
教育実習2（小中）	4			4
教育実習2（中学）	4			4
教育実習2（高校）	2			2
教育実習A	1			1
教育実習B	2			2
教育実習C	2			2
教育実習D	3			3
教職実践演習（中高）	2			2
教育史1	2			2
教育史2	2			2
平和と教育	2			2
ダイバーシティと教育	2			2
教職特別演習1	2			2
教職特別演習2	2			2
教職特別演習3	2			2
学校安全論	2			2
特別インターンシップ1	2			2
特別インターンシップ2	2			2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目

法律学科

司書課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位

生涯学習概論1	2			2
図書館概論	2			2
図書・図書館史	2			2
図書館情報資源概論	2			2
図書館情報資源特論	2			2
情報資源組織論	2			2
情報資源組織演習A	1			1
情報資源組織演習B	1			1
図書館サービス概論	2			2
図書館制度・経営論	2			2
図書館サービス特論	2			2
図書館情報技術論	2			2
情報サービス論	2			2
児童サービス論	2			2
情報サービス演習1	1			1
情報サービス演習2	1			1
コミュニケーション論B	2			2

政治学科

司書・司書教諭課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2

図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2
学校経営と学校図書館	2				2
学習指導と学校図書館	2				2
読書と豊かな人間性	2				2
情報メディアの活用	2				2

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2

考古学A	2	2	
考古学B	2	2	
民俗学A	2	2	
民俗学B	2	2	
自然科学A	2	2	
自然科学B	2	2	
理科1（地学）	2		2
理科2（生物）	2		2
理科3（化学）	2		2
理科4（物理）	2		2

（卒業要件及び進級要件）

第23条の15

（卒業要件）

卒業するには、前条第1号、第2号、第3号及び第4号（外国人留学生のみ）に定める科目並びに他学科が開設する専門教育科目について、以下に定める単位を含め、法律学科及び政治学科は124単位以上を修得しなければならない。ただし、他学科が開設する専門教育科目は、8単位を超えて履修することはできない。

(1) 基礎教育科目

法律学科

必修科目 10単位

政治学科

必修科目 8単位

選択科目 修得単位の条件及び制限は設けない。ただし、履修の方法については、別に定めるところによる。

(2) 専門教育科目

法律学科

次に定める単位を含め、94単位

必修科目 30単位

政治学科

次に定める単位を含め、82単位以上

必修科目 8単位

基幹選択必修科目 20単位以上

政治外交史 4単位

理論 4単位

行政 4単位

国際 4単位

地域 4単位

展開選択必修科目 26単位以上

他系列選択必修科目 28単位以上

法律学系列 8単位以上

経済学系列 8単位以上

社会学系列 8単位以上

情報学系列 4単位以上

ただし、基幹選択必修科目で20単位を超えて履修した単位は、展開選択必修科目の
取得単位に含めるものとする。

(3) 全学共通科目

法律学科

次に定める単位を含め、10単位

必修科目 4単位

政治学科

必修科目 4単位を含む20単位以上

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

法律学科

必修科目 8単位

本号により修得した単位は、前条第1号に掲げる科目のうち英語A・B・C・D、
英語応用A・B及び現代英語A・B計8単位又はその一部に代えることができる。

政治学科

必修科目 4単位

本号により修得した単位は、前条第1号に掲げる科目のうち英語A・B・C・D、
英語応用A・B・C・D計8単位又はその一部に代えることができる。

選択必修科目 日本の政治・経済・社会A 2単位、日本の文化・芸術A 2単位、日本
の歴史A 2単位、現代日本の諸相A 2単位、日本の政治・経済・社会B 2単位、日

本の文化・芸術B2単位、日本の歴史B2単位、現代日本の諸相B2単位、理解とコミュニケーションA1単位、理解とコミュニケーションB1単位の10科目18単位の中から4単位を選択必修科目として履修することができる。

2 (進級要件)

2年次終了の時点において、次に定める単位を修得できない者は、3年次に進級することができない。

法律学科

前項において法律学科の卒業要件として定める単位のうち、必修26単位以上を含む34単位

政治学科

前項において政治学科の卒業要件として定める単位のうち、36単位

3 (資格科目)

(1) 教職課程関連科目 (政治学科)

第23条の9第1項第5号の定めに準ずる。

(2) 司書・司書教諭課程関連科目 (法律学科 司書課程関連科目、政治学科 司書・司書教諭課程関連科目)

第23条の9第1項第6号の定めに準ずる。

(3) 削除

(4) 学芸員課程関連科目 (両学科共通)

第23条の9第1項第8号の定めに準ずる。

4 (年間履修単位数)

① 1年間の履修単位数の上限は、前条第5号、第6号、第7号及び第8号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては法律学科は48単位まで、政治学科は44単位まで、4年次においては両学科とも49単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

② 4年次においては、4単位以上を履修し、修得しなければならない。

第6節 国際関係学部

(授業科目の区分等)

第23条の16 国際関係学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目

- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 削除
- (6) 司書課程関連科目
- (7) 削除
- (8) 学芸員課程関連科目
- (9) 副専攻科目等

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。

4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。

(授業科目の開設等)

第23条の17 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
チュートリアルⅠ	1	1			
チュートリアルⅡ	1	1			
Global English I	1	1			
Global English II	1	1			
フランス語基礎1A	1			1	
フランス語基礎1B	1			1	
フランス語基礎2A	1			1	
フランス語基礎2B	1			1	
ドイツ語基礎1A	1			1	
ドイツ語基礎1B	1			1	
ドイツ語基礎2A	1			1	

ドイツ語基礎2B	1			1
フランス語初級1A	1			1
フランス語初級1B	1			1
フランス語初級2A	1			1
フランス語初級2B	1			1
ドイツ語初級1A	1			1
ドイツ語初級1B	1			1
ドイツ語初級2A	1			1
ドイツ語初級2B	1			1

(2) 専門教育科目

国際関係学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基幹演習Ⅰ	1	1			
基幹演習Ⅱ	1	1			
専門演習Ⅰ	1	1			
専門演習Ⅱ	1	1			
卒業論文演習Ⅰ	2	2			
卒業論文演習Ⅱ	2	2			
国際関係論	2	2			
(地域研究)					
東アジア					
東アジア地域研究1	2				2
(中国の現代政治)					
東アジア地域研究2	2				2
(中国の国際関係)					
東アジア地域研究3	2				2
(中国の経済発展)					
東アジア地域研究4	2				2
(中国の経済事情)					
東アジア地域研究5	2				2

(朝鮮半島の近現代史)				
東アジア地域研究6	2			2
(朝鮮半島の社会)				
東アジア地域研究7	2			2
(東アジアの文化)				
東アジア地域研究8	2			2
(東アジアの芸術)				
東南アジア				
東南アジア地域研究1	2			2
(東南アジアの現代政治)				
東南アジア地域研究2	2			2
(東南アジアの国際関係)				
東南アジア地域研究3	2			2
(東南アジアの経済発展)				
東南アジア地域研究4	2			2
(東南アジアの経済事情)				
東南アジア地域研究5	2			2
(東南アジアの近現代史)				
東南アジア地域研究6	2			2
(東南アジアの社会)				
東南アジア地域研究7	2			2
(東南アジアの文化)				
東南アジア地域研究8	2			2
(東南アジアの環境問題)				
南アジア				
南アジア地域研究1	2			2
(南アジアの現代政治)				
南アジア地域研究2	2			2
(南アジアの国際関係)				
南アジア地域研究3	2			2
(インドの経済発展)				

南アジア地域研究4 (南アジアの経済事情)	2		2
南アジア地域研究5 (南アジアの近現代史)	2		2
南アジア地域研究6 (南アジアの社会)	2		2
南アジア地域研究7 (南アジアの文化)	2		2
南アジア地域研究8 (南アジアの芸術)	2		2
西アジア			
西アジア地域研究1 (西アジアの現代政治)	2		2
西アジア地域研究2 (西アジアの国際関係)	2		2
西アジア地域研究3 (西アジアの経済発展)	2		2
西アジア地域研究4 (西アジアの経済事情)	2		2
西アジア地域研究5 (西アジアの近現代史)	2		2
西アジア地域研究6 (西アジアの社会)	2		2
西アジア地域研究7 (西アジアの文化史)	2		2
西アジア地域研究8 (西アジア・イスラム国家 の歴史)	2		2
(言語文化講座)			
中国語1	2	2	
中国語2	2	2	

中国語3	2	2	
中国語4	2	2	
中国語5	2	2	
中国語6	2	2	
中国語7	2		2
中国語8	2		2
中国語9	2		2
中国語10	2		2
現地研修	6		6
コリア語1	2	2	
コリア語2	2	2	
コリア語3	2	2	
コリア語4	2	2	
コリア語5	2	2	
コリア語6	2	2	
コリア語7	2		2
コリア語8	2		2
コリア語9	2		2
コリア語10	2		2
現地研修	6		6
インドネシア語1	2	2	
インドネシア語2	2	2	
インドネシア語3	2	2	
インドネシア語4	2	2	
インドネシア語5	2	2	
インドネシア語6	2	2	
インドネシア語7	2		2
インドネシア語8	2		2
インドネシア語9	2		2
インドネシア語10	2		2
現地研修	6		6

タイ語1	2	2	
タイ語2	2	2	
タイ語3	2	2	
タイ語4	2	2	
タイ語5	2	2	
タイ語6	2	2	
タイ語7	2		2
タイ語8	2		2
タイ語9	2		2
タイ語10	2		2
現地研修	6		6
ベトナム語1	2	2	
ベトナム語2	2	2	
ベトナム語3	2	2	
ベトナム語4	2	2	
ベトナム語5	2	2	
ベトナム語6	2	2	
ベトナム語7	2		2
ベトナム語8	2		2
ベトナム語9	2		2
ベトナム語10	2		2
現地研修	6		6
ヒンディー語1	2	2	
ヒンディー語2	2	2	
ヒンディー語3	2	2	
ヒンディー語4	2	2	
ヒンディー語5	2	2	
ヒンディー語6	2	2	
ヒンディー語7	2		2
ヒンディー語8	2		2
ヒンディー語9	2		2

ヒンディー語10	2		2
現地研修	6		6
アラビア語1	2	2	
アラビア語2	2	2	
アラビア語3	2	2	
アラビア語4	2	2	
アラビア語5	2	2	
アラビア語6	2	2	
アラビア語7	2		2
アラビア語8	2		2
アラビア語9	2		2
アラビア語10	2		2
現地研修	6		6
英語1	2	2	
英語2	2	2	
英語3	2	2	
英語4	2	2	
英語5	2	2	
英語6	2	2	
英語7	2		2
英語8	2		2
英語9	2		2
英語10	2		2
現地研修	6		6
(言語文化講座上級)			
中国語 I	2		2
中国語 II	2		2
コリア語 I	2		2
コリア語 II	2		2
インドネシア語 I	2		2
インドネシア語 II	2		2

タイ語 I	2		2
タイ語 II	2		2
ベトナム語 I	2		2
ベトナム語 II	2		2
ヒンディー語 I	2		2
ヒンディー語 II	2		2
アラビア語 I	2		2
アラビア語 II	2		2
英語 I	2		2
英語 II	2		2
(言語文化特殊講義)			
言語文化特殊講義1	2		2
言語文化特殊講義2	2		2
言語文化特殊講義3	2		2
言語文化特殊講義4	2		2
言語文化特殊講義5	2		2
言語文化特殊講義6	2		2
言語文化特殊講義7	2		2
言語文化特殊講義8	2		2
言語文化特殊講義9	2		2
言語文化特殊講義10	2		2
(クラスター)			
国際協力・多文化共生			
多文化共生論A	2		2
多文化共生論B	2		2
国際協力・ボランティア入 門	2		2
SDGs入門	2		2
マイノリティの文化論	2		2
法学概論A	2		2
法学概論B	2		2

開発経済学A	2		2
開発経済学B	2		2
農業食料問題A	2		2
農業食料問題B	2		2
ナショナリズムと国家	2		2
紛争論	2		2
比較法A	2		2
比較法B	2		2
国際政治学A	2		2
国際政治学B	2		2
国際社会学	2		2
地域福祉論	2		2
国際協力・多文化共生ワー クショップ	2		2
国際協力・多文化共生フィ ールドワーク	2		2
国際協力・多文化共生特殊 講義1 (問題解決学入門)	2		2
国際協力・多文化共生特殊 講義2 (NGO活動論)	2		2
国際協力・多文化共生特殊 講義3 (難民問題)	2		2
国際協力・多文化共生特殊 講義4 (安全保障論)	2		2
国際協力・多文化共生特殊 講義5	2		2
国際協力・多文化共生特殊	2		2

講義6 (DACIX I) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義7 (DACIX II) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義8 (DACIX III) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義9 (DACIX IV) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義10 (DACIX V) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義11 (DACIX VI) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義12 (DACIX VII) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義13 (DACIX VIII) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義14 (DACIX IX) 国際協力・多文化共生特殊	2		2
講義15 (DACIX X) 国際ビジネス 経済学基礎A (ミクロ)	2		2

経済学基礎B (マクロ)	2	2
経営学基礎	2	2
国際経済論A	2	2
国際経済論B	2	2
国際マーケティング論A	2	2
国際マーケティング論B	2	2
資源環境論A	2	2
資源環境論B	2	2
食品産業論	2	2
海外経営事情	2	2
インターンシップ・イン・ アジア	6	6
企業と雇用A	2	2
企業と雇用B	2	2
国際ビジネス特殊講義1 (インターンシップ準備講 座)	2	2
国際ビジネス特殊講義2 (SPI対策講座)	2	2
国際ビジネス特殊講義3 (旅行産業論)	2	2
国際ビジネス特殊講義4 (ホスピタリティ論)	2	2
国際ビジネス特殊講義5 異文化理解	2	2
宗教文化論1 (東アジア)	2	2
宗教文化論2 (東南アジ ア)	2	2
宗教文化論3 (南アジア)	2	2
宗教文化論4 (西アジア)	2	2
シルクロード文化論	2	2

比較文化史	2			2
アジアの舞踊と身体文化A	2			2
アジアの舞踊と身体文化B	2			2
イスラム社会論	2			2
オセアニアの文化	2			2
オセアニアの社会	2			2
アジア伝統芸能論A	2			2
アジア伝統芸能論B	2			2
アジア食文化論	2			2
アジア服飾文化論	2			2
アジアのポップカルチャー	2			2
アジアのジェンダー	2			2
比較芸術論	2			2
クール・ジャパノロジー	2			2
文化遺産論A	2			2
文化遺産論B	2			2
異文化理解特殊講義1 (世界遺産講座Ⅰ)	2			2
異文化理解特殊講義2 (世界遺産講座Ⅱ)	2			2
異文化理解特殊講義3 (ガムラン合奏Ⅰ)	2			2
異文化理解特殊講義4 (ガムラン合奏Ⅱ)	2			2
異文化理解特殊講義5	2			2

国際文化学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
基幹演習Ⅰ	1	1			
基幹演習Ⅱ	1	1			
専門演習Ⅰ	1	1			

専門演習Ⅱ	1	1	
卒業論文演習Ⅰ	2	2	
卒業論文演習Ⅱ	2	2	
比較文化論 (地域研究)	2	2	
東アジア			
東アジア地域研究1 (中国の現代政治)	2		2
東アジア地域研究2 (中国の国際関係)	2		2
東アジア地域研究3 (中国の経済発展)	2		2
東アジア地域研究4 (中国の経済事情)	2		2
東アジア地域研究5 (朝鮮半島の近現代史)	2		2
東アジア地域研究6 (朝鮮半島の社会)	2		2
東アジア地域研究7 (東アジアの文化)	2		2
東アジア地域研究8 (東アジアの芸術)	2		2
東南アジア			
東南アジア地域研究1 (東南アジアの現代政治)	2		2
東南アジア地域研究2 (東南アジアの国際関係)	2		2
東南アジア地域研究3 (東南アジアの経済発展)	2		2
東南アジア地域研究4 (東南アジアの経済事情)	2		2

東南アジア地域研究5 (東南アジアの近現代史)	2		2
東南アジア地域研究6 (東南アジアの社会)	2		2
東南アジア地域研究7 (東南アジアの文化)	2		2
東南アジア地域研究8 (東南アジアの環境問題)	2		2
南アジア			
南アジア地域研究1 (南アジアの現代政治)	2		2
南アジア地域研究2 (南アジアの国際関係)	2		2
南アジア地域研究3 (インドの経済発展)	2		2
南アジア地域研究4 (南アジアの経済事情)	2		2
南アジア地域研究5 (南アジアの近現代史)	2		2
南アジア地域研究6 (南アジアの社会)	2		2
南アジア地域研究7 (南アジアの文化)	2		2
南アジア地域研究8 (南アジアの芸術)	2		2
西アジア			
西アジア地域研究1 (西アジアの現代政治)	2		2
西アジア地域研究2 (西アジアの国際関係)	2		2
西アジア地域研究3	2		2

(西アジアの経済発展)			
西アジア地域研究4	2		2
(西アジアの経済事情)			
西アジア地域研究5	2		2
(西アジアの近現代史)			
西アジア地域研究6	2		2
(西アジアの社会)			
西アジア地域研究7	2		2
(西アジアの文化史)			
西アジア地域研究8	2		2
(西アジア・イスラム国家 の歴史)			
(言語文化講座)			
中国語1	2	2	
中国語2	2	2	
中国語3	2	2	
中国語4	2	2	
中国語5	2	2	
中国語6	2	2	
中国語7	2		2
中国語8	2		2
中国語9	2		2
中国語10	2		2
現地研修	6		6
コリア語1	2	2	
コリア語2	2	2	
コリア語3	2	2	
コリア語4	2	2	
コリア語5	2	2	
コリア語6	2	2	
コリア語7	2		2

코리아語8	2		2
코리아語9	2		2
코리아語10	2		2
現地研修	6		6
インドネシア語1	2	2	
インドネシア語2	2	2	
インドネシア語3	2	2	
インドネシア語4	2	2	
インドネシア語5	2	2	
インドネシア語6	2	2	
インドネシア語7	2		2
インドネシア語8	2		2
インドネシア語9	2		2
インドネシア語10	2		2
現地研修	6		6
タイ語1	2	2	
タイ語2	2	2	
タイ語3	2	2	
タイ語4	2	2	
タイ語5	2	2	
タイ語6	2	2	
タイ語7	2		2
タイ語8	2		2
タイ語9	2		2
タイ語10	2		2
現地研修	6		6
ベトナム語1	2	2	
ベトナム語2	2	2	
ベトナム語3	2	2	
ベトナム語4	2	2	
ベトナム語5	2	2	

ベトナム語6	2	2	
ベトナム語7	2		2
ベトナム語8	2		2
ベトナム語9	2		2
ベトナム語10	2		2
現地研修	6		6
ヒンディー語1	2	2	
ヒンディー語2	2	2	
ヒンディー語3	2	2	
ヒンディー語4	2	2	
ヒンディー語5	2	2	
ヒンディー語6	2	2	
ヒンディー語7	2		2
ヒンディー語8	2		2
ヒンディー語9	2		2
ヒンディー語10	2		2
現地研修	6		6
アラビア語1	2	2	
アラビア語2	2	2	
アラビア語3	2	2	
アラビア語4	2	2	
アラビア語5	2	2	
アラビア語6	2	2	
アラビア語7	2		2
アラビア語8	2		2
アラビア語9	2		2
アラビア語10	2		2
現地研修	6		6
英語1	2	2	
英語2	2	2	
英語3	2	2	

英語4	2	2	
英語5	2	2	
英語6	2	2	
英語7	2		2
英語8	2		2
英語9	2		2
英語10	2		2
現地研修 (言語文化講座上級)	6		6
中国語 I	2		2
中国語 II	2		2
コリア語 I	2		2
コリア語 II	2		2
インドネシア語 I	2		2
インドネシア語 II	2		2
タイ語 I	2		2
タイ語 II	2		2
ベトナム語 I	2		2
ベトナム語 II	2		2
ヒンディー語 I	2		2
ヒンディー語 II	2		2
アラビア語 I	2		2
アラビア語 II	2		2
英語 I	2		2
英語 II (言語文化特殊講義)	2		2
言語文化特殊講義1	2		2
言語文化特殊講義2	2		2
言語文化特殊講義3	2		2
言語文化特殊講義4	2		2
言語文化特殊講義5	2		2

言語文化特殊講義6	2			2
言語文化特殊講義7	2			2
言語文化特殊講義8	2			2
言語文化特殊講義9	2			2
言語文化特殊講義10	2			2
(クラスター)				
国際協力・多文化共生				
多文化共生論A	2			2
多文化共生論B	2			2
国際協力・ボランティア入門	2			2
SDGs入門	2			2
マイノリティの文化論	2			2
法学概論A	2			2
法学概論B	2			2
開発経済学A	2			2
開発経済学B	2			2
農業食料問題A	2			2
農業食料問題B	2			2
ナショナリズムと国家	2			2
紛争論	2			2
比較法A	2			2
比較法B	2			2
国際政治学A	2			2
国際政治学B	2			2
国際社会学	2			2
地域福祉論	2			2
国際協力・多文化共生ワークショップ	2			2
国際協力・多文化共生フィールドワーク	2			2

国際協力・多文化共生特殊 講義1 (問題解決学入門)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義2 (NGO活動論)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義3 (難民問題)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義4 (安全保障論)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義5	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義6 (DACIX I)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義7 (DACIX II)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義8 (DACIX III)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義9 (DACIX IV)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義10 (DACIX V)	2			2
国際協力・多文化共生特殊 講義11	2			2

(DACIX VI)			
国際協力・多文化共生特殊 講義12	2		2
(DACIX VII)			
国際協力・多文化共生特殊 講義13	2		2
(DACIX VIII)			
国際協力・多文化共生特殊 講義14	2		2
(DACIX IX)			
国際協力・多文化共生特殊 講義15	2		2
(DACIX X)			
国際ビジネス			
経済学基礎A (ミクロ)	2		2
経済学基礎B (マクロ)	2		2
経営学基礎	2		2
国際経済論A	2		2
国際経済論B	2		2
国際マーケティング論A	2		2
国際マーケティング論B	2		2
資源環境論A	2		2
資源環境論B	2		2
食品産業論	2		2
海外経営事情	2		2
インターンシップ・イン・ アジア	6		6
企業と雇用A	2		2
企業と雇用B	2		2
国際ビジネス特殊講義1	2		2
(インターンシップ準備講			

座)			
国際ビジネス特殊講義2 (SPI対策講座)	2		2
国際ビジネス特殊講義3 (旅行産業論)	2		2
国際ビジネス特殊講義4 (ホスピタリティ論)	2		2
国際ビジネス特殊講義5 異文化理解	2		2
宗教文化論1 (東アジア)	2		2
宗教文化論2 (東南アジア)	2		2
宗教文化論3 (南アジア)	2		2
宗教文化論4 (西アジア)	2		2
シルクロード文化論	2		2
比較文化史	2		2
アジアの舞踊と身体文化A	2		2
アジアの舞踊と身体文化B	2		2
イスラム社会論	2		2
オセアニアの文化	2		2
オセアニアの社会	2		2
アジア伝統芸能論A	2		2
アジア伝統芸能論B	2		2
アジア食文化論	2		2
アジア服飾文化論	2		2
アジアのポップカルチャー	2		2
アジアのジェンダー	2		2
比較芸術論	2		2
クール・ジャパノロジー	2		2
文化遺産論A	2		2
文化遺産論B	2		2

異文化理解特殊講義1 (世界遺産講座Ⅰ)	2			2
異文化理解特殊講義2 (世界遺産講座Ⅱ)	2			2
異文化理解特殊講義3 (ガムラン合奏Ⅰ)	2			2
異文化理解特殊講義4 (ガムラン合奏Ⅱ)	2			2
異文化理解特殊講義5	2			2

(3) 全学共通科目 (両学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	
宗教学B	2			2	
歴史学A	2			2	
歴史学B	2			2	
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
芸術学A	2			2	

芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2
民俗学B	2		2
文化人類学A	2		2
文化人類学B	2		2
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2		2
数学B	2		2
地学A	2		2
地学B	2		2
生物学A	2		2
生物学B	2		2
生態学A	2		2
生態学B	2		2

現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1			1
総合体育B	1			1
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考	2			2

えるB					
第4群					
現代社会の諸問題A	2			2	
現代社会の諸問題B	2			2	
第5群					
異文化・世界にふれるA	2			2	
異文化・世界にふれるB	2			2	
第6群					
自己・人間をみつめるA	2			2	
自己・人間をみつめるB	2			2	
第7群					
キャリアデザインA	2			2	
キャリアデザインB	2			2	
第8群					
インターンシップA	2			2	
インターンシップB	2			2	
第9群					
全学共通特殊講義A	2			2	
全学共通特殊講義B	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、20単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、20単位を上限として選択単位とする。
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等（全学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
------	----	------	--------	------	------

(活動コース)			
フィールドワークA	2		2
フィールドワークB	2		2
(内容コース)			
日本の政治・経済・社会A	2		2
日本の文化・芸術A	2		2
日本の歴史A	2		2
現代日本の諸相A	2		2
日本の政治・経済・社会B	2		2
日本の文化・芸術B	2		2
日本の歴史B	2		2
現代日本の諸相B	2		2
(言語コース(発展))			
理解とコミュニケーション A	1		1
理解とコミュニケーション B	1		1
資料・文献読解A	1		1
資料・文献読解B	1		1
日本語文章表現A	1		1
日本語文章表現B	1		1
(言語コース(集中基礎))			
集中日本語基礎演習1A1	1		1
集中日本語基礎演習1A2	1		1
集中日本語基礎演習1A3	1		1
集中日本語基礎演習1A4	1		1
集中日本語基礎演習1A5	1		1
集中日本語基礎演習1A6	1		1
集中日本語基礎演習1A7	1		1
集中日本語基礎演習1A8	1		1

集中日本語基礎演習2A1	1			1
集中日本語基礎演習2A2	1			1
集中日本語基礎演習2A3	1			1
集中日本語基礎演習2A4	1			1
集中日本語基礎演習2A5	1			1
集中日本語基礎演習2A6	1			1
集中日本語基礎演習2A7	1			1
集中日本語基礎演習2A8	1			1
集中日本語基礎演習3A1	1			1
集中日本語基礎演習3A2	1			1
集中日本語基礎演習3A3	1			1
集中日本語基礎演習3A4	1			1
集中日本語基礎演習3A5	1			1
集中日本語基礎演習3A6	1			1
集中日本語基礎演習3A7	1			1
集中日本語基礎演習3A8	1			1
集中日本語基礎演習1B1	1			1
集中日本語基礎演習1B2	1			1
集中日本語基礎演習1B3	1			1
集中日本語基礎演習1B4	1			1
集中日本語基礎演習1B5	1			1
集中日本語基礎演習1B6	1			1
集中日本語基礎演習1B7	1			1
集中日本語基礎演習1B8	1			1
集中日本語基礎演習2B1	1			1
集中日本語基礎演習2B2	1			1
集中日本語基礎演習2B3	1			1
集中日本語基礎演習2B4	1			1
集中日本語基礎演習2B5	1			1
集中日本語基礎演習2B6	1			1
集中日本語基礎演習2B7	1			1

集中日本語基礎演習2B8	1			1
集中日本語基礎演習3B1	1			1
集中日本語基礎演習3B2	1			1
集中日本語基礎演習3B3	1			1
集中日本語基礎演習3B4	1			1
集中日本語基礎演習3B5	1			1
集中日本語基礎演習3B6	1			1
集中日本語基礎演習3B7	1			1
集中日本語基礎演習3B8	1			1

(5) 削除

(6) 司書課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目 (両学科共通)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
民俗学A	2			2	
民俗学B	2			2	
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
理科1 (地学)	2				2
理科2 (生物)	2				2
理科3 (化学)	2				2
理科4 (物理)	2				2

(9) 副専攻科目等 (両学科共通)

イ スポーツ科学系副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
------	----	------	------------	------	------

			位		
スポーツ科学入門	2			2	
スポーツの指導	2			2	
スポーツ選手の医学	2			2	
スポーツ選手の生理	2			2	
スポーツ選手の心理	2			2	
スポーツマネジメント論	2			2	
トレーニング理論と実践	2			2	
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2	

ロ 留学（英語）副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) Basic Skills (Reading,Listening,Writing,Speaking)	1			1	
(中級) Reading and Writing I	1			1	
Reading and Writing II	1			1	
Communication and Discussion I	1			1	
Communication and Discussion II	1			1	
(上級) Academic Writing	1			1	
Discussion and Presentation	1			1	

2. 教養系科目					
グローバル教養系					
グローバルスタディ1		2			2
グローバルスタディ2		2			2
グローバルスタディ3		2			2
グローバルスタディ4		2			2
グローバルスタディ5		2			2
グローバルスタディ6		2			2
グローバルスタディ7		2			2
グローバルスタディ8		2			2
海外留学系					

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

（履修方法、進級要件及び卒業要件）

第23条の18 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目（両学科共通）

必修科目 4単位

(2) 専門教育科目（両学科共通）

必修科目 10単位

選択必修科目 次に定める単位 70単位以上

A) 地域研究科目

- ① 4地域の地域研究科目から10科目20単位以上を修得しなければならない。
- ② 言語文化講座科目7～10を履修しない者は、①に加えて4地域の地域研究科目から4科目8単位を修得しなければならない。
- ③ 地域研究科目について所定の単位以上を修得した場合は、その超える単位は、専門教育科目の選択科目の単位に振り替えることができる。

B) 言語文化講座科目

- ① 言語文化講座科目から1言語を選択し、1～6の6科目12単位を修得しなければ

ばならない。

- ② 外国人留学生は、外国人留学生に関する日本語科目等から12単位を修得することにより、言語文化講座科目の要件単位に振り替えることができる。
- ③ 言語文化講座科目7～10を履修する者は、4科目8単位のすべてを修得しなければならない。
- ④ 言語文化講座科目7～10を履修しない者は、4地域の地域研究科目から4科目8単位を修得しなければならない。
- ⑤ 言語文化講座科目7～10を履修しない者は、現地研修を履修することができない。ただし、当該科目の単位を認定された者はこの限りではない。
- ⑥ 言語文化講座の1科目を1～10まで修得したものは、所定の審査に合格した場合に限り、二つ目の言語科目（アジア地域言語に限る）を履修することができる。当該科目の修得単位は、専門教育科目の選択科目の単位に振り替えることができる。

C) 言語文化講座上級、言語文化特殊講義及び3クラスター科目

- ① 言語文化講座上級、言語文化特殊講義及び3クラスター科目から15科目30単位以上を修得しなければならない。

(3) 全学共通科目（両学科共通）

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等（両学科共通）

外国人留学生は外国人留学生に関する日本語科目等の（内容コース）（言語コース（発展））の中から12単位を履修することにより、言語文化講座の要件単位に振り替えることができる。

(5) 削除

(6) 司書課程関連科目（両学科共通）

第23条の9第1項第6号の定めに準ずる。

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目（両学科共通）

第23条の9第1項第8号の定めに準ずる。

(9) 副専攻科目等（両学科共通）

イ スポーツ科学系副専攻

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会

認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻

① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。

② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に現地研修（英語圏に限る）及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

2 1年間の履修単位数の上限は、第1項第6号、第7号及び第8号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 2年次終了の時点において、卒業要件単位32単位を修得できない者は、3年次に進級することができない。

4 国際関係学科及び国際文化学科ともに、前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。

第7節 経営学部

（授業科目の区分等）

第23条の19 経営学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 教職課程関連科目
- (6) 司書・司書教諭課程関連科目
- (7) 削除
- (8) 学芸員課程関連科目
- (9) 副専攻科目等

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入

し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。

4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に相当する。

5 第1項第2号に定める専門教育科目は、教育の目的に応じ、各授業科目について選択科目の履修条件を変えることにより、経営学科に次のコースを設けるものとする。

(1) 経営学科 経営コース、会計コース、マーケティングコース、知識情報コース

(授業科目の開設等)

第23条の20 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目

経営学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基礎演習	4	4			
情報リテラシA	2	2			
情報リテラシB	2	2			
英語A	1		1		
英語B	1		1		
中国語A	1		1		
中国語B	1		1		
ドイツ語A	1		1		
ドイツ語B	1		1		
フランス語A	1		1		
フランス語B	1		1		
英語会話講座A	2				2
英語会話講座B	2				2
中国語会話講座A	2				2
中国語会話講座B	2				2
英語総合講座A	2				2
英語総合講座B	2				2
英語総合講座C	2				2

英語総合講座D	2		2
英語総合講座E	2		2
英語総合講座F	2		2
英語コミュニケーション講座A	2		2
英語コミュニケーション講座B	2		2
英語コミュニケーション強化講座A	2		2
英語コミュニケーション強化講座B	2		2
中国語総合講座A	2		2
中国語総合講座B	2		2
英語特別講座A	2		2
英語特別講座B	2		2
英語特別講座C	2		2
英語特別講座D	2		2
グローバルスタディA	2		2
グローバルスタディB	2		2
中国語特別講座A	2		2
中国語特別講座B	2		2

(2) 専門教育科目

経営学科

(経営コース、会計コース、マーケティングコース、知識情報コース)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
経営学総論A	2	2			
経営学総論B	2	2			
会計学総論A	2	2			
会計学総論B	2	2			
マーケティング総論A	2	2			

マーケティング総論B	2	2	
経営管理論A	2		2
経営管理論B	2		2
人的資源管理論A	2		2
人的資源管理論B	2		2
経営財務A	2		2
経営財務B	2		2
現代企業論A	2		2
現代企業論B	2		2
経営史A	2		2
経営史B	2		2
経営戦略A	2		2
経営戦略B	2		2
経営組織A	2		2
経営組織B	2		2
国際経営A	2		2
国際経営B	2		2
組織行動	2		2
リーダーシップ論	2		2
生産管理A	2		2
生産管理B	2		2
ファイナンスA	2		2
ファイナンスB	2		2
簿記原理 I	2		2
簿記原理 II	2		2
財務諸表論A	2		2
財務諸表論B	2		2
工業簿記・原価計算A	2		2
工業簿記・原価計算B	2		2
上級商業簿記A	2		2
上級商業簿記B	2		2

管理会計A	2	2
管理会計B	2	2
財務会計A	2	2
財務会計B	2	2
税法・税務会計A	2	2
税法・税務会計B	2	2
経営分析・会計情報A	2	2
経営分析・会計情報B	2	2
会計監査A	2	2
会計監査B	2	2
国際会計A	2	2
国際会計B	2	2
ナレッジマネジメント方法 論A	2	2
ナレッジマネジメント方法 論B	2	2
ITプロジェクトマネジメン トA	2	2
ITプロジェクトマネジメン トB	2	2
経営科学A	2	2
経営科学B	2	2
プログラミングA	2	2
プログラミングB	2	2
戦略情報意思決定論A	2	2
戦略情報意思決定論B	2	2
情報セキュリティマネジメ ントA	2	2
情報セキュリティマネジメ ントB	2	2
ビッグデータマネジメント	2	2

A			
ビッグデータマネジメント	2		2
B			
経営情報システム設計A	2		2
経営情報システム設計B	2		2
情報ネットワークA	2		2
情報ネットワークB	2		2
経営工学A	2		2
経営工学B	2		2
市場調査A	2		2
市場調査B	2		2
消費者行動A	2		2
消費者行動B	2		2
広告論A	2		2
広告論B	2		2
ロジスティクスA	2		2
ロジスティクスB	2		2
貿易実務A	2		2
貿易実務B	2		2
マーケティングマネジメントA	2		2
マーケティングマネジメントB	2		2
商品学（製品計画）A	2		2
商品学（製品計画）B	2		2
国際マーケティングA	2		2
国際マーケティングB	2		2
サービスマーケティングA	2		2
サービスマーケティングB	2		2
小売マーケティングA	2		2
小売マーケティングB	2		2

経営学演習	4	4	
専門演習 I	4	4	
専門演習 II	4	4	
情報化社会論	2		2
問題解決法A	2		2
問題解決法B	2		2
民法A	2		2
民法B	2		2
現代経済学A	2		2
現代経済学B	2		2
国内インターンシップ講座	2		2
国内インターンシップ実習	2		2
海外インターンシップ講座	2		2
海外インターンシップ実習	2		2
海外インターンシップ・コ ミュニケーション講義	2		2
海外インターンシップ・コ ミュニケーション演習	2		2
ベンチャービジネスA	2		2
ベンチャービジネスB	2		2
商法A	2		2
商法B	2		2
経営統計A	2		2
経営統計B	2		2
交通・公益企業A	2		2
交通・公益企業B	2		2
金融論A	2		2
金融論B	2		2
企業家論A	2		2
企業家論B	2		2
財政学A	2		2

財政学B	2		2
マルチメディア表現A	2		2
マルチメディア表現B	2		2
データ解析とレポート作成	2		2
データ活用の経営	2		2
産業・組織心理学A	2		2
産業・組織心理学B	2		2
キャリア開発	2		2
企業と経営者A	2		2
企業と経営者B	2		2
ベンチャービジネス実践講座	2		2
保険論A	2		2
保険論B	2		2
証券市場論A	2		2
証券市場論B	2		2
国際法A	2		2
国際法B	2		2
行政法A	2		2
行政法B	2		2
ビジネス実務英語A	2		2
ビジネス実務英語B	2		2
外国書購読	4		4
経営学特殊講義A	2		2
経営学特殊講義B	2		2
経営学特殊講義C	2		2
経営学特殊講義D	2		2
経営学特殊講義E	2		2
経営学特殊講義F	2		2
経営学特殊講義G	2		2
経営学特殊講義H	2		2

経営学特殊講義I	2			2	
経営学特殊講義J	2			2	
経営学特殊講義K	2			2	
経営学特殊講義L	2			2	
経営学特殊講義M	2			2	
経営学特殊講義N	2			2	
経営学特殊講義O	2			2	
経営学特殊講義P	2			2	
教科教育法（商業）A	2				2
教科教育法（商業）B	2				2
職業指導	2				2

(3) 全学共通科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	
宗教学B	2			2	
歴史学A	2			2	
歴史学B	2			2	
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
文化史A	2			2	

文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2
民俗学B	2		2
文化人類学A	2		2
文化人類学B	2		2
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2		2
数学B	2		2
地学A	2		2
地学B	2		2
生物学A	2		2
生物学B	2		2

生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1			1
総合体育B	1			1
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考	2			2

えるA				
人権・民主主義・平和を考 えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2
第9群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2
3. 発展科目				
日本史概論A	2			2
日本史概論B	2			2
西洋史概論	2			2
東洋史概論	2			2
日本の人文地理	2			2
世界の人文地理	2			2
日本の自然地理	2			2
世界の自然地理	2			2
日本地誌概論	2			2

世界地誌概論	2			2
日本国憲法	2			2
法学概論	2			2
情報処理	2			2
哲学概論A	2			2
哲学概論B	2			2
倫理学概論A	2			2
倫理学概論B	2			2
心理学概論	2			2
社会病理	2			2
4. 単位互換科目				
5. 「他学部・他学科開放」科目				

摘要

① 単位互換は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、10単位を上限として選択単位とする。

② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、20単位を上限として選択単位とする。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	2			2	
フィールドワークB	2			2	
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	

日本の文化・芸術B	2		2
日本の歴史B	2		2
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2		2
理解とコミュニケーション A	1	1	
理解とコミュニケーション B	1	1	
資料・文献読解A	1	1	
資料・文献読解B	1	1	
日本語文章表現A	1	1	
日本語文章表現B (言語コース(集中基礎))	1	1	
集中日本語基礎演習1A1	1		1
集中日本語基礎演習1A2	1		1
集中日本語基礎演習1A3	1		1
集中日本語基礎演習1A4	1		1
集中日本語基礎演習1A5	1		1
集中日本語基礎演習1A6	1		1
集中日本語基礎演習1A7	1		1
集中日本語基礎演習1A8	1		1
集中日本語基礎演習2A1	1		1
集中日本語基礎演習2A2	1		1
集中日本語基礎演習2A3	1		1
集中日本語基礎演習2A4	1		1
集中日本語基礎演習2A5	1		1
集中日本語基礎演習2A6	1		1
集中日本語基礎演習2A7	1		1
集中日本語基礎演習2A8	1		1
集中日本語基礎演習3A1	1		1

集中日本語基礎演習3A2	1		1
集中日本語基礎演習3A3	1		1
集中日本語基礎演習3A4	1		1
集中日本語基礎演習3A5	1		1
集中日本語基礎演習3A6	1		1
集中日本語基礎演習3A7	1		1
集中日本語基礎演習3A8	1		1
集中日本語基礎演習1B1	1		1
集中日本語基礎演習1B2	1		1
集中日本語基礎演習1B3	1		1
集中日本語基礎演習1B4	1		1
集中日本語基礎演習1B5	1		1
集中日本語基礎演習1B6	1		1
集中日本語基礎演習1B7	1		1
集中日本語基礎演習1B8	1		1
集中日本語基礎演習2B1	1		1
集中日本語基礎演習2B2	1		1
集中日本語基礎演習2B3	1		1
集中日本語基礎演習2B4	1		1
集中日本語基礎演習2B5	1		1
集中日本語基礎演習2B6	1		1
集中日本語基礎演習2B7	1		1
集中日本語基礎演習2B8	1		1
集中日本語基礎演習3B1	1		1
集中日本語基礎演習3B2	1		1
集中日本語基礎演習3B3	1		1
集中日本語基礎演習3B4	1		1
集中日本語基礎演習3B5	1		1
集中日本語基礎演習3B6	1		1
集中日本語基礎演習3B7	1		1
集中日本語基礎演習3B8	1		1

(5) 教職課程関連科目

経営学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育社会学	2				2
教育法・行政	2				2
教育心理学概論	2				2
特別支援教育（介護等体験 の指導を含む。）	2				2
教育課程論	1				1
道徳教育論	2				2
特別活動論・総合的な学習 の理論と指導法	2				2
教育方法論（中高）	2				2
情報通信技術活用論	1				1
生徒指導論（進路指導を含 む。）	2				2
教育相談（カウンセリング を含む。）	2				2
教育実習1	1				1
教育実習2（高校）	2				2
教育実習A	1				1
教育実習B	2				2
教育実習C	2				2
教育実習D	3				3
教職実践演習（中高）	2				2
教育史1	2				2
教育史2	2				2

平和と教育	2				2
ダイバーシティと教育	2				2
教職特別演習1	2				2
教職特別演習2	2				2
教職特別演習3	2				2
学校安全論	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
学校図書館メディアの構成	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2
図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2
学校経営と学校図書館	2				2
学習指導と学校図書館	2				2

読書と豊かな人間性	2				2
情報メディアの活用	2				2

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2
博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
民俗学A	2			2	
民俗学B	2			2	
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
理科1 (地学)	2				2
理科2 (生物)	2				2
理科3 (化学)	2				2
理科4 (物理)	2				2

(9) 副専攻科目等 (経営学科)

イ スポーツ科学系副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
スポーツ科学入門	2			2	
スポーツの指導	2			2	
スポーツ選手の医学	2			2	
スポーツ選手の生理	2			2	
スポーツ選手の心理	2			2	
スポーツマネジメント論	2			2	
トレーニング理論と実践	2			2	
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2	
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2	

ロ 留学 (英語) 副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) Basic Skills (Reading, Listening, Writing, Speaking)	1			1	
(中級) Reading and Writing I	1			1	
Reading and Writing II	1			1	
Communication and Discussion I	1			1	
Communication and Discussion II	1			1	
(上級)					

Academic Writing	1			1
Discussion and Presentation	1			1
2. 教養系科目				
グローバル教養系				
グローバルスタディ1	2			2
グローバルスタディ2	2			2
グローバルスタディ3	2			2
グローバルスタディ4	2			2
グローバルスタディ5	2			2
グローバルスタディ6	2			2
グローバルスタディ7	2			2
グローバルスタディ8	2			2
海外留学系				

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

（履修方法、進級要件及び卒業要件）

第23条の21 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

経営学科（経営コース・会計コース・マーケティングコース・知識情報コース共通）

必修科目 8単位

選択必修科目 1言語2単位以上

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(2) 専門教育科目

各学科に定める単位を含め84単位以上を修得しなければならない。

経営学科（コース共通）

必修科目 12単位

選択必修科目

- ① 経営コース履修者は、「経営財務A」・「経営財務B」・「経営史A」・「経営史B」・「経営組織A」・「経営組織B」・「生産管理A」・「生産管理B」・「人的資源管理論A」・「人的資源管理論B」・「ファイナンスA」・「ファイナンスB」・「経営戦略A」・「経営戦略B」・「経営管理論A」・「経営管理論B」・「現代企業論A」・「現代企業論B」・「国際経営A」・「国際経営B」・「組織行動」・「リーダーシップ論」の科目から10科目・20単位を含め36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、3、4年次同一教員連年履修とし、担当教員の承認を得なければならない。
- ② 会計コース履修者は、「簿記原理Ⅰ」・「簿記原理Ⅱ」・「財務諸表論A」・「財務諸表論B」・「工業簿記・原価計算A」・「工業簿記・原価計算B」・「上級商業簿記A」・「上級商業簿記B」・「管理会計A」・「管理会計B」・「財務会計A」・「財務会計B」・「税法・税務会計A」・「税法・税務会計B」・「経営分析・会計情報A」・「経営分析・会計情報B」・「会計監査A」・「会計監査B」・「国際会計A」・「国際会計B」の科目から10科目・20単位を含め36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、3、4年次同一教員連年履修とし、担当教員の承認を得なければならない。
- ③ 知識情報コース履修者は、「ナレッジマネジメント方法論A」・「ナレッジマネジメント方法論B」・「ITプロジェクトマネジメントA」・「ITプロジェクトマネジメントB」・「経営科学A」・「経営科学B」・「プログラミングA」・「プログラミングB」・「戦略情報意思決定論A」・「戦略情報意思決定論B」・「情報セキュリティマネジメントA」・「情報セキュリティマネジメントB」・「ビッグデータマネジメントA」・「ビッグデータマネジメントB」・「経営情報システム設計A」・「経営情報システム設計B」・「情報ネットワークA」・「情報ネットワークB」・「経営工学A」・「経営工学B」の科目から10科目・20単位を含め36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、3、4年次同一教員連年履修とし、担当教員の承認を得なければならない。
- ④ マーケティングコース履修者は、「市場調査A」・「市場調査B」・「消費者行動A」・「消費者行動B」・「広告論A」・「広告論B」・「ロジスティクスA」・「ロジスティクスB」・「貿易実務A」・「貿易実務B」・「マーケティングマネジメントA」・「マーケティングマネジメントB」・「商品学（製品計画）A」・「商品学（製品計画）B」・「国際マーケティングA」・「国際マーケティングB」の科目から10科目・20単位を含め36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、3、4年次同一教員連年履修とし、担当教員の承認を得なければならない。

ングB」・「サービスマーケティングA」・「サービスマーケティングB」・「小売マーケティングA」・「小売マーケティングB」の科目から10科目・20単位を含め36単位以上。ただし、専門演習Ⅰ・Ⅱの履修は、3、4年次同一教員連年履修とし、担当教員の承認を得なければならない。

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(3) 全学共通科目

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

① 外国人留学生及び学科で履修を認めた者以外は、本科目を履修することはできない。

② 履修方法は、次のとおりとする。

必修科目 6単位

選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(5) 教職課程関連科目

第23条の9第1項第5号の定めに準ずる。

(6) 司書・司書教諭課程関連科目

第23条の9第1項第6号の定めに準ずる。

(7) 削除

(8) 学芸員課程関連科目

第23条の9第1項第8号の定めに準ずる。

(9) 副専攻科目等（経営学科）

イ スポーツ科学系副専攻

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻

① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。

② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に各学科の英語研修及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

- 2 前条第2号に定める科目として開設する授業科目のうち、ローマ数字（Ⅰ・Ⅱ）で表示する授業科目については、Ⅰの科目の単位を修得しなければⅡの科目を履修することができない。
- 3 1年間の履修単位数の上限は、第1項第5号、第6号、第7号及び第8号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。
- 4 2年次終了の時点において、経営学科・企業システム学科は、基礎教育科目の必修科目8単位を含め40単位以上を修得できない者は、3年次に進級することができない。
- 5 前条第1号、第2号、第3号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号及び第9号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。ただし、外国人留学生については、前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号、第4号及び第9号に定める単位を含め、126単位以上を修得した者を卒業とする。

第8節 環境創造学部

(授業科目の区分等)

第23条の22 環境創造学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
 - (2) 専門教育科目
 - (3) 全学共通科目
 - (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
 - (5) 教職課程関連科目
 - (6) 司書・司書教諭課程関連科目
 - (7) 社会教育主事課程関連科目
 - (8) 学芸員課程関連科目
- 2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。
 - 3 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。
 - 4 第1項第2号に定める専門教育科目は、教育の目的に応じ、各授業科目について選択科目の履修条件を変えることにより、次の3コースを設けるものとする。

環境創造学科 都市環境コース、福祉環境コース、環境マネジメントコース

(授業科目の開設等)

第23条の23 開設する授業科目、単位数及び必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目（各コース共通）

区分	授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
環境創造 入門	環境創造学入門	2	2		
	環境創造入門ゼミ	4	4		
情報	情報活用能力	2	2		
	情報科学入門	2	2		
外国語	コミュニケーション英語1	2	2		
	コミュニケーション英語2	2	2		
	環境問題英語1	2	2		
	環境問題英語2	2	2		
	英検対策英語	2			2
	TOEIC対策英語	2			2
	ドイツ語初級1A	1			1
	ドイツ語初級1B	1			1
	ドイツ語初級2A	1			1
	ドイツ語初級2B	1			1
	フランス語初級1A	1			1
	フランス語初級1B	1			1
	フランス語初級2A	1			1
	フランス語初級2B	1			1
	中国語初級1A	1			1
	中国語初級1B	1			1
中国語初級2A	1			1	
中国語初級2B	1			1	
環境学入 門	環境学入門A	2			2
	環境学入門B	2			2

各コース 共通	都市環境 I	2	2		
	社会福祉論 I	2	2		
	環境科学 I	2	2		
社会科学 の基礎	社会調査 I	2		2	
	社会調査 II	2		2	
	ミクロ経済学 I	2		2	
	ミクロ経済学 II	2		2	
	マクロ経済学 I	2		2	
	マクロ経済学 II	2		2	
	基礎法学	2		2	
	法律学	2		2	
	憲法 I	2		2	
	憲法 II	2		2	
	環境政策と環境行政 I	2		2	
	環境政策と環境行政 II	2		2	
	公共経済学 I	2		2	
	公共経済学 II	2		2	
	消費者行動と環境問題	2		2	
	企業の環境マネジメント	2		2	
	社会科学の歴史 I	2		2	
	社会科学の歴史 II	2		2	
	近代日本経済史	2		2	
	現代日本経済史	2		2	
	パネルディスカッション	2		2	
	世界経済史	2		2	
	企業の社会的責任(CSR)	2		2	
	経営学入門	2		2	
	生涯設計 の基礎	民法 I	2		2
		民法 II	2		2
労働法		2		2	

	社会保障法	2	2
	くらしと税金	2	2
	くらしと金融Ⅰ	2	2
	くらしと金融Ⅱ	2	2
	企業経営の見方Ⅰ	2	2
	企業経営の見方Ⅱ	2	2
	健康・スポーツ・人生Ⅰ	2	2
	健康・スポーツ・人生Ⅱ	2	2
	キャリア形成と人生A	2	2
	キャリア形成と人生B	2	2
エコロジ	排出量取引と環境税	2	2
一の基礎	生態学Ⅰ	2	2
	生態学Ⅱ	2	2
	物質循環	2	2
	環境生物学	2	2
	農業と農村	2	2
	技術と環境	2	2
	エネルギー科学A	2	2
	エネルギー科学B	2	2
	日本の自然地理	2	2
	世界の自然地理	2	2
	環境倫理学Ⅰ	2	2
	環境倫理学Ⅱ	2	2

(2) 専門教育科目

区分	授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
コース毎	都市環境Ⅱ	2	2		
選択	社会福祉論Ⅱ	2	2		
	環境科学Ⅱ	2	2		
各コース	環境創造ゼミⅠ	4	4		
共通	環境創造ゼミⅡ	4	4		

	卒業研究	4	4	
都市環境	都市論Ⅰ	2		2
コース	都市論Ⅱ	2		2
	都市計画Ⅰ	2		2
	都市計画Ⅱ	2		2
	環境法Ⅰ	2		2
	環境法Ⅱ	2		2
	財政Ⅰ	2		2
	財政Ⅱ	2		2
	都市再開発	2		2
	土地・住宅問題Ⅰ	2		2
	土地・住宅問題Ⅱ	2		2
	公共事業・国土計画事業	2		2
	地方自治Ⅰ	2		2
	地方自治Ⅱ	2		2
	社会経済論Ⅰ	2		2
	社会経済論Ⅱ	2		2
	都市文化	2		2
	地域研究A（日本）	2		2
	地域研究B（海外）	2		2
	地域研究C（自然）	2		2
	まちづくり原論A	2		2
	まちづくり原論B	2		2
	不動産取引	2		2
	再開発・住宅関連ビジネス	2		2
	中小企業と地場経済Ⅰ	2		2
	中小企業と地場経済Ⅱ	2		2
福祉環境	福祉環境フィールドワークA	2		2
コース	福祉環境フィールドワークB	2		2
	福祉環境フィールドワークC	2		2

	福祉環境フィールドワークD	2	2
	福祉法と福祉行政 I	2	2
	福祉法と福祉行政 II	2	2
	リハビリテーション演習	2	2
	社会保険・民間保険事業 I	2	2
	社会保険・民間保険事業 II	2	2
	福祉住環境講座	2	2
	福祉環境各論A	2	2
	福祉環境各論B	2	2
	福祉環境各論C	2	2
	公的扶助	2	2
	福祉業務	2	2
	病院経営	2	2
	福祉教育	2	2
	福祉施設経営	2	2
	地域福祉	2	2
	人間生物学（体構造・疾病）	2	2
環境マネ	環境マネジメント概論	2	2
ジメント	環境経営 I	2	2
コース	環境経営 II	2	2
	環境経済学 I	2	2
	環境経済学 II	2	2
	環境会計	2	2
	環境科学各論I	2	2
	環境科学各論 II	2	2
	環境衛生	2	2
	公害問題	2	2
	廃棄物処理問題	2	2
	現代の消費者行動	2	2
	エコビジネス	2	2

	環境リスクマネジメント	2	2
	防災リスクマネジメント	2	2
	自然保護論	2	2
	ゼロ・エミッション	2	2
	環境教育A	2	2
	環境教育B	2	2
各コース	会計学Ⅰ	2	2
共通	会計学Ⅱ	2	2
	国際金融Ⅰ	2	2
	国際金融Ⅱ	2	2
	国際経済Ⅰ	2	2
	国際経済Ⅱ	2	2
	国際法Ⅰ	2	2
	国際法Ⅱ	2	2
	多文化社会Ⅰ	2	2
	多文化社会Ⅱ	2	2
	比較文化Ⅰ	2	2
	比較文化Ⅱ	2	2
	メディア論Ⅰ	2	2
	メディア論Ⅱ	2	2
	生態学実験・実習Ⅰ	2	2
	生態学実験・実習Ⅱ	2	2
	環境社会学Ⅰ	2	2
	環境社会学Ⅱ	2	2
	内外研修A	2	2
	内外研修B	2	2
	内外研修C	2	2
	内外研修D	2	2
	内外研修E	2	2
	NPOとNGO	2	2

移民政策 I	2	2
移民政策 II	2	2
情報システム論	2	2
情報処理	2	2
情報と経済・情報と社会	2	2
TOEIC英語A	2	2
TOEIC英語B	2	2
インターンシップ	2	2
ボランティア	2	2
環境創造特殊講義A	2	2
環境創造特殊講義B	2	2
環境創造特殊講義C	2	2
環境創造特殊講義D	2	2
環境創造特殊講義E	2	2
外国書講読（英語） I	2	2
外国書講読（英語） II	2	2
外国書講読（ドイツ語） I	2	2
外国書講読（ドイツ語） II	2	2
外国書講読（フランス語） I	2	2
外国書講読（フランス語） II	2	2
環境創造学	2	2
海外英語研修A	2	2
海外英語研修B	2	2
企業研究	2	2

(3) 全学共通科目

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目				
A系 人間と文化（人文系）				
哲学A	2			2
哲学B	2			2

文学A	2		2
文学B	2		2
論理学A	2		2
論理学B	2		2
倫理学A	2		2
倫理学B	2		2
宗教学A	2		2
宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2

教育学A	2			2
教育学B	2			2
民俗学A	2			2
民俗学B	2			2
文化人類学A	2			2
文化人類学B	2			2
C系 自然と環境（自然系）				
数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1			1
総合体育B	1			1
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
2. 課題（テーマ）科目				

第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2
3. 教職課程専門科目				
日本史概論A	2			2
日本史概論B	2			2
西洋史概論	2			2
東洋史概論	2			2
日本の人文地理	2			2
世界の人文地理	2			2

日本の自然地理	2			2
世界の自然地理	2			2
日本地誌概論	2			2
世界地誌概論	2			2
日本国憲法	2			2
法学概論	2			2
情報処理	2			2
哲学概論A	2			2
哲学概論B	2			2
倫理学概論A	2			2
倫理学概論B	2			2
心理学概論	2			2
社会病理	2			2
4. 単位互換科目				
5. 「他学部・他学科開放」科目				

摘要

- ① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、4単位を上限として自由単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、10単位を上限として自由単位とする。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等（各コース共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)				
フィールドワークA	2			2
フィールドワークB	2			2
(内容コース)				
日本の政治・経済・社会A	2		2	
日本の文化・芸術A	2		2	
日本の歴史A	2		2	

現代日本の諸相A	2		2
日本の政治・経済・社会B	2		2
日本の文化・芸術B	2		2
日本の歴史B	2		2
現代日本の諸相B	2		2
(言語コース(発展))			
理解とコミュニケーションA	1	1	
理解とコミュニケーションB	1	1	
資料・文献読解A	1	1	
資料・文献読解B	1	1	
日本語文章表現A	1	1	
日本語文章表現B	1	1	
(言語コース(集中基礎))			
集中日本語基礎演習1A1	1		1
集中日本語基礎演習1A2	1		1
集中日本語基礎演習1A3	1		1
集中日本語基礎演習1A4	1		1
集中日本語基礎演習1A5	1		1
集中日本語基礎演習1A6	1		1
集中日本語基礎演習1A7	1		1
集中日本語基礎演習1A8	1		1
集中日本語基礎演習2A1	1		1
集中日本語基礎演習2A2	1		1
集中日本語基礎演習2A3	1		1
集中日本語基礎演習2A4	1		1
集中日本語基礎演習2A5	1		1
集中日本語基礎演習2A6	1		1
集中日本語基礎演習2A7	1		1
集中日本語基礎演習2A8	1		1
集中日本語基礎演習3A1	1		1
集中日本語基礎演習3A2	1		1

集中日本語基礎演習3A3	1		1
集中日本語基礎演習3A4	1		1
集中日本語基礎演習3A5	1		1
集中日本語基礎演習3A6	1		1
集中日本語基礎演習3A7	1		1
集中日本語基礎演習3A8	1		1
集中日本語基礎演習1B1	1		1
集中日本語基礎演習1B2	1		1
集中日本語基礎演習1B3	1		1
集中日本語基礎演習1B4	1		1
集中日本語基礎演習1B5	1		1
集中日本語基礎演習1B6	1		1
集中日本語基礎演習1B7	1		1
集中日本語基礎演習1B8	1		1
集中日本語基礎演習2B1	1		1
集中日本語基礎演習2B2	1		1
集中日本語基礎演習2B3	1		1
集中日本語基礎演習2B4	1		1
集中日本語基礎演習2B5	1		1
集中日本語基礎演習2B6	1		1
集中日本語基礎演習2B7	1		1
集中日本語基礎演習2B8	1		1
集中日本語基礎演習3B1	1		1
集中日本語基礎演習3B2	1		1
集中日本語基礎演習3B3	1		1
集中日本語基礎演習3B4	1		1
集中日本語基礎演習3B5	1		1
集中日本語基礎演習3B6	1		1
集中日本語基礎演習3B7	1		1
集中日本語基礎演習3B8	1		1

(5) 教職課程関連科目 (各コース共通)

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
教職科目				
教師論	2			2
教育学概論1（人間と教育）	2			2
教育史研究1	2			2
教育史研究2	2			2
教育と社会特別研究1	2			2
教育と社会特別研究2	2			2
教育心理学概論1（発達と教育1）	2			2
教育心理学概論2（発達と教育2）	2			2
教育と人間特別研究1	2			2
教育と人間特別研究2	2			2
特別支援教育	2			2
教育学概論2（社会と教育）	2			2
教育社会学	2			2
教育法・行政	2			2
社会教育特別研究1	2			2
社会教育特別研究2	2			2
学校論	2			2
教育課程論	2			2
学校教育特別研究1	2			2
学校教育特別研究2	2			2
教科教育法Ⅰ（社会）	4			4
教科教育法Ⅱ（社会）	4			4
教科教育法（公民）	4			4
道德教育の研究	2			2
特別活動の研究（中高）	2			2
教育方法論（中高・情報処理を含む。）	2			2
視聴覚教育（情報処理を含む。）	2			2
教育方法論特別研究	2			2

生活指導論（進路指導を含む。）	2		2
青年の理解と指導（進路指導を含む。）	2		2
教育相談	2		2
カウンセリング研究	2		2
教職実践演習（中高）	2		2
教育実習（中学）	5		5
教育実習（高校）	3		3
教育実習A	1		1
教育実習B	2		2
教育実習C	2		2
教育実習D	3		3
介護等体験の研究	2		2

(6) 司書・司書教諭課程関連科目（各コース共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
社会教育概論1	2			2
図書館概論	2			2
図書・図書館史	2			2
図書館情報資源概論	2			2
図書館情報資源特論	2			2
学校図書館メディアの構成	2			2
情報資源組織論	2			2
情報資源組織演習A	1			1
情報資源組織演習B	1			1
図書館サービス概論	2			2
図書館制度・経営論	2			2
図書館サービス特論	2			2
図書館情報技術論	2			2
情報サービス論	2			2
児童サービス論	2			2
情報サービス演習1	1			1

情報サービス演習2	1			1
コミュニケーション論B	2			2
学校経営と学校図書館	2			2
学習指導と学校図書館	2			2
読書と豊かな人間性	2			2
情報メディアの活用	2			2

(7) 社会教育主事課程関連科目 (各コース共通)

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
社会教育概論1	2			2
社会教育概論2	2			2
社会教育計画1	2			2
社会教育計画2	2			2
社会教育演習1	2			2
社会教育演習2	2			2
ジェンダー問題と社会教育	2			2
現代の家庭と社会教育	2			2
人権と教育	2			2
現代社会と社会教育	4			4
社会教育施設・活動	2			2
図書館概論	2			2
図書館サービス概論	2			2
視聴覚教育 (情報処理を含む。)	2			2
教育学概論1 (人間と教育)	2			2
教育学概論2 (社会と教育)	2			2
哲学A	2			2
哲学B	2			2
倫理学A	2			2
倫理学B	2			2
美術概論	2			2
音楽概論	2			2

(8) 学芸員課程関連科目 (各コース共通)

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2			2
博物館学概論2	2			2
博物館資料論	2			2
博物館資料保存論	2			2
博物館展示論	2			2
博物館教育論	2			2
社会教育概論1	2			2
社会教育概論2	2			2
博物館情報・メディア論	2			2
博物館実習1	1			1
博物館実習2	2			2
文化史A	2			2
文化史B	2			2
美術史1	2			2
美術史2	2			2
考古学A	2			2
考古学B	2			2
民俗学A	2			2
民俗学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
理科1（地学）	2			2
理科2（生物）	2			2
理科3（化学）	2			2
理科4（物理）	2			2

（履修方法、進級要件及び卒業要件）

第23条の24 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

- ① 必修科目 環境創造入門6単位、情報4単位、外国語8単位、コース選択用科目

(都市環境Ⅰ、社会福祉論Ⅰ、環境科学Ⅰ) 6単位の計24単位

② 自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

③ 選択科目 (各コース共通)

各系列に定める単位を含め30単位以上を修得しなければならない。

1. 「社会科学の基礎」は8科目16単位以上

2. 「生涯設計の基礎」は4科目8単位以上

3. 「エコロジーの基礎」は3科目6単位以上

(2) 専門教育科目

共通必修科目4科目14単位及び各コースに定める単位を含め計46単位以上を修得しなければならない。なお、他コースの設置科目及びコース共通科目は、選択科目として単位認定する。

① 都市環境コース

選択科目 12単位以上

② 福祉環境コース

選択科目 12単位以上

③ 環境マネジメントコース

選択科目 12単位以上

(3) 全学共通科目

自由科目 12単位以上

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等(全学共通)

① 外国人留学生及び学科で履修を認めた者以外は、本科目を履修することができない。

② 履修方法は、次のとおりとする。

必修科目 6単位

選択科目 1科目2単位

自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(5) 教職課程関連科目(各コース共通)

第23条の9第1項第5号の定めに準ずる。

(6) 司書・司書教諭課程関連科目(各コース共通)

第23条の9第1項第6号の定めに準ずる。

(7) 社会教育主事課程関連科目(各コース共通)

第23条の9第1項第7号の定めに準ずる。

(8) 学芸員課程関連科目（各コース共通）

第23条の9第1項第8号の定めに準ずる。

- 2 1年間の履修単位数の上限は、第1項第5号、第6号、第7号及び第8号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては49単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。
- 3 2年次終了の時点において、基礎教育科目および専門教育科目の必修科目30単位ならびに選択科目4単位の計34単位を修得できない者は、3年次に進級することができない。
- 4 前条第1号、第2号及び第3号に定める科目について、第1項第1号、第2号及び第3号に定める単位を含め、126単位以上を修得した者を卒業とする。ただし、外国人留学生については、前条第1号、第2号、第3号及び第4号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号及び第4号に定める単位を含め、126単位以上を修得した者を卒業とする。

第9節 スポーツ・健康科学部

(授業科目の区分等)

第23条の25 スポーツ・健康科学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目（スポーツ科学科・健康科学科）
- (2) 総合基礎科目（看護学科）
- (3) 専門教育科目（スポーツ科学科・健康科学科）
- (4) 専門基礎科目（看護学科）
- (5) 専門科目（看護学科）
- (6) 全学共通科目（スポーツ科学科・健康科学科）
- (7) 外国人留学生に関する日本語科目等（スポーツ科学科・健康科学科）
- (8) 教職課程関連科目（スポーツ科学科・健康科学科）
- (9) 削除
- (10) 健康運動指導士に関する科目（スポーツ科学科）
- (11) パラスポーツ指導員に関する科目（スポーツ科学科）
- (12) 臨床検査技師に関する科目（健康科学科）
- (13) 食品衛生管理者・食品衛生監視員に関する科目（健康科学科）

- (14) 第二種作業環境測定士に関する科目（健康科学科）
- (15) 副専攻科目等（健康科学科）
- (16) 健康運動実践指導者に関する科目（健康科学科）
- (17) 保健師に関する科目（看護学科）
- (18) トレーナー系資格に関する科目（スポーツ科学科）
- (19) 教員養成に関する科目（スポーツ科学科）

2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に担当して編成する。

3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。

4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に担当する。

（授業科目の開設等）

第23条の26 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目（スポーツ科学科・健康科学科）

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
英語A	1	1			
英語B	1	1			
フレッシュマンセミナーA	2	2			
フレッシュマンセミナーB	2	2			
スポーツ情報科学A	2	2			
スポーツ情報科学B	2	2			
スポーツ基礎教養	2	2			
スポーツキャリアセミナーA	2	2			
スポーツキャリアセミナーB	2	2			
コミュニケーション英語A	1				1

コミュニケーション英語B	1			1
中国語A	1			1
中国語B	1			1
コリア語A	1			1
コリア語B	1			1
フランス語A	1			1
フランス語B	1			1
ドイツ語A	1			1
ドイツ語B	1			1

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
英語A	1	1			
英語B	1	1			
生命倫理学	2	2			
フレッシュマンセミナーA	2	2			
フレッシュマンセミナーB	2	2			
基礎化学A	2	2			
基礎化学・基礎生物学演習	2	2			
基礎生物学A	2	2			
コミュニケーション英語A	1				1
コミュニケーション英語B	1				1
中国語A	1				1
中国語B	1				1
コリア語A	1				1
コリア語B	1				1
フランス語A	1				1
フランス語B	1				1
ドイツ語A	1				1
ドイツ語B	1				1
情報科学	2	2			

健康科学概論	2	2		
心理学	2	2		

(2) 総合基礎科目 (看護学科)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
基本スキル科目・大学入門					
基礎ゼミナール	1	1			
情報処理	2	2			
人間関係論	1	1			
基本スキル科目・第一外国語					
英語コミュニケーションⅠ	1	1			
英語コミュニケーションⅡ	1	1			
英語コミュニケーションⅢ	1	1			
英語コミュニケーションⅣ	1	1			
医療英語	1				1
英語ゼミナール	1				1
基本スキル科目・第二外国語					
中国語A	1				1
中国語B	1				1
コリア語A	1				1
コリア語B	1				1
フランス語A	1				1
フランス語B	1				1
ドイツ語A	1				1
ドイツ語B	1				1
全学共通科目・A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2				2
哲学B	2				2
文学A	2				2
文学B	2				2
論理学A	2				2

論理学B	2		2
倫理学A	2		2
倫理学B	2		2
宗教学A	2		2
宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
全学共通科目・B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2

民俗学B	2			2
文化人類学A	2			2
文化人類学B	2			2
全学共通科目・C系 自然と環境（自然系）				
数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
全学共通科目・D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
全学共通科目・E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
全学共通科目・F系 課題（テーマ）科目				

第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2
第9群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2

全学共通科目・発展科目					
日本国憲法	2			2	

(3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
スポーツ科学概論	2	2			
解剖学	2	2			
生理学	2	2			
スポーツコーチング概論	2	2			
ストレングス&コンディショニングベーシック	2			2	
スポーツ実技A (水泳)	1			1	
スポーツ実技A (陸上競技)	1			1	
スポーツ実技A (器械運動)	1			1	
スポーツ実技B (バスケットボール)	1			1	
スポーツ実技B (バレーボール)	1			1	
スポーツ実技B (サッカー)	1			1	
スポーツ実技B (ラグビー)	1			1	
スポーツ実技B (ハンドボール)	1			1	
スポーツ実技B (ソフトボール)	1			1	
スポーツ実技B (バドミントン)	1			1	

スポーツ実技B (テニス)	1	1
スポーツ実技C (剣道)	1	1
スポーツ実技C (柔道)	1	1
スポーツ実技C (ダンス)	1	1
マリン	2	2
キャンプ	2	2
カヌー	2	2
ゴルフ	2	2
スキー	2	2
スケート	2	2
スポーツ原理	2	2
健康科学概論	2	2
レクリエーション概論	2	2
スポーツ測定法	2	2
生涯スポーツ論	2	2
健康と経済	2	2
体育・スポーツ史	2	2
スポーツ心理学	2	2
スポーツバイオメカニクス	2	2
スポーツ生理学	2	2
トレーニング生理学	2	2
スポーツ社会学	2	2
スポーツ運動学	2	2
スポーツ法学	2	2
スポーツ外傷・障害学	2	2
リコンディショニング論	2	2
スポーツ医学	2	2
スポーツ栄養学	2	2
安全教育及び救急法	2	2
スポーツ経営学	2	2
衛生学・公衆衛生学	2	2

発育発達論	2		2
野外活動論	2		2
予防医学概論	2		2
スポーツ文化論	2		2
スポーツ政策論	2		2
スポーツ指導のリスクマネ ジメント	2		2
スポーツマネジメント	2		2
英語でスポーツ科学	2		2
スポーツビジネス	2		2
ストレングス&コンディシ ョニング論	2		2
スポーツとジェンダー	2		2
アダプテッドスポーツ論	2		2
武道論	2		2
スポーツコーチング学	2		2
ヘルスプロモーション論	2		2
体力科学	2		2
トップアスリート論	2		2
スポーツデータサイエンス	2		2
教科教育法（保健Ⅰ）	2		2
教科教育法（保健Ⅱ）	2		2
教科教育法（体育Ⅰ）	2		2
教科教育法（体育Ⅱ）	2		2
応用スポーツデータサイエ ンス	2		2
体力科学演習	2		2
スポーツ生理学演習	2		2
スポーツバイオメカニクス 演習	2		2
スポーツ心理学演習	2		2

スポーツ社会学演習	2		2
スポーツ運動学演習	2		2
ヘルスプロモーション演習	2		2
ランニングサイエンス演習 (有酸素系)	2		2
ランニングサイエンス演習 (スプリント)	2		2
サッカーサイエンス演習	2		2
アウトドアスキル演習	2		2
スポーツパフォーマンス分 析演習	2		2
ストレングス&コンディシ ョニング演習	2		2
リコンディショニング演習	2		2
アスレチック・トリートメ ント演習	2		2
スポーツボランティア・イ ンターンシップ演習	2		2
コーチング水泳	2		2
コーチング陸上競技（長距 離）	2		2
コーチング陸上競技（短距 離）	2		2
コーチング体操競技	2		2
コーチングテニス	2		2
コーチングバドミントン	2		2
コーチングソフトボール・ 野球	2		2
コーチングラグビー	2		2
コーチングバレーボール	2		2
コーチングハンドボール	2		2

コーチングサッカー	2		2
コーチングバスケットボール	2		2
コーチング剣道	2		2
コーチング柔道	2		2
コーチングダンス	2		2
野外活動演習サマー	2		2
野外活動演習ウィンター	2		2
ティーチング保健体育A	2		2
ティーチング保健体育B	2		2
スポーツフィールドワーク I	2		2
スポーツフィールドワーク II	2		2
スポーツフィールドワーク III	2		2
スポーツフィールドワーク IV	2		2
ゼミナール（3年用）	4		4
ゼミナール（4年用）	6		6
生化学	2		2
血液学	2		2
免疫学	2		2
病理学	2		2
栄養学（基礎と応用）	2		2
基礎化学A	2		2
解剖生理学A	2		2
分子生物学	2		2
病態学概論	2		2
環境衛生学	2		2

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
分子生物学	2			2	
解剖生理学A	2	2			
解剖生理学実習A	1	1			
解剖生理学B	2			2	
解剖生理学実習B	1			1	
公衆衛生学	2	2			
分析化学演習	2			2	
生化学	2	2			
生化学実習	1	1			
病理学	2	2			
微生物学	2			2	
血液学	2	2			
免疫学	2	2			
薬理学	2			2	
環境衛生学	2	2			
予防医学概論	2	2			
医療安全管理学	2			2	
情報科学概論	2			2	
医用工学概論	2			2	
血液検査学	2			2	
病理検査学B	2			2	
寄生虫学	2			2	
臨床病態学	2			2	
疫学・統計学	2	2			
一般検査学	2			2	
放射性同位元素検査技術学	2			2	
人類遺伝学	2	2			
微生物検査学A	2			2	
微生物検査学B	2			2	

免疫検査学	2		2
精度管理学	2		2
検査機器総論	2		2
検査管理総論	2		2
スポーツ医学	2		2
ヘルスプロモーション概論	2		2
ヘルスプロモーション演習	2		2
卒業研究演習	4		4
卒業研究	4		4
スポーツ生理学	2		2
スポーツ心理学	2		2
生涯スポーツ論	2		2
健康マネジメント論	2	2	
病態学概論	2	2	
医学概論	2		2
遺伝子関連・染色体検査学	2		2
遺伝子関連・染色体検査学 実習	1		1
国際感染症・感染症危機管 理学	2		2
生化学検査学A	2		2
生理検査学A	2		2
病理検査学A	2		2
輸血・移植検査学	2		2
生化学検査学B	2		2
生理検査学B	2		2
生理検査学C	2		2
食品科学	2		2
栄養食品学	2		2
栄養学（基礎と応用）	2		2
健康運動づくりの理論	2		2

健康運動づくりの実際 I (ウォームアップとストレッチング・ウォーキング・ジョギング)	1			1
健康マネジメントキャリア デザイン演習	2			2
栄養食品学実習	1			1
栄養学 (環境・スポーツと 臨床)	2			2
食品科学実習 I	1			1
スポーツ生理学演習	2			2
健康科学インターンシップ A	2			2
健康科学インターンシップ B	2			2
基礎化学B	2			2
基礎生物学B	2			2
理科のための数学	2			2
教科教育法 (理科) A	2			2
環境安全学	2			2
生態学A	2			2
有機化学	2			2
化学実験	1			1
物理学実験	1			1
生物学A	2			2
教科教育法 (理科) B	2			2
無機化学	2			2
基礎物理学A	2			2
基礎地学A	2			2
生態学B	2			2
生物学B	2			2

機器分析化学	2			2
生物学実験	1			1
教科教育法（理科）C	2			2
放射線物理学特論	2			2
基礎物理学B	2			2
基礎地学B	2			2
地学実験	1			1
教科教育法（理科）D	2			2
スポーツバイオメカニクス	2			2
スポーツ測定法	2			2
スポーツ外傷・障害学	2			2
体力トレーニング論	2			2
トレーニング生理学	2			2

(4) 専門基礎科目（看護学科）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
人体の構造と機能					
人体の構造と機能Ⅰ	2	2			
人体の構造と機能Ⅱ	2	2			
人間と栄養	1	1			
微生物学	1	1			
生化学	1	1			
臨床心理学概論	1	1			
発達心理学	1	1			
疾病と治療					
疾病・治療学Ⅰ （侵襲的治療総論、呼吸器、循環器、腎・尿路）	1	1			
疾病・治療学Ⅱ （消化器、内分泌・代謝、血液・造血器）	1	1			

疾病・治療学Ⅲ (脳・神経、運動器、感覚器)	1	1		
疾病・治療学Ⅳ (アレルギー・膠原、感染、精神科系)	1	1		
疾病・治療学Ⅴ (産科・婦人科系、小児科系)	1	1		
病態論	1	1		
薬理学	2	2		
救急救命Ⅰ	1	1		
救急救命Ⅱ	1			1
スポーツ医学概論	1			1
東洋医学	1	1		
臨床検査学概論	1	1		
地域社会と医療福祉				
郷土論(埼玉学)	1	1		
疫学	2			2
公衆衛生学	1	1		
保健医療統計学	2	2		
医療情報学	1	1		
健康科学実践	1			1
保健医療福祉制度論	2	2		
社会福祉学	1	1		
生命倫理学	1	1		
チーム医療論	1	1		

(5) 専門科目(看護学科)

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
看護の基盤					

基盤看護学概論	2	2		
生活支援技術論 I	1	1		
生活支援技術論 II	1	1		
医療支援技術論 I (ヘルスアセスメント)	1	1		
医療支援技術論 II	1	1		
看護方法論 (看護過程)	1	1		
看護理論	1	1		
看護倫理	1	1		
看護コミュニケーション論	1	1		
家族看護学	1	1		
看護の実践 I (理論と方法)				
成人看護学概論	1	1		
成人看護学方法論 I (急性期)	1	1		
成人看護学方法論 II (慢性期)	1	1		
成人看護学演習	1	1		
老年看護学概論	1	1		
老年看護学方法論 I (医療支援看護)	1	1		
老年看護学方法論 II (生活支援看護)	1	1		
老年看護学演習	1	1		
小児看護学概論	1	1		
小児看護学方法論	2	2		
小児看護学演習	1	1		
母性看護学概論	1	1		
母性看護学方法論	2	2		
母性看護学演習	1	1		
精神看護学概論	1	1		

精神看護学方法論	2	2		
精神看護学演習	1	1		
地域健康支援論	2	2		
地域・在宅看護学概論	1	1		
地域・在宅看護学方法論	1	1		
地域・在宅看護学演習	1	1		
地域包括ケア概論	1	1		
地域包括ケア方法論	1	1		
地域包括ケア演習	1	1		
公衆衛生看護学概論	1	1		
看護の実践Ⅱ（臨地実習）				
基盤看護学実習Ⅰ	1	1		
基盤看護学実習Ⅱ	2	2		
成人看護学実習Ⅰ	2	2		
成人看護学実習Ⅱ	2	2		
老年看護学実習Ⅰ	1	1		
老年看護学実習Ⅱ	2	2		
小児看護学実習	2	2		
母性看護学実習	2	2		
精神看護学実習	2	2		
地域・在宅看護学実習	2	2		
地域包括ケア実習	2	2		
統合実習	3	3		
看護の実践Ⅲ（看護の発展）				
クリティカルケア論	1			1
リハビリテーション看護	1			1
がん看護	1	1		
看護実践能力強化演習	1	1		
看護の統合				
東洋文化と看護	1			1
看護研究Ⅰ	1	1		

看護研究Ⅱ	2	2		
看護管理学概論	1	1		
国際看護学	1			1
医療安全論	1			1
リプロダクティブヘルス看護学	1			1
災害看護学	1	1		

(6) 全学共通科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	
宗教学B	2			2	
歴史学A	2			2	
歴史学B	2			2	
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
芸術学A	2			2	
芸術学B	2			2	

地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2
教育学A	2		2
教育学B	2		2
民俗学A	2		2
民俗学B	2		2
文化人類学A	2		2
文化人類学B	2		2
C系 自然と環境 (自然系)			
数学A	2		2
数学B	2		2
地学A	2		2
地学B	2		2
生物学A	2		2
生物学B	2		2
生態学A	2		2
生態学B	2		2
現代科学A	2		2

現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2

第6群					
自己・人間をみつめるA	2			2	
自己・人間をみつめるB	2			2	
第7群					
キャリアデザインA	2			2	
キャリアデザインB	2			2	
第8群					
インターンシップA	2			2	
インターンシップB	2			2	
第9群					
全学共通特殊講義A	2			2	
全学共通特殊講義B	2			2	
3. 発展科目					
日本国憲法	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、6単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、6単位を上限として選択単位とする。

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化（人文系）					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	

文学A	2		2
文学B	2		2
論理学A	2		2
論理学B	2		2
倫理学A	2		2
倫理学B	2		2
宗教学A	2		2
宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活 (社会系)			
法学A	2		2
法学B	2		2
社会学A	2		2
社会学B	2		2
政治学A	2		2
政治学B	2		2
経済学A	2		2
経済学B	2		2
心理学A	2		2
心理学B	2		2

教育学A	2			2
教育学B	2			2
民俗学A	2			2
民俗学B	2			2
文化人類学A	2			2
文化人類学B	2			2
C系 自然と環境（自然系）				
数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				

データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題 (テーマ) 科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2			2
地域・国家・民族の考察B	2			2
第2群				
女性・子ども・老人への視点A	2			2
女性・子ども・老人への視点B	2			2
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2			2
人権・民主主義・平和を考えるB	2			2
第4群				
現代社会の諸問題A	2			2
現代社会の諸問題B	2			2
第5群				
異文化・世界にふれるA	2			2
異文化・世界にふれるB	2			2
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2

第9群					
全学共通特殊講義A	2			2	
全学共通特殊講義B	2			2	
3. 発展科目					
日本国憲法	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

- ① 単位互換は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、6単位を上限として選択単位とする。
- ② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、6単位を上限として選択単位とする。
- (7) 外国人留学生に関する日本語科目等（スポーツ科学科・健康科学科）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(内容コース)					
日本の政治・経済・社会A	2			2	
日本の文化・芸術A	2			2	
日本の歴史A	2			2	
現代日本の諸相A	2			2	
日本の政治・経済・社会B	2			2	
日本の文化・芸術B	2			2	
日本の歴史B	2			2	
現代日本の諸相B	2			2	
(言語コース(発展))					
理解とコミュニケーション A	1			1	
理解とコミュニケーション B	1			1	

資料・文献読解A	1		1
資料・文献読解B	1		1
日本語文章表現A	1		1
日本語文章表現B	1		1

(8) 教職課程関連科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育法・行政	2				2
教育心理学概論	2				2
特別支援教育 (介護等体験の指導を含む。)	2				2
教育課程論	1				1
道德教育論	2				2
特別活動論・総合的な学習理論と指導法 (中高)	2				2
教育方法論 (中高)	2				2
情報通信技術活用論	1				1
生徒指導論 (進路指導を含む。)	2				2
教育相談 (カウンセリングを含む。)	2				2
教育実習1	1				1
教育実習2 (小中)	4				4
教育実習2 (中学)	4				4
教育実習2 (高校)	2				2
教育実習A	1				1
教育実習B	2				2

教育実習C	2				2
教育実習D	3				3
教職実践演習（中高）	2				2
教職特別演習1	2				2
教職特別演習2	2				2
教職特別演習3	2				2
学校安全論	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
教職科目					
教育学概論	2				2
教師論	1				1
教育法・行政	2				2
教育心理学概論	2				2
特別支援教育（介護等体験の指導を含む。）	2				2
教育課程論	1				1
道德教育論	2				2
特別活動論・総合的な学習理論と指導法（中高）	2				2
教育方法論（中高）	2				2
情報通信技術活用論	1				1
生徒指導論（進路指導を含む。）	2				2
教育相談（カウンセリングを含む。）	2				2
教育実習1	1				1
教育実習2（中学）	4				4

教育実習2（高校）	2				2
教育実習A	1				1
教育実習B	2				2
教育実習C	2				2
教育実習D	3				3
教職実践演習（中高）	2				2
教職特別演習1	2				2
教職特別演習2	2				2
教職特別演習3	2				2
学校安全論	2				2
特別インターンシップ1	2				2
特別インターンシップ2	2				2

(9) 削除

(10) 健康運動指導士に関する科目（スポーツ科学科）

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
運動プログラムの管理	2				2
救急処置法	2				2
健康運動指導演習	2				2
健康産業施設等現場実習	2				2
健康運動指導士総合演習	2				2

(11) パラスポーツ指導員に関する科目（スポーツ科学科）

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
パラスポーツ演習	2				2

(12) 臨床検査技師に関する科目（健康科学科）

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位

臨地実習	12				12
一般検査学実習	1				1
血液検査学実習	1				1
免疫検査学実習	1				1
生化学検査学実習	1				1
輸血・移植検査学実習	1				1
微生物検査学実習	2				2
病理検査学実習	1				1
生理検査学実習A	2				2
生理検査学実習B	2				2
細胞診断学演習	2				2
臨床検査医学総論	2				2

(13) 食品衛生管理者・食品衛生監視員に関する科目（健康科学科）

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
食品衛生学	2				2
食品衛生学実習	1				1
食品科学実習Ⅱ	1				1

(14) 第二種作業環境測定士に関する科目（健康科学科）

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
環境測定分析概論	2				2
労働衛生関係法規	1				1
環境測定分析実習	1				1
環境測定分析現場実習	1				1

(15) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻（健康科学科）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位

スポーツ科学入門	2			2
スポーツの指導	2			2
スポーツ選手の医学	2			2
スポーツ選手の生理	2			2
スポーツ選手の心理	2			2
スポーツマネジメント論	2			2
トレーニング理論と実践	2			2
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2

ロ 留学（英語）副専攻

① スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) Basic Skills (Reading,Listening,Writing,Speaking)	1				1
(中級) Reading and Writing I	1				1
Reading and Writing II	1				1
Communication and Discussion I	1				1
Communication and Discussion II	1				1
(上級) Academic Writing	1				1
Discussion and Presentation	1				1

2. 教養系科目					
グローバル教養系					
グローバルスタディ1	2			2	
グローバルスタディ2	2			2	
グローバルスタディ3	2			2	
グローバルスタディ4	2			2	
グローバルスタディ5	2			2	
グローバルスタディ6	2			2	
グローバルスタディ7	2			2	
グローバルスタディ8	2			2	
海外留学系					

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

② 健康科学科、看護学科（共通）

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) Basic Skills (Reading, Listening, Writing, Speaking)	1				1
(中級) Reading and Writing I	1				1
Reading and Writing II	1				1
Communication and Discussion I	1				1
Communication and Discussion II	1				1
(上級)					

Academic Writing	1				1
Discussion and Presentation	1				1
2. 教養系科目					
グローバル教養系					
グローバルスタディ1	2				2
グローバルスタディ2	2				2
グローバルスタディ3	2				2
グローバルスタディ4	2				2
グローバルスタディ5	2				2
グローバルスタディ6	2				2
グローバルスタディ7	2				2
グローバルスタディ8	2				2
海外留学系					

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

(16) 健康運動実践指導者に関する科目（健康科学科）

健康科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
運動プログラムの管理	2				2
健康づくりの実際Ⅱ（エアロビクス運動とエアロビックスダンスと水泳・水中運動）	1				1
健康づくりの実際Ⅲ（各種トレーニング・レジスタントトレーニング）	1				1
健康づくりの運動総合演習	2				2

(健康づくり運動の指導と 実際) 救急処置法(整形外科的な 外傷・障害への対応を含 む)	1				1
--	---	--	--	--	---

(17) 保健師に関する科目(看護学科)

看護学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
公衆衛生看護活動論	2				2
公衆衛生看護技術論	2				2
公衆衛生看護管理論	1				1
公衆衛生看護学実習Ⅰ	2				2
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3				3

(18) トレーナー系資格に関する科目(スポーツ科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
スポーツトレーナー実践論	2				2

(19) 教員養成に関する科目(スポーツ科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修単 位	選択単位	自由単位
教職実技演習	2				2
体育授業指導法	2				2
学校保健	2				2

(履修方法、進級要件及び卒業要件)

第23条の27 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目(スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

- 必修科目 16単位
選択科目 1言語2単位以上
- 健康科学科
必修科目 20単位
選択科目 1言語2単位以上
- (2) 総合基礎科目 (看護学科)
必修科目 10単位
選択科目 10単位以上
自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。
- (3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)
スポーツ科学科
必修科目 8単位
選択科目 66単位以上
- 健康科学科
必修科目 26単位
選択科目 47単位以上
- (4) 専門基礎科目 (看護学科)
必修科目 30単位
選択科目 3単位以上
自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。
- (5) 専門科目 (看護学科)
必修科目 70単位
選択科目 3単位以上
自由科目 単位修得の条件及び制限は設けない。
- (6) 全学共通科目 (スポーツ科学科・健康科学科)
スポーツ科学科
必修科目 2単位
選択科目 8単位修得しなければならない。
- 健康科学科
必修科目 2単位
選択科目 単位修得の条件及び制限は設けない。

(7) 外国人留学生に関する日本語科目等（スポーツ科学科・健康科学科）

- ① 外国人留学生以外の者が、本科目を履修することはできない。
- ② 外国人留学生は留学生に関する日本語科目のうち、内容コース及び言語コース（発展）の中から12単位までを選択科目の単位とすることができる。

(8) 教職課程関連科目（スポーツ科学科・健康科学科）

スポーツ科学科

第23条の9第1項第5号の定めに準ずる。

健康科学科

第23条の9第1項第5号の定めに準ずる。

(9) 削除

(10) 健康運動指導士に関する科目（スポーツ科学科）

スポーツ科学科

- ① 健康運動指導士の認定試験受験資格を取得しようとする者は、健康運動指導士養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。
- ② 健康運動指導士に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(11) パラスポーツ指導員に関する科目（スポーツ科学科）

スポーツ科学科

- ① パラスポーツ指導員の資格を取得しようとする者は、パラスポーツ指導員養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。
- ② パラスポーツ指導員に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(12) 臨床検査技師に関する科目（健康科学科）

健康科学科

- ① 臨床検査技師の国家試験受験資格を取得しようとする者は、臨床検査技師等に関する法律及び同施行令の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。
- ② 臨床検査技師に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(13) 食品衛生管理者・食品衛生監視員に関する科目（健康科学科）

健康科学科

- ① 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、食品衛生法

の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を修得するものとする。

- ② 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(14) 第二種作業環境測定士に関する科目（健康科学科）

健康科学科

- ① 作業環境測定士の資格を取得しようとする者は、作業環境測定法の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。
- ② 作業環境測定士に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(15) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻（健康科学科）

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻（各学科共通）

- ① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。
- ② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に各学科の英語研修及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

(16) 健康運動実践指導者に関する科目（健康科学科）

健康科学科

- ① 健康運動実践指導者の認定試験受験資格を取得しようとする者は、健康運動実践指導者養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。
- ② 健康運動実践指導者に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(17) 保健師に関する科目（看護学科）

- ① 保健師国家試験を受験しようとする者は、卒業要件に加えて、本学科教育課程に定めている保健師国家試験受験に必要な科目を履修するものとする。
- ② 保健師に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(18) トレーナー系資格に関する科目（スポーツ科学科）

① トレーナー系資格を取得しようとする者は、各トレーナー系資格養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② トレーナー系資格に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(19) 教員養成に関する科目（スポーツ科学科）

① 教員免許状を取得しようとする者は、教職課程の定めるところに従い、専門教育科目、教職関連科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② 教員養成に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

2 1年間の履修単位数の上限は、スポーツ科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号イ、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては49単位までとする。健康科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号ロ、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては48単位まで、4年次においては49単位までとする。看護学科は、第1項第1号、第3号、第6号、第7号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から4年次においては48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 4年次においては、4単位以上を履修し、修得しなければならない。

4 スポーツ科学科は、前条第1号、第3号、第6号及び第15号ロに定める科目について、第1項第1号、第3号、第6号及び第15号ロに定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。健康科学科は、前条第1号、第3号、第6号及び第15号イに定める科目について、第1項第1号、第3号、第6号及び第15号イに定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。ただし、外国人留学生については、スポーツ科学科は前条第1号、第3号、第6号及び第7号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。健康科学科は前条第1号、第3号、第6号、第7号及び第15号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。看護学科は、前条第2号、第4号及び第5号に定める科目について、第1項第2号、第4号及び第5号

に定める単位を含め、126単位以上を修得した者を卒業とする。

- 5 前項に定める卒業要件単位のうち、看護学科を除き次に定める単位を2年次終了時点において修得できない者は、3年次に進級することができない。

スポーツ科学科 44単位以上

健康科学科 44単位以上

- 6 第4項に定める卒業要件のうち、看護学科においては2年次終了時点において必修科目71単位を修得できない者は、3年次に進級することができず、3年次終了時点において必修科目96単位を修得できない者は4年次に進級することができない。

第10節 社会学部

(授業科目の区分等)

第23条の28 社会学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 全学共通科目
- (4) 外国人留学生に関する日本語科目等
- (5) 司書課程関連科目
- (6) 社会教育士（養成課程）課程関連科目
- (7) 学芸員課程関連科目
- (8) 副専攻科目等

- 2 前項各号に定める各授業科目を、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

- 3 前項に定める必修科目、選択必修科目及び選択科目については卒業要件単位に算入し、自由科目については卒業要件単位には算入しない。

- 4 第1項各号に定める各授業科目は、教授会の定めるところに従い、各学年又は各学年の各学期に配当する。

(授業科目の開設等)

第23条の29 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
------	----	------	--------	------	------

〔必修科目〕				
フレッシュマンセミナーA	2	2		
フレッシュマンセミナーB	2	2		
時事英語1	1	1		
時事英語2	1	1		
実用コミュニケーション英語1	1	1		
実用コミュニケーション英語2	1	1		
〔選択必修科目〕				
時事英語3	1		1	
英語で読む現代社会	1		1	
実用コミュニケーション英語3	1		1	
実用コミュニケーション英語4	1		1	
海外英語研修	4		4	
〔選択科目〕				
(未修外国語科目)				
ドイツ語初級1A	1			1
ドイツ語初級1B	1			1
ドイツ語初級2A	1			1
ドイツ語初級2B	1			1
フランス語初級1A	1			1
フランス語初級1B	1			1
フランス語初級2A	1			1
フランス語初級2B	1			1
中国語初級1A	1			1
中国語初級1B	1			1
中国語初級2A	1			1
中国語初級2B	1			1

코리아語基礎1A	1		1
코리아語基礎1B	1		1
코리아語基礎2A	1		1
코리아語基礎2B	1		1

(2) 専門教育科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
〔必修科目〕					
社会学入門A	2	2			
社会学入門B	2	2			
社会学の諸相	2	2			
社会統計入門	2	2			
情報処理基礎Ⅰ	2	2			
情報処理基礎Ⅱ	2	2			
社会調査Ⅰ	2	2			
社会調査Ⅱ	2	2			
社会学演習Ⅰ	4	4			
社会学演習Ⅱ	4	4			
卒業研究	4	4			
〔選択必修科目①〕					
歴史社会学	2			2	
家族社会学	2			2	
教育社会学	2			2	
格差社会論	2			2	
社会学理論A	2			2	
社会学理論B	2			2	
社会学史	2			2	
組織社会学	2			2	
情報と統計基礎実習	2			2	
量的調査法	2			2	
社会調査法	2			2	

成熟社会A	2	2
成熟社会B	2	2
社会調査実習	4	4
Introduction to Sociology (外書講読) 〔選択必修科目②〕 (多文化と共生コース)	2	2
国際社会学	2	2
多文化社会論	2	2
ジェンダーの社会学A	2	2
ジェンダーの社会学B	2	2
文化人類学	2	2
文化社会学	2	2
ケアの社会学	2	2
環境社会学A	2	2
環境社会学B	2	2
宗教社会学	2	2
環境政策論 (都市と地域コース)	2	2
都市社会学	2	2
地域デザイン論	2	2
地域社会学A	2	2
地域社会学B	2	2
福祉医療政策	2	2
ソーシャルキャピタル論	2	2
地域福祉論	2	2
地方自治	2	2
行政学	2	2
財政学A	2	2
財政学B (メディアと情報コース)	2	2

情報社会論	2	2
情報科学概論	2	2
マスコミュニケーション論	2	2
A		
マスコミュニケーション論	2	2
B		
情報システム	2	2
マルチメディア論	2	2
統計解析基礎	2	2
統計解析応用	2	2
メディア社会	2	2
ジャーナリズム論A	2	2
ジャーナリズム論B	2	2
〔選択必修科目③〕		
(共通関連科目)		
心理学概論A	2	2
心理学概論B	2	2
スポーツ社会学	2	2
スポーツ心理学	2	2
ミクロ経済学A	2	2
ミクロ経済学B	2	2
マクロ経済学A	2	2
マクロ経済学B	2	2
キャリアの社会学	2	2
経営学概論A	2	2
経営学概論B	2	2
コミュニケーション論	2	2
社会システム論A	2	2
社会システム論B	2	2
社会科学の歴史A	2	2
社会科学の歴史B	2	2

公共政策論	2	2
行動分析学A	2	2
行動分析学B	2	2
(多文化と共生コース関連 科目)		
国際関係論	2	2
サブカルチャー論	2	2
地域研究 (アジア)	2	2
地域研究 (中東)	2	2
教育心理学A	2	2
教育心理学B	2	2
環境経営	2	2
社会心理学A	2	2
社会心理学B	2	2
社会階層論	2	2
地域研究 (北米)	2	2
地域研究 (ヨーロッパ)	2	2
セクシュアリティ	2	2
エスニシティ	2	2
(都市と地域コース関連科 目)		
民法A	2	2
民法B	2	2
産業心理学A	2	2
産業心理学B	2	2
コミュニティ心理学	2	2
都市・地域政策論	2	2
NPO/NGOの社会学	2	2
地方財政論	2	2
金融論	2	2
産業社会学A	2	2

産業社会学B	2	2	
消費者政策	2	2	
観光社会学	2	2	
行政法	2	2	
子ども福祉論	2	2	
障がい福祉論	2	2	
(メディアと情報コース関連科目)			
心理学基礎実験A	2	2	
心理学基礎実験B	2	2	
マスコミ史	2	2	
臨床心理学	2	2	
心理統計学	2	2	
情報ネットワーク	2	2	
広告論	2	2	
ビッグデータ論	2	2	
コンテンツ産業論	2	2	
プログラミング基礎	2	2	
プログラミング応用	2	2	
ネットワークコンピューティング	2	2	
知的財産法	2	2	
実験社会心理学A	2	2	
実験社会心理学B	2	2	
情報処理実習	2	2	
[選択科目]			
(社会学特殊講義科目)			
社会学特殊講義 I	2		2
社会学特殊講義 II	2		2
(キャリア支援特殊講義科目)			

キャリア支援特殊講義Ⅰ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅱ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅲ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅳ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅴ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅵ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅶ	2			2
キャリア支援特殊講義Ⅷ	2			2
インターンシップ (研修科目)	2			2
社会活動Ⅰ	2			2
社会活動Ⅱ	2			2
社会活動Ⅲ	2			2
海外研修A	2			2
海外研修B	2			2
国内研修A	2			2
国内研修B	2			2

(3) 全学共通科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 基本科目					
A系 人間と文化 (人文系)					
哲学A	2			2	
哲学B	2			2	
文学A	2			2	
文学B	2			2	
論理学A	2			2	
論理学B	2			2	
倫理学A	2			2	
倫理学B	2			2	
宗教学A	2			2	

宗教学B	2		2
歴史学A	2		2
歴史学B	2		2
考古学A	2		2
考古学B	2		2
文化史A	2		2
文化史B	2		2
芸術学A	2		2
芸術学B	2		2
地理学A	2		2
地理学B	2		2
言語学A	2		2
言語学B	2		2
B系 社会と生活（社会系）			
法学A	2	2	
法学B	2	2	
社会学A	2	2	
社会学B	2	2	
政治学A	2	2	
政治学B	2	2	
経済学A	2	2	
経済学B	2	2	
心理学A	2	2	
心理学B	2	2	
教育学A	2	2	
教育学B	2	2	
民俗学A	2	2	
民俗学B	2	2	
文化人類学A	2	2	
文化人類学B	2	2	
C系 自然と環境（自然系）			

数学A	2			2
数学B	2			2
地学A	2			2
地学B	2			2
生物学A	2			2
生物学B	2			2
生態学A	2			2
生態学B	2			2
現代科学A	2			2
現代科学B	2			2
情報科学A	2			2
情報科学B	2			2
自然科学A	2			2
自然科学B	2			2
D系 健康とスポーツ（保健体育系）				
総合体育A	1	1		
総合体育B	1	1		
健康スポーツ科学A	2			2
健康スポーツ科学B	2			2
体育実技A	1			1
体育実技B	1			1
野外実習A	1			1
野外実習B	1			1
E系 知識創造と実践（総合系）				
データサイエンスA	2			2
データサイエンスB	2			2
2. 課題（テーマ）科目				
第1群				
地域・国家・民族の考察A	2		2	
地域・国家・民族の考察B	2		2	
第2群				

女性・子ども・老人への視点A	2		2	
女性・子ども・老人への視点B	2		2	
第3群				
人権・民主主義・平和を考えるA	2		2	
人権・民主主義・平和を考えるB	2		2	
第4群				
現代社会の諸問題A	2		2	
現代社会の諸問題B	2		2	
第5群				
異文化・世界にふれるA	2		2	
異文化・世界にふれるB	2		2	
第6群				
自己・人間をみつめるA	2			2
自己・人間をみつめるB	2			2
第7群				
キャリアデザインA	2			2
キャリアデザインB	2			2
第8群				
インターンシップA	2			2
インターンシップB	2			2
第9群				
全学共通特殊講義A	2			2
全学共通特殊講義B	2			2
3. 発展科目				
日本史概論A	2			2
日本史概論B	2			2
西洋史概論	2			2

東洋史概論	2			2	
日本の人文地理	2			2	
世界の人文地理	2			2	
日本の自然地理	2			2	
世界の自然地理	2			2	
日本地誌概論	2			2	
世界地誌概論	2			2	
日本国憲法	2			2	
法学概論	2			2	
情報処理	2			2	
哲学概論A	2			2	
哲学概論B	2			2	
倫理学概論A	2			2	
倫理学概論B	2			2	
社会病理	2			2	
4. 単位互換科目					
5. 「他学部・他学科開放」科目					

摘要

① 単位互換科目は、他大学又は短期大学の単位互換による科目名及び単位数を適用し、社会科学においては60単位を上限として選択単位とする。

② 「他学部・他学科開放」科目は、他学部又は学科の科目名及び単位数を適用し、社会科学は20単位を上限として選択単位とする。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
(活動コース)					
フィールドワークA	1		2		
フィールドワークB	1		2		
(内容コース)					

日本の政治・経済・社会A	2		2	
日本の政治・経済・社会B	2		2	
日本の文化・芸術A	2		2	
日本の文化・芸術B	2		2	
日本の歴史A	2		2	
日本の歴史B	2		2	
現代日本の諸相A	2		2	
現代日本の諸相B (言語コース(発展))	2		2	
理解とコミュニケーション A	1		1	
理解とコミュニケーション B	1		1	
資料・文献読解A	1		1	
資料・文献読解B	1		1	
日本語文章表現A	1		1	
日本語文章表現B	1		1	

(5) 司書課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
図書館概論	2				2
図書・図書館史	2				2
図書館情報資源概論	2				2
図書館情報資源特論	2				2
情報資源組織論	2				2
情報資源組織演習A	1				1
情報資源組織演習B	1				1
図書館サービス概論	2				2
図書館制度・経営論	2				2
図書館サービス特論	2				2

図書館情報技術論	2				2
情報サービス論	2				2
児童サービス論	2				2
情報サービス演習1	1				1
情報サービス演習2	1				1
コミュニケーション論B	2				2

(6) 社会教育士（養成課程）課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
生涯学習支援論1	2				2
生涯学習支援論2	2				2
社会教育経営論1	2				2
社会教育経営論2	2				2
文化と生涯教育	2				2
学校地域福祉論	2				2
地域福祉論	2		2		
平和と教育	2				2
ダイバーシティと教育	2				2
教育社会学	2		2		
地域社会学A	2		2		
地域社会学B	2		2		
社会教育実習1	2				2
社会教育実習2	2				2
社会教育演習1	2				2
社会教育演習2	1				1

(7) 学芸員課程関連科目

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
博物館学概論1	2				2

博物館学概論2	2				2
博物館資料論	2				2
博物館資料保存論	2				2
博物館展示論	2				2
博物館教育論	2				2
生涯学習概論1	2				2
生涯学習概論2	2				2
博物館情報・メディア論	2				2
博物館実習1	1				1
博物館実習2	2				2
文化史A	2			2	
文化史B	2			2	
美術史1	2				2
美術史2	2				2
考古学A	2			2	
考古学B	2			2	
民俗学A	2	2			
民俗学B	2	2			
自然科学A	2			2	
自然科学B	2			2	
理科1（地学）	2				2
理科2（生物）	2				2
理科3（化学）	2				2
理科4（物理）	2				2

(8) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
スポーツ科学入門	2			2	
スポーツの指導	2			2	
スポーツ選手の医学	2			2	

スポーツ選手の生理	2			2
スポーツ選手の心理	2			2
スポーツマネジメント論	2			2
トレーニング理論と実践	2			2
競技スポーツ演習Ⅰ	2			2
競技スポーツ演習Ⅱ	2			2
競技スポーツ演習Ⅲ	2			2
競技スポーツ演習Ⅳ	2			2

ロ 留学（英語）副専攻

授業科目	単位	必修単位	選択必修単位	選択単位	自由単位
1. 語学系科目					
(初級) Basic Skills (Reading, Listening, Writing, Speaking)	1				1
(中級) Reading and Writing I	1				1
Reading and Writing II	1				1
Communication and Discussion I	1				1
Communication and Discussion II	1				1
(上級) Academic Writing	1				1
Discussion and Presentation	1				1
2. 教養系科目					
グローバル教養系					
グローバルスタディ1	2				2
グローバルスタディ2	2				2

グローバルスタディ3	2			2
グローバルスタディ4	2			2
グローバルスタディ5	2			2
グローバルスタディ6	2			2
グローバルスタディ7	2			2
グローバルスタディ8	2			2
海外留学系				

摘要 「海外留学系」科目は、海外留学（英語）により学則第19条の2に基づき各学科が認定した授業科目名及び単位数（以下「海外留学（英語）認定科目」という。）を適用する。

（履修方法、進級要件及び卒業要件）

第23条の30 前条各号に定める各区分の授業科目の履修方法及び修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目

必修科目 8単位

選択必修科目 4単位以上

選択科目 単位修得の条件は設けない。

(2) 専門教育科目

必修科目 28単位

選択必修科目 次に定める単位 48単位以上

A) 選択必修科目①の中から8単位以上

B) 選択必修科目②「多文化と共生」・「都市と地域」・「情報とメディア」のコースから一つを選択し16単位以上。選択していないコースから4単位以上

C) 選択必修科目③から20単位以上

選択科目 単位修得の条件は設けない。

(3) 全学共通科目

必修科目 総合体育AB 2単位

選択必修科目 4単位以上

選択科目 単位修得の条件は設けない。

(4) 外国人留学生に関する日本語科目等

外国人留学生及び学科で履修を認めた者以外は、本科目を履修できない。

選択必修科目 12単位

選択科目 単位修得の条件は設けない。

(5) 司書課程関連科目

第23条の9第1項第6号の定めに準ずる。

(6) 社会教育士（養成課程）課程関連科目

第23条の6第1項第7号の定めに準ずる。

(7) 学芸員課程関連科目

第23条の9第1項第8号の定めに準ずる。

(8) 副専攻科目等

イ スポーツ科学系副専攻

「コーチングアシスタント」の資格を取得しようとする者は、日本スポーツ協会認定スポーツ指導者資格の定めるところに従い、本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修しなければならない。

ロ 留学（英語）副専攻

① 留学（英語）副専攻の修了要件は、語学系科目（中級）4科目4単位及び海外留学（英語）認定科目を含む教養系科目16単位以上の計20単位以上とする。

② 海外留学（英語）認定科目は、3カ月以上の留学の他に学科の英語研修及び国際交流センター実施の短期語学研修に認定された単位を含む。

2 1年間の履修単位数の上限は、第1項第5号、第6号、第7号に定める科目の単位を除き、1年次から4年次において44単位までとする。

ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 前条第1号、第2号、第3号及び第8号に定める科目について、第1項第1号、第2号、第3号及び第8号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。

ただし、外国人留学生については、前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第8号に定める科目について、前条第1号、第2号、第3号、第4号及び第8号に定める単位を含め、124単位以上を修得した者を卒業とする。

4 前項に定める卒業要件単位のうち、2年次終了時点において44単位修得できない者は、3年次に進級することができない。

第6章 入学、編入学、転学、転学部、転学科、休学、留学、復学、退学、除籍及

び再入学

(入学の時期)

第24条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第25条 本大学の各学部第1年次に入学できる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、且つ本大学の考査に合格した者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(入学志願手続)

第26条 本大学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を添えて、次の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 本大学所定の用紙による入学願書
- (2) 出身学校長の卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3) 出身学校長の調査書及び成績証明書
- (4) 健康診断書（但し、入学年度の前々年度の高等学校卒業生及び前年度の3月卒業見込みの者を除く。）
- (5) 学校教育法施行規則第150条第4号に該当する者は、その検定合格書
- (6) 写真

(入学手続)

第27条 入学を許可された者は、別に定める入学金及び学費の納付証明書その他の所定の書類を、指定の期間に郵送して、入学手続をしなければならない。

(保証人)

第28条 保証人は、保護者又は縁故者で、確実に保証人としての責務を果たし得る者でなければならない。

- 2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身に関する事項について、一切の責めに任じなければならない。
- 3 保証人が死亡又はその他の事由によつてその責務を尽し得ないときには、新たに保証人を定めなければならない。この場合には、改めて第27条の誓約書を提出しなければならない。
- 4 保証人が姓名を改め又は住所を変更したときは、直ちにその旨を届け出なければならない。

(編入学)

第29条 本大学は、次の各号のいずれかに該当する者が本大学に編入学（学士入学を含む。以下同じ。）を願い出たときは、欠員のある場合に限り、考査のうえ、入学を許可することができる。

- (1) 他の大学、短期大学、高等専門学校若しくは専修学校専門課程に在学中の者又は卒業若しくは修了した者
- (2) 本大学の学部を卒業又は卒業見込みの者で、本大学の他の学部編入学を願い出た者

2 削除

- 3 編入学を許可された者は、本大学に2年以上在学しなければならない。

(転学)

第30条 本大学の学生で、他の大学に転学を願い出た者は、事情によつて許可することができる。

(転学部・転学科)

第31条 本大学の学生で、他の学部又は学科へ移ることを願い出た者は、欠員があり、かつ学科が定める条件を満たす場合に限り、考査の上これを許可することができる。

(休学)

第32条 病気その他やむを得ない事由で、引続き3月以上出席することができない場合は、その事由を記し、保証人連署の上、休学を願い出ることができる。

- 2 校医が健康上修学に不相当と認めた者に対しては、休学を命ずる。
- 3 病気を事由とする休学願には、医師の診断書を添えなければならない。

- 4 休学期間は1年以内とし、当該学年限りとする。ただし、特別の事情がある場合には、1年を限度として引続き休学を許可することがある。
- 5 前項の規定にかかわらず、国籍を有する母国において兵役の義務（以下、「兵役」という。）を理由とする休学の場合には、最長3年を限度に休学を許可することができる。この場合において、兵役を理由とする休学願には、兵役通知書又はそれに準ずる書類を添えなければならない。
- 6 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 7 休学期間は、第16条第1項ただし書に定める在学期間には算入しない。
- 8 休学者は、学期の始めでなければ復学することができない。

（留学）

第32条の2 学生が外国における学位授与権を有する正規の高等教育機関またはこれに相当する教育研究機関において学修するため、留学を願い出たときは、本大学が教育上有益であると認めた場合に限りこれを許可することができる。

- 2 留学期間は、1年以内とする。ただし、外国語学部のダブルディグリー制度による派遣留学については、留学期間を2年以内とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、特別の事情があると認めた場合は、留学期間の延長を許可することがある。
- 4 留学期間は、在学年数に算入する。
- 5 第1項の出願手続方法については、別に定める。

（復学）

第32条の3 休学期間中にその理由が消滅し、復学しようとする者は、保証人連署の復学願を提出し、許可を得なければならない。

- 2 疾病により休学した者が復学する場合は、前項に定める復学願に医師の診断書を添付するものとする。

（退学）

第33条 病気その他の事由によつて退学しようとする者は、その事由を記し、保証人連署の上、願い出なければならない。

（除籍）

第33条の2 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第16条第1項ただし書きに定める在学期間を超えた者

(3) 第32条第6項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

第34条 第33条の規定により退学した者（以下「退学者」という。）又は第33条の2第1号の規定により除籍された者（以下「除籍者」という。）が、再入学を願い出た場合には、事情を考慮した上、許可することがある。

2 前項の規定により再入学を許可された場合の再入学年次は、退学者は退学時の在籍年次とし、除籍者は除籍事由が生じた時に在籍した年次とする。ただし、退学者のうち、当該学部教授会において、学年進行が認められた者の再入学年次は、この限りでない。

(入学等の決定)

第35条 入学・編入学・転学・転学部・転学科・休学・留学・復学・退学・除籍及び再入学は、当該学部教授会の議を経て、学長がこれを定める。

第7章 入学検定料、入学金及び学費等

(入学検定料)

第36条 本大学に入学を志願する者は、入学検定料35,000円を納めなければならない。

2 一般入試における次の入試区分（大学入学共通テスト利用入試（前期・中期・後期）、一般選抜（全学部統一）（前期・後期）及び一般選抜（3教科））において、同一入試区分2学科目志願分の入試検定料は免除する。

3 一般選抜（全学部統一）において3学科以上志願する者は、前項に定める入学検定料35,000円の他に、志願する学科数から2を差し引いた数に10,000円を乗じた入学検定料を納めなければならない。

4 一般選抜（3教科）において3学科以上志願する者は、第1項に定める入学検定料35,000円の他に、志願する学科数から2を差し引いた数に10,000円を乗じた入学検定料を納めなければならない。

5 第1項の定めにかかわらず大学入学共通テスト利用入試の本大学志願者は、入学検定料15,000円を納めなければならない。なお、3学科以上志願する者は、入学検定料15,000円の他に、志願する学科数から2を差し引いた数に5,000円を乗じた入学検定料を納めなければならない。

6 第2項に定める入試区分のうち、次の3区分（大学入学共通テスト利用入試（前期）、一般選抜（全学部統一）（前期）及び一般選抜（3教科））において、大学入学共通テスト利用入試（前期）と他の2区分のいずれかを同時に志願した場合は、入学検

定料総額より5,000円を割り引く。また、一般選抜（全学部統一）（前期）と一般選抜（3教科）の2区分あるいは3区分全てを同時に出願した場合は、入学検定料総額より10,000円を割り引く。

7 第1項の定めにかかわらず、外国人留学生入学試験にて本大学を志願する者は、入学検定料20,000円（指定校推薦入学試験及び渡日前入学試験にて本大学を志願する者は5,000円）を納めなければならない。

8 海外における入学試験会場にて本学を志願する者は、1学科につき入学検定料5,000円を納めなければならない。

9 納めた入学検定料は、返還しない。

（入学金等）

第37条 入学を許可された者は、次の入学金及び学費を納めなければならない。

(1) 入学金

(1) スポーツ・健康科学部看護学科を除く全学科 210,000円

(2) スポーツ・健康科学部看護学科 250,000円

(2) 学費

(1) 文学部（教育学科及び書道学科を除く。）、外国語学部及び国際関係学部
授業料 733,000円

教育充実費 271,000円

(2) 文学部教育学科

授業料 733,000円

教育充実費 295,000円

(3) 文学部書道学科

授業料 855,000円

教育充実費 271,000円

実習費 80,000円

(4) 経済学部、法学部、経営学部及び社会学部

授業料 713,000円

教育充実費 271,000円

(5) スポーツ・健康科学部スポーツ科学科

授業料 835,000円

教育充実費 326,000円

実習費 50,000円

(6) スポーツ・健康科学部健康科学科

授業料 995,000円

教育充実費 326,000円

実習費 250,000円

(7) スポーツ・健康科学部看護学科

授業料 1,000,000円

教育充実費 350,000円

実習費 350,000円

2 学費は、前学期と後学期に分けて、納めることができる。

3 納めた入学金及び学費は、返還しない。ただし、別に定める入学試験において入学を許可された者が、所定の期間に入学辞退届を提出して、入学を辞退するときは学費を返還する。

(学費)

第38条 学生は、各学年の学費を指定の期限までに納めなければならない。

(1) 文学部（教育学科及び書道学科を除く。）、外国語学部及び国際関係学部

授業料 733,000円

教育充実費 271,000円

(2) 文学部教育学科

授業料 733,000円

教育充実費 295,000円

(3) 文学部書道学科

授業料 855,000円

教育充実費 271,000円

実習費 80,000円

(4) 経済学部、法学部、経営学部及び社会学部

授業料 713,000円

教育充実費 271,000円

(5) 環境創造学部

授業料 733,000円

教育充実費 246,000円

(6) スポーツ・健康科学部スポーツ科学科

授業料 835,000円

教育充実費 326,000円

実習費 50,000円

(7) スポーツ・健康科学部健康科学科

授業料 995,000円

教育充実費 326,000円

実習費 250,000円

(8) スポーツ・健康科学部看護学科

授業料 1,000,000円

教育充実費 350,000円

実習費 350,000円

- 2 学費は、前学期と後学期に分けて、納めることができる。
- 3 学生が、学費の納入について、延期を願い出たときは、正当な理由がある場合に限り、許可することができる。
- 4 学費の納入手続に関する事項は、別に定める。
- 5 納めた学費は、返還しない。ただし、学費を全納した学生が前期中に退学した場合又は学費を納めた学生が休学する場合に限り、それぞれ後期分の学費又はすでに納めた休学期間中の学費を返還することができる。
- 6 休学を許可され又は休学を命じられた学生は、休学在籍料として年額120,000円（月額10,000円）を納めるものとし、学費（授業料、教育充実費及び実習費）の納入は免除する。ただし、兵役を理由に休学を許可された者については、休学在籍料及び学費の納入を免除する。
- 7 削除
- 8 外国人留学生のうち、本学との協定にもとづき学費を免除される者のほか、これに準ずる者についても学長の許可を得て学費を免除することができる。

（教職課程等の資格課程履修料等）

第38条の2 第23条の2第1項各号に定める資格課程を履修する者は、別に定める資格課程履修料等を納めなければならない。

第8章 聴講生、科目等履修生、外国人留学生及び交流学生

（聴講生）

第39条 本大学は、本大学の学生以外の者が特定の授業科目について聴講を願い出たときは、正規の学生の教育を妨げない場合に限り、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第40条 本大学は、本大学の学生以外の者が1又は複数の授業科目について履修を願い出たときは、正規の学生の教育を妨げない場合に限り、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第41条 削除

(外国人留学生)

第42条 本大学は、外国人が、学校教育法施行規則第150条第1号又は第3号に該当し、本大学に入学を願い出たときは、特別の審議を経て、入学を許可することができる。

2 前項の審議は、当該学部の教授会において行なう。

3 外国人留学生に関しては、前2項のほか、別に定める。

(交流学生)

第42条の2 本大学は、本大学との協定にもとづき、他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）の学生が本大学の授業科目を履修する場合は、交流学生として受入れることができる。

2 交流学生の受入れに関し必要な事項は、別に定める。

第9章 教職特別課程

(教職特別課程)

第43条 本大学に、教職特別課程を置く。

2 教職特別課程に関する事項は、別にこれを定める。

第10章 履修証明プログラム

(履修証明プログラム)

第44条 本大学は、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき履修証明を行うプログラム（以下「履修証明プログラム」という。）を設けることができる。

2 履修証明プログラムの実施に関し必要な事項は別に定める。

第11章 公開講座

(公開講座)

第45条 本大学は、大学の教育研究を公開するため、公開講座を設けることができる。

2 公開講座は、学年ごとに、当該学部の教授会又は大学評議会の議を経て、学長が、これを定める。

第12章 保健及び厚生

(保健室)

第46条 本大学教職員・学生の保健のため、保健室を設け、次の事業を行なう。

- (1) 毎学年定期の健康診断
- (2) 健康相談
- (3) 疾病及び傷害の救急処置

第13章 学生指導

(学生指導)

第47条 学生の福利厚生をはかり、かつ、自治的精神及び文化的活動を向上促進させる目的をもつて、本大学に必要な委員会を置く。

2 委員会に関する事項は、別にこれを定める。

第14章 賞罰

(表彰)

第48条 学業優秀または称賛にあたいする学生については、当該教授会の推薦に基づき、学長が表彰する。

(罰則)

第49条 学長は、本学則並びにこれに基づいて定められた大東文化大学学生懲戒処分規程及び大東文化大学定期試験における不正行為者の処分に関する規定に従い、学生を懲戒処分に付することができる。

- 2 懲戒は訓告・停学及び退学の3種とする。
- 3 懲戒処分は、教授会の議を経て、学長がこれを行う。

第50条 削除

第51条 削除

第15章 改正

(学則の改廃)

第52条 本学則の改廃は、学長の提案を受けて、理事会がこれを行う。

附 則

本学則は、昭和37年4月1日から施行する。

附 則（昭和39年4月1日）

本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則（昭和41年4月1日）

本学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則（昭和43年4月1日）

本学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則（昭和43年9月1日）

本学則は、昭和43年9月1日から施行する。

附 則（昭和45年3月23日）

本学則は、昭和45年3月23日から施行する。

附 則（昭和46年4月1日）

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（昭和47年4月1日）

本学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（昭和48年4月1日）

本学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年4月1日）

本学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年4月1日）

本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年4月1日）

本学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年4月1日）

1 本学則は、昭和53年4月1日から施行する。但し、第11条の2、第11条の3、第11条の5及び第11条の6の改正は昭和51年6月1日より適用する。

2 別表の改正は、昭和52年4月1日より適用する。但し、外国語学部専門教育科目の改正は昭和53年4月1日より適用する。

附 則（昭和53年6月1日）

本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年4月1日）

本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和55年4月1日）

本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年4月1日）

本学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年3月31日）

- 1 本学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 昭和58年度以後の入学金および授業料は、国家公務員給与に関する人事院勧告に示された対前年度改定率と同じく平均定期昇給率とを加算したものを、施設費は、首都圏標準建築費の対前年度指数の変化率をそれぞれ基準として毎年度に定められた額とする。
- 3 本学則第38条の規定にかかわらず、昭和57年3月31日現在在学する者の授業料および施設費は、入学当時の定められた額による。

附 則（昭和57年6月8日）

本学則は、昭和57年6月8日から施行する。

附 則（昭和57年11月2日）

本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年12月24日）

本学則は、昭和58年1月10日から施行する。

附 則（昭和57年12月24日）

- 1 本学則は、昭和58年4月1日から施行する。
- 2 第12条第1項第2号の総学生定員は昭和58年度・昭和59年度・昭和60年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

総学生定員

	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度
文学部	2,280名	2,360名	2,440名
日本文学科	1,000名	1,000名	1,000名
中国文学科	450名	500名	550名
英米文学科	430名	460名	490名
教育学科	400名	400名	400名
経済学部	2,250名	2,500名	2,750名
経済学科	1,350名	1,500名	1,650名

経営学科	900名	1,000名	1,100名
外国語学部	900名	1,000名	1,100名
中国語学科	360名	400名	440名
英語学科	540名	600名	660名
法学部	800名	800名	800名
法律学科	800名	800名	800名

3 第19条の3については昭和57年度入学生から適用する。

4 第18条第2号については昭和58年度生から適用する。

附 則（昭和58年3月9日）

1 本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 別表1中、専門教育科目の改正は、昭和58年度入学生から適用する。但し、一般教育科目及び文学部日本文学科専門教育科目の改正は、昭和57年度入学生から適用する。

附 則（昭和58年10月27日）

本学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年5月31日）

1 本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

2 第12条第1項第2号の総学生定員中、法学部の総学生定員は、昭和60年度・昭和61年度・昭和62年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度
法学部	850名	900名	950名
法律学科	850名	900名	950名

附 則（昭和59年12月5日）

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年12月21日）

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。但し、第22条及び別表1の改正は昭和60年度入学生から適用する。

附 則（昭和60年12月25日）

本学則は、昭和61年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は昭和61年度入学生から適用する。

附 則（昭和61年3月7日）

1 本学則は、昭和61年4月1日から施行する。

- 2 第12条第1項第2号の総学生定員中、国際関係学部の総学生定員は、昭和61年度・昭和62年度・昭和63年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度
国際関係学部	200名	400名	600名
国際関係学科	100名	200名	300名
国際文化学科	100名	200名	300名

- 3 第12条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	630名
日本文学科	250名
中国文学科	150名
英米文学科	130名
教育学科	100名
経済学部	1,000名
経済学科	600名
経営学科	400名
外国語学部	450名
中国語学科	180名
英語学科	270名
法学部	350名
法律学科	350名
国際関係学部	200名
国際関係学科	100名
国際文化学科	100名
計	2,630名

- 4 別表1の改正は昭和61年度入学生から適用する。

附 則（昭和61年3月27日）

- 1 本学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 本学則は、大学評議会の議を経て、理事会の決議により変更することができる。

附 則（昭和61年5月28日）

本学則は、昭和61年5月28日から施行する。

附 則（昭和61年7月30日）

- 1 本学則は、昭和62年4月1日から施行する。但し、第22条及び別表の改正は昭和62年度入学生から適用する。
- 2 第8条の2の規定については、昭和61年7月30日から施行する。

附 則（昭和61年12月17日）

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年1月28日）

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。但し、別表1及び別表3の改正は昭和62年度入学生から適用する。

附 則（昭和62年11月25日）

- 1 本学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 昭和63年度入学金・授業料および施設費については、附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。

附 則（昭和62年12月23日）

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年1月27日）

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は昭和63年度入学生から適用する。

附 則（昭和63年7月14日）

本学則は、昭和63年7月14日から施行する。但し、別表1の改正は平成元年度入学生から適用する。

附 則（平成元年3月8日）

- 1 本学則は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 平成元年度入学金・授業料および施設費については、附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。
- 3 別表1及び別表3の改正は平成元年度入学生から適用する。

附 則（平成元年10月25日）

本学則は、平成2年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は平成2年度入学生から適用する。

附 則（平成元年12月20日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 平成2年度入学金、授業料および施設費については、附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。
- 3 平成2年度入学金、施設費および教育活動維持費の額には、消費税率100分の3を乗じた額を含む。

附 則（平成元年12月20日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第38条第5項の規定については、平成元年4月1日に遡り適用する。
- 2 平成元年度内に留学した者で、第38条第5項に該当する者のうち、留学期間中の施設費以外の学費を既に納めている者については、その納めた額を次年度の学費の一部に充当する。

附 則（平成元年12月20日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は平成2年度入学生から適用する。

附 則（平成元年12月22日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総定員中、法学部法律学科及び政治学科の総定員は、平成2年度・平成3年度・平成4年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成2年度	平成3年度	平成4年度
法学部	1,000名	1,000名	1,000名
法律学科	900名	800名	700名
政治学科	100名	200名	300名

- 3 第12条第1号及び附則（昭和61年3月7日）第3項の規定にかかわらず、平成2年度から平成11年度までの間の法学部の入学定員は、次のとおりとする。

法学部 350名

 法律学科 250名

 政治学科 100名

附 則（平成2年2月28日）

本学則は、平成2年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は平成2年度入学生から適用する。

附 則（平成2年3月26日）

本学則は、平成2年4月1日から施行する。但し、別表1及び別表3の改正は平成2年度入学生から適用する。

附 則（平成2年3月28日）

本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成2年3月28日）

本学則は、平成3年4月1日から施行する。但し、国際関係学部にかかわる学則改正については平成3年度入学生から適用する。

附 則（平成2年7月25日）

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 別表1の改正は平成3年度入学生から適用する。

附 則（平成2年10月31日）

本学則は、平成3年4月1日から施行する。但し、別表1の改正は平成3年度入学生から適用する。

附 則（平成2年12月19日）

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。但し、第7条の2及び第11条の9の規定は、平成2年11月1日から適用する。
- 2 平成3年度入学金、学費については、附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。

附 則（平成2年12月21日）

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第12条第1号、附則（昭和61年3月7日）第3項及び附則（平成元年12月22日）第3項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	650名
日本文学科	250名
中国文学科	150名
英米文学科	130名
教育学科	120名
経済学部	1,000名
経済学科	600名

経営学科	400名
外国語学部	450名
中国語学科	180名
英語学科	270名
法学部	500名
法律学科	300名
政治学科	200名
国際関係学部	200名
国際関係学科	100名
国際文化学科	100名
計	2,800名

附 則（平成3年2月27日）

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 別表1（教育学科専門教育科目）及び別表4の改正は、平成3年度入学生から適用する。
- 3 別表3及び別表6の改正は平成2年度入学生から適用する。

附 則（平成3年2月27日）

- 1 本学則は、平成2年4月1日から適用する。

附 則（平成3年10月30日）

この学則は、平成3年10月30日から施行する。

附 則（平成3年11月27日）

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 平成4年度入学金及び学費については附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。

附 則（平成3年12月20日）

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 附則（平成2年12月21日）第2項の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	650名
略	略

経済学部	1,000名
略	略
外国語学部	500名
中国語学科	200名
英語学科	300名
法学部	500名
略	略
国際関係学部	200名
略	略
計	2,850名

附 則（平成4年1月29日）

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 別表1（中国文学科専門教育科目・教育学科専門教育科目）の改正は、平成4年度入学生から適用する。

附 則（平成4年2月26日）

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 日本文学科の卒業要件及び専門教育科目の改正は、平成4年度入学生から適用する。

附 則（平成4年6月24日）

この学則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成4年9月28日）

本学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成4年10月28日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 平成5年度入学金及び学費については附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。

附 則（平成4年12月21日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総定員中、外国語学部中国語学科、英語学科及び日本語学科の総定員は、平成5年度、平成6年度、平成7年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

平成5年度

平成6年度

平成7年度

外国語学部	1,200名	1,200名	1,200名
中国語学科	460名	440名	420名
英語学科	690名	660名	630名
日本語学科	50名	100名	150名

3 第12条第1号及び附則（平成3年12月20日）第2項の規定にかかわらず、平成5年度から平成11年度までの間の外国語学部の入学定員は、次のとおりとする。

外国語学部 500名

中国語学科 180名

英語学科 270名

日本語学科 50名

附 則（平成4年12月22日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1（日本文学科専門教育科目）の改正は平成5年度入学生から適用する。

附 則（平成5年1月27日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 教育学科の卒業要件及び専門教育科目の改正は、平成5年度入学生から適用する。

附 則（平成5年3月17日）

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1（日本文学科専門教育科目）の改正は平成5年度入学生から適用する。

附 則（平成5年3月30日）

本学則は、平成5年4月1日から施行し、改正後の第25条の規定は、平成3年11月14日から適用する。

附 則（平成5年4月28日）

本学則は、平成5年4月28日から施行し、改正後の第11条の25第2号の規定は、平成5年4月1日から適用する。

附 則（平成5年9月29日）

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 平成6年度入学金及び学費については附則（昭和57年3月31日）第2項の定めによらない。

附 則（平成5年10月27日）

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。

- 2 改正前の学則第41条第3項の規定は、平成6年4月1日前に本大学に聴講生として在学した者について、これを適用する。

附 則（平成6年3月2日）

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
2 別表1（英語学科専門教育科目）の改正は平成6年度入学生から適用する。

附 則（平成6年3月9日）

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
2 別表1（日本語学科専門教育科目）、別表3（日本語学科教職専門科目）及び別表6（日本語学科において取得できる免許状の種類）の改正は、平成5年度入学生から適用する。

附 則（平成6年7月20日）

本学則は、平成6年9月1日から施行する。

附 則（平成6年7月20日）

本学則は、平成6年10月1日から施行する。

附 則（平成6年10月26日）

- 1 本学則は、平成7年4月1日から施行する。
2 別表1（国際関係学部専門教育科目）の改正は平成7年度入学生から適用する。

附 則（平成7年3月1日）

- 1 本学則は、平成7年4月1日から施行する。
2 次の各号に掲げる規定は、それぞれ当該各号に定める日から適用する。

(1) 改正後の第27条及び第37条の規定

平成7年度入学を許可された日

(2) 改正後の第38条の規定

平成7年度学費納入期間の初日

- 3 附則（昭和57年3月31日）第2項の定めにかかわらず、平成7年度入学金及び学費については、別に定める。

附 則（平成7年3月1日）

- 1 本学則は、平成7年4月1日より施行する。
2 改正後の第5章第1節第17条ただし書並びに同章第3節及び第5節各条の規定は、平成7年度入学生から適用する。

附 則（平成7年3月29日）

本学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成7年11月29日）

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 附則（昭和57年3月31日）第2項の定めにかかわらず、平成8年度入学金及び学費については、別に定める。

附 則（平成8年2月28日）

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第5章第2節各条（第23条の4第7号の規定を除く。）、第3節第23条の7第5号、第6号、第7号、第4節各条（第23条の10第1号(8)及び第2号(7)の規定を除く。）、第5節第23条の13第5号、第6号、第7号及び第6節各条（第23条の16第6号の規定を除く。）の規定は、平成8年度入学生から適用する。ただし、第5章第5節第23条の14第4項の規定は、平成7年度入学生から適用する。
- 3 経済学部又は法学部に平成7年度前に入学した学生及び文学部、外国語学部又は国際関係学部平成8年度前に入学した学生の進級については、なお旧学則第16条第2項の規定により、別に定めるところによる。

附 則（平成8年3月27日）

本学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年11月27日）

- 1 本学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 附則（昭和57年3月31日）第2項の定めにかかわらず、平成9年度入学金及び学費については、別に定める。

附 則（平成8年12月18日）

- 1 本学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 改正後の外国語学部日本語学科に係る第5章第4節各条（第23条の10第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号並びに第23条の11第1項第4号、第5号、第6号、第7号、第8号及び第3項の規定を除く。）の規定は、平成9年度入学生から適用する。
- 3 改正後の外国語学部中国語学科及び英語学科に係る第23条の11第5項の規定は、平成9年度入学生から適用する。
- 4 外国語学部日本語学科平成9年度前に入学した学生の進級については、なお旧学則第16条第2項の規定により、別に定めるところによる。

附 則（平成9年2月26日）

本学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、改正後の第5章第6節第23条の16第4号及び第5号の規定は、平成8年度入学生から適用する。

附 則（平成9年3月26日）

本学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成9年10月29日）

- 1 本学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 附則（昭和57年3月31日）第2項の定めにかかわらず、平成10年度入学金及び学費については、別に定める。

附 則（平成10年2月17日）

本学則は、平成10年4月1日から施行する。但し、教育学科の専門教育科目の改正は、平成8年度入学生から適用する。

附 則（平成10年2月25日）

本学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、改正後の第5章第5節第23条の14第5項の規定は、平成7年度入学生から適用する。

附 則（平成10年7月29日）

本学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、改正後の第5章第5節第23条の13第2号の規定は、平成8年度入学生から適用する。

附 則（平成10年10月7日）

本学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第36条の改正は、平成11年度入学試験受験者から適用する。

附 則（平成10年10月28日）

本学則は、平成10年11月9日から施行する。

附 則（平成10年11月25日）

- 1 本学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第5章第5節第23条の13第1号の規定は、平成11年度入学生から適用する。ただし、第5章第5節第23条の13第2号の規定は、平成9年度入学生から適用する。

附 則（平成11年2月24日）

- 1 本学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 学費の変更があつたときは、学生は、その変更された額の学費を納入するものとする。
- 3 従前の附則（昭和57年3月31日）第2項及び第3項は、平成11年3月31日をもって廃

止する。

附 則（平成11年3月17日）

- 1 本学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 改正後の教育学科の専門教育科目に係る第23条の4の規定は、平成8年度入学生から適用する。
- 3 平成10年度以前に入学した学生で、改正前の第38条第7項の規定の適用を受けている学生は、なお従前の例によるものとする。

附 則（平成11年6月23日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、改正後の第23条の4第2号は、平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成11年7月21日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、教育学科の専門教育科目の改正は、平成10年度入学生から適用する。

附 則（平成11年9月22日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月22日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、文学部書道学科は、平成12年度、平成13年度及び平成14年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
文学部	2,570名	2,620名	2,670名
書道学科	50名	100名	150名

附 則（平成11年11月24日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4、第23条の5、第23条の16及び第23条の17の規定は、平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成11年12月22日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正前の第2条第1項第2号の経済学部経営学科については、平成12年度から学生募集を停止し、平成12年3月31日に当該学科に在学する者の卒業を待つて廃止する。
- 3 第12条第1号の毎年入学定員中、文学部教育学科、外国語学部中国語学科・英語学

科、法学部法律学科・政治学科、経営学部経営学科は、平成12年度、平成13年度、平成14年度及び平成15年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
文学部	698名	696名	694名	692名
教育学科	118名	116名	114名	112名
外国語学部	430名	410名	390名	370名
中国語学科	152名	144名	136名	128名
英語学科	228名	216名	204名	192名
法学部	475名	450名	425名	400名
法律学科	285名	270名	255名	240名
政治学科	190名	180名	170名	160名
経営学部	390名	380名	370名	360名
経営学科	240名	230名	220名	210名

4 第12条第1号の毎年入学定員中、経済学部経済学科は、平成12年度、平成13年度、平成14年度、平成15年度及び平成16年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経済学部	585名	570名	555名	540名	525名
経済学科	585名	570名	555名	540名	525名

5 第12条第2号の総学生定員中、文学部教育学科・書道学科、経済学部経済学科・経営学科、外国語学部中国語学科・英語学科、法学部法律学科・政治学科、経営学部経営学科・企業システム学科は、平成12年度、平成13年度、平成14年度、平成15年度、平成16年度、平成17年度、平成18年度及び平成19年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
文学部	2,648名	2,694名	2,738名	2,780名
教育学科	478名	474名	468名	460名
書道学科	50名	100名	150名	200名
経済学部	3,585名	3,155名	2,710名	2,250名
経済学科	2,385名	2,355名	2,310名	2,250名
経営学科	1,200名	800名	400名	0名

外国語学部	1,930名	1,840名	1,760名	1,600名
中国語学科	692名	656名	612名	560名
英語学科	1,038名	984名	948名	840名
法学部	1,975名	1,925名	1,850名	1,750名
法律学科	1,185名	1,155名	1,110名	1,050名
政治学科	790名	770名	740名	700名
経営学部	390名	770名	1,140名	1,500名
経営学科	240名	470名	690名	900名
企業システム学 科	150名	300名	450名	600名

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
文学部	2,772名	2,766名	2,762名	2,760名
教育学科	452名	446名	442名	440名
書道学科	200名	200名	200名	200名
経済学部	2,190名	2,145名	2,115名	2,100名
経済学科	2,190名	2,145名	2,115名	2,100名
経営学科	0名	0名	0名	0名
外国語学部	1,520名	1,460名	1,420名	1,400名
中国語学科	528名	504名	488名	480名
英語学科	792名	756名	732名	720名
法学部	1,650名	1,575名	1,525名	1,500名
法律学科	990名	945名	915名	900名
政治学科	660名	630名	610名	600名
経営学部	1,460名	1,430名	1,410名	1,400名
経営学科	860名	830名	810名	800名
企業システム学科	600名	600名	600名	600名

附 則（平成11年12月22日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、本改正は平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成12年1月26日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第1号の規定は、平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成12年2月23日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第3項、第23条の8第3項、第23条の11第3項、第23条の14第3項及び第23条の17第3項の規定は、平成12年度入学生から適用する。
- 3 改正後の第34条の規定は、平成4年度以後に入学した者について適用する。

附 則（平成12年3月21日）

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の2、第23条の4第4号、第23条の7第5号、第23条の10第5号、第23条の13第5号、第23条の16第4号及び第23条の19第5号は、平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成12年3月29日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年5月24日）

本学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成12年7月26日）

本学則は、平成12年9月1日から施行する。

附 則（平成12年10月26日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 改正前の第2条第1項第2号の経済学部経済学科については、平成13年3月31日に当該学科に在学する者は、なお従前のおりとする。
- 3 第12条第1号の毎年入学定員中、経済学部は、附則（平成11年12月22日）第4項の定めにかかわらず平成13年度、平成14年度、平成15年度及び平成16年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経済学部	570名	555名	540名	525名
社会経済学科	410名	395名	380名	365名
現代経済学科	160名	160名	160名	160名

- 4 第12条第2号の総学生定員中、経済学部は、附則（平成11年12月22日）第5項の定めにかかわらず平成13年度、平成14年度、平成15年度、平成16年度、平成17年度、平成

18年度及び平成19年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経済学部	3,155名	2,710名	2,250名	2,190名
経済学科	1,785名	1,185名	585名	0名
経営学科	800名	400名	0名	0名
社会経済学科	410名	805名	1,185名	1,550名
現代経済学科	160名	320名	480名	640名

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
経済学部	2,145名	2,115名	2,100名
経済学科	0名	0名	0名
経営学科	0名	0名	0名
社会経済学科	1,505名	1,475名	1,460名
現代経済学科	640名	640名	640名

附 則（平成12年11月29日）

- 1 本学則は、平成12年12月11日から施行する。
- 2 改正後の第23条の10第2号の規定は、平成9年度入学生から適用する。

附 則（平成12年11月29日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。
- 2 改正後の第23条の4第1号、第23条の5第1項第1号及び第23条の16第2号の規定は、平成12年度入学生から適用する。
- 3 改正後の第23条の4第4号、第23条の10第5号、第23条の13第5号、第23条の16第4号及び第23条の19第5号の授業科目「教育相談」については、平成12年度入学生から適用する。

附 則（平成12年12月21日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 第12条第1号の毎年入学定員中、経済学部は、附則（平成12年10月26日）第3項の定めにかかわらず平成13年度、平成14年度、平成15年度及び平成16年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経済学部	405名	390名	375名	360名

社会経済学科	245名	230名	215名	200名
現代経済学科	160名	160名	160名	160名

- 3 第12条第2号の総学生定員中、経済学部は、附則（平成12年10月26日）第4項の定めにかかわらず平成13年度、平成14年度、平成15年度、平成16年度、平成17年度、平成18年度及び平成19年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経済学部	2,990名	2,380名	1,755名	1,530名
経済学科	1,785名	1,185名	585名	0名
経営学科	800名	400名	0名	0名
社会経済学科	245名	475名	690名	890名
現代経済学科	160名	320名	480名	640名

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
経済学部	1,485名	1,455名	1,440名
経済学科	0名	0名	0名
経営学科	0名	0名	0名
社会経済学科	845名	815名	800名
現代経済学科	640名	640名	640名

- 4 第12条第2号の総学生定員中、環境創造学部環境創造学科は、平成13年度、平成14年度、平成15年度及び平成16年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
環境創造学部	165名	330名	495名	660名
環境創造学科	165名	330名	495名	660名

附 則（平成12年12月21日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。
- 2 改正後の第23条の7第5号及び第23条の19第5号の授業科目「教育相談」については、平成12年度入学生（経済学科入学生を含む。）から適用する。
- 3 改正前の第23条の2経営学部企業システム学科「高等学校教諭一種（商業）」については、同学科の平成12年度入学生が卒業するまでは存続するものとする。

附 則（平成13年1月31日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の10、第23条の11及び第23条の16の規定は、平成13年度入学生から適用する。

附 則（平成13年2月28日）

- 1 本学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 本学則の施行の際、改正前の第11条の23第1項第5号による大学評議会委員の任期は、第2項の定めにかかわらず、平成13年3月31日までとする。

附 則（平成13年3月21日）

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の12、第23条の13及び第23条の14の規定は、平成14年度入学生から適用する。

附 則（平成13年6月28日）

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13の規定は、平成14年度入学生から適用する。

附 則（平成13年6月28日）

本学則は、平成13年6月28日から施行する。

附 則（平成13年10月31日）

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5の規定は、平成14年度入学生から適用する。

附 則（平成13年11月28日）

本学則は、平成13年12月17日から施行する。

附 則（平成14年6月19日）

- 1 本学則は、平成14年8月1日から施行する。
- 2 改正後の第36条の規定は、平成15年度志願者から適用する。

附 則（平成14年12月18日）

- 1 本学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4、第23条の7、第23条の10、第23条の13、第23条の16、第23条の19及び第23条の22の規定は、平成15年度入学生から適用する。

附 則（平成15年2月26日）

- 1 本学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4及び第23条の5の規定は、平成15年度入学生から適用する。

附 則（平成15年3月19日）

- 1 本学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11の規定は、平成15年度入学生から適用する。

附 則（平成15年5月21日）

本学則は、平成15年6月1日から施行する。

附 則（平成15年7月30日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第2号及び第6号、第23条の7第7号、第23条の10第7号、第23条の13第7号、第23条の16第6号、第23条の19第7号並びに第23条の22第6号の規定は、平成16年度入学生から適用する。

附 則（平成15年9月24日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第2号の授業科目「情報論A」及び「情報論B」については、平成14年度入学生から適用する。

附 則（平成15年10月29日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の8第4項及び第5項、第23条の16第1号及び第2号並びに第23条の17第1項の規定は、平成16年度入学生から適用する。

附 則（平成15年12月17日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第4号の授業科目「特別教育実習」については、平成13年度入学生から適用する。

附 則（平成16年2月25日）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4、第23条の5及び第23条の16の規定は、平成16年度入学生から適用する。

附 則（平成16年5月26日）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 改正前の第2条第1号の文学部中国文学科については、平成17年3月31日に当該学科に在学する者は、なお従前のおりとする。
- 3 第12条第2号の総学生定員中、文学部日本文学科、中国文学科及び中国学科は、平成

17年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
文学部	2,616名	2,462名	2,310名	2,160名
日本文学科	900名	800名	700名	600名
中国文学科	450名	300名	150名	0名
中国学科	100名	200名	300名	400名

附 則（平成16年6月30日）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4及び第23条の5の規定は、平成17年度入学生から適用する。

附 則（平成16年7月28日）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4及び第23条の5の規定は、平成17年度入学生から適用する。ただし、第23条の4第2号日本文学科及び書道学科の授業科目「漢字作品制作研究」「仮名作品制作研究」の単位については平成16年度入学生から適用する。

附 則（平成16年10月27日）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、外国語学部英語学科は、平成17年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
外国語学部	1,450名	1,500名	1,550名	1,600名
英語学科	770名	820名	870名	920名

- 3 改正後の第23条の21、第23条の22及び第23条の23の規定は、平成17年度入学生から適用する。

附 則（平成16年11月30日）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、スポーツ・健康科学部は、平成17年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
スポーツ・健康科学部	200名	400名	600名	800名

スポーツ科学科	100名	200名	300名	400名
健康科学科	100名	200名	300名	400名

附 則（平成16年12月22日）

本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年1月26日）

本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月23日）

本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月29日）

本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年6月29日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の10及び第23条の11の規定は、平成18年度入学生から適用する。

附 則（平成17年10月26日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の21、第23条の22及び第23条の23の規定は、平成18年度入学生から適用する。

附 則（平成17年11月30日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の3から第23条の20まで及び第23条の24から第23条の26までの規定は、平成18年度入学生から適用する。

附 則（平成17年12月21日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第1号、第2号及び第4号、第23条の14第1項第2号及び第4号並びに第5項並びに第23条の16第2号の規定は、平成17年度入学生から適用する。

附 則（平成18年3月13日）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の2、第23条の21第6号及び第7号、第23条の22第4号3. 教職資格専門科目、第6号及び第7号並びに第23条の23第6号及び第7号の規定は、平成17年度入学生から適用する。

附 則（平成18年3月23日）

本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年11月29日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の22第3号の規定は、平成18年度入学生から適用する。
- 3 改正後の第23条の12第4項第2号、第23条の13第1号及び第2号、第23条の14第1項及び第2項、第23条の24第1項第7号、第23条の25第7号、第23条の26第1項第7号並びに第38条の2の規定は、平成19年度入学生から適用する。
- 4 改正後の第23条の14第2項の規定は、平成19年度以前の法律学科入学者で改正前の第23条の14第2項に規定する進級要件を満たさない者にも適用することができる。

附 則（平成19年1月31日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の14第4項の規定は、平成19年度入学生から適用する。

附 則（平成19年2月28日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第4号及び第23条の14第1項第4号の規定は、平成19年度入学生から適用する。
- 3 経済学部経営学科は、平成19年3月31日をもって廃止する。

附 則（平成19年4月25日）

本学則は、平成19年5月1日から施行する。

附 則（平成19年5月23日）

- 1 本学則は、平成19年6月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第3号の摘要③の規定は、平成18年度入学生から適用する。

附 則（平成19年7月25日）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第1号、第2号、第4号及び第6号、第23条の5第1項第2号、第23条の7第5号及び第7号、第23条の10第5号及び第7号、第23条の13第5号及び第7号、第23条の16第4号及び第6号、第23条の19第5号及び第7号、第23条の22第6号及び第8号並びに第23条の25第6号の規定は、平成20年度入学生から適用する。

附 則（平成20年1月30日）

本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月27日）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 別科日本語研修課程は、平成20年3月31日をもって廃止する。
- 3 大東文化大学別科日本語研修課程規程は、廃止する。
- 4 改正後の第23条の17第3項の規定は、平成20年度入学生から適用する。

附 則（平成20年3月19日）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の24第1項第7号、第23条の25第7号及び第23条の26第1項第7号の規定は、平成17年度入学生から適用する。

附 則（平成20年6月25日）

- 1 本学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 従前の「附則第2項（平成11年2月24日）」は、平成21年3月31日をもって廃止する。
- 3 改正後の第37条及び第38条の規定は、平成21年度入学生から適用する。

附 則（平成20年11月26日）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第1号及び第28条第1項の規定は、平成21年度入学生から適用する。

附 則（平成20年12月17日）

本学則は、平成21年1月1日から施行する。

附 則（平成21年1月28日）

本学則は、平成21年3月1日から施行する。

附 則（平成21年1月28日）

- 1 本学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第2号の規定は、平成21年度入学生から適用する。

附 則（平成21年4月30日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の10の規定は平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年7月29日）

本学則は、平成21年9月1日から施行する。

附 則（平成21年7月29日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。

- 2 改正後の第23条の4第2号並びに第23条の5第1項第2号の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年7月29日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第2号並びに第23条の5第1項第2号の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年7月29日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第1号及び第2号並びに第23条の5第1項第1号及び第2号並びに第4項の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年7月29日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第4号、第5号、第6号、第7号、第23条の5第4号、第23条の7第5号、第6号、第7号、第8号、第23条の10第5号、第6号、第7号、第8号、第23条の11第5号、第23条の13第5号、第6号、第7号、第8号、第23条の14第3項第1号、第2号、第3号、第4号、第23条の16第4号、第5号、第6号、第7号、第23条の16、第23条の19第5号、第6号、第7号、第8号、第23条の20第5号、第6号、第7号、第8号、第23条の22第6号、第7号、第8号、第9号、第23条の23第6号、第7号、第8号、第9号並びに第23条の25第5号、第6号及び第23条の26第5号、第6号の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年7月29日）

本学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成21年10月28日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第1号の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年10月28日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の10及び第23条の11の規定は平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年10月28日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の14第2項の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年10月28日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の16、第23条の17の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年10月28日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の25、第23条の26の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成21年11月25日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、文学部及び外国語学部は、平成22年度、平成23年度、平成24年度及び平成25年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
文学部	2,170名	2,180名	2,190名	2,200名
日本文学科	600名	600名	600名	600名
中国学科	400名	400名	400名	400名
英米文学科	520名	520名	520名	520名
教育学科	440名	440名	440名	440名
書道学科	210名	220名	230名	240名

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
外国語学部	1,590名	1,580名	1,570名	1,560名
中国語学科	460名	440名	420名	400名
英語学科	920名	920名	920名	920名
日本語学科	210名	220名	230名	240名

附 則（平成21年11月25日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の19第2号および第23条の20第2号の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成22年1月25日）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第38条の2の規定は、平成22年度入学生から適用する。

附 則（平成22年2月24日）

本学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年9月29日）

- 1 本学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第1号及び第2号並びに第23条の6第1項第2号の規定は、平成23年度入学生から適用する。

附 則（平成22年11月24日）

- 1 本学則は平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の5第1号、第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の6第1号、第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の6第2項及び第3項、第23条の8第4号、第23条の9第4号、第23条の9第5項、第23条の11第4号、第23条の12第4号、第23条の14第4号、第23条の15第4号、第23条の16第4号、第23条の17第2号、第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の18第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の18第3項、第23条の20第4号、第23条の21第4号、第23条の22第5号、第23条の23第5号、第23条の26第4号並びに第23条の27第4号の規定は平成23年度入学生から適用する。

附 則（平成23年1月26日）

本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年1月26日）

- 1 本学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第21条の規定は、平成23年度入学生から適用する。

附 則（平成23年3月23日）

本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年7月27日）

- 1 本学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第6号、第23条の8第6号、第23条の11第6号、第23条の14第6号、第23条の17第6号、第23条の20第6号及び第23条の23第7号の規定は、平成24年度入学生から適用する。

附 則（平成23年7月27日）

- 1 本学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第8号、第23条の8第8号、第23条の11第8号、第23条の14第

8号、第23条の17第8号、第23条の20第8号及び第23条の23第9号の規定は、平成24年度入学生から適用する。

附 則（平成23年12月21日）

本学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年9月26日）

- 1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の22、第23条の23及び第23条の24の規定は、平成25年度入学生から適用する。

附 則（平成24年11月28日）

- 1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第7号、第23条の8第7号、第23条の11第7号、第23条の14第7号、第23条の17第7号、第23条の20第7号、第23条の23第8号及び第23条の26第6号の社会教育主事課程関連科目「図書館概論」及び「図書館サービス概論」については、平成24年度入学生から適用する。

附 則（平成25年1月30日）

- 1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第32条の2第2項については、平成25年4月1日に在籍する学生から適用する。

附 則（平成25年2月28日）

- 1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の2第1項第5号、第23条の4第1項第9号、第23条の5並びに第23条の6の規定は、平成25年度入学生から適用する。

附 則（平成25年6月26日）

本学則は、平成25年7月1日から施行する。

附 則（平成25年11月27日）

- 1 本学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の6第2項、第23条の9第3項、第23条の12第2項、第23条の15第4項、第23条の18第2項、第23条の21第3項、第23条の24第2項及び第23条の27第2項の規定は、平成26年度入学生から適用する。
- 3 附則（平成24年9月26日）第2項の定めにかかわらず、第23条の24第2項中4年次の履修単位数の上限を定めた部分は、平成25年度入学生には適用しない。

附 則（平成26年1月29日）

本学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月27日）

- 1 本学則は、平成26年4月1日から施行し、平成26年度入学生から適用する。

附 則（平成26年3月19日）

本学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年7月30日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の13第4項、第23条の14第1号、第2号及び第3号並びに第23条の15第1項、第2項及び第4項の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成26年7月30日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の17第1項第1号及び第2号、第23条の18第1項第1号、第2号及び第4号並びに、第23条の18第2項及び第3項の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成26年7月30日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第37条及び第38条の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成26年7月30日）

本学則は、平成26年9月1日から施行する。

附 則（平成26年10月29日）

本学則は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成26年11月26日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第1項第2号、第23条の6第1項第2号及び第4項の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成26年11月26日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第1項第2号の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（平成27年1月28日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 改正後の第38条第5項及び第6項の規定は、平成27年4月1日以降の在學生から適用する。

附 則（平成27年2月25日）

- 1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第36条の規定は、平成28年度入學生から適用する。
- 3 改正後の第37条第1項第5号及び第38条第1項第5号の規定は、平成27年4月1日以降の在學生から適用する。

附 則（平成27年3月18日）

本学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月22日）

- 1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第21条第3項及び第4項の規定は、平成28年度入學生から適用する。

附 則（平成27年5月1日）

- 1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正前の第2条第1項第2号の経営学部企業システム学科については、平成28年度から学生募集を停止し、平成28年3月31日に当該学科に在學する者の卒業を待つて廃止する。
- 3 第12条第2号の總學生定員中、経営学部経営学科及び企業システム学科は、平成28年度、平成29年度、平成30年度及び平成31年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
経営学部	1,400名	1,400名	1,400名	1,400名
経営学科	950名	1,100名	1,250名	1,400名
企業システム学科	450名	300名	150名	0名

附 則（平成27年7月29日）

- 1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の26第1項第2号の規定は、平成28年度入學生から適用する。

附 則（平成27年7月29日）

- 1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11の規定は、平成27年度入學生から適用する。

附 則（平成27年9月30日）

本学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成27年11月25日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の8、第23条の9第1項及び第4項の規定は、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成28年1月27日）

本学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月24日）

本学則は、平成28年4月1日より施行する。

附 則（平成28年3月24日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第2条、第2条の2第1号、第12条第1号及び第2号、第23条の3、第23条の5第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号及び第8号、第23条の6第1項第1号、第2号、第3号、第4号、第6号、第7号、第8号及び第4項の規定は、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成28年5月25日）

本学則は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成28年7月1日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、文学部中国文学科・教育学科、経済学部社会経済学科・現代経済学科、外国語学部中国語学科、経営学部経営学科及びスポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、平成29年度、平成30年度、平成31年度及び平成32年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
文学部	2,180名	2,160名	2,140名	2,120名
中国文学科	370名	340名	310名	280名
教育学科	450名	460名	470名	480名
経済学部	1,450名	1,460名	1,470名	1,480名
社会経済学科	805名	810名	815名	820名
現代経済学科	645名	650名	655名	660名
外国語学部	1,530名	1,500名	1,470名	1,440名

中国語学科	370名	340名	310名	280名
経営学部	1,415名	1,430名	1,445名	1,460名
経営学科	1,415名	1,430名	1,445名	1,460名
スポーツ・健康科学 部	825名	850名	875名	900名
スポーツ科学科	425名	450名	475名	500名

附 則（平成28年7月27日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号の規定は、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成28年12月21日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の3、第23条の16第1項第5号及び第6号、第23条の17第5号及び第6号、第23条の18第1項第5号及び第6号並びに、第23条の18第2項の規定は、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成29年1月25日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第1号及び第2号、第23条の6第1項第1号の規定は、平成29年度入学生から適用する。

附 則（平成29年2月22日）

- 1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年5月24日）

本学則は、平成29年7月1日から施行する。

附 則（平成29年6月28日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第1号及び第2号、第23条の12第1項第1号、第2号、第3号及び第5号の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成29年7月26日）

本学則は、平成29年9月1日から施行する。

附 則（平成29年8月29日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正前の第2条第7号の環境創造学部環境創造学科については、平成30年度から学生

募集を停止し、平成30年3月31日に当該学科に在学する者の卒業を待つて廃止する。

- 3 第8条の3、第11条から第11条の10まで及び第11条の23の規定にかかわらず、学生募集停止から廃止に至るまでの移行期間における環境創造学部の学部長、学科主任及び東松山担当主任の選任、学部教授会の運営並びに大学評議会委員の選任に関する事項は、別に定める。
- 4 第12条第2号の総学生定員中、文学部歴史文化学科、環境創造学部環境創造学科、スポーツ・健康科学部看護学科及び社会学部社会学科は、平成30年度、平成31年度、平成32年度及び平成33年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
文学部	2,260名	2,340名	2,420名	2,520名
歴史文化学科	100名	200名	300名	400名
環境創造学部	495名	330名	165名	0名
環境創造学科	495名	330名	165名	0名
スポーツ・健康科学部	950名	1,075名	1,200名	1,300名
看護学科	100名	200名	300名	400名
社会学部	200名	400名	600名	800名
社会学科	200名	400名	600名	800名

附 則（平成29年10月25日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の3、第23条の4第2項及び第3項、第23条の5、第23条の6、第23条の8第5号、第23条の10第2項及び第3項、第23条の11、第23条の12第1号、第2号、第3号、第4号及び第5号、第23条の14第5号、第6号及び第7号、第23条の17第7号、第23条の19第2項及び第3項、第23条の20、第23条の21、第23条の26第8号及び第9号、第23条の28第2項及び第3項、第23条の29の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成29年10月25日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の4第1項、第23条の5、第23条の6第1項及び第3項、第23条の7第1項、第23条の8、第23条の9第1項、第2項及び第3項、第23条の10第1項、第23条の11、第23条の12第1項及び第3項、第23条の16第1項、第23条の17、第23条の

18第1項及び第4項、第23条の19第1項、第23条の20、第23条の21第1項及び第5項、第23条の25第1項、第23条の26、第23条の27第1項及び第4項の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成29年11月29日）

本学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成29年11月29日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第1号及び第2号、第23条の12第1項第1号及び第2号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成29年11月29日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の16第2項及び第3項、第23条の17第1号、第2号、第3号、第4号、第6号、第7号、第8号及び第9号並びに第23条の18第1項第1号、第2号及び第3号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成29年12月20日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の21第3項の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成30年1月31日）

本学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年1月31日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第1号、第5号、第7号及び第8号の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成30年1月31日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号、第3号、第5号、第6号、第7号、第8号及び第9号、第23条の6第1項第2号、第23条の11第3号及び第5号、第23条の20第3号及び第5号、第23条の25第2項及び第3項、第23条の26、第23条の27第1項第3号、第6号及び第7号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成30年2月28日）

本学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年2月28日）

- 1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号、第23条の8第2号、第23条の9第1項第2号、第3項及び第4項、第23条の14第2号及び第5号及び第23条の15第2項の規定は、平成30年度入学生から適用する。

附 則（平成30年2月28日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の3、第23条の7第2項及び第3項、第23条の8、第23条の9第1項、第3項及び第4項、第23条の13第2項及び第3項、第23条の14並びに第23条の15第1項の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成30年7月4日）

本学則は、平成31年4月1日より施行する。

附 則（平成30年7月25日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第9号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成30年9月26日）

本学則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則（平成30年10月31日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の28第1項、第23条の29第8号、第23条の30第1項、第2項及び第3項の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成30年10月31日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の17第9号、第23条の18第1項第9号、第23条の26第15号、第23条の27第1項第15号、第2項、第4項、第23条の29第8号及び第23条の30第1項第8号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成30年12月19日）

- 1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第10号、第23条の6第1項第10号、第2項及び第3項の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成31年1月30日）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第9号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成31年1月30日）

本学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月27日）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第5号、第23条の8第5号、第23条の11第5号、第23条の14第5号、第23条の20第5号及び第23条の26第8号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成31年2月27日）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の29第3号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（平成31年2月27日）

1 本学則は、平成32年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の3、第23条の5第2号及び第23条の6第2号の規定は、平成32年度入学生から適用する。

附 則（令和元年5月29日）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第37条及び第38号の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和元年7月31日）

本学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和元年10月30日）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和元年10月30日）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第1号及び第2号の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和元年10月30日）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第2号の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和元年10月30日）

- 1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の2第1項第3号、第23条の4第1項第7号、第23条の5第6号、第7号及び第8号、第23条の6第1項第7号、第23条の7第1項第7号、第23条の8第6号、第7号及び第8号、第23条の9第1項第7号、第23条の10第1項第7号、第23条の11第6号、第7号及び第8号、第23条の12第1項第7号、第23条の13第1項第7号、第23条の14第6号、第7号及び第8号、第23条の15第3項第3号、第23条の16第1項第7号、第23条の17第6号、第7号及び第8号、第23条の18第1項第7号、第23条の19第1項第7号、第23条の20第6号、第7号及び第8号、第23条の21第1項第7号、第23条の25第1項第9号、第23条の26第9号、第23条の27第1項第9号、第23条の28第1項第6号、第23条の29第5号、第6号及び第7号並びに第23条の30第1項第6号の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和元年11月27日）

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の19第5項第2号、第23条の20第1号、第2号、第23条の21第1項第1号及び第2号の規定は、令和3年度入学生から適用する。

附 則（令和2年1月29日）

- 1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の20第9号及び第23条の21第1項第9号の規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和2年2月27日）

- 1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第2号、第4号及び第23条の12第1項第4号の規定は、平成27年度入学生から適用する。

附 則（令和2年2月27日）

本学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月22日）

- 1 本学則は、令和2年5月1日から施行する。
- 2 改正後の第18条の2の規定は、令和2年度開講科目から適用する。

附 則（令和2年7月22日）

本学則は、令和2年10月1日から施行する。

附 則（令和2年7月22日）

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第5号の規定は令和3年4月1日入学生から適用する。

附 則（令和2年10月28日）

- 1 本学則は、令和2年9月21日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第5号、第23条の8第5号、第23条の11第5号、第23条の14第5号、第23条の20第5号、第23条の23第5号並びに第23条の26第8号の規定は、令和2年4月1日以降の在学学生及び科目等履修生について当分の間適用する。
- 3 改正後の第23条の8第5号の規定は、平成30年度以前入学生については従前の教職職課程関連科目（両学科共通）において、次のとおり読み替えるものとする。

(5) 教職課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
(省略)				
教育実習（高校）	3			3
教育実習A	1			1
教育実習B	2			2
教育実習C	2			2
教育実習D	3			3
介護等体験の研究	2			2

- 4 改正後の第23条の14第5号の規定は、平成29年度以前入学生については従前の教職職課程関連科目（両学科共通）において、次のとおり読み替えるものとする。

(5) 教職課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
(省略)				
教育実習（高校）	3			3
教育実習A	1			1
教育実習B	2			2
教育実習C	2			2
教育実習D	3			3
介護等体験の研究	2			2

- 5 改正後の第23条の5第5号、第23条の8第5号、第23条の11第5号、第23条の14第

5号、第23条の20第5号、並びに第23条の26第8号の授業科目「教育相談（カウンセリングを含む）」は、平成29年度以前の入学生については「教育相談」と読み替えるものとする。

附 則（令和3年2月24日）

本学則は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和3年3月17日）

本学則は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和3年7月7日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号の規定は、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和3年7月28日）

- 1 本学則は、令和3年9月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第1号の規定は、平成30年度入学生から適用する。
- 3 改正後の第23条の11第2号の規定は、平成31年度入学生から適用する。

附 則（令和3年7月28日）

- 1 本学則は、令和3年9月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の6第1項第10号イ、第23条の9第1項第9号、第23条の12第1項第9号、第23条の18第1項第9号イ、第23条の21第1項第9号イ、第23条の27第1項第15号イ及び第23条の30第1項第8号イの規定は、令和2年度入学生から適用する。

附 則（令和3年7月28日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の26及び第23条の27は、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和3年10月27日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の29第2号、第3号、第4号及び第23条の30第1項第3号の規定は、平成30年4月1日入学生から適用する。

附 則（令和3年10月27日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第8号、第23条の17第8号及び第23条の20第8号の規定は、平成30年4月1日入学生から適用する。
- 3 改正後の第23条の8第8号及び第23条の14第8号の規定は、平成31年4月1日入学生

から適用する。

附 則（令和3年11月24日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の17第1号及び第2号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和3年12月22日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号の規定は、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和3年12月22日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の26第3号及び第12号は、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和4年1月26日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の26は、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和4年1月26日）

本学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和4年2月24日）

本学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和4年2月24日）

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第5号、第23条の8第5号、第23条の11第5号、第23条の14第5号、第23条の20第5号並びに第23条の26第8号の規定は、令和2年4月1日以降の在学生及び科目等履修生について当分の間適用する。
- 3 改正後の第23条の8第5号の規定は、平成30年度以前入学生については従前の教職職課程関連科目（両学科共通）において、次のとおり読み替えるものとする。

(5) 教職課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
(省略)				
教育実習1	1			1
教育実習2（中学）	4			4
教育実習2（高校）	2			2
(省略)				

4 改正後の第23条の14第5号の規定は、平成29年度以前入学生については従前の教職職課程関連科目（両学科共通）において、次のとおり読み替えるものとする。

(5) 教職課程関連科目（両学科共通）

授業科目	単位	必修単位	選択単位	自由単位
(省略)				
教育実習1	1			1
教育実習2（中学）	4			4
教育実習2（高校）	2			2
(省略)				

附 則（令和4年2月24日）

本学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月16日）

本学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和4年5月25日）

1 本学則は、令和4年7月1日から施行する。

2 経営学部企業システム学科は令和4年6月30日をもって廃止する。

附 則（令和4年7月27日）

1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第2号及び第23条の6第2号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年7月27日）

1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第2号、第3号、第9号、及び第23条の6第1号、第2号、第3号、第4号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年7月27日）

1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第2号及び第23条の6第2号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年10月26日）

1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の5第2号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年10月26日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第2号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年10月26日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11および第23条の12の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年11月30日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の11第2号、同条第9号及び第23条の12第1項第9号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年12月21日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の27第2項に定める各学科の履修単位数の上限のうち、スポーツ科学科については同条第1項第16号及び第17号を、健康科学科については同条第1項第17号を、看護学科については同条第1項第17号を、それぞれ従前の規定に加え、令和4年度入学生から適用する。

附 則（令和4年12月21日）

- 1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第5号、第23条の8第5号、第23条の11第5号、第23条の14第5号並びに第23条の26第8号の規定は、令和5年度入学生から適用する。

附 則（令和4年12月21日）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の25、第23条の26及び第23条の27の規定は、令和6年度入学生から適用する。

附 則（令和4年12月21日）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の5第3号、第23条の8第3号、第23条の11第3号、第23条の14第3号、第23条の17第3号、第23条の20第3号、第23条の26第2号及び第6号、第23条の29第3号の規定は、令和6年度入学者から適用する。

附 則（令和5年1月25日）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の25、第23条の26及び第23条の27の規定は、令和6年度入学生から適用する。

附則（令和 年 月 日）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第12条第2号の総学生定員中、スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、令和6年度、令和7年度、令和8年度及び令和9年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スポーツ・健康科学部	1,340名	1,380名	1,420名	1,460名
スポーツ科学科	540名	580名	620名	660名

附則（令和5年2月22日）

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第23条の27は、令和6年度入学生から適用する。

(2) 変更事項を記載した書類

<変更の事由>

スポーツをとりまく現代社会の諸問題解決に貢献できるより多様な人材を養成することを目指し、スポーツ・健康科学部スポーツ科学科の教育課程を改正するとともに収容定員を変更する。

<変更事項>

1. スポーツ・健康科学部及びスポーツ科学科の学生定員（毎年入学定員・総学生定員）に係る人数変更【第12条（定員）、附則】
2. (11) 障がい者スポーツ指導員の資格名称がパラスポーツ指導員に変更されることに伴う、授業科目の区分等の変更【第23条の25（授業科目の区分等）】
3. (18) トレーナー系資格に関する科目（スポーツ科学科）、(19) 教員養成に関する科目（スポーツ科学科）を追加する【第23条の25（授業科目の区分等）】
4. 新カリキュラム立ち上げに伴う科目の追加・削除【第23条の26（授業科目の開設等）】
 - ・基礎教育科目「情報科学」及び「応用情報科学」を廃止し、「スポーツ情報科学 A」「スポーツ情報科学 B」を新設する。
 - ・講義科目として「スポーツデータサイエンス」、「スポーツとジェンダー」、「アダプテッドスポーツ論」などの科目を新設する。
 - ・演習科目として「ストレングス&コンディショニング演習」、「ヘルスプロモーション演習」、「ランニングサイエンス演習」、「アウトドアスキル演習」などの科目を新設する。
 - ・実技・コーチング科目としてスポーツフィールドワーク I～IV 等を新設する。
5. 卒業要件の修得単位数の変更【第23条の27（履修方法、進級要件及び卒業要件）】
6. 本改正に係る施行日を記載【附則】

(3) 変更部分の新旧対照表

○大東文化大学学則

新	旧
<p>第1章～第2章（省略）</p> <p>第3章 学生の定員 （定員）</p> <p>第12条 本大学の各学部及び各学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>（1） 毎年入学定員</p> <p>文学部～経営学部（省略）</p> <p>スポーツ・健康科学部 <u>365</u>名</p> <p> スポーツ科学科 <u>165</u>名</p> <p> 健康科学科 100名</p> <p> 看護学科 100名</p> <p>社会学部（省略）</p> <p>（2） 総学生定員</p> <p>文学部～経営学部（省略）</p> <p>スポーツ・健康科学部 <u>1,460</u>名</p> <p> スポーツ科学科 <u>660</u>名</p> <p> 健康科学科 400名</p> <p> 看護学科 400名</p> <p>社会学部（省略）</p> <p>第13条～第5章第8節（省略）</p>	<p>第1章～第2章（省略）</p> <p>第3章 学生の定員 （定員）</p> <p>第12条 本大学の各学部及び各学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>（1） 毎年入学定員</p> <p>文学部～経営学部（省略）</p> <p>スポーツ・健康科学部 <u>325</u>名</p> <p> スポーツ科学科 <u>125</u>名</p> <p> 健康科学科 100名</p> <p> 看護学科 100名</p> <p>社会学部（省略）</p> <p>（2） 総学生定員</p> <p>文学部～経営学部（省略）</p> <p>スポーツ・健康科学部 <u>1,300</u>名</p> <p> スポーツ科学科 <u>500</u>名</p> <p> 健康科学科 400名</p> <p> 看護学科 400名</p> <p>社会学部（省略）</p> <p>第13条～第5章第8節（省略）</p>

第9節 スポーツ・健康科学部

(授業科目の区分等)

第23条の25 スポーツ・健康科学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

(1) ～ (10) (省略)

(11) パラスポーツ指導員に関する科目 (スポーツ科学科)

(12) ～ (16) (省略)

(17) 保健師に関する科目 (看護学科)

(18) トレーナー系資格に関する科目 (スポーツ科学科)

(19) 教員養成に関する科目 (スポーツ科学科)

2～4 (省略)

(授業科目の開設等)

第23条の26 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
(省略)					
フレッシュマンセミナーB	2	2			
スポーツ情報科学A	2	2			
スポーツ情報科学B	2	2			
スポーツ基礎教養	2	2			
スポーツキャリアセ	2	2			

第9節 スポーツ・健康科学部

(授業科目の区分等)

第23条の25 スポーツ・健康科学部が開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。

(1) ～ (10) (省略)

(11) 障がい者スポーツ指導員に関する科目 (スポーツ科学科)

(12) ～ (16) (省略)

(17) 保健師に関する科目 (看護学科)

2～4 (省略)

(授業科目の開設等)

第23条の26 開設する授業科目、単位数及び必修、選択必修、選択、自由の別は、次のとおりとする。

(1) 基礎教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
(省略)					
フレッシュマンセミナーB	2	2			
情報科学	2	2			
応用情報科学	2	2			
スポーツキャリアセ	2	2			

ミナーA					
スポーツキャリアセ	2	2			
ミナーB					
コミュニケーション	1			1	
英語A					
コミュニケーション	1			1	
英語B					
(省略)					

ミナーA					
スポーツキャリアセ	2	2			
ミナーB					
コミュニケーション	1			1	
英語A					
コミュニケーション	1			1	
英語B					
スポーツ基礎教養	2			2	
(省略)					

健康科学科 (省略)

(2) (省略)

(3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

健康科学科 (省略)

(2) (省略)

(3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
(省略)					
生理学	2	2			
スポーツコーチング	2	2			
概論					
ストレングス&コン	2			2	
ディショニングベー					
シック					

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
(省略)					
生理学	2	2			
スポーツコーチング	2	2			
論					
水泳 (基礎)	1			1	
水泳 (発展)	1			1	
陸上競技 (基礎)	1			1	

					陸上競技（発展）	1	1		
					器械運動（基礎）	1	1		
					器械運動（発展）	1	1		
スポーツ実技A（水泳）	1			1					
スポーツ実技A（陸上競技）	1			1					
スポーツ実技A（器械運動）	1			1					
スポーツ実技B（バスケットボール）	1			1					
スポーツ実技B（バレーボール）	1			1					
スポーツ実技B（サッカー）	1			1					
スポーツ実技B（ラグビー）	1			1					
スポーツ実技B（ハンドボール）	1			1					
スポーツ実技B（ソフトボール）	1			1					
スポーツ実技B（バドミントン）	1			1					
スポーツ実技B（テニス）	1			1					

スポーツ実技C (剣道)	1			1					
スポーツ実技C (柔道)	1			1					
スポーツ実技C (ダンス)	1			1					
マリン	2			2					
キャンプ	2			2					
カヌー	2			2					
ゴルフ	2			2					
スキー	2			2					
スケート	2			2					
スポーツ原理	2			2					
健康科学概論	2			2	健康科学概論	2			2
レクリエーション概論	2			2					
スポーツ測定法	2			2					
生涯スポーツ論	2			2					
健康と経済	2			2					
体育・スポーツ史	2			2					
スポーツ心理学	2			2					
スポーツバイオメカニクス	2			2					
スポーツ生理学	2			2					
トレーニング生理学	2			2					

スポーツ社会学	2			2					
スポーツ運動学	2			2	スポーツ運動学	2			2
スポーツ法学	2			2					
スポーツ外傷・障害学	2			2					
リコンディショニング論	2			2					
スポーツ医学	2			2					
					スポーツ原理	2			2
					スポーツ生理学	2			2
					トレーニング生理学	2			2
					スポーツバイオメカニクス	2			2
					スポーツ測定法	2			2
スポーツ栄養学	2			2	スポーツ栄養学	2			2
安全教育及び救急法	2			2					
					スポーツ心理学	2			2
					体育・スポーツ史	2			2
					スポーツ社会学	2			2
					スポーツ法学	2			2
					レクリエーション概論	2			2
					スポーツ医学	2			2
スポーツ経営学	2			2					
衛生学・公衆衛生学	2			2					

発育発達論	2									
野外活動論	2									
予防医学概論	2					予防医学概論	2			2
						安全教育及び救急法	2			2
						アスレチックコンディ	2			2
						ィショニング論				
スポーツ文化論	2									
スポーツ政策論	2									
スポーツ指導のリス	2									
クマネジメント										
スポーツマネジメン	2									
ト										
英語でスポーツ科学	2									
スポーツビジネス	2									
ストレンクス&コン	2					アスレチックトレー	2			2
ディショニング論						ニング論				
スポーツとジェンダ	2									
ニ										
アダプテッドスポー	2									
ツ論										
武道論	2									
スポーツコーチング	2									
学										
ヘルスプロモーショ	2									
ン論										

体力科学	2		2	体力トレーニング論	2		2
				スポーツ外傷・障害学	2		2
				スポーツ経営学	2		2
				生涯スポーツ論	2		2
				発育発達論	2		2
				学校保健	2		2
				衛生学・公衆衛生学	2		2
				野外活動論	2		2
				スポーツ政策論	2		2
				スポーツ指導のリスクマネジメント	2		2
トップアスリート論	2		2				
スポーツデータサイエンス	2		2	スポーツ統計学	2		2
				スポーツ産業論	2		2
				スポーツマネジメント	2		2
				ト			
				スポーツ文化論	2		2
				テニス（基礎）	1		1
				テニス（発展）	1		1
				ソフトボール（基礎）	1		1
				ソフトボール（発展）	1		1
				ラグビー（基礎）	1		1
				ラグビー（発展）	1		1

				バレーボール(基礎)	1		1
				バレーボール(発展)	1		1
				ハンドボール(基礎)	1		1
				ハンドボール(発展)	1		1
				サッカー(基礎)	1		1
				サッカー(発展)	1		1
				バスケットボール	1		1
				(基礎)			
				バスケットボール	1		1
				(発展)			
				バドミントン(基礎)	1		1
				バドミントン(発展)	1		1
				剣道(基礎)	1		1
				剣道(発展)	1		1
				柔道(基礎)	1		1
				柔道(発展)	1		1
				ダンス(基礎)	1		1
				ダンス(発展)	1		1
				マリン	2		2
				ゴルフ	2		2
				キャンプ	2		2
				カヌー	2		2
				スキー	2		2
				スケート	2		2
教科教育法(保健Ⅰ)	2		2				

教科教育法 (保健Ⅱ)	2			2																	
教科教育法 (体育Ⅰ)	2			2																	
教科教育法 (体育Ⅱ)	2			2																	
応用スポーツデータ	2			2																	
サイエンス																					
体力科学演習	2			2																	
スポーツ生理学演習	2			2																	
スポーツバイオメカ	2			2																	
ニクス演習																					
スポーツ心理学演習	2			2																	
スポーツ社会学演習	2			2																	
スポーツ運動学演習	2			2																	
ヘルスプロモーション演習	2			2																	
ランニングサイエンス演習 (有酸素系)	2			2																	
ランニングサイエンス演習 (スプリント)	2			2																	
サッカーサイエンス演習	2			2																	
アウトドアスキル演習	2			2																	
スポーツパフォーマンス分析演習	2			2																	
ストレングス&コン	2			2																	

ディショニング演習								
リコンディショニング演習	2			2				
アスレチック・トリートメント演習	2			2				
スポーツボランティア・インターンシップ演習	2			2				
コーチング水泳 (省略)	2			2	コーチング水泳 (省略)	2		2
コーチングテニス	2			2	コーチングテニス	2		2
コーチングバドミントン	2			2				
コーチングソフトボール・野球 (省略)	2			2	コーチングソフトボール・野球 (省略)	2		2
コーチングダンス	2			2	コーチングダンス	2		2
					ティーチング保健体育A	2		2
					ティーチング保健体育B	2		2
					教科教育法(保健Ⅰ)	2		2
					教科教育法(保健Ⅱ)	2		2
					教科教育法(体育Ⅰ)	2		2
					教科教育法(体育Ⅱ)	2		2

野外活動演習サマー	2			2	野外活動演習サマー	1			1
野外活動演習ウィンター	2			2	野外活動演習ウィンター	1			1
ティーチング保健体育A	2			2					
ティーチング保健体育B	2			2					
スポーツフィールドワークⅠ	2			2					
スポーツフィールドワークⅡ	2			2					
スポーツフィールドワークⅢ	2			2					
スポーツフィールドワークⅣ	2			2					
					アスレチックコンディショニング演習	2			2
					スポーツパフォーマンス分析演習	2			2
					生理学実験演習	2			2
					スポーツ生理学演習	2			2
					スポーツバイオメカニクス演習	2			2
					スポーツ心理学演習	2			2
					スポーツ社会学演習	2			2

				スポーツボランティア	2		2
				ア演習			
				ゼミナール	10		10
ゼミナール (3年用)	4		4				
ゼミナール (4年用)	6		6				
				化学	2		2
				生化学A	2		2
				生化学B	2		2
生化学	2		2				
血液学	2		2	血液学	2		2
免疫学	2		2	免疫学	2		2
				環境衛生学	2		2
				スポーツ・健康科学	2		2
				特殊講義			
病理学	2		2				
栄養学 (基礎と応用)	2		2				
基礎化学A	2		2				
解剖生理学A	2		2				
分子生物学	2		2	分子生物学	2		2
				健康情報学A	2		2
				健康情報学B	2		2
				メディカル英語	2		2
				健康科学演習A	2		2
				健康科学演習B	2		2
				保健医療福祉概論	2		2

病態学概論	2				2
環境衛生学	2				2

健康科学科（省略）
 (1)～(9)（省略）
 (10) 健康運動指導士に関する科目（スポーツ科学科）
 スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
運動プログラムの管理	2				2
救急処置法	2				2
健康運動指導演習	2				2
健康産業施設等現場 実習	2				2
健康運動指導士総合 演習	2				2

(11) パラスポーツ指導員に関する科目（スポーツ科学科）
 スポーツ科学科

臨床医学総論	2				2
英語でスポーツ科学	2				2

健康科学科（省略）
 (1)～(9)（省略）
 (10) 健康運動指導士に関する科目（スポーツ科学科）
 スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
救急処置法					
運動プログラムの管理					
運動負荷試験					
健康運動指導士実技 実習					
健康運動指導士総合 演習					
健康産業施設等現場 実習					

(11) 障がい者スポーツ指導員に関する科目（スポーツ科学科）
 スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
パラスポーツ演習	2				2

(12) ~ (17) (省略)

(18) トレーナー系資格に関する科目 (スポーツ科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
スポーツトレーナー 実践論	2				2

(19) 教員養成に関する科目 (スポーツ科学科)

スポーツ科学科

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
教職実技演習	2				2
体育授業指導法	2				2
学校保健	2				2

(履修方法、進級要件及び卒業要件)

第23条の27 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び
修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 16単位

授業科目	単位	必修単位	選択必修 単位	選択単位	自由単位
障がい者スポーツ演 習					

(12) ~ (17) (省略)

(履修方法、進級要件及び卒業要件)

第23条の27 前条各号に定める各区分ごとの授業科目の履修方法及び
修得単位は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 基礎教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 18単位

選択科目 1 言語 2 単位以上

健康科学科 (省略)

(2) (省略)

(3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 8単位

選択科目 66単位以上

健康科学科 (省略)

(4) ~ (5) (省略)

(6) 全学共通科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 2 単位

選択科目 8 単位修得しなければならない。

健康科学科 (省略)

(7) ~ (10) (省略)

(11) パラスポーツ指導員に関する科目 (スポーツ科学科)

スポーツ科学科

① パラスポーツ指導員の資格を取得しようとする者は、パラスポーツ指導員養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② パラスポーツ指導員に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(12) ~ (17) (省略)

(18) トレーナー系資格に関する科目 (スポーツ科学科)

選択科目 1 言語 2 単位以上

健康科学科 (省略)

(2) (省略)

(3) 専門教育科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 14単位

選択科目 66単位以上

健康科学科 (省略)

(4) ~ (5) (省略)

(6) 全学共通科目 (スポーツ科学科・健康科学科)

スポーツ科学科

必修科目 2 単位

選択科目 12 単位修得しなければならない。

健康科学科 (省略)

(7) ~ (10) (省略)

(11) 障がい者スポーツ指導員に関する科目 (スポーツ科学科)

スポーツ科学科

① 障がい者スポーツ指導員の資格を取得しようとする者は、障がい者スポーツ指導員養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② 障がい者スポーツ指導員に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(12) ~ (17) (省略)

① トレーナー系資格を取得しようとする者は、各トレーナー系資格養成講座の定めるところに従い、専門教育科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② トレーナー系資格に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

(19) 教員養成に関する科目（スポーツ科学科）

① 教員免許状を取得しようとする者は、教職課程の定めるところに従い、専門教育科目、教職関連科目及び本区分の授業科目から、資格を得るに必要な科目を履修するものとする。

② 教員養成に関する科目は、卒業に要する単位に算入しない。

2 1年間の履修単位数の上限は、スポーツ科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号イ、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては49単位までとする。健康科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号ロ、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては48単位まで、4年次においては49単位までとする。看護学科は、第1項第1号、第3号、第6号、第7号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号、第16号、第17号、第18号及び第19号に定める科目の単位を除き、1年次から4年次においては48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

2 1年間の履修単位数の上限は、スポーツ科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号イ、第16号及び第17号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては44単位まで、4年次においては49単位までとする。健康科学科は第1項第2号、第4号、第5号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号ロ、第16号及び第17号に定める科目の単位を除き、1年次から3年次においては48単位まで、4年次においては49単位までとする。看護学科は、第1項第1号、第3号、第6号、第7号、第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第14号、第15号、第16号及び第17号に定める科目の単位を除き、1年次から4年次においては48単位までとする。ただし、長期海外留学からの帰国学生、編入学生、転学部・転学科生については、教授会の審査・承認を経て、上限を超える履修登録を認めることができる。

3 (省略)

4～6 (省略)

第10節 ～ 第14章 (省略)

附 則 (令和4年12月21日)

1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の25、第23条の26及び第23条の27の規定は、令和6年度入学生から適用する。

附 則 (令和5年1月25日)

1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の25、第23条の26及び第23条の27の規定は、令和6年度入学生から適用する。

附則 (令和 年 月 日)

1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。

2 第12条第2号の総学生定員中、スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、令和6年度、令和7年度、令和8年度及び令和9年度においては、それぞれ次のとおり読み替えるものとする。

	<u>令和6年度</u>	<u>令和7年度</u>	<u>令和8年度</u>	<u>令和9年度</u>
スポーツ・	<u>1,340名</u>	<u>1,380名</u>	<u>1,420名</u>	<u>1,460名</u>
健康科学部				
スポーツ科学科	<u>540名</u>	<u>580名</u>	<u>620名</u>	<u>660名</u>

附 則 (令和5年2月22日)

1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。

2 改正後の第23条の27は、令和6年度入学生から適用する。

3 (省略)

4～6 (省略)

第10節 ～ 第14章 (省略)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	…2
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	…2
(1) スポーツ科学科の入学定員の増加を必要とする理由	…2
① 社会的な必要性	
② 養成する人材の必要性	
③ 本学の状況からみた定員増の必要性	
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	…6
(1) 教育課程の変更内容	…6
(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	…13
① 教育方法	
② 履修指導方法	
③ 学修指導方法	
(3) 教員組織の変更内容	…15
(4) 大学全体の施設・設備の変更内容	…15
① 校地、運動場、校舎等施設の整備計画	
② 図書等の資料及び図書館の整備計画	

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

2024年度より、スポーツ・健康科学部スポーツ科学科の入学定員125名を40名増員して165名とし、完成年度に収容定員500名を160名増の660名とし、これに伴い大学全体の収容定員を11,300名から11,460名へと増員すべく、収容定員増に伴う学則変更の認可申請を行うものである。

上記変更内容により、スポーツ・健康科学部の収容規模は次のとおりとなる。

<スポーツ・健康科学部各学科の入学定員・編入学定員・収容定員>

学科の名称	入学定員（人）	編入学定員（人）	収容定員（人）
スポーツ科学科	165	—	660
健康科学科	100	—	400
看護学科	100	—	400
総計	365	—	1,460

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

(1) スポーツ科学科の入学定員の増加を必要とする理由

大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、教育研究上の目的として、「スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成」を掲げている。今回の申請においては、この教育研究の目的を踏襲した上で、質の高い保健体育教員、幅広い年代に対応できる地域スポーツ指導者、理論と実践能力を兼ね備えたトレーナーなど、「スポーツをとりまく現代社会の諸問題解決に貢献できるより多様な人材を養成すること」を目指して、2024年度より入学定員を125名から165名へと増員するとともに教育課程（カリキュラム）を改編することを計画する。これに伴う学則変更の必要性について以下に述べる。

①社会的な必要性

我が国におけるスポーツ振興を図る基本計画として、2012年に「スポーツ基本計画」が策定された。その後、人口減少・高齢化の進行、地域間格差の広がり、急速な技術革新、持続可能な社会や共生社会への移行等の社会状況の変化ならびに2020オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を受けて2022年3月に策定された「第3期スポーツ基本計画」では、スポーツの価値を高めるための新たな視点として下記の3点が挙げられている（資料1）。

- ・スポーツを「つくる/はぐくむ」
- ・スポーツで「あつまり、ともに、つながる」
- ・スポーツに「誰もがアクセスできる」

さらに、これらの視点に基づき、「感動していただけるスポーツ界」の実現へ向けて、今後5年間

に取り組むべき 12 の施策目標が掲げられているが、中でも施策⑩「スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材」の実現に対して、スポーツ科学部・学科を有する大学が果たすべき役割の重要性が社会的に高まっている。

子どもたちを取り巻くスポーツ環境に目を向けると、特に中学校における教師の負担軽減を図る施策として、2019年に文部科学省からの諮問を受けた中央教育審議会によって「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」が取りまとめられた。それを受けた文部科学省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」という方針が示され、2022年12月には、スポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が出され、従来の「学校部活動」から「地域クラブ活動」への転換方針が示されている（資料2）（資料3）。

また、2022年12月に公表された「令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）について」によると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、体力合計点や実技テスト数値の低下がみられる。

こうした社会動向を踏まえると、中学高校保健体育教員の養成はもとより、地域における児童・生徒のスポーツ活動を支える「地域スポーツ指導者」の養成が今後より重要となることは明らかである。

一方、我が国における高齢化には歯止めがかからない状況で、このような中、国民の健康増進を図り、健康寿命の延長を目指す行動指針として、厚生労働省は「21世紀における国民健康づくり運動<健康日本21>」を掲げている（資料4）。この中では、栄養や食生活、喫煙や飲酒などの生活習慣とともに、健康の維持・増進に対する身体活動・運動の重要性が指摘されている。すなわち、国民の健康増進を実現し、我が国を「より健康で、より豊かな国」へと発展させるためには、年代はもとより性別や国籍、障がいの有無といった人々の「多様性」を受け入れ、理解し、ひとりひとりの個性や環境に適した「カスタムメイド型の運動・スポーツ指導」を実践できる幅広い人材養成がより重要となることが予想される。

本学スポーツ科学科における定員増とカリキュラム改編は、「スポーツ科学に関する学識を修め人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成する」という基本理念を踏襲しながら、「現代社会の諸問題解決に貢献できるより多様な人材を養成すること」に対して、より積極的に貢献しようとするものである。この取り組みは、「スポーツそのものが有する価値」、「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」を高めようとする我が国における現代的課題の解決策として、まさしくふさわしいものである。

②養成する人材の必要性

学校法人大東文化学園は、「東西文化の融合をはかり、新たな文化の創造をめざす」という建学の精神のもと、大東文化大学、大東文化大学第一高等学校、大東文化大学附属青桐幼稚園の3つの学校を設置している。学園の中核をなす大東文化大学は、1923年（大正12年）当時の国会にあたる帝国議会の決議によって創設された大東文化協会が設置する大東文化学院を前身とし、中国学、日本文学、書道などの分野で比類ない伝統と歴史を誇ってきた。今日では人文・社会科学全領域だけでなく一部体育・

保健衛生系の領域までもカバーする、8学部20学科を擁する総合大学へと発展し続けている。また、本学は2014年、本学の教育研究および経営の両面における将来像を構想した基本計画「DAITO VISION2023」を策定した。この中で、建学の精神「東西文化の融合」をもとに、「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を新たな大学の理念として据えている。さらに、2022年には創立110周年となる2033年を目標年とした新たな中長期計画「DAITO VISION 2033」を策定した。この中では、DAITO VISION 2023において定義した「大東学士力」を「本学を修了した者が身につけておかなければならない5つの力（包容力、問題解決能力、協働力、挑戦力、当事者意識）」と再構成し、「大学生活のすべてを教育の場と位置づけ、学生・教職員の垣根を超えて、学び合いの精神を持つことを大切に」、「文化を学ぶことを通じて『大東学士力』を身につけ」社会をつなぐ人材を育むとしている（資料5）。

こうした全学的経緯の中、2005年に「スポーツ科学科」と「健康科学科」の2学科からなる「スポーツ・健康科学部」が創設された。本学部は「国民の健康の維持と増進を視野に、スポーツを通して文化の発展と健康づくりに貢献できる人材の育成、医学・健康関連分野で健康の増進に寄与できる人材の育成」を教育研究上の目的としている。2009年には上位組織としてのスポーツ・健康科学研究科（スポーツ・健康科学専攻）修士課程が開設された。2018年度には健康・医療分野における更なる人材育成を目指して「看護学科」が設立され、現在に至っている。

スポーツ科学科は、「スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成」を教育研究上の目的として設立された。その後、スポーツ科学の進展と社会的要請に対応すべく改編しながら発展してきた。学科改編の具体的経緯としては、2010年にキャリア教育の強化や演習系授業の充実を図る第1次カリキュラム改編を行った。2014年には第2次カリキュラム改編を行うとともに、教育課程と将来像との関連づけを可視化した学生用の学びの航路図「ルートマップ」を作成した（資料6）。続く2015年には、カリキュラムの充実を土台として、より多様な人材の輩出を意図した定員増加（100名から125名）を行った。以上の実績として、本学スポーツ科学科での学びを得た卒業生は2022年8月現在で1729名に及び、有為な人材を社会に輩出し続けている。

スポーツ科学科は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）として、以下の4点を掲げている（資料7）。

1. 豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能

(1)豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。

(2)スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

(1)スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。

(2)スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

(1)スポーツ科学に関する課題を探究し、主体的・継続的に学修することができる。

(2)社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行

動持続力をもって対処することができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

(1)多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。

(2)本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。

さらに、これらに基づく学生の行動方針として、ステューデントポリシー“Big Hand”を掲げている（資料8）。

本学科における上述の教育方針は、定員増およびカリキュラム改編後も踏襲する。そして、本学科の教育方針には、先述の「第3期スポーツ基本計画」の施策実現上求められる人材像とも数多くの共通点を見出すことができる。中でも特筆すべきは、「アジアから世界へー多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という本学の理念と、施策⑧「スポーツを通じた共生社会の実現」との高い親和性である。そこで、今回のカリキュラム改編では、「スポーツとジェンダー」や「アダプテッドスポーツ論」といった科目を配置するなど、「スポーツを通じた多文化共生の実現」をこれまで以上に重視する。さらに、「新しい価値の不断の創造」を実現していく上では、AI化やDX化といった現代的要請に対応できる知識・技能に加えて、人々とのコミュニケーション能力や主体的行動力の向上がいっそう重要となる。そこで、「スポーツ情報科学A・B」や「スポーツデータサイエンス」及び「応用スポーツデータサイエンス」といったデータサイエンス系の科目を配置するとともに、学生によるアクティブラーニングの基幹となる多種多様な演習科目を配置し、更なる充実を図る。以上のような、現代社会的ニーズへの対応を重視した新カリキュラムにもとづく学生教育と研究活動を通じて、「スポーツを通じた共生社会の実現」へと、これまで以上に積極的に貢献することを目指したい。

③本学の状況からみた定員増の必要性

現状における本学の1学年あたりの定員は2,825名であり、このうちスポーツ科学科の定員はその4.4%に相当する125名である。この規模は、関東近隣の同系統大学と比較すると小規模であり（資料9）、この点は「少人数制によるきめの細かい教育」という点での強みである。一方、ニーズの高まりをみせるスポーツ振興に対応し、より積極的に社会へ貢献しようとする上では、定員の小規模性は本学科の弱みであるとも言える。そこで、今回の定員増では40名増の定員165名を想定している。

スポーツ科学科の過去5年間の平均志願倍率は9.95倍、平均入学定員超過率は1.06倍、平均志願者数は1,245名であった。これらの実績を参考として、一方今後想定される18歳人口減少、他方での大学進学率の向上という要因を考慮しても、十分な定員充足数が見込まれることから、本学科への入学志願者の安定的確保は可能と判断している（資料10）。なお、今回、定員を増やしたとしても本学科規模は200名に満たないことから小規模を維持しており、本学科の特色である「少人数制によるきめ細かい教育」を損なう要因とはならない。

定員増後の就職先の確実性については、これまでスポーツ科学科に所属した学生の就職実績に関しては、保健体育教員（臨時含む）や公務員が1割程度、7割近くは一般企業に就職している（資料11）。本学に届いた求人件数（大学に届いた総数）は、14,552件（2019年度）、14,057件（2020年度）、13,572

件（2021年度）12,858件（2022年度）、14,288件（2023年度）で推移しており、常に卒業予定者人数の4倍を超えるものとなっている。また、スポーツ科学科の最近5年間の就職決定率（教員志望者の臨時任用採用、非常勤講師採用を含む）は99%以上であり、常に全国平均値（文部科学省「大学等卒業者の就職状況調査」）を上回っている。加えて、本学の立地する関東地域の有効求人倍率も、平成26年度の1.13から上昇に転じ、平成27年度では1.21、平成28年度では1.31、平成29年1月では1.41と上昇傾向をたどっている。こうした状況からも、スポーツ科学科の定員増加後も、卒業後の進路は堅調であることが予測される（資料12）。以上のことから、スポーツ科学科の入学定員増加後も、卒業後の進路は十分に確保できるものと見込まれる。

以上を総合すると、本学科における定員165名という規模は、入学生の確保ならびに卒業生の就職先確保の確実性を前提としつつ、少人数制教育のメリットを保ちながらより多様な人材を輩出することで、積極的に社会へ貢献しようとする点において妥当であると考えられる。

ウ. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(1)教育課程の変更内容

本学における各学部・学科のカリキュラムは、大きく分けて、主に基礎教育科目、専門教育科目、全学共通科目の3つの科目群から構成されている。また、各学部・学科における教育課程は、大学全体のカリキュラム・ポリシー（CP）およびディプロマ・ポリシー（DP）に基づいて構成され（資料13）、スポーツ科学科でも学科独自のCPおよびDPの下で教育課程を構成している（資料7）。これらのポリシーに基づき、養成すべき人材像や学びの体系性に基づいた履修モデルを定めた上で学生の教育活動にあたっている。なお、今回の定員増およびカリキュラム改編は、現行の全学ならびに本学科のCP、DPをいずれも踏襲するものであり、これらの変更を伴うものではない。

今回のカリキュラム改編では、本学スポーツ科学科における「学びの特徴」として、以下に示した5点を新たに掲げる（資料14）。

<大東文化大学 スポーツ科学科における5つの学びの特徴>

①豊かな学び

「全学共通科目」と「他学部・他学科開放科目」に代表される、総合大学の強みである「スポーツ科学に限定しない幅の広い教育」を継続して提供する。

②壮大な学び

スポーツ科学科が設置されている東松山キャンパスの広大な敷地と運動施設を有効活用した実技・コーチング授業を継続して提供する。

③体験する学び

実践的な学びや主体的な学びを重視して、演習科目を充実させる（例：ヘルスプロモーション演習、ストレングス&コンディショニング演習、スポーツボランティア・インターンシップ演習など）。さらに、これまで実現できていなかった全専任教員によるゼミナール開講を実現する。

④大東スポ科ならではの学び

高校生のニーズや現代社会的なニーズを踏まえた上で、東松山キャンパス周辺の自然環境や運動施

設、本学科専任教員の専門性を活かした独自性の高い科目を新設する（例：アウトドアスキル演習、ランニングサイエンス演習〔有酸素系〕・〔スプリント〕、サッカーサイエンス演習など）。

⑤未来へつながる学び

本学科では2022年度現在、別添資料（資料15）に示した資格取得が可能であり、カリキュラム改編後も継続する予定である。教員採用試験や資格取得を想定した教職科目・資格科目を新設し充実させることを通じて、学生のキャリア形成を支援する（例：教職実技演習、健康運動指導演習、スポーツトレーナー実践論など）。

以上のような特色ある「学び」を通じて、本学科における教育研究上の目的とDPの深化を図ることが今回のカリキュラム改編の主たる狙いである。以下では、カリキュラムの変更点について詳細に説明していく。

<全学共通科目>

全学共通科目は、豊かな教養と高い倫理性を備えた人間を育成することを目指して、本学に所属する教員が総力を結集し、幅広い学問分野を基礎とした多様な内容の授業を提供することを目的としている。なお、全学共通科目は、全学部の1、2年生が学ぶ東松山キャンパスで開講されている。

全学共通科目の教育内容は、人類が長い歴史を通じて探究し積み上げてきた学問の体系と方法を教授するとともに、健康な心身を育むための「基本科目」と、人類の社会と生活に密接に関わる課題を通じて現代世界への問題意識と異文化への理解、総合的な判断力を育むための「課題（テーマ）科目」に大別される。

「基本科目」は、A系：人間と文化（人文系）、B系：社会と生活（社会系）、C系：自然と環境（自然系）、D系：健康とスポーツ（保健体育系）、E系：知識創造と実践（総合系）の5系統に属する科目群から構成される。これらの履修により、いずれの学部・学科で学ぶ学生も、学問研究を支える基礎的な知識と技能、高い教養と幅広い視野が得られる。

「課題（テーマ）科目」は、第1群（地域・国家・民族の考察）、第2群（女性・子ども・老人への視点）、第3群（人権・民主主義・平和を考える）、第4群（現代社会の諸問題）、第5群（異文化・世界にふれる）、第6群（自己・人間を見つめる）、第7群（キャリアデザイン）、第8群（インターシップ）、第9群（全学共通特殊講義）の計9群から構成される。これらの履修により、現代社会で生活する中で不可避の諸課題を、学問の枠にとらわれずに追究・深化できるようになり、また専門教育への動機づけが得られる。

以上のように、全学共通科目の編成については定員増に伴う変更はない。全学的な定員純増となることから、履修者数の超過など他学部学生の科目履修に対する影響も考慮はしなければならないが、40名という小規模の増員であることに加え、現状でも定員に対して余裕がある科目が多数あることから、全学共通科目の履修状況に対する定員増の影響は軽微であるものと考えられる。

<学科固有科目>

本学科のカリキュラムは、スポーツ科学に関する専門的知識を修得する上での基礎能力を育成することを狙いとした「基礎教育科目」、スポーツ科学に関する専門的知識を教授する科目である「専門教育科目」、各種資格を取得するために必要な科目である「資格科目」によって編成されている。なお、カリキ

キュラム改編に伴う学科開講科目の新旧対照表は別紙（資料 16）に示した。

●基礎教育科目

新カリキュラムにおける基礎教育科目は、以下のとおりに編成する。なお、以降、必修科目についてのみ、(必修) と付記する。

<1 年次>

- ・英語 A・B (必修)
- ・フレッシュマンセミナーA・B (必修)
- ・スポーツ情報科学 A・B (必修) 【情報科学・応用情報科学 後継】
- ・スポーツ基礎教養 (必修)
- ・中国語 A・B
- ・コリア語 A・B
- ・フランス語 A・B
- ・ドイツ語 A・B

<2 年次>

- ・スポーツキャリアセミナーA・B (必修)
- ・コミュニケーション英語 A・B

基礎教育科目については、従来開講していた「情報科学」および「応用情報科学」を廃止し、「スポーツ情報科学 A・B」を新設する。これによって、本学科生に対する訴求が高い「スポーツ」を主たる題材として、データサイエンススキル獲得の前提としての情報処理教育の内容充実を図る。

●専門教育科目

本学科の専門教育科目は、科目特性や教育内容から、①講義科目、②演習科目、③実技・コーチング科目に大別される。次に、それぞれの主な変更点について説明する。

①講義科目

講義系科目については、以下の科目を新設する。

<1 年次>

- ・スポーツコーチング概論 (必修) 【スポーツコーチング論 後継】
- ・健康と経済
- ・生化学 【生化学 A・B を統合】
- ・病理学
- ・栄養学 (基礎と応用)
- ・基礎化学 A 【化学 後継】

- ・解剖生理学 A

<2 年次>

- ・リコンディショニング論 【アスレチックコンディショニング論 後継】
- ・スポーツビジネス 【スポーツ産業論 後継】
- ・ストレングス&コンディショニング論 【アスレチックトレーニング論 後継】
- ・スポーツとジェンダー
- ・アダプテッドスポーツ論
- ・武道論
- ・スポーツコーチング学
- ・ヘルスプロモーション論
- ・体力科学 【体力トレーニング論 後継】
- ・トップアスリート論
- ・スポーツデータサイエンス 【スポーツ統計学 後継】
- ・病態学概論

<3 年次>

- ・応用スポーツデータサイエンス

これらの講義科目を新設する意図としては、「健康増進」、「多様性」、「データサイエンス」といった社会的要請の重視に加えて、「トレーナー」や「トップアスリート」など、スポーツ科学分野を志す高校生の興味・関心の高さが挙げられる。一方で、本学科における従来の教育課程ではこれらの分野における科目配置や学習支援体制が手薄であったことから、スポーツ科学科としての弱点を強化するための改編であるとも言える。

②演習科目

今回のカリキュラム改編では、演習科目を充実させることを最大の特徴とする。具体的には以下の科目を新設する。

<1 年次>

- ・ストレングス&コンディショニングベーシック

<3 年次>

- ・体力科学演習
- ・スポーツ運動学演習
- ・ヘルスプロモーション演習
- ・ランニングサイエンス演習（有酸素系）
- ・ランニングサイエンス演習（スプリント）

- ・サッカーサイエンス演習
- ・アウトドアスキル演習
- ・ストレングス&コンディショニング演習
- ・リコンディショニング演習 【アスレチックコンディショニング演習 後継】
- ・アスレチック・トリートメント演習
- ・スポーツボランティア・インターンシップ演習

演習科目の充実を図る最大の狙いは、全学的 CP にも掲げられている「インタラクティブ性を重視した少人数制授業を通じて、学生の主体的な学習をより積極的に促すため」である。また、定員増を伴うことから、演習科目を増加するとともに多様な専門性を有するより多くの教員が教育に携わること
によって、少人数制を維持しながら、「より多様で、より充実した実践的・体験的教育機会の提供」を
図りたい。

アフターコロナにおける大学教育は、対面形式とオンライン形式の複合による「ハイブリッド化」が
加速することが予見される。こうした中、「学生がキャンパスへ通って学ぶ価値」を高める上でも、演
習授業の充実は本学科における重要課題であると認識している。演習授業の充実を通じた「体験する学
び」を、本学スポーツ科学科の学びの特徴として明確に打ち出していきたい。

③実技・コーチング系科目

今回の教育課程改編において、実技・コーチング科目系については、「効率化」と「充実化」の両立
を図る。具体的には以下の科目を配置する。

<1 年次>

- ・スポーツ実技 A (水泳) 【水泳 (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 A (陸上競技) 【陸上競技 (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 A (器械運動) 【器械運動 (基礎) 後継】

<2 年次>

- ・スポーツ実技 B (バスケットボール) 【バスケットボール (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (バレーボール) 【バレーボール (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (サッカー) 【サッカー (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (ラグビー) 【ラグビー (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (ハンドボール) 【ハンドボール (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (ソフトボール) 【ソフトボール (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (バドミントン) 【バドミントン (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 B (テニス) 【テニス (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 C (剣道) 【剣道 (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 C (柔道) 【柔道 (基礎) 後継】
- ・スポーツ実技 C (ダンス) 【ダンス (基礎) 後継】

・スポーツフィールドワーク I・II

<3年次>

- ・コーチング水泳 【水泳（発展）とコーチング水泳を統合】
- ・コーチング陸上競技（長距離） 【陸上競技（発展）とコーチング陸上競技（長距離）を統合】
- ・コーチング陸上競技（短距離） 【陸上競技（発展）とコーチング陸上競技（短距離）を統合】
- ・コーチング体操競技 【器械運動（発展）とコーチング体操競技を統合】
- ・コーチングテニス 【テニス（発展）とコーチングテニスを統合】
- ・コーチングバドミントン 【バドミントン（発展）後継】
- ・コーチングソフトボール・野球 【ソフトボール（発展）とコーチングソフトボール・野球を統合】
- ・コーチングラグビー 【ラグビー（発展）とコーチングラグビーを統合】
- ・コーチングバレーボール 【バレーボール（発展）とコーチングバレーボールを統合】
- ・コーチングハンドボール 【ハンドボール（発展）とコーチングハンドボールを統合】
- ・コーチングサッカー 【サッカー（発展）とコーチングサッカーを統合】
- ・コーチングバスケットボール 【バスケットボール（発展）とコーチングバスケットボールを統合】
- ・コーチング剣道 【剣道（発展）とコーチング剣道を統合】
- ・コーチング柔道 【柔道（発展）とコーチング柔道を統合】
- ・コーチングダンス 【ダンス（発展）とコーチングダンスを統合】
- ・スポーツフィールドワーク III・IV

実技授業については、現行カリキュラムにおける各種目実技（基礎/発展/コーチング）を土台としながら、発展とコーチングについては種目ごとに統合する。この主な理由は、定員増に伴う履修者人数の肥大化を抑制することを通じて、実技授業運営上の安全管理および教育効果の担保を図るためである。一方、人気種目であるバドミントンについては、従来なかったコーチング科目を新設する。さらに、本学科の一つの特徴として、運動部所属の学生比率が高い（60%程度）が挙げられる。これらの学生に対して、課外活動と学科教育を有機的に連動させながら主体的な学びの姿勢を養成することを狙いとして、スポーツフィールドワーク I～IV を新設する。

●資格科目

卒業後の進路選択や生涯にわたるキャリアデザインを描く上で、資格の取得は多くの学生にとって学習に対する大きな動機づけとなり得る。資格取得がすべて将来の進路選択に直結するわけでないとしても、学生にとって資格の取得が「スポーツ科学科における学びの証」となることは自明である。このため、教員免許や各種資格取得を希望する学生をより積極的に支援するべく複数の科目を新設する。

- ・健康運動指導演習 【健康運動指導士実技実習後継】
- ・スポーツトレーナー実践論
- ・教職実技演習
- ・体育授業指導法
- ・学校保健 【専門教育科目から資格科目へ変更】

●カリキュラム改編に伴って廃止する科目

これまでに述べた通り、今回のカリキュラム改編では、定員増に対応するとともに学科における教育内容の充実を図るべく、数多くの科目を新設する。一方で、担当授業数の増加をはじめとする教員の負担増大や、教室および運動施設のキャパオーバーによる教育の質の低下には十分に配慮する必要がある。そこで、今回のカリキュラム改編では、科目の新設とともに複数の科目を廃止あるいは統合する。具体的な科目は以下の通りである。

<専門教育科目>

<講義系科目>

- ・スポーツコーチング論 【スポーツコーチング概論へ後継】
- ・アスレチックコンディショニング論 【リコンディショニング論へ後継】
- ・スポーツ産業論 【スポーツビジネスへ後継】
- ・アスレチックトレーニング論 【ストレンクス&コンディショニング論へ後継】
- ・体力トレーニング論 【体力科学へ後継】
- ・スポーツ統計学 【スポーツデータサイエンスへ後継】
- ・スポーツ・健康科学特殊講義

<演習系科目>

- ・生理学実験演習
- ・アスレチックコンディショニング演習 【リコンディショニング演習へ後継】

<実技・コーチング系科目>

- ・水泳（発展） 【コーチング水泳へ統合】
- ・陸上競技（発展） 【コーチング陸上競技（長距離）・コーチング陸上競技（短距離）へ統合】
- ・器械運動（発展） 【コーチング体操競技へ統合】
- ・テニス（発展） 【コーチングテニスへ統合】
- ・バドミントン（発展） 【コーチングバドミントンへ後継】
- ・ソフトボール（発展） 【コーチングソフトボール・野球へ統合】
- ・ラグビー（発展） 【コーチングラグビーへ統合】
- ・バレーボール（発展） 【コーチングバレーボールへ統合】
- ・ハンドボール（発展） 【コーチングハンドボールへ統合】
- ・サッカー（発展） 【コーチングサッカーへ統合】
- ・バスケットボール（発展） 【コーチングバスケットボールへ統合】
- ・剣道（発展） 【コーチング剣道へ統合】
- ・柔道（発展） 【コーチング柔道へ統合】
- ・ダンス（発展） 【コーチングダンスへ統合】

<資格科目>

- ・ 運動負荷試験 【運動プログラムの管理へ統合】
- ・ 健康運動指導士実技実習 【健康運動指導演習へ後継】
- ・ 障がい者福祉論 【障がい者スポーツ演習へ統合】

これらの科目を廃止する主な理由としては、新設される科目との教育内容の重複が挙げられる。

なお、実技科目については、現行のカリキュラムでは基礎、発展の 2 段階によって構成されていたが、今回のカリキュラム改編では 1 段階となっており、実質的に授業回数が半減されることになる。先述のとおり、この主な理由は、定員増に伴う履修者人数の肥大化を抑制することを通じて、実技授業運営上の安全管理および教育効果の担保を図るためである。

(2)教育方法及び履修指導方法の変更内容

今回の定員増およびカリキュラム改編は、本学科における教育および履修指導方法の大幅な変更を伴うものではないが、現状の仕組みを土台としながら向上を目指した対応を施していく（資料 17）。

①教育方法

本学は教育の目的と人格として、以下のような「大東学士力」を掲げている。

- (1) 地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を持ち、諸問題の解決に貢献できる。
- (2) 豊かな人間的教養と高度な専門的知識・技術を持ち、現代社会の諸問題にチャレンジできる。
- (3) 修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている。
- (4) 自分の意見を持ち、それを適切に表現し、他者と協力・共同する能力を持っている。
- (5) 大東人として、また人間としての誇りと自信、社会の担い手としての強い使命感・モラルを持ち、行動できる。

「大東学士力」の向上を図る上では、講義を通じた受動的な知識の修得はもとより、学生による主体的な学び（Active Learning）の促進が特に重要である。そこで、今回のカリキュラム改編では演習授業の充実を図るが、演習授業では履修人数過多による教育効果の低下が懸念される。これを回避するために、演習授業については各科目特性に応じて履修者数の上限を設ける。一方で、学生がより幅広い教育内容に触れられるようスポーツ科学系の演習授業の種類や開講科目数を増やす。具体的には、現行の 12 科目から 18 科目へと充実させる。さらに、希望者が多いトレーナー資格取得に関係する演習科目については、開講科目数とコマ数を増やすことによって履修者数の緩和を図る。具体的には、現行の 2 科目 4 コマから 3 科目 6 コマへと増やす。

先述のとおり、実技授業に関しては現行の 2 段階（基礎/発展）を 1 段階へと統合するため、実質的な授業回数が半減することになる。こうした中での実技技能の修得については、種目特性に応じた適正履修者数の担保や授業内容の見直し、電子デバイスの活用等、教育方法の工夫などを通じて改善を図っていきたい。一方、実技授業をスポーツ実技 A（基礎運動）、B（球技）、C（武道・ダンス）へと分類した上で選択必修化することを通じて、学生に対して多様かつバランスの良いスポーツ機会を提供す

る。実技の上位科目に相当するコーチング科目については、現状からの大幅な変更はないが、他の実技や演習と同様に履修者数の上限を設けることによって、安全管理および教育の質の担保を図る。

ゼミナールについては、従来は連年科目（3,4年）であったが、これをゼミナール（3年生用）、ゼミナール（4年生用）の通年科目に分割する。この大きな意図は、各年度における学修成果ならびにその評価の明確化を図る点にある。合わせて、全専任教員がゼミナールを開講することによって、学生により多様な選択肢を提供するとともに、少人数制の促進による主体的な学びの活性化を図る。

学科の授業全般に関しては、学内のオンライン授業支援システム（DB manaba）を活用するなど、教員と学生の間での日常的なコミュニケーションの充実を図る。また、毎学期末に全学的に実施される授業認識アンケートを参考とした授業改善について、各教員に適宜促す。さらに、FD活動の実施を通じて、学科全体としての授業の質の向上に継続的に努める。

②履修指導方法

本学では、新入生を含めた全学生に対して「教務ガイダンス」を実施し、教育課程の体系性や科目構成などを理解させるとともに、シラバスの確認方法等を指導した上で履修登録を受け付けている。なお、シラバスは本学の学修支援ポータルサイト「DB Portal」と連動しているため、オンライン上で常時確認することができる。さらに、履修登録後の一定期間に履修修正期間を設けており、履修登録の誤りや履修上のミスマッチを回避できるよう配慮している。

本学ではスポーツ科学科を含む全学部・全学科において、教育課程の体系性や各科目とDPとの関連性を学生に理解させるために、カリキュラムツリー（資料18）やカリキュラムマップ（資料19）等のツールを作成し、学生に提示している。また、本学科では学生による履修の柔軟性を重視してコース制は採用しないが、将来の進路や身につけたい能力、関連する資格などに対応した以下の8つの履修モデルを新たに作成する。

<スポーツ科学科における8つの履修モデル>

履修モデル	想定される進路・社会的役割	目指せる資格
保健体育教員	中学・高校保健体育教員など	中学高校保健体育教員免許
トレーナー	フィットネスクラブ、公共運動施設、パーソナルトレーナー、トレーニング指導者など	NSCA認定資格試験受験資格(GSCS, CPT)、日本トレーニング指導者協会認定資格試験受験資格(JATI-ATI)
ヘルスプロモーション	フィットネスクラブ、健康増進施設、メディカルフィットネスセンター、ヘルスケア産業など	(公財)健康・体力づくり事業団認定健康運動指導士認定試験受験資格
スポーツマネジメント	スポーツクラブ運営・管理者、一般企業など	(公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー
ダイバーシティスポーツ	障がい者支援、ジュニアスポーツ指導員、女性スポーツ指導員など	(公財)日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員、(公財)日本パラスポーツ協会公認初級パラスポーツ指導員
アウトドアスポーツ	アウトドアスポーツメーカー、野外活動インストラクター、野外活動施設スタッフなど	キャンプインストラクター、スクーパー(Cカード)、スキー、スノーボードパッチテスト、水上バイク(特殊小型船舶操縦士免許)
アスリート&コーチング	プロスポーツ選手、企業スポーツ選手、地域スポーツクラブ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント(共通科目I)
スポーツアナリスト	大学教員、スポーツ用具開発、スポーツ科学研究員など	大学院修士号*卒業後の大学院進学が必要

これらの情報を学生に周知することを通じて、学生の履修の指針となるように配慮していく。一方、こ

これらのツールを開示するだけでは効果が不十分であることも懸念される。このため、本学科では、新入生に対して始業前に「スタートアッププログラム」を開催し、その中で履修相談の時間を設けることを通じて、個別の相談に対して詳細に対応できる体制を取っているが、この体制を継続する。さらに、教職を志望する学生に対しては「教職ガイダンス」を行い、資格取得を希望する学生に対しては「資格ガイダンス」を行っている。これらのガイダンスを通じて、教職や資格取得を希望する学生の履修サポートを行っているが、これらも継続していく。

③学修指導方法

本学では GPA を導入しており、ゼミや留学希望者の選抜、奨学金受給の優先順位付けなどに活用している。教務ガイダンスにおいては、単位取得のみを目標とするのではなく、学習成果の指標となる GPA にも意識を向けるよう学生に指導している。また、本学では授業支援システム (DB manaba) を導入している。本システムは、各授業における教員と学生との間での日常的な連絡やコミュニケーションに活用されているが、学生は DB manaba を通じて、レポートやテストの得点や達成度、教員からのフィードバックコメントなどを確認することができる。また、DB manaba にはポートフォリオ機能が実装されており、学生はこの機能を通じて、自らの学修成果を視覚的に把握することができ、学修の振り返りや将来的な学修計画の立案に役立てることができる。

上記のようなオンラインでの学修支援に加えて、本学では全学的に教員による学生相談時間「オフィスアワー」を設けており、本学科においても各教員が学生の個別相談に親身に応じている。さらに、スポーツ科学科では「学年担任制度」を設けており、事務室との連携のもとで成績不振学生をピックアップし、学期ごとに個別面談を行っている。定員増および教育課程改編後もこうした対面形式での学修指導体制は継続する予定である。

(3)教員組織の変更内容

2022 年 4 月現在、本学全体の教員組織は、教授 192 名、准教授 103 名、講師 42 名、助教 14 名、計 351 名の専任教員を配置している。スポーツ科学科については、授業内容や授業方法、施設や設備の状況、実験・実習・演習の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、22 名の専任教員が講義科目等を担当し、教育効果を十分にあげられるよう教育・指導体制を構築しており、大学設置基準に照らし十分な専任教員数を配置している。

今回の入学定員増に伴い、新規で専任教員 1 名を採用する。大学設置基準を満たしていることから、これまでと同等の教育・研究を維持できると判断している。さらに今後の人事計画についても、学科の教育課程を適切に運営し、社会の動向を踏まえたスポーツ科学科の教育目的を将来にわたって達成していくため、保有学位、専門性、年齢、職位のバランスに十分配慮した教員確保に努めることとする。

(4)大学全体の施設・設備の変更内容

本学は東京都の板橋キャンパスと埼玉県東松山キャンパスという 2 つのキャンパスを備えているが、スポーツ科学科は東松山キャンパスのみを利用する。東松山キャンパスの施設・設備(校地・運動場、校舎等施設、図書等の資料及び図書館の整備)については、既に十分な施設・設備を有しており、収容定員増による影響はなく教育運営を図ることが可能である。

①校地、運動場、校舎等施設の整備計画

本学の校地面積(校舎・運動場敷地面積:276,545.48 m²)は、大学設置基準における校地面積 114,600m² (入学定員変更年度)を十分に上回っており、また、本学の校舎面積も 115,084.81m²を有しており、大学設置基準における校舎面積 54,235m² (入学定員変更年度)を十分に上回っている。スポーツ科学科が使用する東松山キャンパスは 252,237.46 m²を所有し、校舎及び関連施設は 29 棟を有し、各建物校舎には、教室(15~549 名収容可能な講義室 186 室、演習室 44 室、実験・実習室 101 室、情報処理学習施設 25 室、語学学習施設 9 室)・研究室(352 室)などを配置している。

スポーツ科学関係施設としては、総合グラウンド、ラグビー場、野球場、総合体育館(トレーニングルーム、剣道場、柔道場、空手場、ダンス場)、テニスコート 5 面、屋内プールを有している。また、スポーツ科学科の拠点施設である 9 号館には、実験用アリーナ、実験室 A (スポーツ情報分析)、実験室 B (バイオメカニクス)、実験室 C (運動生理学)、トレーナーズルーム、トレーニングルームを有している。以上のように、スポーツ科学科としての教育研究活動の目的を達成する上での施設設備は十分に整備されており、定員増後においても引続きこれらの活用を図ることを予定している。

②図書等の資料及び図書館の整備計画

本学は、板橋、東松山両校舎それぞれに図書館が設置されている。2022 年 3 月 31 日時点での蔵書数は、大東文化大学図書館(以下、「板橋図書館」という。)に和書 753,253 冊、洋書 228,014 冊、計 981,267 冊、大東文化大学 60 周年記念図書館(以下、「東松山図書館」という。)に和書 492,479 冊、洋書 136,966 冊、計 629,445 冊であり、本学全体では和書 1,245,732 冊、洋書 364,980 冊、総計 1,610,712 冊に上る。雑誌の所蔵は、板橋図書館で和雑誌 6,364 タイトル、洋雑誌 1,925 タイトル、計 8,289 タイトル、東松山図書館で和雑誌 2,093 タイトル、洋雑誌 840 タイトル、計 2,933 タイトル、オンラインデータベース 32 サイトに含まれる雑誌は、71,677 タイトルあり、両館合わせた雑誌タイトル数は、総計 82,899 タイトルである。

国立情報学研究所(NII)の提供する目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)を通じ、他大学図書館などと文献複写、現物貸借業務を行っている。

オンライン蔵書目録検索システム(OPAC)を提供し、Web 上で図書館蔵書、電子ジャーナル、電子書籍の検索閲覧等が可能である。図書館が契約している電子書籍、電子ジャーナル、オンラインデータベースは学内での閲覧のほか、学外からは学園総合情報センターが管理する VPN 接続を使って閲覧が可能であり、My OPAC により貸出・履歴・予約状況照会、文献複写・現物貸借申込み、文献複写・現物貸借状況照会などが行える。学内からの学術情報へのアクセス環境として、所蔵検索用 OPAC21(板橋図書館 9, 東松山図書館 12)台、情報検索用インターネット・データベース 223(板橋図書館 158, 東松山図書館 65) 台の端末が設置されている。

板橋図書館(中央棟及び書庫棟)の総面積は 5,743.33 m²で、館内に閲覧室、個室閲覧室、ラーニング・コモンズ、ガイダンスコーナーなどがあり、713 座席を有している。開館時間は平日 9:00~20:30、土曜日 9:00~16:30、定期試験期間の平日は 8:30~20:30 となっている。

東松山図書館の総面積は 8,916.33 m²で、館内に閲覧室、個室閲覧室、新聞閲覧室、ラーニング・コモンズ、グループ学習室、視聴覚室、AV ホール、ガイダンス室などがあり、1,056 座席を有している。開館時間は平日 8:30~20:30、土曜日 9:00~16:30、定期試験期間の平日は 8:10~20:30 となってい

る。また、東松山図書館 1 階に専用のレファレンスカウンターを設置し、オンライン蔵書目録検索システム (OPAC)、オンラインデータベースの使用方法などについて、「対面」、「質問フォーム」による相談対応を行っている。

本学の図書館は、これまでも年次計画に基づき、体系的・系統的に資料収集及び整備を進めており、東松山図書館にはスポーツ科学科の教育研究に必要な図書及び学術雑誌が十分に整備されていることから、今回の収容定員増においても、教育研究に支障なく運営を図れるものと考えられる。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1	第 3 期スポーツ基本計画（概要）	…2
資料 2	学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について	…4
資料 3	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン（概要）	…9
資料 4	21 世紀における国民健康づくり運動〈健康日本 21〉	…10
資料 5	DAITO VISION 2033	…13
資料 6	スポーツ科学科ルートマップ	…15
資料 7	スポーツ科学科 DP・CP	…16
資料 8	スポーツ科学科ビッグハンド	…18
資料 9	競合校における志願状況等（過去 5 年間）	…19
資料 10	大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科への高 校生の入学意向に関するアンケート調査報告	…20
資料 11	学生・生徒の卒業後の進路状況（学園の現況）	…48
資料 12	大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科の卒業 生に対する企業等の採用意向に関するアンケート調査報告	…62
資料 13	大東文化大学 DP・CP	…89
資料 14	進学意向調査で使用した調査用紙（高校向け）及び回答時の 参考資料リーフレット	…94
資料 15	スポーツ科学科で取得できる資格一覧	…96
資料 16	教育課程の変更状況	…97
資料 17	DAITO VISION 2023	…101
資料 18	2023 年度スポーツ科学科 カリキュラムツリー	…105
資料 19	2022 年度スポーツ科学科 カリキュラムマップ	…106

第3期スポーツ基本計画（概要）

【第2期計画期間中の総括】







- ① **新型コロナウイルス感染症：**
 - ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② **東京オリンピック・パラリンピック競技大会：**
 - ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催
- ③ **その他社会状況の変化：**
 - ▶ 人口減少・高齢化の進行
 - ▶ 地域間格差の広がり
 - ▶ DXなど急速な技術革新
 - ▶ ライフスタイルの変化
 - ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』（Well-being）
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策

 <p>持続可能な国際競技力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、 <ul style="list-style-type: none"> ・NFの強化戦略プランの実効化を支援 ・アスリート育成パスウェイを構築 ・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実 ・地域の競技力向上を支える体制を構築 	 <p>共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進 ○ オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進 	 <p>スポーツを通じた国際交流・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）
 <p>大規模大会の運営ノウハウの継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用 	 <p>地方創生・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着 ○ 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進 	 <p>スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を脅かす事態に対応するため、 <ul style="list-style-type: none"> ・誹謗中傷や性的ハラスメントの防止 ・熱中症対策の徹底など安全・安心の確保 ・暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

<p>スポーツを「つくる/はぐくむ」</p> <p>社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通した、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出 ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成 ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進 	<p>スポーツで「あつまり、ともに、つながる」</p> <p>様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現 ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化 ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信 	<p>スポーツに「誰もがアクセスできる」</p> <p>性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供 ◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化 ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保
---	---	---

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

- | | | |
|--|---|--|
| <p>① 多様な主体におけるスポーツの機会創出
地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上 等</p> | <p>② スポーツ界におけるDXの推進
先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等</p> | <p>③ 国際競技力の向上
中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSCO・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催 等</p> |
| <p>④ スポーツの国際交流・協力
国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等</p> | <p>⑤ スポーツによる健康増進
健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化 等</p> | <p>⑥ スポーツの成長産業化
スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等</p> |
| <p>⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり
武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化 等</p> | <p>⑧ スポーツを通じた共生社会の実現
障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等</p> | <p>⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援 等</p> |
| <p>⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材
民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用への促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等</p> | <p>⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保
暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進 等</p> | <p>⑫ スポーツ・インテグリティの確保
スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解増進等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等</p> |

『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

- | | | |
|--|--|--|
| <p>💡 国民のスポーツ実施率を向上
✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を 70% (障害者は40%)
✓ 1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を 100%に近づける (障害者は70%を目指す)</p> | <p>💡 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加
(児童86%⇒90%、生徒82%⇒90%)
💡 子供の体力の向上
(新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒80%、生徒75%⇒85%)</p> | <p>💡 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現
✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発
✓ スポーツ団体の女性理事の役割を40%</p> |
| <p>💡 オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現</p> | <p>💡 スポーツを通じて活力ある社会を実現
✓ スポーツ市場規模15兆円の達成 (2025年まで)
✓ スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒40%</p> | <p>💡 スポーツを通じて世界とつながる
✓ ポストSFT事業を通じて世界中の国々の700万人の人々への裨益を目標に事業を推進
✓ 国際競技連盟(IF)等役員数37人規模の維持・拡大</p> |

出典：スポーツ庁「第3期スポーツ基本計画」

https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_1.pdf

資料 2

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

はじめに

文部科学省では、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、部活動ガイドラインを策定し、部活動の適正化を推進している。他方、学校の働き方改革は喫緊の課題であり、中央教育審議会の答申や給特法改正の国会審議において、「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」ことが指摘されている。

これらの指摘も踏まえつつ、今回はその第一歩として、学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、部活動ガイドラインで示した「学校と地域が協働・融合」した部活動の具体的な実現方策とスケジュールを明示するものである。

部活動をめぐる様々な関係者がそれぞれの立場で協力しながら、以下に示す方策について段階を踏んで着実に実施することにより、部活動における教師の負担軽減に加え、部活動の指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現を図るものである。

○学校の働き方改革も考慮した部活動改革の考え方

(部活動の意義と課題)

- ・部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動である。
- ・部活動に参加する生徒にとっては、スポーツ、芸術文化等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技能の向上に資するだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもある。部活動は多様な生徒が活躍できる場であり、豊かな学校生活を実現する役割を有する。
- ・一方で、部活動の設置・運営は、法令上の義務として求められるものではなく、必ずしも教師が担う必要のない業務と位置付けられている。
- ・教師の勤務を要しない日（休日）の活動を含めて、教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因であることや、特に指導経験がない教師には多大な負担となっているとの声もある。

(改革の方向性)

- ・今回の部活動改革については、公立学校における働き方改革の視点も踏まえ、教師の負担軽減を実現できる内容とすることが必要である。このため、公立学校を対象とした部活動改革とするとともに、主として中学校を対象とし、高等学校についても同様の考え方を基に部活動改革を進める。なお、高等学校における部活動は、学

校の特色ある活動として位置づけられている場合もあることに留意すべきである。このような学校については、別途、設置者の責任において、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制を構築すべきである。私立学校においても、公立学校における取組も参考にしながら、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

- ・これまでの部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立っており、持続可能な部活動と学校の働き方改革の両方を実現するためには、特に休日の部活動における教師の負担軽減を図る必要がある。部活動は、学校教育の一環として行われる活動であるが、必ずしも教師が担う必要のないものであることを踏まえ、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築すべきである。
- ・一方で、休日の部活動に対する生徒の希望に応えるため、休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整えることが重要である。部活動に代わり、生徒が自主的にスポーツ・文化活動に取り組み、体力や技能の向上を目指す活動機会を保障する観点から、教師の勤務を要する日（平日）において学校の活動として行われる部活動（学校部活動）と教師の勤務を要しない日（休日）において地域の活動として行われる部活動（地域部活動）との連携を図りながら、地方自治体等において、地域部活動の実施のために必要な取組を行うことが求められる。

○具体的な方策

これまで適正な部活動の実現に向けた部活動改革として、部活動指導員などの外部指導者の活用、活動時間や休養日の基準の設定、短時間で効果的な指導の推進などに取り組んできたところである。

今回の部活動改革は、部活動の教育的意義を踏まえつつ、更なる学校の働き方改革を実現するため、部活動ガイドラインを踏まえた取組の一環として実施するものであり、具体的には以下の取組を進める。

1. 休日の部活動の段階的な地域移行（学校部活動から地域部活動への転換）

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。

(地域部活動の運営主体)

- ・地域部活動の運営主体は、退職教師、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、生徒の保護者等の参画や協力を得て、総合型地域スポーツクラブ、民間のスポーツクラブ、芸術文化団体等が担うことが考えられる。
- ・こうした地域団体において地域部活動の運営を担う人材や指導者を確保しつつ、当該団体の責任の下で、生徒の安全の確保や指導者への謝金の管理など、地域部活動の管理運営が行われることについて、生徒、保護者等の理解を得ることが望ましい。
- ・休日の大会・コンクールへの参加については、平日の学校部活動に参加する生徒のみで参加する場合で校長が認めるときは、地域部活動に参加する生徒が学校代表として参加することが考えられる。
- ・学校代表としての大会参加を含め、地域部活動の際に事故が発生した場合は、地域部活動の運営主体や大会の主催者が責任を負うことになるが、生徒が怪我をした場合の救護や保護者、学校、教育委員会等への連絡など、事故発生時の役割分担について、あらかじめ明確にするとともに、生徒、保護者等の理解を得ることが望ましい。
- ・なお、大会への引率については、指導のみを担う場合と比べて地域人材の確保が当面限定的になると考えられるため、やむを得ない場合に限り、教師が学校部活動として大会引率を行うことも考えられる。

(休日の指導等を担う地域人材の確保)

- ・休日の地域部活動については、教師ではなく地域人材が担うものであり、地方自治体は、教師に代わり生徒の指導や大会への引率を担う地域人材の確保に向けて、人材バンクを整備・活用し、関係団体と連携しながら、人材の育成からマッチングまでの民間人材の活用の仕組みを構築するなどの取組を行う。
- ・地域部活動の指導者は、部活動に参加する生徒の意向を踏まえ、指導方針や活動内容を決定する。その際、平日の学校部活動との関連性を考慮する必要がある。
- ・また、地域部活動の指導者が部活動の意義を理解した上で、生徒のスポーツ・文化への興味関心の向上や体力・技能の向上に資する指導を行うことができるよう、部活動ガイドラインを踏まえ、部活動指導員と同様の研修を行うことが望ましい。
- ・地域部活動において休日の指導を希望する教師は、教師としての立場で従事するのではなく、兼職兼業の許可を得た上で、地域部活動の運営主体の下で従事することとなる。令和3年度以降教育委員会において兼職兼業の許可の仕組みを適切に運用できるように、今年度中に兼職兼業の考え方や労働時間管理、割増賃金の支払い等について整理を示すこととする。
- ・なお、兼職兼業の運用に当たっては、あくまで休日の指導を希望する教師の申請を教育委員会が許可する仕組みであることから、教師が希望しないにもかかわらず、

休日の指導等に従事させることがないように十分留意する。

- ・また、教師のライフステージに応じ、部活動への携わり方を主体的に選択できるような弾力的な取り扱いが望ましい。
- ・部活動に対する教師の負担軽減に向けて大きな役割を果たしている学校部活動における部活動指導員の配置に対する国による支援については継続する必要があると考えられる。

(地方自治体や保護者による費用負担と国による支援)

- ・地域部活動の指導者（兼職兼業の許可を得た教師を含む。）の確保に当たっては、謝金を要する場合が発生すると考えられる。
- ・また、地域部活動の場所や用具の確保に当たっては、使用料を要する場合が発生すると考えられる。
- ・地域部活動の実施に当たっては、事故に備えるため、保険への加入が望ましい。
- ・地域部活動の費用負担については、生徒の活動機会の保障の観点や受益者負担の観点から、保護者が負担することや地方自治体が減免措置等を講ずることが適切であると考えられるが、これまで両者による負担等が行われていない実態や休日に教師が部活動に従事する場合における現行の特殊勤務手当を考慮しつつ、国による支援方策についても検討する。

(休日の地域部活動を推進する拠点校（地域）の整備)

- ・休日の地域部活動の実現に向けた取組を総合的に推進するため、各都道府県に拠点校（地域）を設け、国として拠点校（地域）における実践研究を実施する。併せて、その成果を他の学校に横展開することにより、全国のすべての学校において、休日の部活動における教師の負担軽減を計画的に実現する。なお、拠点校（地域）を含め、早期に地域移行が可能な学校（地域）においては、速やかに休日の地域部活動の実現に向けた取組を進める。

2. 合理的で効率的な部活動の推進

(合同部活動の推進)

- ・地域の実情を踏まえ、特に少子化の影響が大きい過疎地域においては、地方自治体の判断に基づき、市町村を越えた他校との合同部活動を推進するとともに、都市部においては、市内の近隣校との「拠点校方式」による合同部活動を推進する事業を実施する。その際、地理的な課題が生じるが、ICTを活用することで、生徒が移動することなく指導を受けたり、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるよう実践研究を推進する。

(大会・コンクールの在り方の整理)

- ・全国大会に参加できるのは、一部の学校であり、大多数の学校が関係するのは地方大会である。このため、学校の働き方改革の観点も踏まえ、主に地方大会の在り方を整理する必要がある。
- ・従って、国は、関係団体による全国大会の見直しを促進するとともに、地方自治体が関係団体と連携・協力して、地方大会の開催の実態を把握し、大会の在り方について整理するよう要請する。
- ・また、大会が生徒の活動の成果発表の場であることを考慮しつつも、生徒の大会参加による負担が過度にならないように、参加する大会を精選する。
- ・併せて、大会の参加資格については、学校以外のチームも参加できるよう弾力的な取扱いの検討を要請する。

おわりに

以上の方策は、部活動改革のゴールではなくマイルストーンである。

部活動は生徒にとって教育的意義の高い活動である一方で、教師の献身的な勤務に支えられており、もはや持続可能な状態にあるとは言えない。部活動は、すべてを学校の教師が担うのではなく、生徒への指導等に意欲を有する地域人材の協力の下で、生徒にとって望ましいスポーツ・文化活動を地域が支えていくことが求められる。

このような部活動改革は、地域や活動内容によってそれぞれの部活動の状況が異なることを踏まえれば、各地域で実践研究を行いながら、段階的に着実な取組を進める必要がある。この改革には、関係者の意識変革が不可欠であり、その際、国、地方自治体、学校関係者がそれぞれの役割を果たすことにより、今回の部活動改革が結実するものと考えらる。

その上で、今回の部活動改革の成果や課題も見極めながら、地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現や、学校の働き方改革を通じた学校教育の質の向上を図るため、部活動ガイドラインの改訂を含め、更なる取組を進めることが関係者の責務であり、休日の部活動の段階的な地域移行は、そのための第一歩である。

令和 4 年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和 4 年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化芸術活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・部活動指導員や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
 - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等にに応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
 - ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

出典：スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」
https://www.mext.go.jp/sports/content/20221227-spt_oripara-000026750_1.pdf



出典：厚生労働省「健康日本21」

https://www.health-net.or.jp/syuppan/leaflet/pdf/kenkou_kazoku.pdf

21世紀における 国民健康づくり運動

健康日本21(第二次) なに?

全ての国民が共に支え合い、健やかで 心豊かに生活できる社会の実現

「健康日本21」は、国民・企業等に健康づくりの取り組みを浸透させ、健康増進の観点から理想とする社会を目指す運動です。平成25年度からは、新たな健康課題や社会背景等をふまえ、「健康日本21(第二次)」がスタートしました。

「健康日本21(第二次)」では10年後に目指す姿を明らかにします。それは、全ての国民が共に支え合い、健康で幸せに暮らせる社会です。

具体的
には...

- 子どもも大人も希望もてる社会
- 高齢者が生きがいをもてる社会
- 希望や生きがいをもてる基盤となる健康を大切にする社会
- 疾病や介護を有する方も、それぞれに満足できる人生を送ることのできる社会
- 地域の相互扶助や世代間の相互扶助が機能する社会
- 誰もが社会参加でき、健康づくりの資源にアクセスできる社会
- 今後健康格差が広まる中で、社会環境の改善を図り、健康格差の縮小を実現する社会

健康日本21(第二次)の概念図

全ての国民が共に支え合い、
健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現

①健康寿命の延伸・健康格差の縮小

生活の質の向上

社会環境の質の向上

②生活習慣病の発症
予防・重症化予防

③社会生活機能
の維持・向上

④社会参加の
機会の増加

⑤健康のための資源
(保健・医療・福祉サービス)
へのアクセスの改善と
公平性の確保

生活習慣の改善(リスクファクターの低減)

⑥社会環境の整備

次期国民健康づくり運動による具体的取組

健康日本21(第二次)の5つの柱

1. 健康寿命の延伸・健康格差の縮小
2. 生活習慣病の発症予防と重症化の予防の徹底
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上
4. 健康を支え、守るための社会環境の整備
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善



3世代家族の宣言

わたしたちも、「健康日本21(第二次)」の目標に取り組みます。



日本健太郎(70歳)
ハイキングに登山、ますます
趣味を充実させるぞ。



日本 美香(17歳)
スポーツでスタイル維持するわ。



日本 郁恵(64歳)
家族の健康は私が守るわ。



日本 雄三(13歳)
好ききらいをなくすぞ。



日本健次郎(45歳)
メタボ気味なので、一日一万歩
をめざすぞ。



健康みれい(32歳)
第二子のために夫に禁煙させるわ。



日本 康代(42歳)
お義父さんと一緒に登山をするわ。



健康 長一(35歳)
子どもや家族のために絶対禁煙
するぞ。

身体活動・運動

元気に動こう!!



健康を維持するためにとっても大切な運動。

健康にいい身体活動とは、毎日の生活の中でこまめに歩いたり、軽い運動を楽しむことです。特に歩くことは、私たちにとって最も基本的な身体活動であるとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代が簡単にできて、健康づくりにとっても役立ちます。

ウォーキングを生活に取り入れよう

健康づくりに適した身体活動で、最も基本的なものが「ウォーキング」です。ウォーキングは、いつでも、どこでも、だれでも簡単にできる、日々の健康づくりに最も適した運動です。背筋をピンとのばして歩幅を少し広くとり、いつもより速いスピードで歩くのがポイントです。

スピードを「ややきつい」と感じる程度にとどめて、歩数や時間を伸ばすことが大切です。

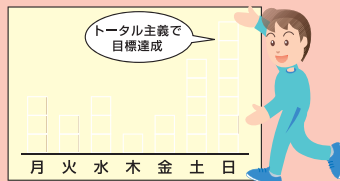
仕事が忙しい、時間を空けられないなどの理由で、ウォーキングができない人は、今の生活の中で歩く歩数や時間を少しずつふやしていくことをおすすめします。

例えば、バス停1つ分多く歩く。エレベーターやエスカレーターを使わず階段を使うなど、生活スタイルを変えずに健康づくりできることも、ウォーキングのすばらしいところです。

「トータル主義」がポイント

必ずしも、まとまった歩く時間をとる必要はありません。「エレベーターやエスカレーターを使わず階段を上る」「時間があるときは、一歩手前の駅で降りて一駅分歩く」「車ではなく歩いて買い物に行く」など、生活の中の基本的な身体活動を増やすことが大切です。1万歩を連続して歩こうとすると、1時間以上かかります。歩くための時間を1時間以上も捻出するのが無理な人は、1日の中で分散して歩く時間を取ったり、1週間の中で分散して取るように考える「トータル主義」が運動継続のポイントです。

〈今週の目標〉めざせ ○万歩!



運動効果を高めるための歩き方

歩幅を広く取り、歩くスピードを上げることで、さらに効果を高めることができます。「ややきつい」と感じる程度のスピードにこどもましよう。体調が悪いとき、痛みがあるとき、悪天候の場合などには、無理をしないようにしましょう。ウォーキングの前にはストレッチングを行い、適切な水分補給を行いましょう。

運動効果を高めるための歩き方

- 顔** あごを軽く引き、まっすぐ前を向きます。
- 肩** 肩の力は抜き、リラックスした状態にします。
- 腕** ひじを約90度に曲げて、前後に大きく振り回します。
- 腰** 腰を回して一直線上を歩くように意識すると、歩幅が広がります。
- 足** かかとから着地し、足裏全体に体重がかかるように移動します。

目 目標を10m~20m先にする、背筋がピンと伸びます。

歩幅 歩幅は大きくとりまします。

ひざ しっかと伸ばし、前に振り出します。



ウォーキングの方法

日常の歩数を増やすようにすることで、生活習慣病を予防することができます。歩数計を身につけ、1日平均1万歩、1週間に7万歩を目標に生活しましょう。初めは、毎日+1,000歩多く歩くことを目標にし、徐々に歩数を増やしていきましょう。歩数を増やすことができれば、健康に効果的です。気楽に、無理なく、長く続けることが、重要です。

目標をもってステップアップ!

せっかくウォーキングをはじめても、目標や目安がないと、ついついなまけてしまいがちです。そこで、歩数計を身につけて1日の歩数ををはかり、表やグラフに記録することをおすすめします。はじめのうちはいつもより1,000歩多く歩くことをめざして、少しずつ歩数をふやしていきましょう。目安として、10分多く歩くと、約1,000歩ふえることとなります。

体力に余裕がある人は、ウォーキングからステップアップして他の運動にも挑戦してみましょう。体の負担にならない範囲でスポーツをしたり、ジムなどで筋力トレーニングを行うと、将来的にロコモティブシンドロームや認知症を予防することも可能でしょう。

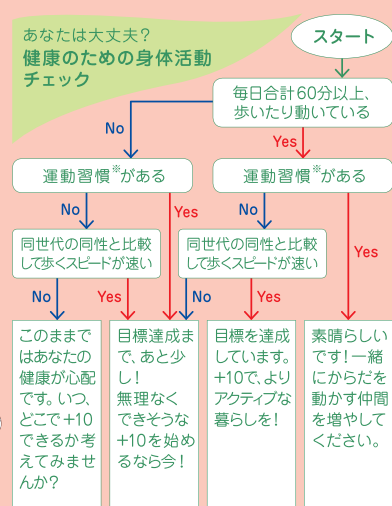
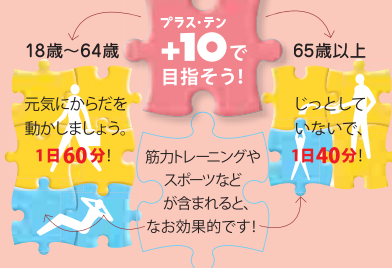
目標項目	日常生活における歩数の増加
現 状	20歳~64歳: 男性7,841歩、女性6,883歩 65歳以上: 男性5,628歩、女性4,585歩 (平成22年)
目 標	20歳~64歳: 男性9,000歩、女性8,500歩 65歳以上: 男性7,000歩、女性6,000歩 (平成34年度)

目標項目	運動習慣者の割合の増加
現 状	20歳~64歳: 男性26.3%、女性22.9%、総数24.3% 65歳以上: 男性47.6%、女性37.6%、総数41.9% (平成22年)
目 標	20歳~64歳: 男性36%、女性33%、総数34% 65歳以上: 男性58%、女性48%、総数52% (平成34年度)

目標項目	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加
現 状	17都道府県 (平成24年)
目 標	47都道府県 (平成34年度)

プラス・テン +10から始めよう!

今より10分多くからだを動かすだけで、健康寿命をのばせます。あなたも+10で、健康を手に入れてください。



*1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上続けて行っている。

中長期計画の体系図



1. 教 育

大学生活のすべてを教育の場と位置づけ、学生・教職員の垣根を超えて、
 学び合いの精神をもつことを大切にします。そして、文化を学ぶことを通
 じて「大東学士力」※を身につけ、社会をつなぐ人材を育てていきます。

※「大東学士力」とは『DAITO VISION 2023』の「大東学士力」を再構成したもので、本学を修了した者が身につけておかねばならない5つの力（包容力、問題解決能力、協働力、挑戦力、当事者意識）を総じて指し示すものです。なお、「大東学士力」は、社会人や留学生をはじめとする、多様な背景を持つ人にとっても共通して必要な力です。

情報通信分野を中心とする急速な技術変化、グローバル化に伴う健康・生活・環境危機の広域化などを背景として、国内外で分断・対立のリスクが高まっている。このなかで、自らと異なる価値観を持つ他者と協働しつつ、根気強く問題解決に当たる能力が求められるようになってきている。本学は、建学の精神・大学の理念等を踏まえつつ、創立100周年を機に「文化で社会をつなぐ大学」というミッションを定めている。このミッションを教育面で実現すべく、地域・日本・世界を貫く教養を有し、多様な価値観を理解し、協働・共生社会を担うことのできる人材を育成していく。

上記のような教育目的の達成のために、今次中長期計画（「教育」ドメイン）では、6つの基本目標を掲げている。基本目標1~4は、教育課程、教育内容・手法、学修成果など教育活動に関わる内容、基本目標5は学生受け入れに関わる内容、基本目標6は広義の学生支援（学習支援・進路支援等を含む）に関わる内容となっている。

教育活動については、幅広い領域の研究者を擁する本学の特色を活かし、学部学科・学問領域の垣根を超えた学び（文化に関する学際的学びを含む）の実現を目指す。あわせて、新しい教え方・学び方（遠隔技術活用を含む）の探求・実践を進め、学生の学習意欲・主体性を喚起していく。学生受け入れについては、IR機能の強化や入学前教育の拡充によって入学者の全学的レベルアップを図るとともに、外国人留学生・編入学生など受け入れ層の多様化を推進する。学生支援に関しても、全学的な連携（学外サポーター拡大を含む）を強化しつつ、多様な学習者のニーズに対応していく。

資料 6

スポーツ科学科における学びの航路図 ～ルートマップ～

◆1年次
フレッシュマン・ルート (Freshman Route)
→全学生共通

[学修目標]
大学生としての基本的態度と基礎教養・技能の習得



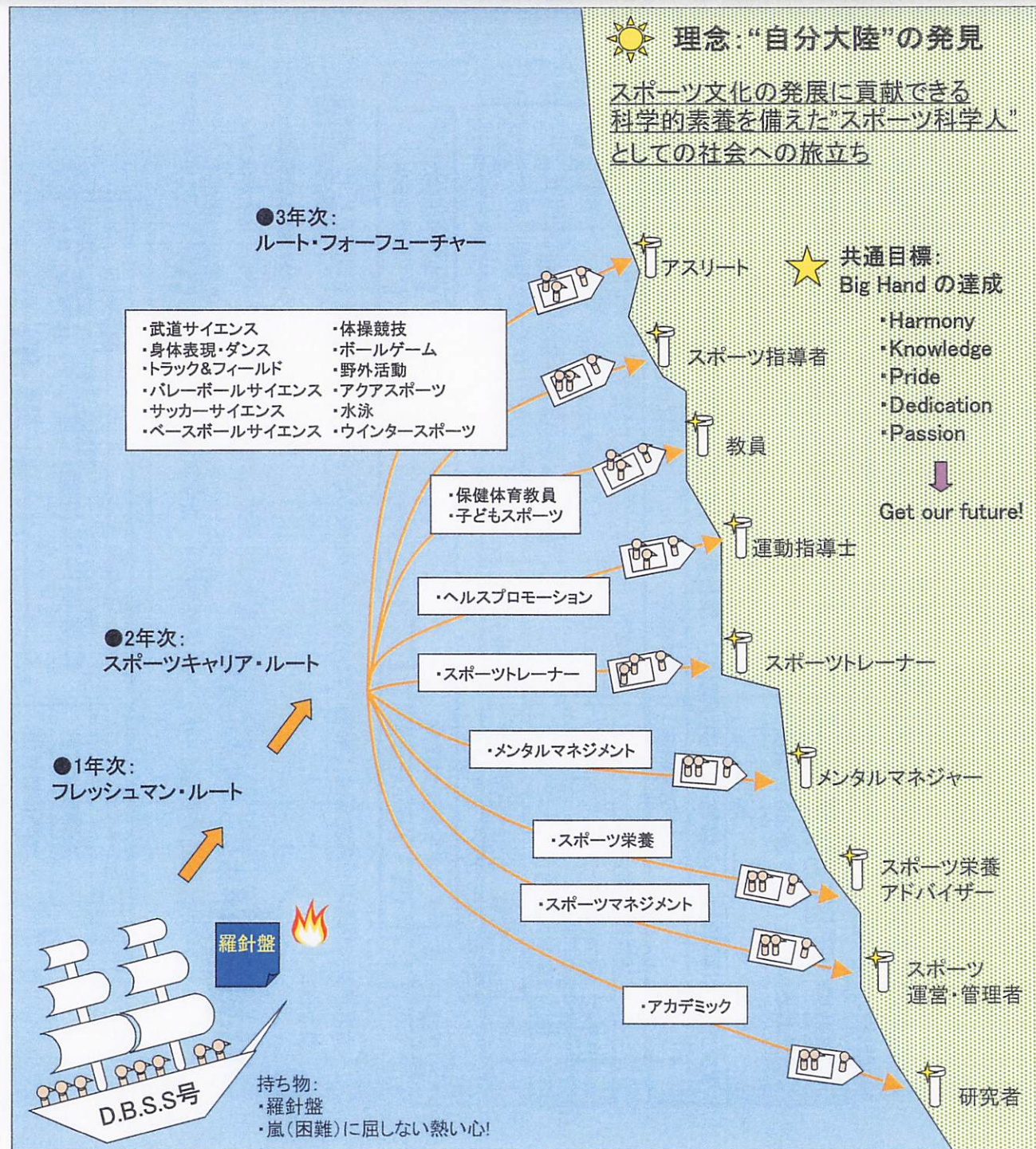
◆2年次
スポーツキャリア・ルート (Sports Career Route)
→全学生共通

[学修目標]
スポーツ科学科生としての専門知識・技能の習得と
将来観の確立



◆3～4年次
ルート・フォー・フューチャー (Route for Future)
→将来を見据えた自主的なルートの選択と学習
→ナビゲータはゼミ教員

[学修目標]
“スポーツ科学人”としての将来観に基づく自己実現の
達成



教育研究上の目的

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

スポーツ科学科は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（スポーツ科学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

1. 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。
2. スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

1. スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。
2. スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

1. スポーツ科学に関する課題を探求し、主体的・継続的に学修することができる。
2. 社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行動持続力をもって対処することができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

1. 多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。
2. 本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。

教育研究上の目的

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成を目的とする。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

スポーツ科学科は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

1. 1年次には、必修科目のスポーツ科学概論、生理学や解剖学などを通してスポーツ科学の基礎を学修し、2年次以降でスポーツ科学の専門的な各種分野を、3年次には各演習科目およびゼミナールにおいて専門的に学修する。
2. 実技科目として、1年次には陸上競技、水泳、器械運動を必修とし、2年次では各種球技系科目（基礎）を学修し、3年次の各種球技系科目（発展）さらにはコーチングへと発展させる。
3. 外国語科目として英語を1～2年次において必修とし、加えて中国語、コリア語、フランス語及びドイツ語の中から1つを選択することにより、外国語教育を通して、異文化の理解に加えて自国の言語や文化を客観的に見直すとともに、バランスのとれた国際感覚を養う。
4. 専門科目とは別に、1年次の「フレッシュマンセミナー」を通じて大学生として身につけてほしい基礎的な能力を養い、2年次には「スポーツキャリアセミナー」により各自の進路について考え、目的を達成するために自ら行動する能力を育成する。
5. 4年間を通じて、全学共通科目を履修することにより幅広い教養を修得する。

2. 教育方法






1. 主体的な学びを促進するために、特に講義系の専門科目においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開する。
2. 3年生～4年生においては、ゼミナールを選択でき、より主体的な学修に取り組む。特に3年生では、スポーツをはじめとしたボランティア活動への参加を積極的に推奨する。

3. 評価方法

1. 学位授与方針で掲げられた能力の形成的な評価として、スポーツ科学科における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テスト等の結果によって測定するものとする。
2. 4年間の総括的な評価として、卒業時の学生によるアンケート調査によって評価する。
3. 教員採用試験受験者に関して、教員採用試験の結果は4年間の学修の明確な成果とする。

Student Policy

Big Hand

-  **Harmony**
私たちは、人々の調和を重んじ、高いコミュニケーション能力を発揮できます。
-  **Knowledge**
私たちは、専門知識と幅広い一般教養を兼ね備えています。
-  **Pride**
私たちは、大学を愛し、所属することを誇りに思っています。
-  **Dedication**
私たちは、スポーツ・文化活動で得たことを元に多くの人へ貢献できます。
-  **Passion**
私たちは、熱い情熱、高い行動力、強い責任感をもって行動できます。
- Our Future**
私たちは、これらを持っている大きな手で未来をつかみます。



資料9 競合校における志願状況等（過去5年間）

所在地	大学名	学部名	学科名	2022						2021						2020						2019						2018					
				入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
神奈川県	國學院大学	人間開発学部	健康体育学科	130	792	760	194	134	1.03	130	986	960	167	137	1.05	130				135	1.04	130				138	1.06	130				134	1.03
東京都	国士館大学	体育学部	体育学科	220	1,484		525	240	1.09	220	1,503		625	230	1.05	220	2,056		554	247	1.12	220	2,065		560	249	1.13	220	2,519		594	247	1.12
千葉県	順天堂大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	600	4,490	4,411	1,269	619	1.03	600	3,490	3,410	1,241	607	1.01	440	4,077	4,038	681		0.00	440	3,588		381		0.00	440	3,798		390		0.00
埼玉県	尚美学園大学	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	160	231	226	205	194	1.21	160	273	268	212	207	1.29	160	375	372	261	259	1.62	開設は 2020年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
神奈川県	東海大学	体育学部	5学科	540	1,433		652	537	0.99	480	1,079		443	487	1.01	480	1,566		440			480	936		257			480	1,108		276		
埼玉県	東京国際大学	人間社会学部	人間スポーツ学科	230	275	267	215	219	0.95	230				233	1.01	230				238	1.03	230				218	0.95	230				249	1.08
			スポーツ科学科	200	183	182	147	196	0.98	200					219	1.10	200				206	1.03	200				193	0.97	200				204
東京都	日本大学	スポーツ科学部	競技スポーツ学科	300	1,121	1,079	605	314	1.05	300	1,085	1,051	679	314	1.05	300	1,388	1,339	618	314	1.05	300	1,253	1,221	501	314	1.05	300	1,612	1,581	490	314	1.05
東京都	日本体育大学	体育学部	体育学科	800	2,037	1,975	1,079	878	1.10	800						800	2,421	2,335	947	769	0.96	800	3,123	3,036	897	758	0.95	800	3,104	3,001	960	769	0.96
			健康学科	195	600	577	291	203	1.04	195						195	950	916	319	193	0.99	195	730	710	290	198	1.02	195	1,264	1,192	334	196	1.01
埼玉県	平成国際大学	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	189	184	173	98	0.98	95	212	207	186	97	1.02	95	223	216	190	109	1.15	95	117		83	116	1.22	95	103		86	121	1.27
東京都	法政大学	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	185	3,528	3,433	576	183	0.99	185	2,744	2,663	524	185	1.00	165	3,470	3,374	344	173	1.05	165			314	167	1.01	185			351	184	0.99
合 計				3,660	16,363		5,931	3,815	1.04																								

埼玉県	大東文化大学	スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	125	903	874	369	146	1.17	125	1,024	1,003	318	144	1.15	125	1,273	1,220	296	119	0.95	125	1,406	1,368	277	134	1.07	125	1,619	1,579	230	122	0.98
-----	--------	------------	---------	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-------	-------	-----	-----	------	-----	-------	-------	-----	-----	------	-----	-------	-------	-----	-----	------	-----	-------	-------	-----	-----	------

※一部「受験者数」「志願者数」「合格者数」が空欄となっているのは、2023年3月1日現在各大学のHPより確認できなかったため

※順天堂大学:2022年・2021年の「入学者数」は、ホームページに掲載されている2022年5月1日現在の在学者数を引用

※東海大学:5学科とは、体育学科、競技スポーツ学科、武道学科、生涯スポーツ学科、スポーツ・レジャーマネジメント学科である

資料 10

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への高校生の入学意向に関する
アンケート調査報告

令和5年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への 高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和6年4月に予定している大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員（収容定員）の増加にあたり、予定年度の進学対象層に対する大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象高校及び対象者

近隣に所在する高等学校、または大東文化大学に進学実績のある高等学校を中心に、15 都道県（北海道、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、静岡県、新潟県、福岡県、鹿児島県）に所在する高等学校の在学者で令和6年度大学進学対象となる高校2年生を対象とした。

(3) 調査方法

近隣に所在する高等学校、または大東文化大学に進学実績のある高等学校を中心とした172校へ、36,195人分のアンケート用紙及び大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の概要を示したリーフレットを送付し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施した。回答用紙は、直接高等学校から一般財団法人日本開発構想研究所へ送付した。

この結果、高校2年生24,601人から有効回答（有効回収率約68.0%）を得た。

集計結果より、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和4年11月～令和5年2月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：高等学校172校36,195人

有効回答者数：高等学校167校24,856人の回答のうち、高校2年生24,601人

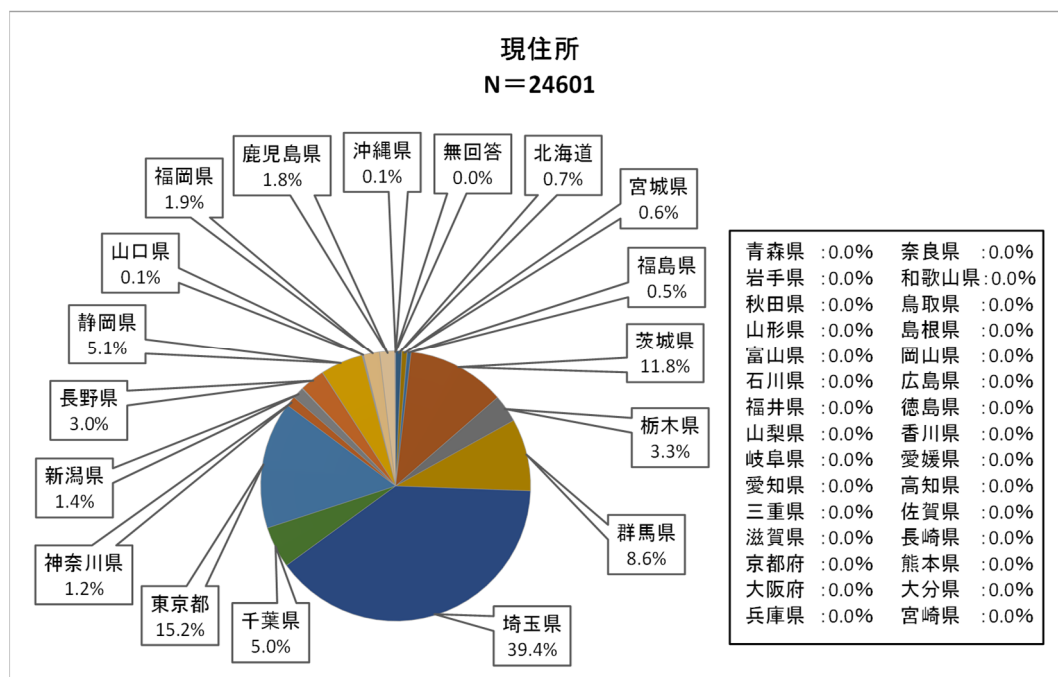
有効回収率：約68.0%（有効回答者24,601人÷調査対象者36,195人）

2. 調査結果

(1) 現住所について

現住所について調査した結果、高校2年生 24,601 人のうち、1.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「埼玉県」が 9,696 人 (39.4%) と最も多く、次いで「東京都」 3,746 人 (15.2%)、「茨城県」 2,898 人 (11.8%)、「群馬県」 2,126 人 (8.6%)、「静岡県」 1,254 人 (5.1%)、「千葉県」 1,224 人 (5.0%)、「栃木県」 815 人 (3.3%)、「長野県」 727 人 (3.0%)、「福岡県」 467 人 (1.9%)、「鹿児島県」 445 人 (1.8%)、「新潟県」 342 人 (1.4%)、「神奈川県」 299 人 (1.2%) の順になっている。 ※「無回答」 6 人 (0.0%)

現住所			現住所			現住所					
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	No.	カテゴリ	件数	(全体)%	No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	175	0.7	18	福井県	8	0.0	35	山口県	15	0.1
2	青森県	2	0.0	19	山梨県	11	0.0	36	徳島県	1	0.0
3	岩手県	6	0.0	20	長野県	727	3.0	37	香川県	1	0.0
4	宮城県	152	0.6	21	岐阜県	10	0.0	38	愛媛県	0	0.0
5	秋田県	2	0.0	22	静岡県	1,254	5.1	39	高知県	1	0.0
6	山形県	2	0.0	23	愛知県	4	0.0	40	福岡県	467	1.9
7	福島県	114	0.5	24	三重県	3	0.0	41	佐賀県	0	0.0
8	茨城県	2,898	11.8	25	滋賀県	4	0.0	42	長崎県	2	0.0
9	栃木県	815	3.3	26	京都府	2	0.0	43	熊本県	0	0.0
10	群馬県	2,126	8.6	27	大阪府	5	0.0	44	大分県	2	0.0
11	埼玉県	9,696	39.4	28	兵庫県	4	0.0	45	宮崎県	0	0.0
12	千葉県	1,224	5.0	29	奈良県	0	0.0	46	鹿児島県	445	1.8
13	東京都	3,746	15.2	30	和歌山県	6	0.0	47	沖縄県	19	0.1
14	神奈川県	299	1.2	31	鳥取県	0	0.0		無回答	6	0.0
15	新潟県	342	1.4	32	島根県	0	0.0		N (%ベース)	24,601	100
16	富山県	1	0.0	33	岡山県	2	0.0				
17	石川県	2	0.0	34	広島県	0	0.0				

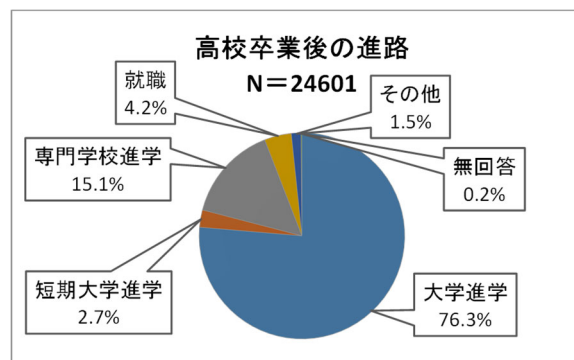


(2) 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生24,601人のうち、「大学進学」が18,780人（76.3%）と最も多く、次いで「専門学校進学」3,703人（15.1%）、「就職」1,044人（4.2%）、「短期大学進学」666人（2.7%）、「その他」369人（1.5%）の順になっている。

※「無回答」39人（0.2%）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	18,780	76.3
2	短期大学進学	666	2.7
3	専門学校進学	3,703	15.1
4	就職	1,044	4.2
5	その他	369	1.5
	無回答	39	0.2
	N (%へ-ス)	24,601	100



(3) 興味のある分野について

3-1 興味のある分野（第1位）

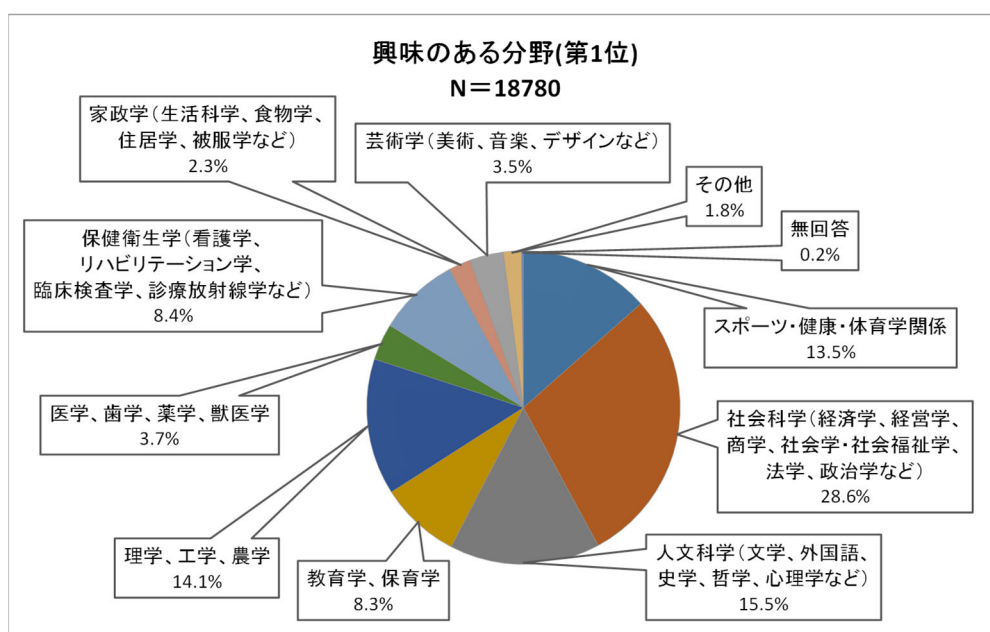
高校卒業後の進路で大学進学を希望する 18,780 人に、興味のある分野（第1位）について調査した。

その結果、「社会科学（経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など）」が 5,373 人（28.6%）と最も多く、次いで「人文科学（文学、外国語、史学、哲学、心理学など）」 2,919 人（15.5%）、「理学、工学、農学」 2,639 人（14.1%）、「スポーツ・健康・体育学関係」 2,530 人（13.5%）、「保健衛生学（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など）」 1,581 人（8.4%）、「教育学、保育学」 1,564 人（8.3%）、「医学、歯学、薬学、獣医学」 704 人（3.7%）、「芸術学（美術、音楽、デザインなど）」 657 人（3.5%）、「家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）」 427 人（2.3%）、「その他」 347 人（1.8%）の順になっている。

※「無回答」 39 人（0.2%）

興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	スポーツ・健康・体育学関係	2,530	13.5
2	社会科学（経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など）	5,373	28.6
3	人文科学（文学、外国語、史学、哲学、心理学など）	2,919	15.5
4	教育学、保育学	1,564	8.3
5	理学、工学、農学	2,639	14.1
6	医学、歯学、薬学、獣医学	704	3.7
7	保健衛生学（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など）	1,581	8.4
8	家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	427	2.3
9	芸術学（美術、音楽、デザインなど）	657	3.5
10	その他	347	1.8
	無回答	39	0.2
	N（%ベース）	18,780	100



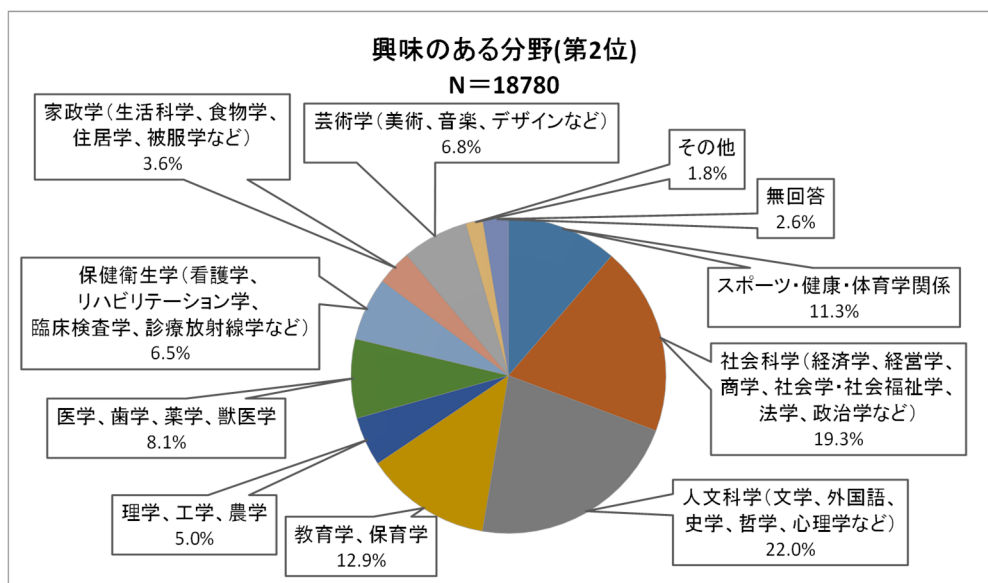
3-2 興味のある分野（第2位）

高校卒業後の進路で大学進学を希望する 18,780 人に、興味のある分野（第2位）について調査した。

その結果、「人文科学（文学、外国語、史学、哲学、心理学など）」が 4,126 人（22.0%）と最も多く、次いで「社会科学（経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など）」3,632 人（19.3%）、「教育学、保育学」2,431 人（12.9%）、「スポーツ・健康・体育学関係」2,130 人（11.3%）、「医学、歯学、薬学、獣医学」1,521 人（8.1%）、「芸術学（美術、音楽、デザインなど）」1,278 人（6.8%）、「保健衛生学（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など）」1,214 人（6.5%）、「理学、工学、農学」945 人（5.0%）、「家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）」679 人（3.6%）、「その他」329 人（1.8%）の順になっている。 ※「無回答」495 人（2.6%）

興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	スポーツ・健康・体育学関係	2,130	11.3
2	社会科学（経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など）	3,632	19.3
3	人文科学（文学、外国語、史学、哲学、心理学など）	4,126	22.0
4	教育学、保育学	2,431	12.9
5	理学、工学、農学	945	5.0
6	医学、歯学、薬学、獣医学	1,521	8.1
7	保健衛生学（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など）	1,214	6.5
8	家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	679	3.6
9	芸術学（美術、音楽、デザインなど）	1,278	6.8
10	その他	329	1.8
	無回答	495	2.6
	N（%ベース）	18,780	100



(4) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心について

「3-1 興味のある分野 (第 1 位)」において「スポーツ・健康・体育学関係」と回答した 2,530 人に、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心について調査した。

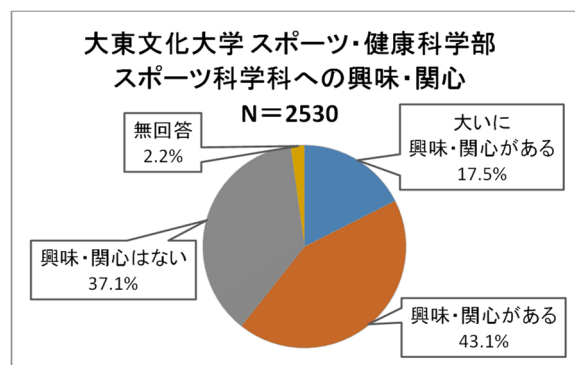
その結果、「興味・関心がある」が 1,091 人 (43.1%) と最も多く、次いで「興味・関心はない」939 人 (37.1%)、「大いに興味・関心がある」444 人 (17.5%) の順になっている。

※「無回答」56 人 (2.2%)

なお、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」の合計 1,535 人 (60.7%) が大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科に興味を示している。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	444	17.5
2	興味・関心がある	1,091	43.1
3	興味・関心はない	939	37.1
	無回答	56	2.2
	N (%ベース)	2,530	100



(5) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心の理由について

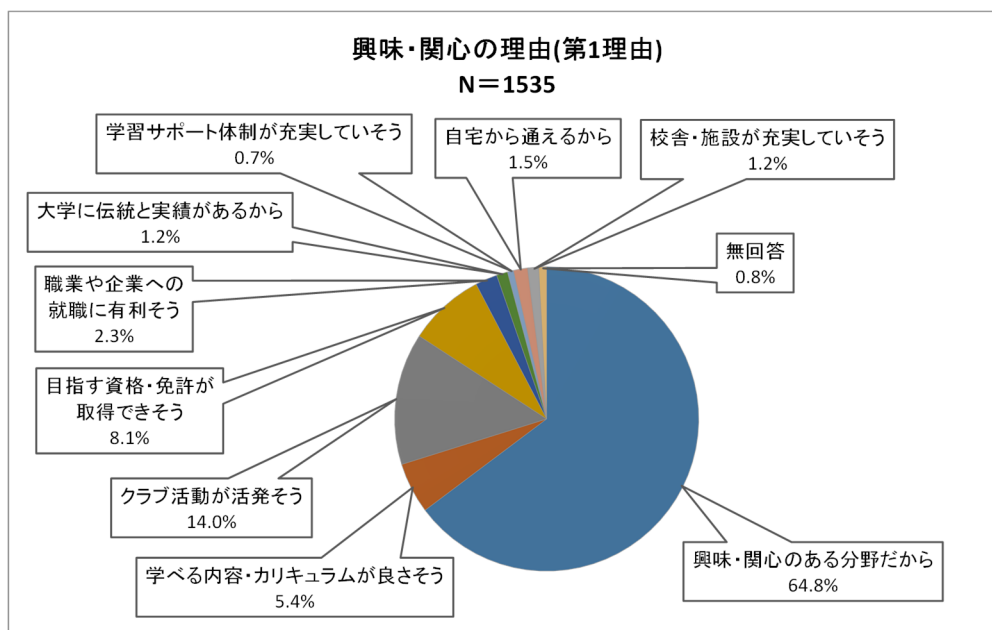
5-1 興味・関心の理由 (第1理由)

「(4) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心について」において「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」と回答した 1,535 人に、興味・関心の理由 (第1理由) について調査した。

その結果、「興味・関心のある分野だから」が 994 人 (64.8%) と最も多く、次いで「クラブ活動が活発そう」215 人 (14.0%)、「目指す資格・免許が取得できそう」125 人 (8.1%)、「学べる内容・カリキュラムが良さそう」83 人 (5.4%)、「職業や企業への就職に有利そう」36 人 (2.3%)、「自宅から通えるから」23 人 (1.5%)、「大学に伝統と実績があるから」18 人 (1.2%)、「校舎・施設が充実していそう」18 人 (1.2%)、「学習サポート体制が充実していそう」10 人 (0.7%) の順になっている。 ※「無回答」13 人 (0.8%)

興味・関心の理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	994	64.8
2	学べる内容・カリキュラムが良さそう	83	5.4
3	クラブ活動が活発そう	215	14.0
4	目指す資格・免許が取得できそう	125	8.1
5	職業や企業への就職に有利そう	36	2.3
6	大学に伝統と実績があるから	18	1.2
7	学習サポート体制が充実していそう	10	0.7
8	自宅から通えるから	23	1.5
9	校舎・施設が充実していそう	18	1.2
	無回答	13	0.8
	N (%ベース)	1,535	100



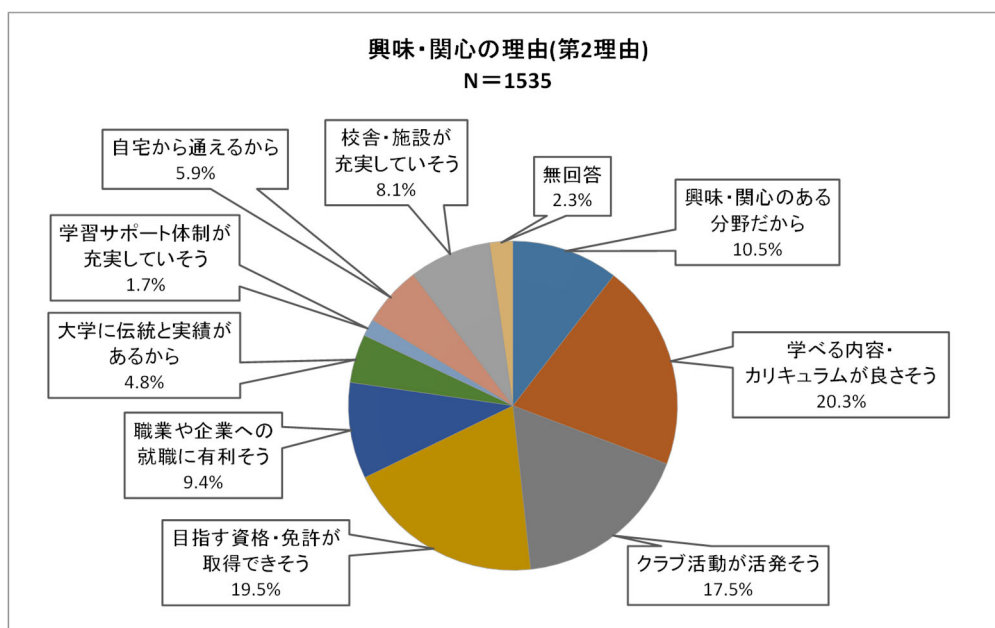
5-2 興味・関心の理由（第2理由）

「(4) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心について」において「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」と回答した1,535人に、興味・関心の理由（第2理由）について調査した。

その結果、「学べる内容・カリキュラムが良さそう」が311人（20.3%）と最も多く、次いで「目指す資格・免許が取得できそう」300人（19.5%）、「クラブ活動が活発そう」269人（17.5%）、「興味・関心のある分野だから」161人（10.5%）、「職業や企業への就職に有利そう」145人（9.4%）、「校舎・施設が充実していそう」124人（8.1%）、「自宅から通えるから」91人（5.9%）、「大学に伝統と実績があるから」73人（4.8%）、「学習サポート体制が充実していそう」26人（1.7%）の順になっている。 ※「無回答」35人（2.3%）

興味・関心の理由(第2理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	161	10.5
2	学べる内容・カリキュラムが良さそう	311	20.3
3	クラブ活動が活発そう	269	17.5
4	目指す資格・免許が取得できそう	300	19.5
5	職業や企業への就職に有利そう	145	9.4
6	大学に伝統と実績があるから	73	4.8
7	学習サポート体制が充実していそう	26	1.7
8	自宅から通えるから	91	5.9
9	校舎・施設が充実していそう	124	8.1
	無回答	35	2.3
	N (%ベース)	1,535	100



(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への受験意向について

「(4) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への興味・関心について」において「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」と回答した 1,535 人に、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への受験意向について調査した。

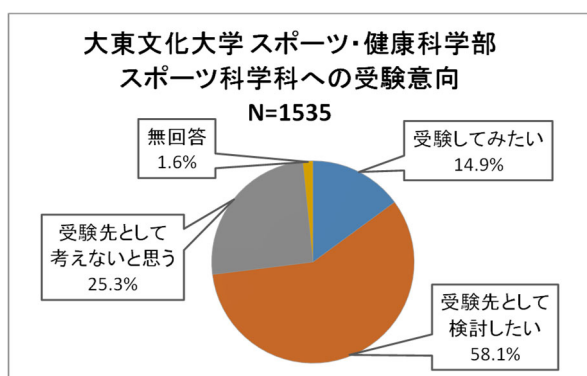
その結果、「受験先として検討したい」が 892 人 (58.1%) と最も多く、次いで「受験先として考えないと思う」389 人 (25.3%)、「受験してみたい」229 人 (14.9%) の順になっている。

※「無回答」25 人 (1.6%)

なお、「受験してみたい」、「受験先として検討したい」の肯定的な回答を合計すると、1,121 人 (73.0%) となっている。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	229	14.9
2	受験先として検討したい	892	58.1
3	受験先として考えないと思う	389	25.3
	無回答	25	1.6
	N (%ベース)	1,535	100



(7) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学意向について

「(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への受験意向について」において、受験意向を示した 1,121 人に、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科に合格した場合の入学意向について調査した。

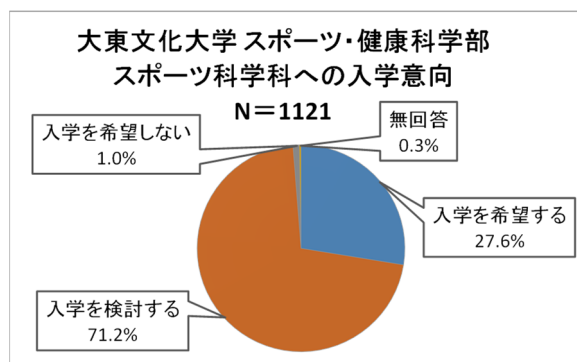
その結果、「入学を検討する」が 798 人 (71.2%) と最も多く、次いで「入学を希望する」309 人 (27.6%)、「入学を希望しない」11 人 (1.0%) の順になっている。

※「無回答」3 人 (0.3%)

なお、「入学を希望する」、「入学を検討する」の肯定的な回答を合計すると、1,107 人 (98.8%) となっている。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	309	27.6
2	入学を検討する	798	71.2
3	入学を希望しない	11	1.0
	無回答	3	0.3
	N (%ベース)	1,121	100



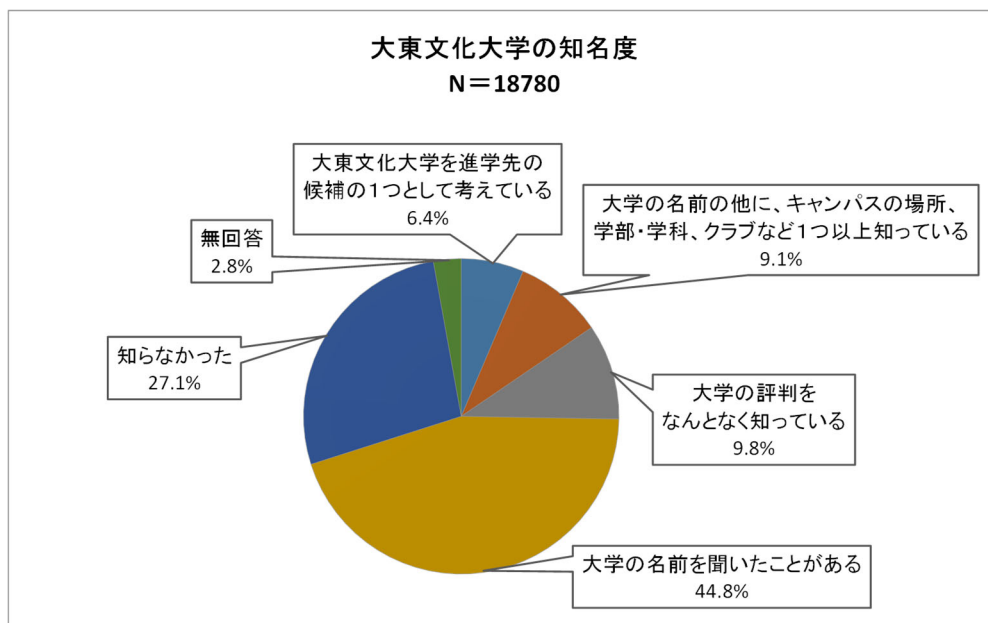
(8) 大東文化大学の知名度について

高校卒業後の進路で大学進学を希望する 18,780 人に、大東文化大学の知名度について調査した。

その結果、「大学の名前を聞いたことがある」が 8,415 人 (44.8%) と最も多く、次いで「知らなかった」5,085 人 (27.1%)、「大学の評判をなんとなく知っている」1,838 人 (9.8%)、「大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部・学科、クラブなど 1 つ以上知っている」1,703 人 (9.1%)、「大東文化大学を進学先の候補の 1 つとして考えている」1,205 人 (6.4%) の順になっている。 ※「無回答」534 人 (2.8%)

大東文化大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大東文化大学を進学先の候補の1つとして考えている	1,205	6.4
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部・学科、クラブなど1つ以上知っている	1,703	9.1
3	大学の評判をなんとなく知っている	1,838	9.8
4	大学の名前を聞いたことがある	8,415	44.8
5	知らなかった	5,085	27.1
	無回答	534	2.8
	N (%ベース)	18,780	100



3. 調査結果のまとめ

「(7) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学意向について」より、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科へ「入学を希望する」と回答した高校2年生は309人いることがわかる。これによって、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員165人に対して約1.9倍の入学意向を確保しているといえる。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生が、合計で1,107人いることから、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員165人に対して約6.7倍の入学意向を示したといえる。

さらに下表より、「(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への受験意向について」と「(7) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学意向について」の調査結果をクロス集計したところ、「受験してみたい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校2年生が167人となり、これは大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員165人に対して約1.0倍の入学意向を確保しているといえる。

受験意向 × 入学意向

上段:度数 下段:%		受験意向		
		合計	受験してみたい	受験先として検討したい
入学意向	全体	1,121 100.0	229 20.4	892 79.6
	入学を希望する	309 100.0	167 54.0	142 46.0
	入学を検討する	798 100.0	58 7.3	740 92.7
	入学を希望しない	11 100.0	3 27.3	8 72.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

調査票

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の 入学定員増加（収容定員増加）に係るアンケート調査

大東文化大学では、令和6年（2024年）4月を目処に、スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員増加（収容定員増加）を構想しております。このアンケート調査は、その計画の基礎資料にするため、高校2年生のみなさんに卒業後の進路等についてお聞きするものです。ご協力をお願いいたします。

※このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、その目的以外に利用することはございません。

※回答は、該当する番号を回答欄の □ の中に直接ご記入ください。

大東文化大学において計画している入学定員増加（収容定員増加）[予定]

【スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科】

現在の入学定員 125名 → 変更後の入学定員 165名（40名増）

・学納金：入学金他 218,000円（初年次のみ） 授業料 835,000円（年間） 教育充実費等 392,900円（年間）

・卒業後の進路：一般企業、公務員、大学院進学 など

*入学定員増加（収容定員増加）は構想中であり、正式に決まったものではありません。

【あなたに関することについてお答えください】

問1 あなたの学年をおたずねします。

1. 高校2年生 2. その他（ 年生）

【回答欄】

問2 あなたの性別についておたずねします。

1. 男子 2. 女子 3. 回答しない

問3 あなたのお住まい（現住所）についておたずねします。

- | | | | | | |
|--------|----------|---------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 9. 栃木県 | 17. 石川県 | 25. 滋賀県 | 33. 岡山県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 10. 群馬県 | 18. 福井県 | 26. 京都府 | 34. 広島県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 11. 埼玉県 | 19. 山梨県 | 27. 大阪府 | 35. 山口県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 12. 千葉県 | 20. 長野県 | 28. 兵庫県 | 36. 徳島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 13. 東京都 | 21. 岐阜県 | 29. 奈良県 | 37. 香川県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 14. 神奈川県 | 22. 静岡県 | 30. 和歌山県 | 38. 愛媛県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 15. 新潟県 | 23. 愛知県 | 31. 鳥取県 | 39. 高知県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 16. 富山県 | 24. 三重県 | 32. 島根県 | 40. 福岡県 | |

【卒業後の進路についてお答えください】

問4 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。次の中から 1 つだけお選びください。

1. 大学進学
2. 短期大学進学
3. 専門学校進学
4. 就職
5. その他（ ）

1 を選ばれた方は問 5 へお進みください。
2、3、4、5 を選ばれた方は問 10 へお進みください。

問5 あなたは進学先（大学）で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。次の中であてはまるものを 第2位まで お選びください。

1. スポーツ・健康・体育学関係
2. 社会科学（経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など）
3. 人文科学（文学、外国語、史学、哲学、心理学など）
4. 教育学、保育学
5. 理学、工学、農学
6. 医学、歯学、薬学、獣医学
7. 保健衛生学（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など）
8. 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
9. 芸術学（美術、音楽、デザインなど）
10. その他（ ）

第1位

第2位

第1位または第2位のいずれかで、1 を選ばれた方は次頁問 6 へお進みください。
2～10 を選ばれた方は次頁問 10 へお進みください。

ここからは「スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科」の概要（リーフレット）と、
類似する近隣の大学・学部・学科一覧をご覧ください。上記の上でお答えください。

【 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科への入学について 】

問 6 あなたは、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科について、どのようにお考えですか。
次の中から 1 つお選びください。

1. 大いに興味・関心がある
2. 興味・関心がある
3. 興味・関心はない

1、2 を選ばれた方は問 7 へお進みください。
3 を選ばれた方は問 10 へお進みください。

問 7 問 6 で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方にお聞きます。
それは、どのような理由からですか。次の中から **第 2 理由まで** お選びください。

- | | | |
|----------------------|---------------------|---------------------------------|
| 1. 興味・関心のある分野だから | 6. 大学に伝統と実績があるから | |
| 2. 学べる内容・カリキュラムが良さそう | 7. 学習サポート体制が充実していそう | 第 1 理由 <input type="checkbox"/> |
| 3. クラブ活動が活発そう | 8. 自宅から通えるから | 第 2 理由 <input type="checkbox"/> |
| 4. 目指す資格・免許が取得できそう | 9. 校舎・施設が充実していそう | |
| 5. 職業や企業への就職に有利そう | | |

問 8 あなたは大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科を受験したいと思いますか。
次の中から 1 つお選びください。

1. 受験してみたい
2. 受験先として検討したい
3. 受験先として考えないと思う

1、2 を選ばれた方は問 9 へお進みください。
3 を選ばれた方は問 10 へお進みください。

問 9 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科を受験し、合格した場合、
入学したいと考えますか。次の中から 1 つお選びください。

1. 入学を希望する
2. 入学を検討する
3. 入学を希望しない

【 大東文化大学について 】

問 10 あなたは大東文化大学を知っていますか。次の中から 1 つお選びください。

1. 大東文化大学を進学先の候補の 1 つとして考えている
2. 大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部・学科、クラブなど 1 つ以上知っている
3. 大学の評判をなんとなく知っている
4. 大学の名前を聞いたことがある
5. 知らなかった

問 11 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の入学定員増加（収容定員増加）の計画につい
て、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

◆ アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました ◆

類似する大学・学部・学科一覧

《大東文化大学が入学定員増加（収容定員増加）を予定している学部学科》
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

所在地	区分	大学名	学部名	学科名	入学定員	入学金	授業料	施設設備費等	諸会費	合計
神奈川県	私立	國學院大学	人間開発学部	健康体育学科	130	240,000	800,000	260,000	48,300	1,348,300
東京都	私立	国土館大学	体育学部	体育学科	220	240,000	935,000	399,000	25,820	1,599,820
千葉県	私立	順天堂大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	600	200,000	700,000	450,000	123,660	1,473,660
埼玉県	私立	尚美学園大学	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	160	200,000	800,000	280,000	44,140	1,324,140
埼玉県	私立	駿河台大学	スポーツ科学部	スポーツ科学科	200	200,000	875,000	300,000	25,000	1,400,000
神奈川県	私立	桐蔭横浜大学	スポーツ科学部	スポーツ教育学科	80	200,000	880,000	300,000	70,570	1,450,570
				スポーツ健康科学科	120					
神奈川県	私立	東海大学	体育学部	体育学科	120	200,000	1,269,000	0	59,200	1,528,200
				競技スポーツ学科	170					
埼玉県	私立	東京国際大学	人間社会学部	人間スポーツ学科	245	250,000	910,000	400,000	40,000	1,600,000
				スポーツ科学科	210					
東京都	私立	東京女子体育大学	体育学部	体育学科	340	300,000	820,000	300,000	19,000	1,439,000
東京都	私立	東洋大学	健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	230	250,000	950,000	300,000	10,000	1,510,000
東京都	私立	日本大学	スポーツ科学部	競技スポーツ学科	300	260,000	900,000	300,000	40,000	1,500,000
東京都	私立	日本女子体育大学	体育学部	スポーツ科学科	220	300,000	820,000	320,000	22,500	1,462,500
東京都	私立	日本体育大学	体育学部	体育学科	800	300,000	800,000	450,000	48,000	1,598,000
				健康学科	195					
埼玉県	私立	平成国際大学	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	320,000	724,000	336,000	76,000	1,456,000
東京都	私立	法政大学	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	185	240,000	1,033,800	278,000	0	1,551,800
東京都	私立	立教大学	スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	230	200,000	1,205,000	0	6,500	1,411,500
埼玉県	私立	大東文化大学	スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	165 (予定)	210,000	885,000	326,000	24,900	1,445,900

注1) 各大学情報については、公式ウェブサイト等により調査しました。

注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。

注3) 大東文化大学の学費等は予定であり、変更する場合があります。

計画概要



© FW&Co., 2022

2024年4月より、入学定員を増加することを構想中(収容定員増加)及びカリキュラムを充実させます(予定)

大東文化大学

スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

Up 入学定員が増えます 125名 ▶ 165名 (予定)

Change カリキュラムが変わります 演習系授業の充実 (予定)



スポーツのマナビを未来のチカラに。

※入学定員増加(収容定員増加)及びカリキュラム改編の構想欄は予定であり変更する場合があります。

大東文化大学の全学部と学科



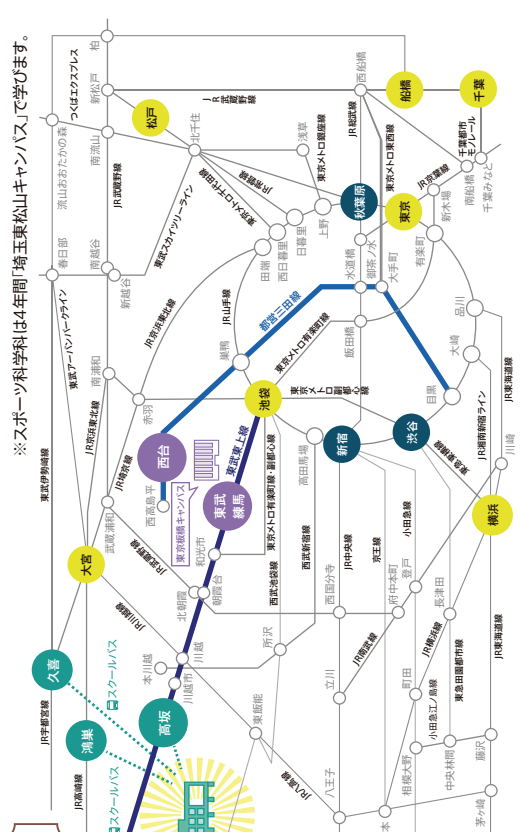
大東文化大学の建学の精神

漢学(儒教)を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づき道徳の確立を期し、更に東洋の文化を基礎として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を旨す。

大東文化大学の教育理念

大東文化大学は、世界の精神に基づき、東洋の文化を中心として広く世界の文化に関する諸学を研究・教授し、その発展を図ると共に、東洋固有の文化を尊重し、その伝統的な美徳を身につけて豊かな人格の形成に努め、併せて国際的な視野を持ち、世界の文化の進展と人類の幸福の realization に寄与でききる有能な人材を育成することを旨す。

アクセス



埼玉東松山キャンパス

〒355-8501 埼玉県東松山市岩野560 【設置学部】全学部1・2年次、国際関係学部、スポーツ・健康科学部の1～4年次
 東武東上線(有楽町線・副都心線直通) (高坂駅) 西口下車
 ▶ 無料スクーラーバスで約7分
 路線バス(川越観光) 岡山・ニュータウン方面行き大東文化大学バス停下車
 ▶ スクーラーバスで約60分(片道200円)

橋浜	94分	東武東上線 東京メトロ副都心線 相互直通運転(ダイヤ) 94分	高坂
池袋	88分	JR浦新線ライオン 38分	
東京	67分	東武東上線 急行 60分	
大宮	41分	東京メトロ丸の内線 17分	
川越	22分	JR川越線 22分	
池袋	40分	東武東上線 19分	
久喜	60分	東武東上線 19分	
埼玉東松山キャンパス	60分	池袋スクーラーバス 40分	
		久喜スクーラーバス 60分	

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科
 〒355-8501 埼玉県東松山市岩野560
<https://www.daito.ac.jp>

収容定員増加及びカリキュラム改編に関する問い合わせ
 大東文化大学スポーツ・健康科学部事務室
 ☎ 0493-31-1552

スポーツのマナビを未来のチカラに

広大で自然豊かなキャンパスで、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材育成を目指し、2024年4月より「入学定員増加(収容定員増加)」と「カリキュラム改編」を構築しています。

Objectives of Daito Sports science

大東スポーツ科の目的



01.

知識を得る

スポーツ科学を構成する学問の基礎・応用を中心に、語学や一般教養も学ぶことによって、スポーツの価値を社会に伝えるために、知識を活用する基盤を身につけます。



02.

技能を高める

陸上、体操、水泳から各種球技種目、武道、ダンスまで、それらのスキルアップと指導法に関する専門的知識の修得に力を注ぎます。



03.

指導力を高める

トプアスリートの育成をはじめ、スポーツの楽しさを伝えることや、年齢や体力レベルに応じた指導法について、スポーツ科専攻に裏付けされた知識や技能の伝達ができるまで高めていきます。



“壮大”な学び

東京ドーム6個分の広さを誇る埼玉東松山キャンパス。広大な敷地にあるスポーツ施設とスポーツ関連実設施設を使用してスポーツ科学を学ぶことができます。



“豊か”な学び

7千人の学生が集う豊かなキャンパスで幅広くスポーツを学べることは総合大学ならではの強み。全学共通授業や課外活動を通じてスポーツ科学科以外の学生との交流も図ることができます。



“未来へつながる”学び

教員採用試験や、就職活動にも役立つ資格取得への手厚いサポート体制で、あなたの未来を支えます。



“大東スポーツ科ならではの”学び

サッカーやランニングサイエンス、スポーツデータサイエンス、スポーツとエンターテインメント、アウトドアスキルなど、大東スポーツ科ならではの科目が充実しています。



“体験する”学び

講義に加え、演習、野外実習、各種スポーツイベントでのボランティア体験などで、実践的なスキルを身につけることができます。

Students of Department of Daito Sports Science

大東スポーツ科 5つのポイント

Four-year flow

4年間の学び

- 1年次
スポーツ科学の基礎知識と一般教養に加えて、大学生としての学ぶ姿勢やマナー、モラルを身につける
- 2年次
球技や武道などの実技授業も充実。専門知識の学修を進めながら自分の将来像と8つの履修モデルを照らし合わせ進むべき方向性を整える
- 3年次
2年次に得た専門知識の学修をさらに深めるべく、充実した演習科目群により、自らが決めた専門領域をさらに探求し4年次の卒業研究に向けての準備を行う
- 4年次
ゼミナールや卒業研究を通じて、将来を実現するための具体的な知識と技能を磨く



18

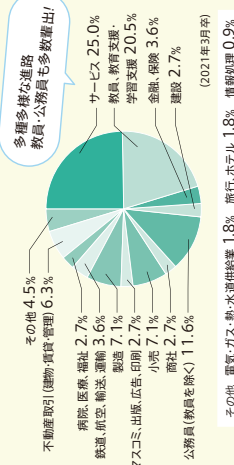
And into the future... そして未来へ...

卒業後の主な進路

- ・国家公務員
- ・地方公務員
- ・高等学校教員
- ・中学校教員
- ・アスリート
- ・インストラクター
- ・(公立・私立)の体育館・運動施設
- ・スポーツ関連業界従事者
- ・マスコミ(出版・放送局)
- ・業界従事者
- ・サービス業界従事者
- ・金融・保険業界従事者
- ・NGO・NPO団体職員
- ・大学院への進学



業種別就職先



(2021年9月)

その他 電気・ガス・熱・水道供給業 1.8% 旅行、ホテル 1.8% 情報処理 0.9%

大東スポーツ科 8つの履修モデル

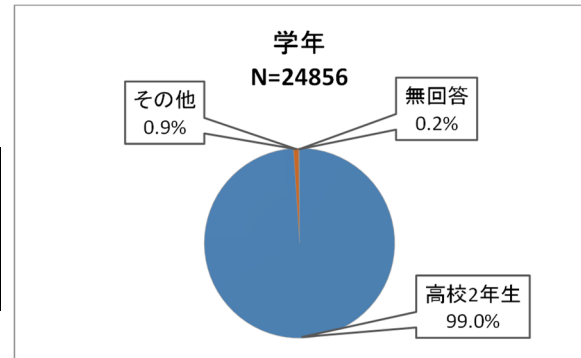
履修モデル	想定される進路・社会的役割	目指せる資格・免許
保健体育教員	中・高等学校保健体育教員など	中学校教員一種免許(保健体育科) 高等学校教員一種免許(保健体育科)
トレーナー	フィットネスクラブ・公共運動施設、パーソナルトレーナー・トレーニング指導者など	NSCA認定認定資格(パーソナルトレーナー) CPTI、日本トレーニング指導者協会認定資格(パーソナルトレーナー)
ヘルスプロモーション	フィットネスクラブ、健康増進施設、メディカルフィットネスセンター、ヘルスケア産業など	(公財)健康・体力づくり財団認定健康運動指導士認定試験受験資格
スポーツマネジメント	地域スポーツ・クラブ運営・管理、一般企業など	(公財)日本スポーツ協会公認アスリートマネージャー
ダイバーシティスポーツ	障がい者支援、ジュニアスポーツ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認ユニバーサルスポーツ指導者
アウトドアスポーツ	アウトドアスポーツ・カー、野外活動インストラクター、野外活動施設スタッフなど	キャンプインストラクター、アウトドアインストラクター、登山ガイド、(特設)登山インストラクター(特設)
アスリート&コーチング	プロスポーツ選手、企業スポーツ選手、地域スポーツクラブ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認コーチングアスリート(特設科目)
スポーツアナリスト	大学教員、スポーツ用具開発、スポーツ科学研究員など	大学院修士号 *卒業後の大学院進学が必要

※履修モデルの概要は予定であり、変更する場合があります。

単純集計表

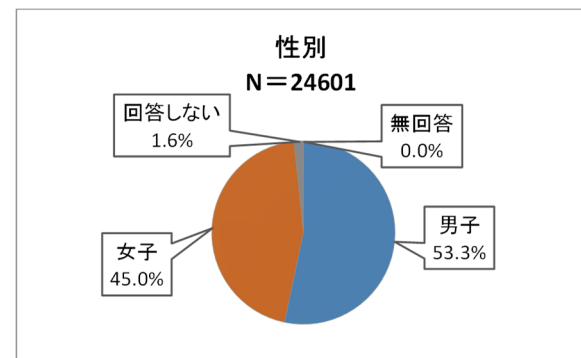
学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高校2年生	24,601	99.0
2	その他	216	0.9
	無回答	39	0.2
	N (% [*] -s)	24,856	100



性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男子	13,116	53.3
2	女子	11,076	45.0
3	回答しない	399	1.6
	無回答	10	0.0
	N (% [*] -s)	24,601	100

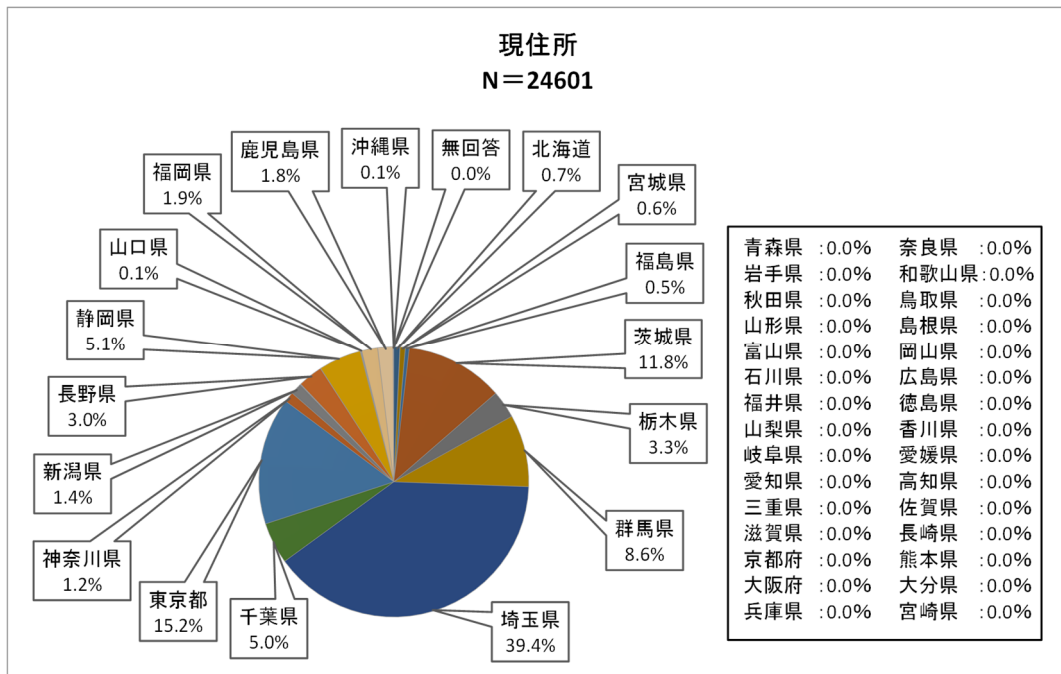


現住所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	175	0.7
2	青森県	2	0.0
3	岩手県	6	0.0
4	宮城県	152	0.6
5	秋田県	2	0.0
6	山形県	2	0.0
7	福島県	114	0.5
8	茨城県	2,898	11.8
9	栃木県	815	3.3
10	群馬県	2,126	8.6
11	埼玉県	9,696	39.4
12	千葉県	1,224	5.0
13	東京都	3,746	15.2
14	神奈川県	299	1.2
15	新潟県	342	1.4
16	富山県	1	0.0
17	石川県	2	0.0

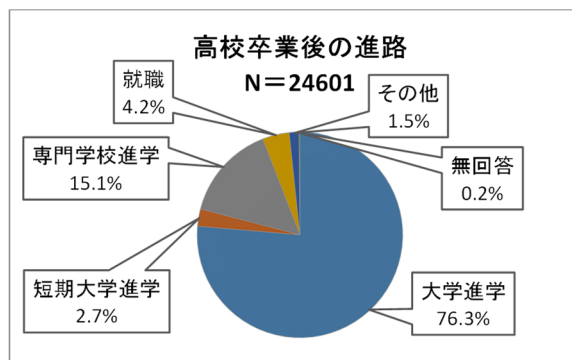
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
18	福井県	8	0.0
19	山梨県	11	0.0
20	長野県	727	3.0
21	岐阜県	10	0.0
22	静岡県	1,254	5.1
23	愛知県	4	0.0
24	三重県	3	0.0
25	滋賀県	4	0.0
26	京都府	2	0.0
27	大阪府	5	0.0
28	兵庫県	4	0.0
29	奈良県	0	0.0
30	和歌山県	6	0.0
31	鳥取県	0	0.0
32	島根県	0	0.0
33	岡山県	2	0.0
34	広島県	0	0.0

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
35	山口県	15	0.1
36	徳島県	1	0.0
37	香川県	1	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.0
40	福岡県	467	1.9
41	佐賀県	0	0.0
42	長崎県	2	0.0
43	熊本県	0	0.0
44	大分県	2	0.0
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	445	1.8
47	沖縄県	19	0.1
	無回答	6	0.0
	N (%^ -)	24,601	100



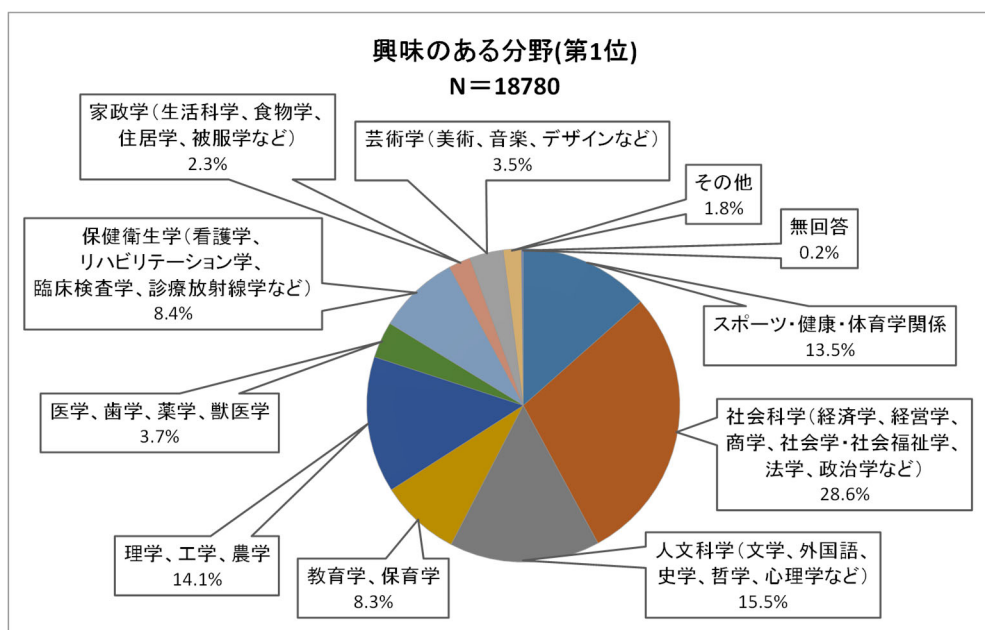
高校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	18,780	76.3
2	短期大学進学	666	2.7
3	専門学校進学	3,703	15.1
4	就職	1,044	4.2
5	その他	369	1.5
	無回答	39	0.2
	N (%ベース)	24,601	100



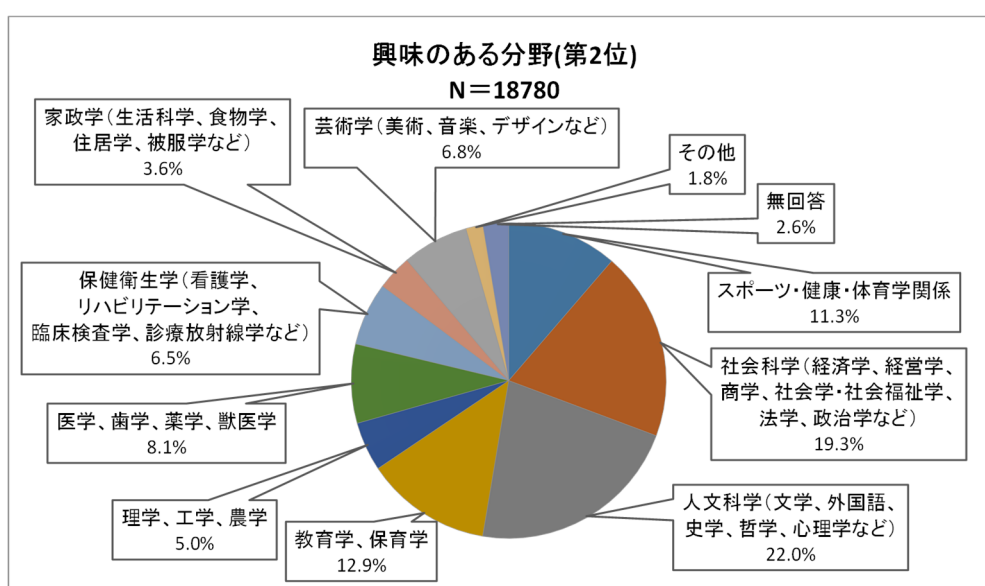
興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	スポーツ・健康・体育学関係	2,530	13.5
2	社会科学(経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など)	5,373	28.6
3	人文科学(文学、外国語、史学、哲学、心理学など)	2,919	15.5
4	教育学、保育学	1,564	8.3
5	理学、工学、農学	2,639	14.1
6	医学、歯学、薬学、獣医学	704	3.7
7	保健衛生学(看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など)	1,581	8.4
8	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	427	2.3
9	芸術学(美術、音楽、デザインなど)	657	3.5
10	その他	347	1.8
	無回答	39	0.2
	N (%ベース)	18,780	100



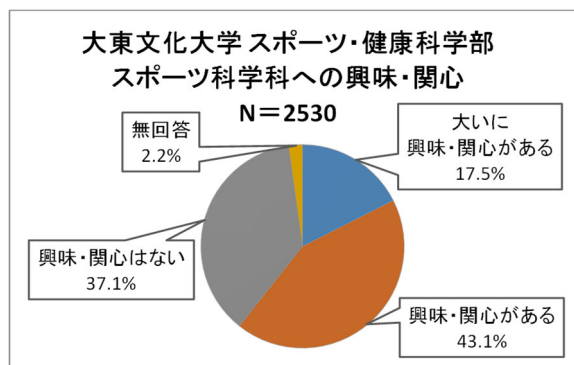
興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	スポーツ・健康・体育学関係	2,130	11.3
2	社会科学(経済学、経営学、商学、社会学・社会福祉学、法学、政治学など)	3,632	19.3
3	人文科学(文学、外国語、史学、哲学、心理学など)	4,126	22.0
4	教育学、保育学	2,431	12.9
5	理学、工学、農学	945	5.0
6	医学、歯学、薬学、獣医学	1,521	8.1
7	保健衛生学(看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、診療放射線学など)	1,214	6.5
8	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	679	3.6
9	芸術学(美術、音楽、デザインなど)	1,278	6.8
10	その他	329	1.8
	無回答	495	2.6
	N (%ベース)	18,780	100



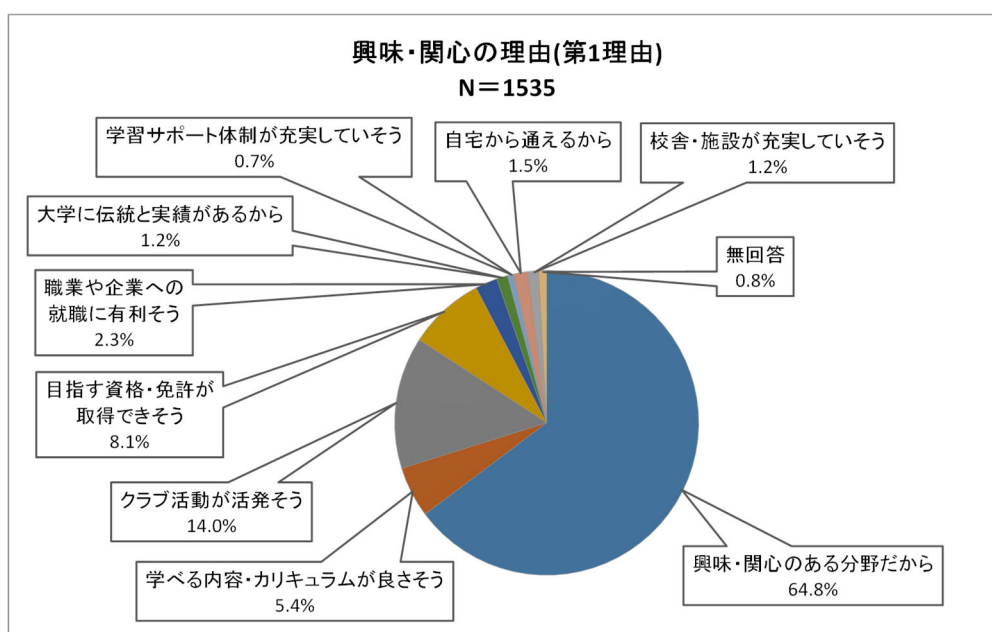
大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	444	17.5
2	興味・関心がある	1,091	43.1
3	興味・関心はない	939	37.1
	無回答	56	2.2
	N (%ベース)	2,530	100



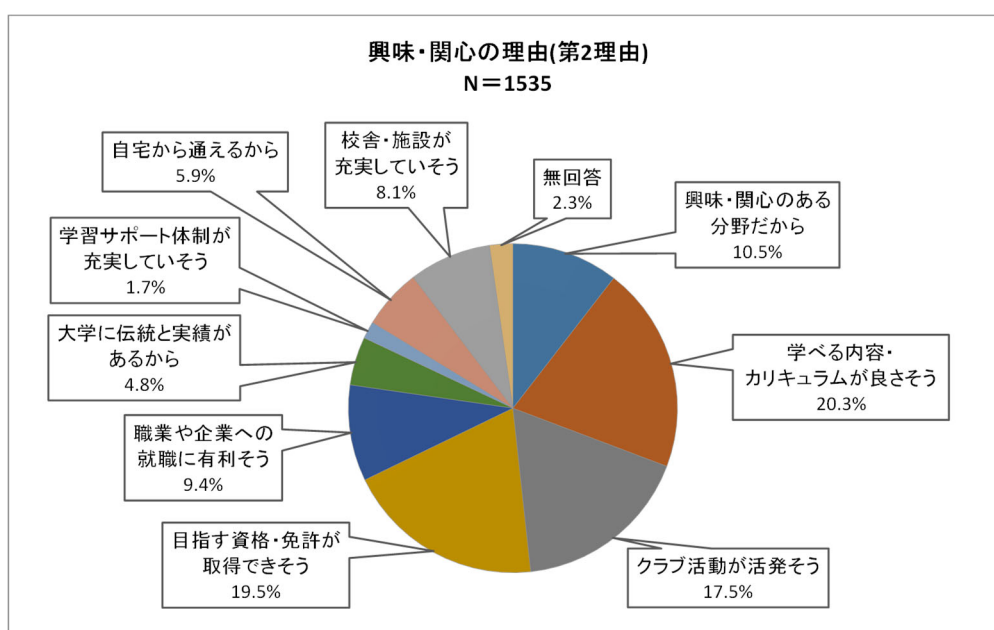
興味・関心の理由(第1理由)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	994	64.8
2	学べる内容・カリキュラムが良さそう	83	5.4
3	クラブ活動が活発そう	215	14.0
4	目指す資格・免許が取得できそう	125	8.1
5	職業や企業への就職に有利そう	36	2.3
6	大学に伝統と実績があるから	18	1.2
7	学習サポート体制が充実していそう	10	0.7
8	自宅から通えるから	23	1.5
9	校舎・施設が充実していそう	18	1.2
	無回答	13	0.8
	N (%ベース)	1,535	100



興味・関心の理由(第2理由)

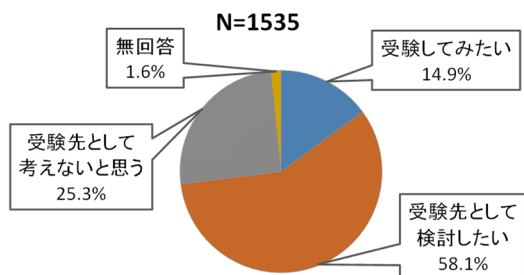
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	161	10.5
2	学べる内容・カリキュラムが良さそう	311	20.3
3	クラブ活動が活発そう	269	17.5
4	目指す資格・免許が取得できそう	300	19.5
5	職業や企業への就職に有利そう	145	9.4
6	大学に伝統と実績があるから	73	4.8
7	学習サポート体制が充実していそう	26	1.7
8	自宅から通えるから	91	5.9
9	校舎・施設が充実していそう	124	8.1
	無回答	35	2.3
	N (%ベース)	1,535	100



大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	229	14.9
2	受験先として検討したい	892	58.1
3	受験先として考えないと思う	389	25.3
	無回答	25	1.6
	N (%へ-ス)	1,535	100

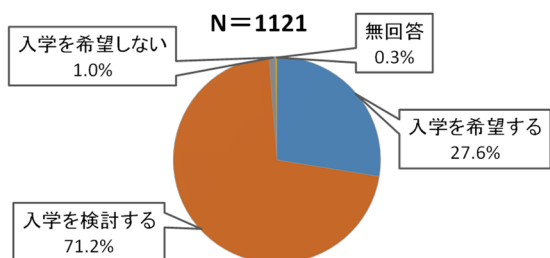
大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への受験意向



大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への入学意向

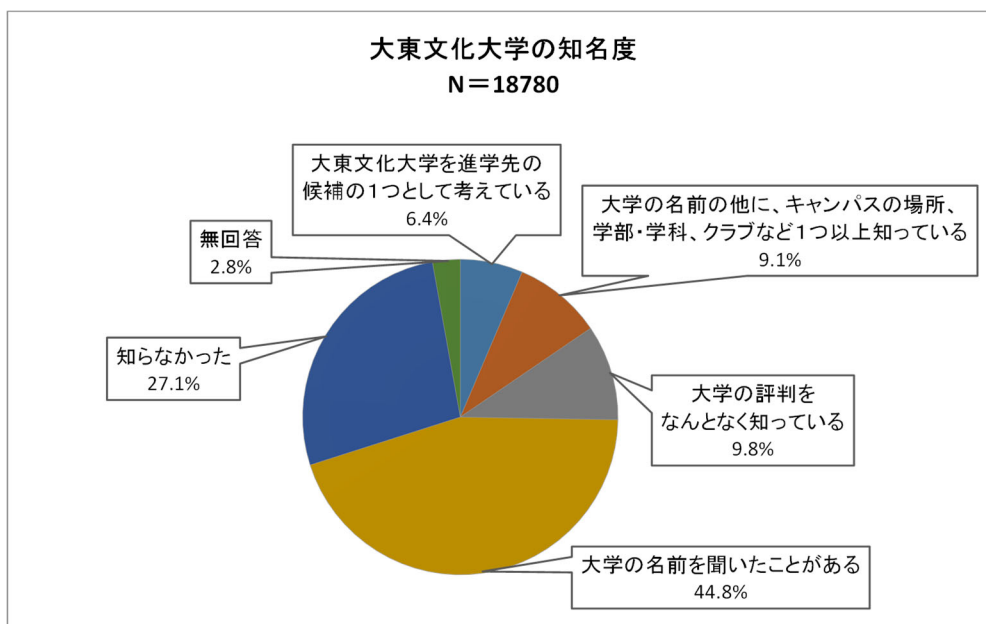
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	309	27.6
2	入学を検討する	798	71.2
3	入学を希望しない	11	1.0
	無回答	3	0.3
	N (%へ-ス)	1,121	100

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科への入学意向



大東文化大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大東文化大学を進学先の候補の1つとして考えている	1,205	6.4
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部・学科、クラブなど1つ以上知っている	1,703	9.1
3	大学の評判をなんとなく知っている	1,838	9.8
4	大学の名前を聞いたことがある	8,415	44.8
5	知らなかった	5,085	27.1
	無回答	534	2.8
	N (%ベース)	18,780	100



資料 1 1

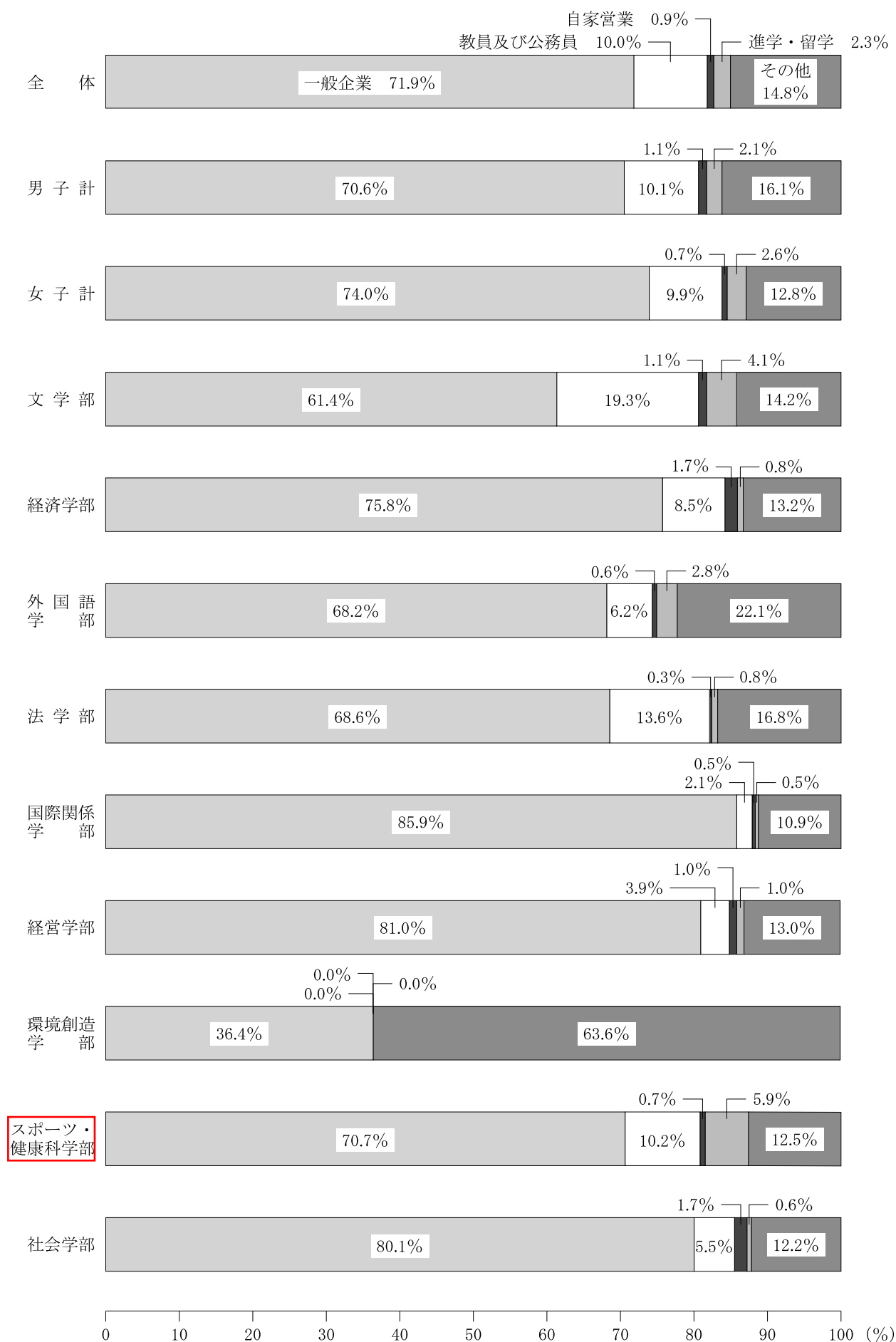
3. 学生・生徒の卒業後の進路状況

① 大学（学部）学生就職・進路状況〔2021年度〕

区分		卒業生数 A	就職希望者数 B	就職決定者数C				進学	留学	その他	就職希望者率 %	就職決定率 %	就職者に占める割合 %		
				計	一般企業	教員及び 公務員及び	自営業								
														計	一般企業
学部・学科等		2,689	2,355	2,228	1,933	270	25	62	0	399	87.6%	94.6%	82.9%		
学部計		計	1,667	1,453	1,364	1,177	169	18	35	0	268	87.2%	93.9%	81.8%	
		男	1,022	902	864	756	101	7	27	0	131	88.3%	95.8%	84.5%	
		女	565	484	462	347	109	6	23	0	80	85.7%	95.5%	81.8%	
文学部		計	288	237	225	165	56	4	13	0	50	82.3%	94.9%	78.1%	
		男	277	247	237	182	53	2	10	0	30	89.2%	96.0%	85.6%	
		女	79	64	61	50	11	0	2	0	16	81.0%	95.3%	77.2%	
		日本文学科	男	78	69	62	55	7	0	2	0	14	88.5%	89.9%	79.5%
		中国文学科	男	35	29	29	22	7	0	1	0	5	82.9%	100.0%	82.9%
		中国文学科	女	17	16	16	11	3	2	0	0	1	94.1%	100.0%	94.1%
		英米文学科	男	57	48	43	37	3	3	2	0	12	84.2%	89.6%	75.4%
		英米文学科	女	61	54	53	50	3	0	3	0	5	88.5%	98.1%	86.9%
		教育学科	男	55	47	46	18	28	0	3	0	6	85.5%	97.9%	83.6%
		教育学科	女	50	45	45	18	27	0	3	0	2	90.0%	100.0%	90.0%
		書道学科	男	9	7	5	4	1	0	2	0	2	77.8%	71.4%	55.6%
		書道学科	女	41	36	34	23	11	0	2	0	5	87.8%	94.4%	82.9%
		歴史文化学科	男	53	42	41	34	6	1	3	0	9	79.2%	97.6%	77.4%
		歴史文化学科	女	30	27	27	25	2	0	0	0	3	90.0%	100.0%	90.0%
経済学部		計	355	322	305	269	30	6	3	0	47	90.7%	94.7%	85.9%	
		男	292	263	248	216	26	6	3	0	41	90.1%	94.3%	84.9%	
		女	63	59	57	53	4	0	0	0	6	93.7%	96.6%	90.5%	
		社会経済学科	男	163	147	141	121	17	3	1	0	21	90.2%	95.9%	86.5%
		社会経済学科	女	39	35	34	32	2	0	0	0	5	89.7%	97.1%	87.2%
		現代経済学科	男	129	116	107	95	9	3	2	0	20	89.9%	92.2%	82.9%
現代経済学科	女	24	24	23	21	2	0	0	0	1	100.0%	95.8%	95.8%		
外国語学部		計	321	263	241	219	20	2	9	0	71	81.9%	91.6%	75.1%	
		男	148	124	110	100	8	2	3	0	35	83.8%	88.7%	74.3%	
		女	173	139	131	119	12	0	6	0	36	80.3%	94.2%	75.7%	
		中国語学科	男	36	33	32	30	0	2	0	0	4	91.7%	97.0%	88.9%
		中国語学科	女	25	16	15	14	1	0	4	0	6	64.0%	93.8%	60.0%
		英語学科	男	84	68	58	52	6	0	1	0	25	81.0%	85.3%	69.0%
		英語学科	女	123	103	99	89	10	0	2	0	22	83.7%	96.1%	80.5%
		日本語学科	男	28	23	20	18	2	0	2	0	6	82.1%	87.0%	71.4%
日本語学科	女	25	20	17	16	1	0	0	0	8	80.0%	85.0%	68.0%		
法学部		計	376	336	310	258	51	1	3	0	63	89.4%	92.3%	82.4%	
		男	298	267	247	204	43	0	3	0	48	89.6%	92.5%	82.9%	
		女	78	69	63	54	8	1	0	0	15	88.5%	91.3%	80.8%	
		法律学科	男	171	155	144	117	27	0	1	0	26	90.6%	92.9%	84.2%
		法律学科	女	50	42	38	36	2	0	0	0	12	84.0%	90.5%	76.0%
		政治学科	男	127	112	103	87	16	0	2	0	22	88.2%	92.0%	81.1%
政治学科	女	28	27	25	18	6	1	0	0	3	96.4%	92.6%	89.3%		
国際関係学部		計	192	175	170	165	4	1	1	0	21	91.1%	97.1%	88.5%	
		男	101	92	88	85	3	0	1	0	12	91.1%	95.7%	87.1%	
		女	91	83	82	80	1	1	0	0	9	91.2%	98.8%	90.1%	
		国際関係学科	男	61	56	54	53	1	0	0	0	7	91.8%	96.4%	88.5%
		国際関係学科	女	33	30	30	30	0	0	0	0	3	90.9%	100.0%	90.9%
		国際文化学科	男	40	36	34	32	2	0	1	0	5	90.0%	94.4%	85.0%
国際文化学科	女	58	53	52	50	1	1	0	0	6	91.4%	98.1%	89.7%		
経営学部		計	384	351	330	311	15	4	4	0	50	91.4%	94.0%	85.9%	
		男	286	259	245	229	12	4	3	0	38	90.6%	94.6%	85.7%	
		女	98	92	85	82	3	0	1	0	12	93.9%	92.4%	86.7%	
		経営学科	男	286	259	245	229	12	4	3	0	38	90.6%	94.6%	85.7%
		経営学科	女	97	92	85	82	3	0	1	0	11	94.8%	92.4%	87.6%
		企業システム学科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
企業システム学科	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%	0.0%	0.0%		
学環境創造部		計	11	6	4	4	0	0	0	0	7	54.5%	66.7%	36.4%	
		環境創造学部	男	8	5	3	3	0	0	0	0	5	62.5%	60.0%	37.5%
		環境創造学部	女	3	1	1	1	0	0	0	0	2	33.3%	100.0%	33.3%
健康スポーツ学部		計	304	254	248	215	31	2	18	0	38	83.6%	97.6%	81.6%	
		男	134	106	101	88	12	1	8	0	25	79.1%	95.3%	75.4%	
		女	170	148	147	127	19	1	10	0	13	87.1%	99.3%	86.5%	
		スポーツ科学科	男	78	63	62	50	11	1	4	0	12	80.8%	98.4%	79.5%
		スポーツ科学科	女	43	35	35	29	5	1	4	0	4	81.4%	100.0%	81.4%
		健康科学科	男	47	36	32	31	1	0	3	0	12	76.6%	88.9%	68.1%
		健康科学科	女	40	29	28	26	2	0	3	0	9	72.5%	96.6%	70.0%
		看護学科	男	9	7	7	7	0	0	1	0	1	77.8%	100.0%	77.8%
看護学科	女	87	84	84	72	12	0	3	0	0	96.6%	100.0%	96.6%		
社会学部		計	181	164	158	145	10	3	1	0	22	90.6%	96.3%	87.3%	
		男	112	100	97	87	9	1	1	0	14	89.3%	97.0%	86.6%	
		女	69	64	61	58	1	2	0	0	8	92.8%	95.3%	88.4%	

(注)・就職希望者率=B/A×100、就職決定率=C/B×100、その他は、就職の意思なし、再受験、未届、未決定、家事手伝等。
 ・卒業生数は2022年3月31日の数(2021年9月卒業を含む)。
 ・就職希望者数は「就職決定者」及び「就職活動継続中」の者の和とする。
 ・一般企業は、最終的に就職した者(アルバイトを除いた全ての契約・派遣等を含む)の数。
 ・教員及び公務員は、臨時任用、非常勤等を含む数。
 ・2017年4月より文学部中国学科は中国文学科に名称変更、数値には中国文学科学生数を含む。

学部別就職・進路状況



(注) 端数処理により比率の合計値が100%にならない場合があります。

業種	学部・学科	国際関係学部				経営学部				環境創造学部				スポーツ・健康科学部				社会学部				合計										
		国際関係		国際文化		学部計		経営		企業シス		学部計		環境創造		学部計		スポーツ		健康科		看護		学部計		社会		学部計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
農業、林業				1	1	2			2														1	1	4	1	5					
漁業														1												1		1				
鉱業、採石業、砂利採取業			1	1																						1		1				
建設業		4	3	1	4	5	7	14	2			14	2	1	1	1	1	2	2	1			3	2	7	1	7	1	75	26	101	
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	2		1	2	3	2	1	1			1	1					1				1			2	2	2	13	7	20		
	繊維工業				1	1		2				2																2	3	5		
	印刷・同関連業		1			1																	1	1	3	2	5					
	化学工業、石油・石炭製品製造業				1	1	3					3								1			1	1	1	1	4	5	9			
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業				1	1	2					2						2					2	2	2	14	5	19				
	はん用・生産用・業務用機械器具製造業			1	1		8	1				8	1				1	1					1	1	1	1	1	28	5	33		
	電子部品・デバイス・電子回路製造業											1															4	1	5			
	電気・情報通信・機械器具製造業								1			1						1				1	1	1	1	8	2	10				
	輸送用機械器具製造業								2			2						1					1				4		4			
その他の製造業		1	1	1	1	2	2				2						3					3	1	1	15	9	24					
電気・ガス・熱供給・水道業																										3	1	4				
情報通信業		5	6		9	5	15	39	13			39	13	2	2		3	1	1	2			4	3	6	7	6	7	135	80	215	
運輸業、郵便業		3		3	2	6	2	7	2			7	2				2						2	6	1	6	1	45	16	61		
小売業、卸売業	卸売業	7	3	4	6	11	9	25	13			25	13				8	1	2			10	1	12	6	12	6	131	64	195		
	小売業	9	3	6	7	15	10	36	12			36	12				7	3	2	2			9	5	23	10	23	10	203	105	308	
金融業、保険業	金融業	3	1	1		4	1	12	10			12	10				3	1	1			4	1	4	2	4	2	59	50	109		
	保険業			1		1		2				1						1					1					3	7	10		
不動産業、物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業	2		3	1	5	1	26	2			26	2				2	3		1		2	4	5	1	5	1	92	29	121		
	物品賃貸業							1				1					2					2		2	2	2	16	5	21			
学術研究、専門・技術サービス業	学術・開発研究機関																															
	法務																											5	5			
	その他の専門・技術サービス業	1	1	3		4	1	10	3			10	3				3			1		3	1	3	3	3	36	16	52			
宿泊業、飲食サービス業		2	1	1	3	3	4	7	3			7	3				1					1		1	3	1	3	28	26	54		
生活関連サービス業、娯楽業		1	1		1	1	2	4	5			4	5				4	5		1		4	6	2	1	2	1	23	28	51		
学習支援業	学校教育				1	1	1	2			1	2						1				1		2	2	2	2	6	11	17		
	その他の教育、学習支援業							2			2						1	1	2			3	1		2	2	14	9	23			
医療・福祉	医療業、保健衛生	1	1		1	1	2										3	16	16	7	71	23	90	1	7	1	7	32	118	150		
	社会保険・社会福祉・介護事業	2	4	1	3	3	7	1			1						1	1	1		1	1	3	2	4	2	4	31	45	76		
複合サービス事業		1		1		2		1			1						1					1		1	1	1	1	9	7	16		
サービス業	宗教																1						1					2	2			
	その他のサービス業	10	2	3	3	13	5	21	8			21	8				4	3	2	1		6	4	4	5	4	5	132	58	190		
上記以外			1	1	1	1	2				2							1				1					3	8	11			
合計		53	30	32	50	85	80	229	82			229	82	3	1	3	1	50	29	31	26	7	72	88	127	87	58	87	58	1177	756	1,933
		83		82		165		311			311			4		4		79		57		79		215		145		145		1,933		

③ 教員決定状況

(専任)

2022年5月1日現在

区分	学部 学科	文学部								経済学部						外国語学部						法学部													
		日本文		中国文		英米文		教育		書道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英語		日本語		学部計		法律		政治		学部計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
国公立	高等学校								2				2										1			1				1		1			
	中等教育学校																																		
	中学校	1											2										1	4		1		2	4						
	小学校							10	11				10	11																					
	幼稚園(※1)																																		
	特別支援学校									1				1																					
私立	高等学校	1	1							1	1		2	2	1											1		1							
	中等教育学校										1			1																					
	中学校		1											1																					
	小学校																																		
	幼稚園(※1)									6				6																					
	特別支援学校																																		
合計	2	2					11	18	1	4		14	24	1			1					2	4		1	1	3	5			1	1			
		4						29	5				38	1			1					6			2		8			1		1			

区分	学部 学科	国際関係学部			経営学部			環境創造学部			スポーツ・健康科学部					社会学部				合計												
		国際関係		国際文化	学部計		経営		企業シス	学部計	環境創造		学部計	スポーツ科		健康科	看護		学部計	社会		学部計	男	女	計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計								
国公立	高等学校							2			2											3	3	6								
	中等教育学校																															
	中学校												1					1						4	5	9						
	小学校																							10	11	21						
	幼稚園(※1)																															
	特別支援学校																															
私立	高等学校																															
	中等教育学校																															
	中学校																															
	小学校																															
	幼稚園(※1)																															
	特別支援学校																															
合計								2			2				1						1								20	31	51	
								2			2				1						1											51

(臨時・非常勤講師)

2022年5月1日現在

区分	学部 学科	文学部								経済学部						外国語学部						法学部													
		日本文		中国文		英米文		教育		書道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英語		日本語		学部計		法律		政治		学部計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
国公立	高等学校	1			2		1				2				1	5								1											
	中等教育学校																																		
	中学校	2	1	2	1						1		1	4	5	1	1	1	2	1			3	2			3	2							
	小学校	1		1							15	8				1		18	8			1									1				
	幼稚園(※1)																																		
	特別支援学校				1						2			1			3	1																	
私立	高等学校		1								1					2																			
	中等教育学校																																		
	中学校	2														2																			
	小学校																																		
	幼稚園(※1)																																		
	特別支援学校																																		
合計	6	2	4	3			2	17	8		5	1	1	28	21	1	1	2		3	1			3	3			3	3						
		8		7			2	25	5		2			49	2		2		4			6			6			3		3					

区分	学部 学科	国際関係学部			経営学部			環境創造学部			スポーツ・健康科学部					社会学部				合計												
		国際関係		国際文化	学部計		経営		企業シス	学部計	環境創造		学部計	スポーツ科		健康科	看護		学部計	社会		学部計	男	女	計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計								
国公立	高等学校																															
	中等教育学校																															
	中学校														3					3										9	11	20
	小学校													2	1					2	1									22	9	31
	幼稚園(※1)																															
	特別支援学校														2					2										5	1	6
私立	高等学校																															
	中等教育学校																															
	中学校															1				1										4		4
	小学校																															
	幼稚園(※1)																															
	特別支援学校																															
合計														5	4				5	4								42	29	71		
														9					9													71

④ 公務員決定状況

2022年5月1日現在

区分	学部 学科	文 学 部												経 済 学 部						外 国 語 学 部						法 学 部													
		日本文		中国文		英米文		教育		書道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英語		日本語		学部計		法律		政治		学部計					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
国家公務員	国家総合職																																						
	国家一般職																																						
	国税専門官														1				1												2			2					
	労働基準監督官																																						
	皇宮護衛官																																						
	刑務官																																1		1				
	裁判所総合職																																						
	裁判所一般職																																						
	臨床検査技師																																						
	看護師																																						
自衛官																																	1	1	2				
その他の国家公務員																																							
地方公務員	上級、I、大卒程度																																	1		1			
	中級、II、短大卒程度																																						
	警察官	1																																					
	警察事務																																						
	消防官																																						
	消防事務																																						
	東京特別区・政令指定市役所																																						
	市役所・町村役場	1	1																																				
	臨床検査技師																																						
	看護師																																						
保育士																																							
その他の地方公務員																																							
合計	3	3	3			3	1			1				2	5	1			14	8	15	1	7	2	22	3		1	1	3	1	2	4	26	3	13	5	39	8
	6		3			4				1				2					6	22	16		9		25			1		4		1	6	29		18		47	

(注)2017年4月より文学部中国学科は中国文学科に名称変更。数値には中国学科学生数を含む。

区分	学部 学科	国際関係学部			経営学部			環境創造学部			スポーツ・健康科学部			社会学部			合計																				
		国際関係		学部計	経営		企業シス	学部計	環境創造		学部計	スポーツ科		健康科	看護	学部計	社会		学部計	男	女	計															
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計													
国家公務員	国家総合職																																				
	国家一般職																																				
	国税専門官																																				
	労働基準監督官																																				
	皇宮護衛官																																				
	刑務官																																				
	裁判所総合職																																				
	裁判所一般職																																				
	臨床検査技師																																				
	看護師																																				
自衛官																																					
その他の国家公務員																																					
地方公務員	上級、I、大卒程度																																				
	中級、II、短大卒程度																																				
	警察官	1																																			
	警察事務																																				
	消防官																																				
	消防事務																																				
	東京特別区・政令指定市役所																																				
	市役所・町村役場																																				
	臨床検査技師																																				
	看護師																																				
保育士																																					
その他の地方公務員																																					
合計	1		2	1	3	1	10	3																													
	1		3		4		13																														

※その他の地方公務員の内訳は、毛呂山越生鳩山公共下水道組合1名、東京都任期付職員2名、県庁・市区町村非常勤5名(県立博物館、市の総合体育館などの非常勤職員)。

⑤ 保育士決定状況

2022年5月1日現在

学部 学科	公務員(保育士)	一般企業(保育士)	合計	備考
文学部 教育学科		9	9	
その他の学科				
合計		9	9	

⑥ 都道府県別一般企業決定状況（自営業は含まない）

2022年5月1日現在

学部 学科	文 学 部												経 済 学 部						外 国 語 学 部						法 学 部												
	日本文		中国文		英米文		教 育		書 道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英 語		日本語		学部計		法 律		政 治		学部計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
北海道			1								1	2				1	1	1	1			1		1						2	1	1			1	1	
青森県																	1		1																		
岩手県																																					
宮城県			1																																		
秋田県																																					
山形県																																					
福島県			1																																		
茨城県	1	2																																			
栃木県																																					
群馬県			1																																		
埼玉県	5	8	2	2	9	13	5	7																													
千葉県	1	6	1																																		
東京都	27	25	13	7	17	28	7	8	3	10	15	14	82	92	66	21	46	10	112	31	15	8	34	48	13	7	62	63	68	17	51	11	119	28			
神奈川県	3	1	2																																		
新潟県	1	4																																			
富山県	2																																				
石川県																																					
福井県																																					
山梨県																																					
長野県	2	1																																			
岐阜県																																					
静岡県																																					
愛知県	1		1	1	2																																
三重県																																					
滋賀県																																					
京都府																																					
大阪府	2	3																																			
兵庫県																																					
奈良県			1																																		
和歌山県																																					
鳥取県																																					
島根県																																					
岡山県	1																																				
広島県	1		1																																		
山口県																																					
徳島県																																					
香川県																																					
愛媛県																																					
高知県																																					
福岡県	1	1	1																																		
佐賀県																																					
長崎県																																					
熊本県																																					
大分県																																					
宮崎県																																					
鹿児島県	1																																				
沖縄県																																					
海外	1																																				
その他																																					
合計	50	55	22	11	37	50	18	18	4	23	34	25	165	182	121	32	95	21	216	53	30	14	52	89	18	16	100	119	117	36	87	18	204	54			
	105		33		87		36		27		59		347		153		116		269		44		141		34		219		153		105		258				

(注)2017年4月より文学部中国学科は中国文学科に名称変更。数値には中国学科学生数を含む。

学部 学科	国際関係学部						経営学部						環境創造学部				スポーツ・健康科学部						社会学部				合計					
	国際関係		国際文化		学部計		経営		企業シス		学部計		環境創造		学部計		スポーツ科		健康科		看護		学部計		社会		学部計		男	女	合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				合計
	都道府県																															
北海道			1	1	1	1											1	1		2			1	3	2		2		8	8	16	
青森県																	1						1						1	1	2	
岩手県							1				1																		1	3	4	
宮城県																	2		1				1	3	1				4	4	8	
秋田県																				1				1					1	2	3	
山形県																	1						1						2	1	3	
福島県	1					1																	1						3	1	4	
茨城県			1	1	1	1	2				2								1				1	1	1	2	2	2	2	23	10	33
栃木県	1					1	1	1			1	1							1				1			1			16	11	27	
群馬県				3		3	10	1			10	1					1		2	1	1	1	4	2		1	1		34	14	48	
埼玉県	9	3	7	5	16	8	39	10			39	10		1	1		3	4	3	5	3	31	9	40	19	11	19	11	178	141	319	
千葉県	2		1	1	3	1	6	5			6	5						1		2		1	4	4	1	4	1		28	25	53	
東京都	32	22	17	30	49	52	135	49			135	49	2	2			25	15	19	10	2	31	46	56	41	35	41	35	648	406	1,054	
神奈川県	2			1	2	1	12	4			12	4					2	1	2	2	1	3	5	6	2	1	2	1	52	21	73	
新潟県	1	2				1	2	2			2						1						1			1			14	11	25	
富山県			1			1																	2			1			5	1	6	
石川県																	1		1				2			1			4		4	
福井県																													1	1	2	
山梨県							1				1																		5	1	6	
長野県				1		1	4	1			4	1					2					1	2	1	1	2	1	2	22	12	34	
岐阜県																						1	1	1	1	1	1		1	1	2	
静岡県							2				2		1	1			1	2		1			1	3					8	5	13	
愛知県	1	1	2	3	3	4	5	4			5	4					4	2					4	2	4	2	4	2	36	23	59	
三重県																		1					1						1	1	2	
滋賀県							1				1																		2		2	
京都府							1	1			1	1																	3	3	6	
大阪府			1	2	1	2	5	2			5	2					4	1		1			4	2	3	2	3	2	44	19	63	
兵庫県	1					1												1					1						6	3	9	
奈良県																														1	1	
和歌山県																																
鳥取県																							1						1	1	2	
島根県																																
岡山県																													3	2	5	
広島県				1		1																							2	4	6	
山口県								1			1																			1	1	
徳島県							1				1																		1		1	
香川県																	1						1						1	3	4	
愛媛県																										1		1		1	1	
高知県																									1		1		1		1	
福岡県	2	1				2					2															1		1	10	4	14	
佐賀県																														1	1	
長崎県																																
熊本県																																
大分県																																
宮崎県																													1		1	
鹿児島県																													1		1	
沖縄県																				1				1					1	2	3	
海外	1	1	1	1	2	2		2			2								1				1						4	7	11	
その他																																
合計	53	30	32	50	85	80	229	82			229	82	3	1	3	1	50	29	31	26	7	72	88	127	87	58	87	58	1,177	756	1,933	
	83		82		165		311				311		4	4			79	57	79		79	215		145		145				1,933		

⑦ 都道府県別教員決定状況（専任）

2022年5月1日現在

学部 学科	文 学 部										経 済 学 部					外 国 語 学 部					法 学 部													
	日本文		中国文		英米文		教 育		書 道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英 語		日本語		学部計		法 律		政 治		学部計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
北海道																																		
青森県																																		
岩手県																																		
宮城県																																		
秋田県																																		
山形県									1																									
福島県																																		
茨城県		1																																
栃木県																																		
群馬県																																		
埼玉県	1						7	6		1													1	1	1		2	1				1	1	
千葉県		1								1													1	1			1	1						
東京都	1						2	5																1										
神奈川県																								1										
新潟県									3																		1							
富山県																																		
石川県																																		
福井県																																		
山梨県																																		
長野県																																		
岐阜県																																		
静岡県																																		
愛知県																																		
三重県																																		
滋賀県																																		
京都府																																		
大阪府																																		
兵庫県																																		
奈良県																																		
和歌山県																																		
鳥取県																																		
島根県																																		
岡山県																																		
広島県																																		
山口県																																		
徳島県																																		
香川県																																		
愛媛県																																		
高知県																																		
福岡県																																		
佐賀県																																		
長崎県																																		
熊本県																																		
大分県																																		
宮崎県																																		
鹿児島県																																		
沖縄県																																		
海外																																		
合 計	2	2					11	18	1	4				14	24	1						2	4	1	1	3	5				1	1		
	4						29	5					38	1								6	2			8					1	1		

都道府県	国際関係学部		経営学部				環境創造学部				スポーツ・健康科学部						社会学部				合計										
	国際関係		国際文化		学部計		経営		企業シス		学部計		環境創造		学部計		スポーツ科		健康科		看護		学部計		社会		学部計		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
北海道																															
青森県																															
岩手県																															
宮城県																															
秋田県																															
山形県																												1	1		
福島県																															
茨城県																												2	2		
栃木県																															
群馬県																															
埼玉県							2				2						1						1					12	10	22	
千葉県																												1	4	5	
東京都																												3	6	9	
神奈川県																												1	1		
新潟県																												4	4		
富山県																															
石川県																															
福井県																															
山梨県																															
長野県																															
岐阜県																															
静岡県																															
愛知県																															
三重県																															
滋賀県																												1	1		
京都府																															
大阪府																															
兵庫県																															
奈良県																															
和歌山県																															
鳥取県																															
島根県																															
岡山県																												1	1		
広島県																												1	1		
山口県																												1	1		
徳島県																															
香川県																															
愛媛県																															
高知県																												1	1		
福岡県																												1	1		
佐賀県																															
長崎県																															
熊本県																												1	1		
大分県																															
宮崎県																															
鹿児島県																															
沖縄県																															
海外																															
合計							2				2						1						1					20	31	51	
							2				2						1						1						51		

⑧ 都道府県別教員決定状況（臨時・非常勤講師）

2022年5月1日現在

学部 学科	文 学 部										経 済 学 部					外 国 語 学 部					法 学 部														
	日本文		中国文		英米文		教 育		書 道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英 語		日本語		学部計		法 律		政 治		学部計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
北海道																																			
青森県																																			
岩手県																																			
宮城県																																			
秋田県																																			
山形県																																			
福島県																																			
茨城県	1		1				1						3		1				1																
栃木県																																			
群馬県							1						1		1				1																
埼玉県	2	2	3	3	1	7	5	1	1	1	13	13			2			2			2	1			2	1			3		3				
千葉県						2	2				2	2									2	1													
東京都	1					3	1		2		4	3									1					1									
神奈川県						1					1									1	1				1	1									
新潟県					1							1																							
富山県																																			
石川県																																			
福井県																																			
山梨県	1								1		1	1																							
長野県						2					2																								
岐阜県																																			
静岡県																																			
愛知県																																			
三重県																																			
滋賀県																																			
京都府																																			
大阪府																																			
兵庫県																																			
奈良県																																			
和歌山県																																			
鳥取県																																			
島根県																																			
岡山県																																			
広島県																																			
山口県	1										1																								
徳島県																																			
香川県																																			
愛媛県																																			
高知県																																			
福岡県																																			
佐賀県																																			
長崎県																																			
熊本県									1			1																							
大分県																																			
宮崎県																																			
鹿児島県																																			
沖縄県																																			
海外																																			
合 計	6	2	4	3		2	17	8		5	1	1	28	21	1	1	2		3	1			3	3			3	3			3		3		
		8		7		2		25		5		2		49		2		2		4			6				6				3		3		

都道府県	国際関係学部		経営学部						環境創造学部				スポーツ・健康科学部				社会学部				合計										
	国際関係		国際文化		学部計		経営		企業シス		学部計		環境創造		学部計		スポーツ科		健康科		看護		学部計		社会		学部計		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
北海道														1														1	1		
青森県																															
岩手県																															
宮城県																															
秋田県																															
山形県																															
福島県																															
茨城県																	1											4	1	5	
栃木県																															
群馬県																												1	1	2	
埼玉県																	2	3										22	17	39	
千葉県																												2	2	4	
東京都																												4	4	8	
神奈川県																												2	1	3	
新潟県																													1	1	
富山県																															
石川県																															
福井県																															
山梨県																												1	1	2	
長野県																	1											3		3	
岐阜県																															
静岡県																	1												1	1	
愛知県																															
三重県																															
滋賀県																															
京都府																															
大阪府																															
兵庫県																															
奈良県																															
和歌山県																															
鳥取県																															
島根県																															
岡山県																															
広島県																															
山口県																													1	1	
徳島県																															
香川県																															
愛媛県																															
高知県																															
福岡県																															
佐賀県																															
長崎県																															
熊本県																													1	1	
大分県																															
宮崎県																															
鹿児島県																															
沖縄県																															
海外																															
合計																	5	4											42	29	71
																	9													71	

⑨ 都道府県別公務員決定状況

2022年5月1日現在

学部 学科	文 学 部												経 済 学 部						外 国 語 学 部						法 学 部										
	日本文		中国文		英米文		教 育		書 道		歴史文化		学部計		社会経済		現代経済		学部計		中国語		英 語		日本語		学部計		法 律		政 治		学部計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
北海道																																			
青森県					1							1																							
岩手県																																			
宮城県		1											1																						
秋田県																																			
山形県																	1		1																
福島県																																1		1	
茨城県											2		2		2								1			1	1	1	1	1	1	2		2	
栃木県															1																			1	
群馬県					1							1																						1	
埼玉県	1									1		2	1	2	3	1		3	2	4	2		1	2		1	2	16		6	2	22	2		
千葉県																																		1	
東京都	1	1	2		1						2		6	1	11	1	1					1			1	1	1	6	2	4	2	10	4		
神奈川県	1	1										1	1																						
新潟県																																			
富山県																	1		1																
石川県																																			
福井県																																			
山梨県																																			
長野県												1		1																					
岐阜県																																			
静岡県					1								1																						
愛知県																																			
三重県																																			
滋賀県			1										1																						
京都府																																			
大阪府																																			
兵庫県																																			
奈良県																																			
和歌山県																																			
鳥取県																																			
島根県																	1		1																
岡山県																																			
広島県																																			
山口県																																			
徳島県																																			
香川県																																			
愛媛県																																			
高知県																																			
福岡県																																			
佐賀県																																			
長崎県																																			
熊本県																																			
大分県																																			
宮崎県																																			
鹿児島県																																			
沖縄県																																	1	1	2
海外																																			
その他																																			
合 計	3	3	3		3	1		1		2	5	1	14	8	15	1	7	2	22	3		1	1	3	1		2	4	27	2	13	5	40	7	
					6			3		4			1		2																				

(注)2017年4月より文学部中国学科は中国文学科に名称変更。数値には中国学科学生数を含む。

都道府県	学部 学科		国際関係学部				経営学部				環境創造学部				スポーツ・健康科学部				社会学部				合計								
	国際関係		国際文化		学部計		経営		企業ス		学部計		環境創造		学部計		スポーツ		健康科		看護		学部計		社会		学部計		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
北海道							1				1										1		1					2	2		
青森県																												1	1		
岩手県																															
宮城県																		1					1		1			2	1	3	
秋田県																	1						1					1	1		
山形県																												1	1		
福島県																												1	1		
茨城県								1																			1	1	7	2	9
栃木県																													3	3	
群馬県				1		1	2				2							1					1					4	2	6	
埼玉県	1		1			2	3				3										4	1	4	3			3	38	13	51	
千葉県																					1		1					1	1	2	
東京都							3	1			3	1									5	1	5	2	1	2	1	35	14	49	
神奈川県							1				1																	2	1	3	
新潟県				1		1	1				1																	2	2		
富山県																												1	1		
石川県																															
福井県																															
山梨県																															
長野県																						1		1					2	2	
岐阜県																															
静岡県																							1	1				1	2	3	
愛知県																							1					1	1	1	
三重県																															
滋賀県																												1	1		
京都府																															
大阪府																												1	1	1	1
兵庫県																															
奈良県																															
和歌山県																															
鳥取県																															
島根県																												1	1		
岡山県																															
広島県																												1	1		
山口県																											1	1	1	1	
徳島県																															
香川県																															
愛媛県																															
高知県																															
福岡県																															
佐賀県																															
長崎県																															
熊本県																															
大分県																															
宮崎県																															
鹿児島県																															
沖縄県																												2	2		
海外																															
その他																															
合計	1		2	1	3	1	10	3			10	3					6	1	2		12	7	14	9	1	9	1	107	41	148	
	1		3		4		13				13					6	3			12		21		10		10			148		

資料 1 2

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の
卒業生に対する企業等の採用意向に関する
アンケート調査報告

令和5年1月

一般財団法人 日本開発構想研究所

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生に対する 企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和6年4月に予定している大東文化大学の収容定員の増加に向けて、大東文化大学卒業生の採用実績のある企業等、または卒業生の就職が見込まれる企業等の採用担当者にアンケートを実施し、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生に対する企業等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

大東文化大学卒業生の採用実績のある企業等、または卒業生の就職が見込まれる 47 都道府県に所在する企業等 2,569 社の採用担当者にアンケートへの協力を依頼した。

(3) 調査方法

大東文化大学卒業生の採用実績のある企業等、または卒業生の就職が見込まれる企業等 2,569 社の採用担当者にアンケート用紙及び大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の概要を示したリーフレットを郵送し、アンケートを実施した。回答は企業等から一般財団法人日本開発構想研究所へ直接郵送し、755 件の有効回答を得た。

集計結果より、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和4年12月～令和5年1月

(5) 有効回収率等

調査対象数：2,569 件

有効回答数：755 件

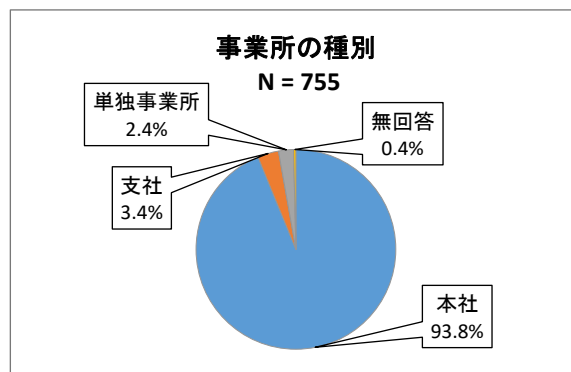
有効回収率：約 29.4% (有効回答 755 件 ÷ 調査対象 2,569 件)

2. 調査結果

(1) 事業所の種別について

事業所の種別について調査した結果、回答のあった企業等 755 件のうち、「本社」が 708 件 (93.8%) と最も多く、次いで「支社」26 件 (3.4%)、「単独事業所」18 件 (2.4%) の順になっている。 ※「無回答」3 件 (0.4%)

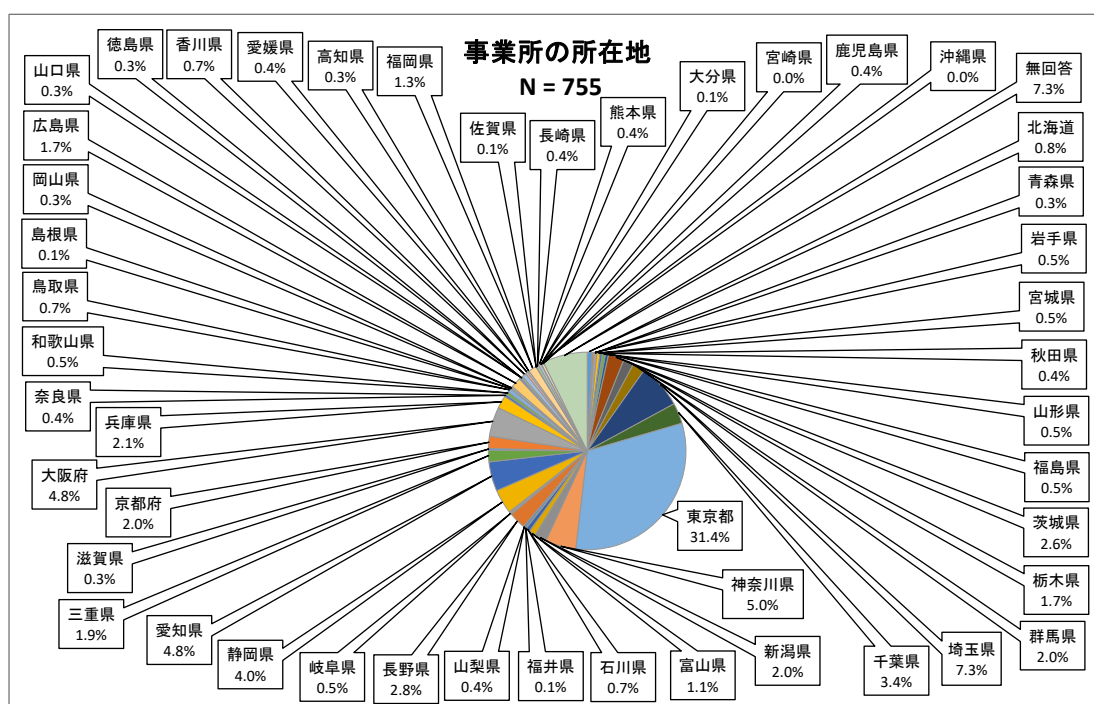
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	708	93.8
2	支社	26	3.4
3	単独事業所	18	2.4
	無回答	3	0.4
	N (%ベース)	755	100



(2) 事業所の所在地について

事業所の所在地について調査した結果、回答のあった企業等 755 件のうち、20 件以上の回答を得られたものを挙げると、「東京都」が 237 件 (31.4%) と最も多く、次いで「埼玉県」55 件 (7.3%)、「神奈川県」38 件 (5.0%)、「愛知県」36 件 (4.8%)、「大阪府」36 件 (4.8%)、「静岡県」30 件 (4.0%)、「千葉県」26 件 (3.4%)、「長野県」21 件 (2.8%)、「茨城県」20 件 (2.6%) の順になっている。 ※「無回答」55 件 (7.3%)

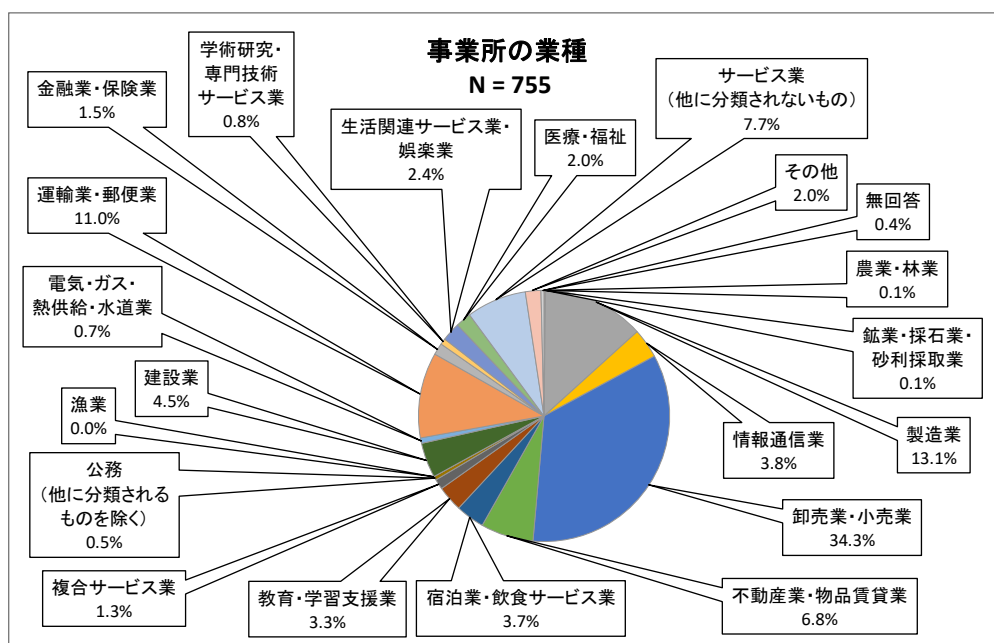
事業所の所在地			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	6	0.8
2	青森県	2	0.3
3	岩手県	4	0.5
4	宮城県	4	0.5
5	秋田県	3	0.4
6	山形県	4	0.5
7	福島県	4	0.5
8	茨城県	20	2.6
9	栃木県	13	1.7
10	群馬県	15	2.0
11	埼玉県	55	7.3
12	千葉県	26	3.4
13	東京都	237	31.4
14	神奈川県	38	5.0
15	新潟県	15	2.0
16	富山県	8	1.1
17	石川県	5	0.7
18	福井県	1	0.1
19	山梨県	3	0.4
20	長野県	21	2.8
21	岐阜県	4	0.5
22	静岡県	30	4.0
23	愛知県	36	4.8
24	三重県	14	1.9
25	滋賀県	2	0.3
26	京都府	15	2.0
27	大阪府	36	4.8
28	兵庫県	16	2.1
29	奈良県	3	0.4
30	和歌山県	4	0.5
31	鳥取県	5	0.7
32	島根県	1	0.1
33	岡山県	2	0.3
34	広島県	13	1.7
35	山口県	2	0.3
36	徳島県	2	0.3
37	香川県	5	0.7
38	愛媛県	3	0.4
39	高知県	2	0.3
40	福岡県	10	1.3
41	佐賀県	1	0.1
42	長崎県	3	0.4
43	熊本県	3	0.4
44	大分県	1	0.1
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	3	0.4
47	沖縄県	0	0.0
	無回答	55	7.3
	N (%へ -ス)	755	100



(3) 事業所の業種について

事業所の業種について調査した結果、回答のあった企業等 755 件のうち、20 件以上の回答を得られたものを挙げると、「卸売業・小売業」が 259 件 (34.3%) と最も多く、次いで「製造業」99 件 (13.1%)、「運輸業・郵便業」83 件 (11.0%)、「サービス業 (他に分類されないもの)」58 件 (7.7%)、「不動産業・物品賃貸業」51 件 (6.8%)、「建設業」34 件 (4.5%)、「情報通信業」29 件 (3.8%)、「宿泊業・飲食サービス業」28 件 (3.7%)、「教育・学習支援業」25 件 (3.3%) の順になっている。 ※「無回答」3 件 (0.4%)

事業所の業種			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	1	0.1
2	鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.1
3	製造業	99	13.1
4	情報通信業	29	3.8
5	卸売業・小売業	259	34.3
6	不動産業・物品賃貸業	51	6.8
7	宿泊業・飲食サービス業	28	3.7
8	教育・学習支援業	25	3.3
9	複合サービス業	10	1.3
10	公務 (他に分類されるものを除く)	4	0.5
11	漁業	0	0.0
12	建設業	34	4.5
13	電気・ガス・熱供給・水道業	5	0.7
14	運輸業・郵便業	83	11.0
15	金融業・保険業	11	1.5
16	学術研究・専門技術サービス業	6	0.8
17	生活関連サービス業・娯楽業	18	2.4
18	医療・福祉	15	2.0
19	サービス業 (他に分類されないもの)	58	7.7
20	その他	15	2.0
	無回答	3	0.4
	N (%ベース)	755	100

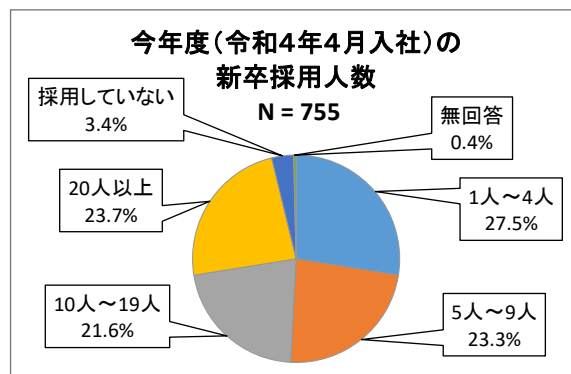


(4) 今年度（令和4年4月入社）の新卒採用人数について

今年度（令和4年4月入社）の新卒採用人数について調査した結果、回答のあった企業等 755 件のうち、「1人～4人」が208件（27.5%）と最も多く、次いで「20人以上」179件（23.7%）、「5人～9人」176件（23.3%）、「10人～19人」163件（21.6%）、「採用していない」26件（3.4%）の順になっている。 ※「無回答」3件（0.4%）

今年度（令和4年4月入社）の新卒採用人数

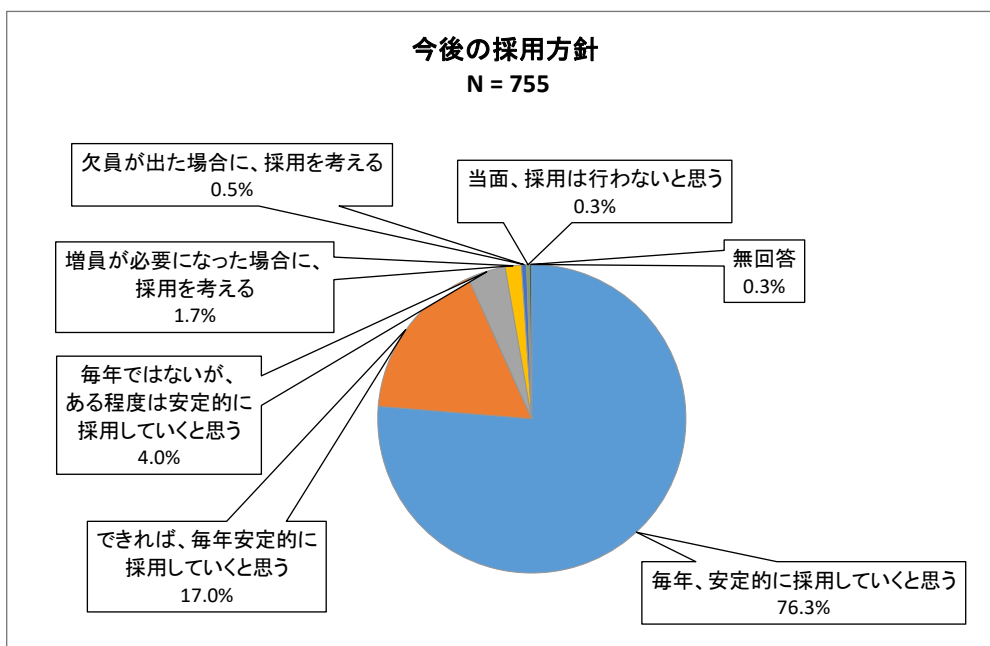
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人～4人	208	27.5
2	5人～9人	176	23.3
3	10人～19人	163	21.6
4	20人以上	179	23.7
5	採用していない	26	3.4
	無回答	3	0.4
	N (% [^] -)	755	100



(5) 今後の採用方針について

今後の採用方針について調査した結果、回答のあった企業等 755 件のうち、「毎年、安定的に採用していくと思う」が 576 件 (76.3%) と最も多く、次いで「できれば、毎年安定的に採用していくと思う」128 件 (17.0%)、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していくと思う」30 件 (4.0%)、「増員が必要になった場合に、採用を考える」13 件 (1.7%)、「欠員が出た場合に、採用を考える」4 件 (0.5%)、「当面、採用は行わないと思う」2 件 (0.3%) の順になっている。 ※「無回答」2 件 (0.3%)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	576	76.3
2	できれば、毎年安定的に採用していくと思う	128	17.0
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していくと思う	30	4.0
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	13	1.7
5	欠員が出た場合に、採用を考える	4	0.5
6	当面、採用は行わないと思う	2	0.3
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	755	100



(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について

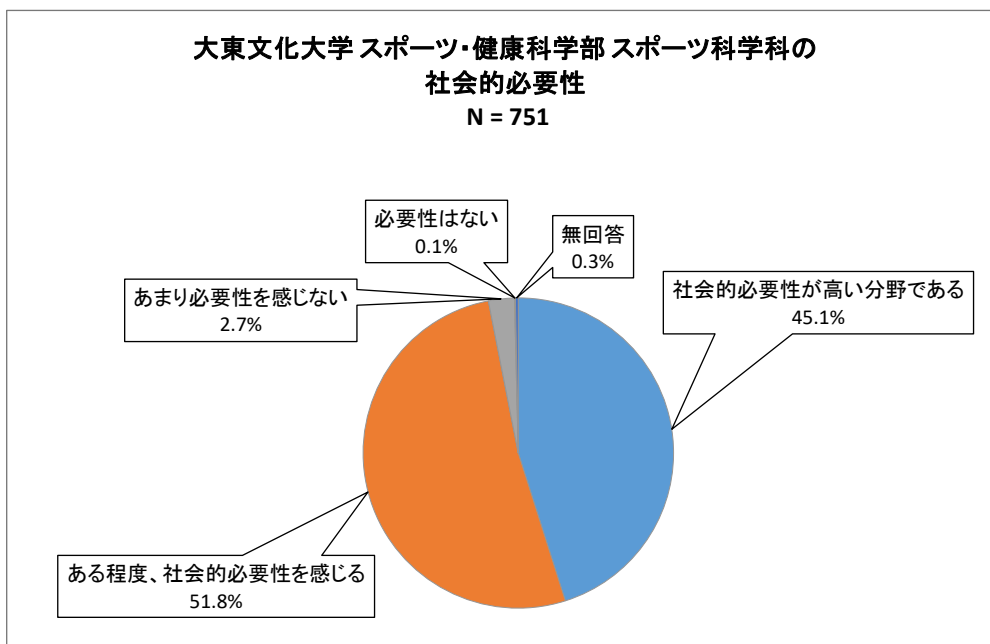
「(5) 今後の採用方針について」において「当面、採用は行わないと思う」(2件)と「無回答」(2件)を除く、程度の差はあるものの採用活動を行う意向を示した企業等751件に対して、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について調査した。

その結果、「ある程度、社会的必要性を感じる」が389件(51.8%)と最も多く、次いで「社会的必要性が高い分野である」339件(45.1%)、「あまり必要性を感じない」20件(2.7%)、「必要性はない」1件(0.1%)の順になっている。 ※「無回答」2件(0.3%)

なお、「社会的必要性が高い分野である」、「ある程度、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合計すると、728件(96.9%)となっている。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	339	45.1
2	ある程度、社会的必要性を感じる	389	51.8
3	あまり必要性を感じない	20	2.7
4	必要性はない	1	0.1
	無回答	2	0.3
	N (パーセント)	751	100



(7) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるものについて

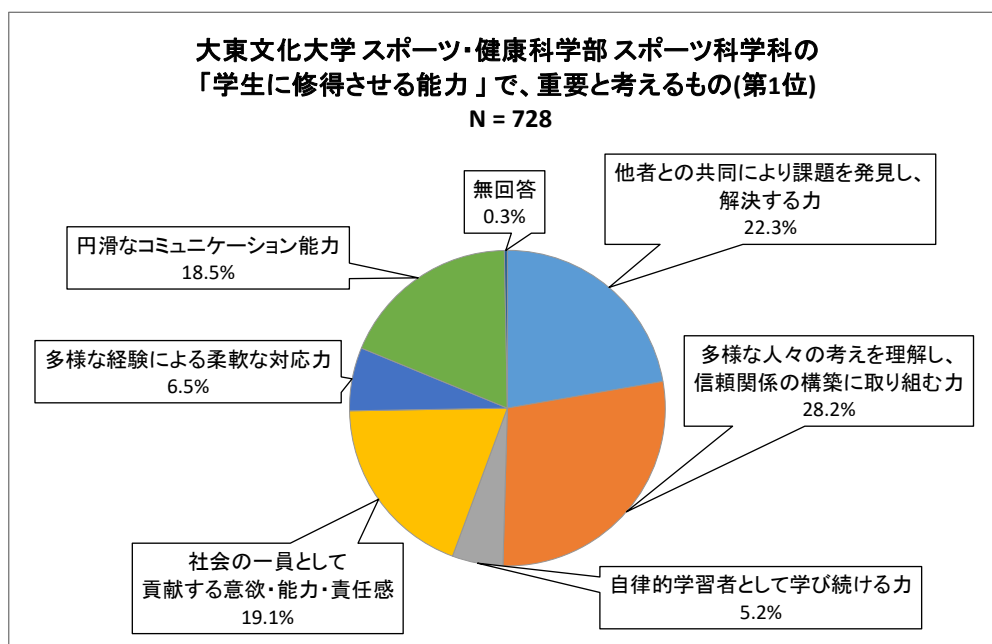
7-1 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第1位)

「(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について」において肯定的な回答をした企業等 728 件に対して、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第1位)について調査した。

その結果、「多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力」が 205 件(28.2%)と最も多く、次いで「他者との共同により課題を発見し、解決する力」162 件(22.3%)、「社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感」139 件(19.1%)、「円滑なコミュニケーション能力」135 件(18.5%)、「多様な経験による柔軟な対応力」47 件(6.5%)、「自律的学習者として学び続ける力」38 件(5.2%)の順になっている。 ※「無回答」2 件(0.3%)

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他者との共同により課題を発見し、解決する力	162	22.3
2	多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力	205	28.2
3	自律的学習者として学び続ける力	38	5.2
4	社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感	139	19.1
5	多様な経験による柔軟な対応力	47	6.5
6	円滑なコミュニケーション能力	135	18.5
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	728	100



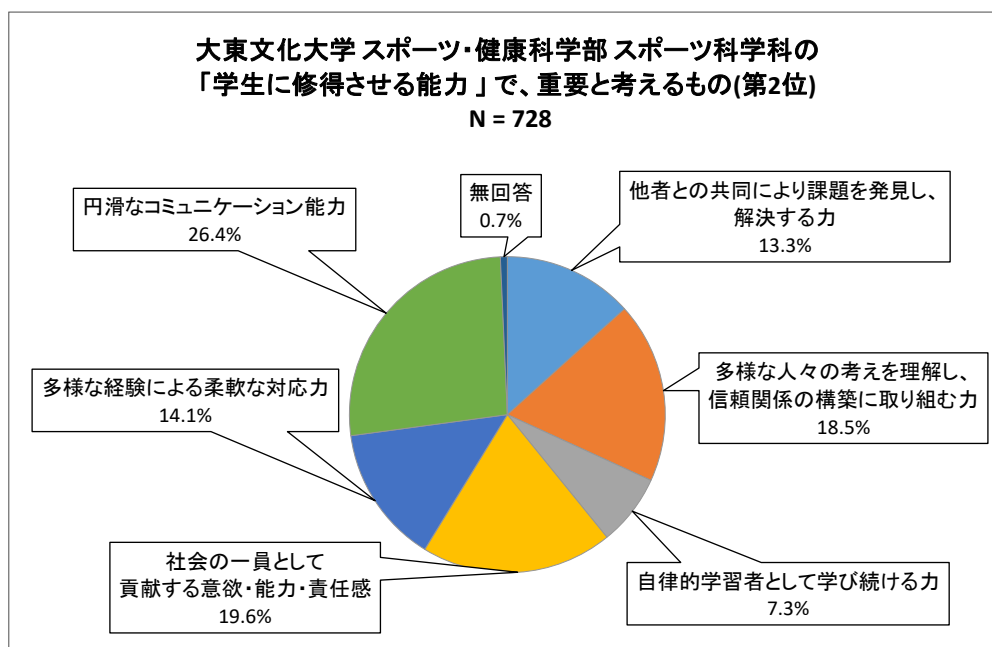
7-2 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの（第2位）

「(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について」において肯定的な回答をした企業等 728 件に対して、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの（第2位）について調査した。

その結果、「円滑なコミュニケーション能力」が 192 件（26.4%）と最も多く、次いで「社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感」143 件（19.6%）、「多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力」135 件（18.5%）、「多様な経験による柔軟な対応力」103 件（14.1%）、「他者との共同により課題を発見し、解決する力」97 件（13.3%）、「自律的学習者として学び続ける力」53 件（7.3%）の順になっている。 ※「無回答」5 件（0.7%）

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他者との共同により課題を発見し、解決する力	97	13.3
2	多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力	135	18.5
3	自律的学習者として学び続ける力	53	7.3
4	社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感	143	19.6
5	多様な経験による柔軟な対応力	103	14.1
6	円滑なコミュニケーション能力	192	26.4
	無回答	5	0.7
	N (%ベース)	728	100



(8) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について

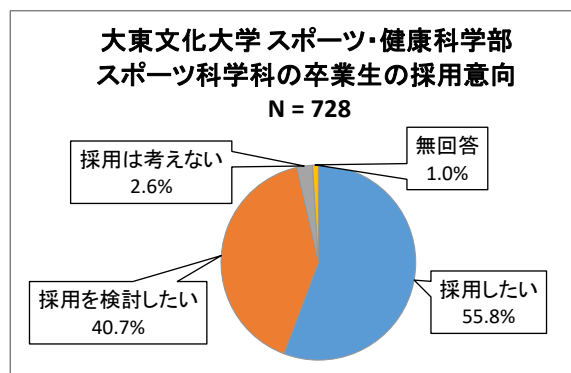
「(6) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について」において肯定的な回答をした企業等 728 件に対して、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について調査した。

その結果、「採用したい」が 406 件 (55.8%) と最も多く、次いで「採用を検討したい」296 件 (40.7%)、「採用は考えない」19 件 (2.6%) の順になっている。 ※「無回答」7 件 (1.0%)

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合計すると、702 件 (96.4%) となっている。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	406	55.8
2	採用を検討したい	296	40.7
3	採用は考えない	19	2.6
	無回答	7	1.0
	N (%ベース)	728	100



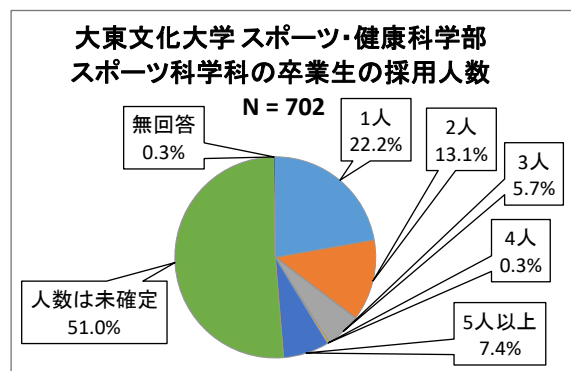
(9) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用人数について

「(8) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について」において肯定的な採用意向を示した企業等 702 件に対して、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の将来的な採用人数について調査した。

その結果、「人数は未確定」が 358 件 (51.0%) と最も多く、次いで「1人」156 件 (22.2%)、「2人」92 件 (13.1%)、「5人以上」52 件 (7.4%)、「3人」40 件 (5.7%)、「4人」2 件 (0.3%) の順になっている。 ※「無回答」2 件 (0.3%)

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	156	22.2
2	2人	92	13.1
3	3人	40	5.7
4	4人	2	0.3
5	5人以上	52	7.4
6	人数は未確定	358	51.0
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	702	100



3. 調査結果のまとめ

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(8) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(9) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定」※）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「5人以上」は最低数である「5人」として計算した。

「人数は未確定」とは、「(8) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について」において、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

「(8) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向について」において、「採用したい」406件、「採用を検討したい」296件の回答を得ている。

下表より、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、766人分となる。入学定員は165人であるため、約4.6倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」、「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は1,086人分となり、これは入学定員165人に対して約6.6倍となる。

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」のみ		合計
1人(A)	88	(a)	(A) × (a) 88
2人(B)	76	(b)	(B) × (b) 152
3人(C)	36	(c)	(C) × (c) 108
4人(D)	2	(d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	52	(e)	(E) × (e) 260
人数は未確定(F)	150	(f)	(F) × (f) 150
無回答	2		
合計採用意向			766人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」 「採用を検討したい」の合計		合計
1人(A)	156	(a)	(A) × (a) 156
2人(B)	92	(b)	(B) × (b) 184
3人(C)	40	(c)	(C) × (c) 120
4人(D)	2	(d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	52	(e)	(E) × (e) 260
人数は未確定(F)	358	(f)	(F) × (f) 358
無回答	2		
合計採用意向			1086人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外への進路も考えられることから、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の進路は十分に確保できるものとする。

調査票

ここからは、大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の概要（リーフレット）をご覧ください

Q6. 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から該当する番号を 1 つお選びください。

1. 社会的必要性が高い分野である
2. ある程度、社会的必要性を感じる
3. あまり必要性を感じない
4. 必要性はない

1、2 を選ばれた方はQ7へお進みください。
3、4 を選ばれた方はQ10へお進みください。

Q7. 大東文化大学が定員増加を計画しているスポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるものはどれですか。当てはまる番号を第 2 位までお選びください。

1. 他者との共同により課題を発見し、解決する力
2. 多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力
3. 自律的学習者として学び続ける力
4. 社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感
5. 多様な経験による柔軟な対応力
6. 円滑なコミュニケーション能力

第1位

第2位

Q8. 大東文化大学が定員増加を計画しているスポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用についておたずねします。次の中から該当する番号を 1 つお選びください。

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. 採用は考えない

1、2 を選ばれた方はQ9へお進みください。
3 を選ばれた方はQ10へお進みください。

Q9. 大東文化大学が定員増加を計画しているスポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生を、毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から該当する番号を 1 つお選びください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. 人数は未確定

番号でご回答
ください

Q10. 大東文化大学において定員増加を計画しているスポーツ・健康科学部 スポーツ科学科について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。
その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

大東文化大学 スポーツ・健康科学部事務室

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿 560 TEL: 0493-31-1552

計画概要



© FW&Co., 2022

2024年4月より、入学定員を増加することを構想中(収容定員増加)及びカリキュラムを充実させます(予定)

大東文化大学

スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

Up 入学定員が増えます 125名 ▶ 165名 (予定)

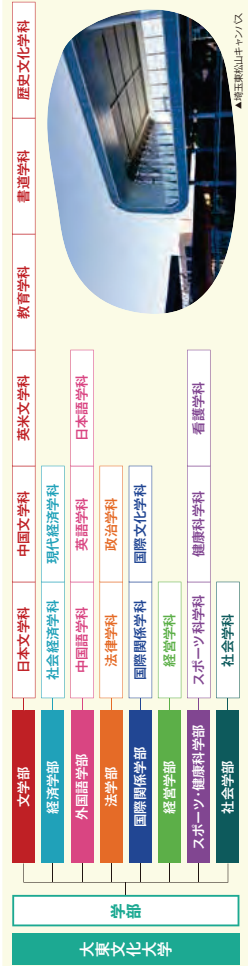
Change カリキュラムが変わります 演習系授業の充実 (予定)



スポーツのマナビを未来のチカラに。

※入学定員増加(収容定員増加)及びカリキュラム改編の構想欄は予定であり変更する場合があります。

大東文化大学の全学部と学科



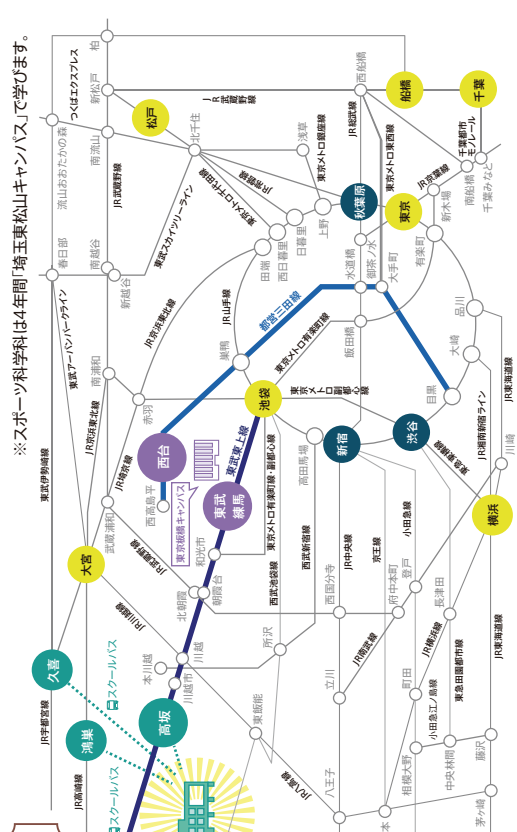
大東文化大学の建学の精神

漢学(儒教)を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づき道徳の確立を期し、更に東洋の文化を基礎として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す。

大東文化大学の理念

大東文化大学は、儒学の精神に基づき、東洋の文化を中心として広く世界の文化に関する諸学を研究・教授し、その発展を図ると共に、東洋固有の文化を尊重し、その伝統的な美徳を身につけて豊かな人格の形成に努め、併せて国際的な視野を持ち、世界の文化の進展と人類の幸福の realization に寄与でききる有能な人材を育成することを目的とする。

アクセス



埼玉東松山キャンパス

〒355-8501 埼玉県東松山市岩野560 【設置学部】全学部1・2年次、国際関係学部、スポーツ・健康科学部の1～4年次
 東武東上線(有楽町線・副都心線直通) (高坂駅) 西口下車
 ▶ 無料スクーラーバスで約7分
 路線バス(川越観光) 岡山ニューターク方面行き大東文化大学バス停下車
 ▶ スクーラーバスで約60分(片道200円)

主要駅から最寄り駅までのアクセス(記載されている所要時間は目安です)

横浜	94分	東武東上線 東京メトロ副都心線 相互直通運転(フラワー) 94分
池袋	88分	JR池袋線 38分
東京	67分	東武東上線 急行 50分
大宮	41分	東京メトロ丸の内線 17分
川越	22分	JR川越線 22分

バス利用の場合

池袋	40分	池袋スクーラーバス 40分
久喜	60分	久喜スクーラーバス 60分



収容定員増加及びカリキュラム改編に関する問い合わせ
 大東文化大学スポーツ・健康科学部事務室
 ☎ 0493-31-1552

スポーツのマナビを未来のチカラに

広大で自然豊かなキャンパスで、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材育成を目指し、2024年4月より「入学定員増加(収容定員増加)」と「カリキュラム改編」を構築しています。

Objectives of Daito Sports science

大東スポーツ科の目的



01. 知識を得る

スポーツ科学を構成する学問の基礎・応用を中心に、語学や一般教養も学ぶことによって、スポーツの価値を社会に伝えるために、知識を活用する基盤を身につけます。



02. 技能を高める

陸上、体操、水泳から各種球技種目、武道、ダンスまで、それらのスキルアップと指導法に関する専門的知識の修得に力を注ぎます。



03. 指導力を高める

トプアスリートの育成をはじめ、スポーツの楽しさを伝えることや、年齢や体力レベルに応じた指導法について、スポーツ科専攻に裏付けされた知識や技能の伝達ができるまで高めていきます。

大東スポーツ科 5つのポイント

“豊か”な学び

7千人の学生が集う豊かなキャンパスで幅広くスポーツを学べることは総合大学ならではの強み。全学共通授業や課外活動を通じてスポーツ科専攻以外の学生との交流も図ることが出来ます。

“壮大”な学び

東京ドーム6個分の広さを誇る埼玉東松山キャンパス。広大な敷地にあるスポーツ施設とスポーツ関連実設施設を使用してスポーツ科学を学ぶことが出来ます。

“体験する”学び

講義に加え、演習、野外実習、各種スポーツイベントでのボランティア体験などで、実践的なスキルを身につけることが出来ます。

“大東スポーツ科ならではの”学び

サッカーやランニングサイエンス、スポーツデータサイエンス、スポーツとエンターテインメント、アウトドアスキルなど、大東スポーツ科ならではの科目が充実しています。

“未来へつながる”学び

教員採用試験や、就職活動にも役立つ資格取得への手厚いサポート体制で、あなたの未来を支えます。

4年間の学び

- 1年次
スポーツ科学の基礎知識と一般教養に加えて、大学生としての学ぶ姿勢やマナー、モラルを身につける
- 2年次
球技や武道などの実技授業も充実。専門知識の学修を進めながら自分の将来像と8つの履修モデルを照らし合わせ進むべき方向性を整える
- 3年次
2年次に得た専門知識の学修をさらに深めるべく、充実した演習科目群により、自らが決めた専門領域をさらに探求し4年次の卒業研究に向けての準備を行う
- 4年次
ゼミナールや卒業研究を通じて、将来を実現するための具体的な知識と技能を磨く



大東スポーツ科 8つの履修モデル

履修モデル	想定される進路・社会的役割	目指せる資格・免許
保健体育教員	中・高等学校保健体育教員など	中学校教諭(保健体育) 高等学校教諭(保健体育)
トレーナー	フィットネスクラブ・公共運動施設、パーソナルトレーナー・トレーニング指導者など	NSCA認定認定資格(パーソナルトレーナー) CPTI、日本トレーニング指導者協会認定資格(パーソナルトレーナー)
ヘルスプロモーション	フィットネスクラブ、健康増進施設、メディカルフィットネスセンター、ヘルスケア産業など	(公財)健康・体力づくり財団認定健康運動指導士認定試験受験資格
スポーツマネジメント	地域スポーツクラブ運営・管理、一般企業など	(公財)日本スポーツ協会公認アスリートマネージャー
ダイバーシティスポーツ	障がい者支援、ジュニアスポーツ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認ユニバーサルスポーツ指導者
アウトドアスポーツ	アウトドアスポーツメーカー、野外活動インストラクター、野外活動施設スタッフなど	キャンプインストラクター、アウトドアインストラクター、エクスプローラー、登山ハイカー(特設小笠原島探検士免許)
アスリート&コーチング	プロスポーツ選手・企業スポーツ選手、地域スポーツクラブ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認コーチングアスリート(特設科目)
スポーツアナリスト	大学教員、スポーツ用具開発、スポーツ科学研究など	大学院修士号 *卒業後の大学院進学が必要

※履修モデルの概要は予定であり、変更する場合があります。

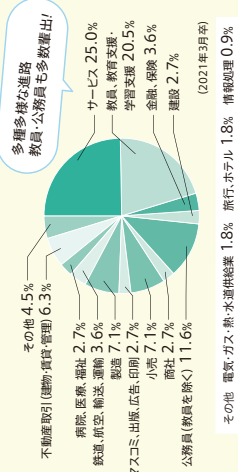
And into the future... そして未来へ...

卒業後の主な進路

- ・国家公務員
- ・地方公務員
- ・高等学校教員
- ・中学校教員
- ・アスリート
- ・インストラクター
- (公立・私立の体育館・運動施設)
- ・スポーツ関連業界従事者
- ・マスコミ(出版・放送局)
- ・業界従事者
- ・サービス業界従事者
- ・金融・保険業界従事者
- ・NGO・NPO団体職員
- ・大学院への進学



業種別就職先

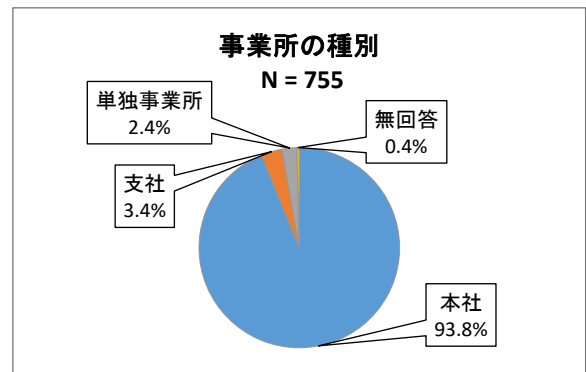


※入学定員増加(収容定員増加)及びカリキュラム改編の構想概要は予定であり、変更する場合があります。

単純集計表

事業所の種別

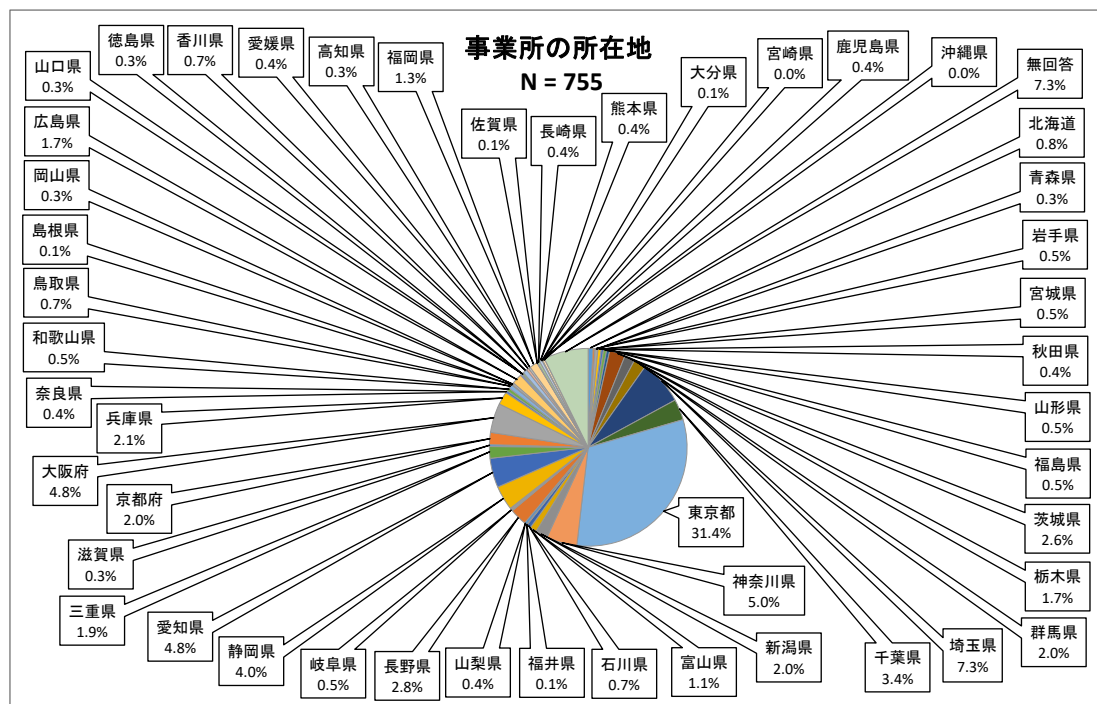
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	708	93.8
2	支社	26	3.4
3	単独事業所	18	2.4
	無回答	3	0.4
	N (%へ -ス)	755	100



事業所の所在地

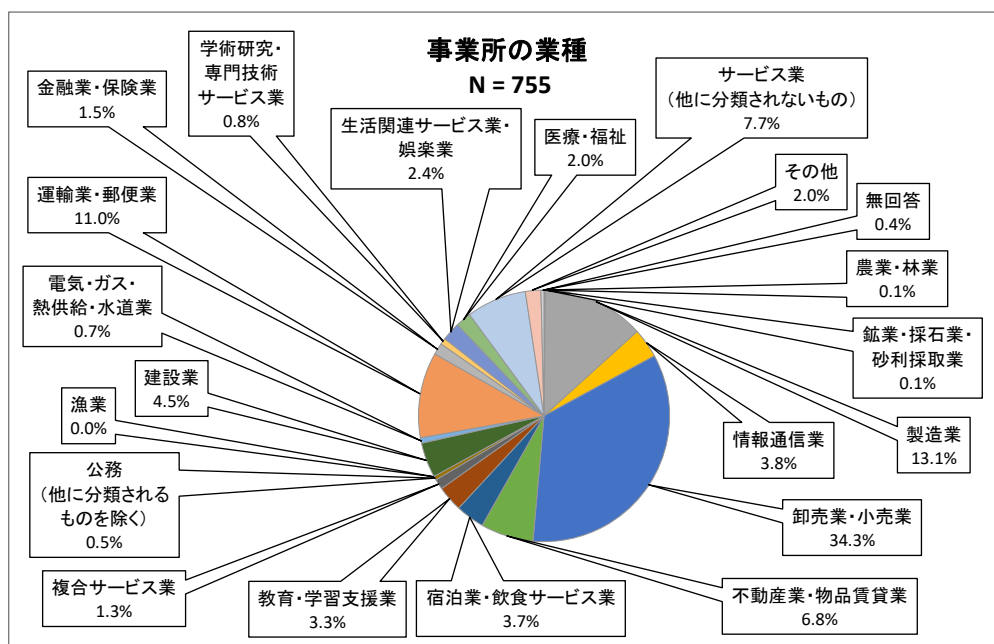
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	6	0.8
2	青森県	2	0.3
3	岩手県	4	0.5
4	宮城県	4	0.5
5	秋田県	3	0.4
6	山形県	4	0.5
7	福島県	4	0.5
8	茨城県	20	2.6
9	栃木県	13	1.7
10	群馬県	15	2.0
11	埼玉県	55	7.3
12	千葉県	26	3.4
13	東京都	237	31.4
14	神奈川県	38	5.0
15	新潟県	15	2.0
16	富山県	8	1.1
17	石川県	5	0.7
18	福井県	1	0.1
19	山梨県	3	0.4
20	長野県	21	2.8
21	岐阜県	4	0.5
22	静岡県	30	4.0
23	愛知県	36	4.8
24	三重県	14	1.9
25	滋賀県	2	0.3

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
26	京都府	15	2.0
27	大阪府	36	4.8
28	兵庫県	16	2.1
29	奈良県	3	0.4
30	和歌山県	4	0.5
31	鳥取県	5	0.7
32	島根県	1	0.1
33	岡山県	2	0.3
34	広島県	13	1.7
35	山口県	2	0.3
36	徳島県	2	0.3
37	香川県	5	0.7
38	愛媛県	3	0.4
39	高知県	2	0.3
40	福岡県	10	1.3
41	佐賀県	1	0.1
42	長崎県	3	0.4
43	熊本県	3	0.4
44	大分県	1	0.1
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	3	0.4
47	沖縄県	0	0.0
	無回答	55	7.3
	N (%ベース)	755	100



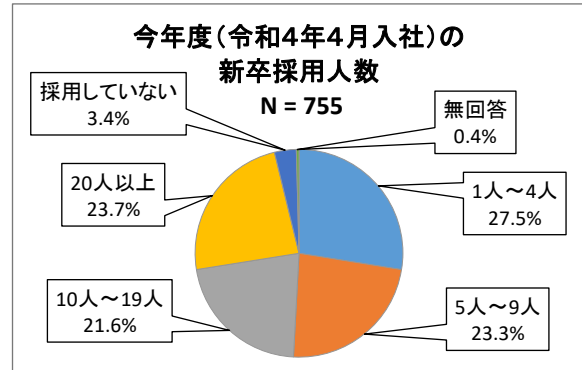
事業所の業種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	1	0.1
2	鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.1
3	製造業	99	13.1
4	情報通信業	29	3.8
5	卸売業・小売業	259	34.3
6	不動産業・物品賃貸業	51	6.8
7	宿泊業・飲食サービス業	28	3.7
8	教育・学習支援業	25	3.3
9	複合サービス業	10	1.3
10	公務（他に分類されるものを除く）	4	0.5
11	漁業	0	0.0
12	建設業	34	4.5
13	電気・ガス・熱供給・水道業	5	0.7
14	運輸業・郵便業	83	11.0
15	金融業・保険業	11	1.5
16	学術研究・専門技術サービス業	6	0.8
17	生活関連サービス業・娯楽業	18	2.4
18	医療・福祉	15	2.0
19	サービス業（他に分類されないもの）	58	7.7
20	その他	15	2.0
	無回答	3	0.4
	N（%ベース）	755	100



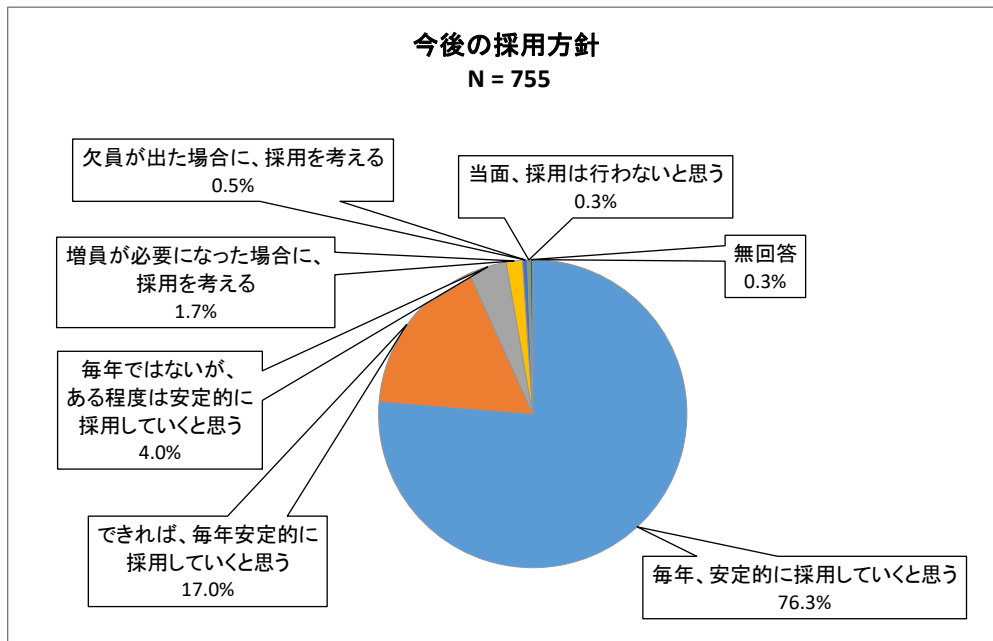
今年度（令和4年4月入社）の新卒採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人～4人	208	27.5
2	5人～9人	176	23.3
3	10人～19人	163	21.6
4	20人以上	179	23.7
5	採用していない	26	3.4
	無回答	3	0.4
N	(%ベース)	755	100



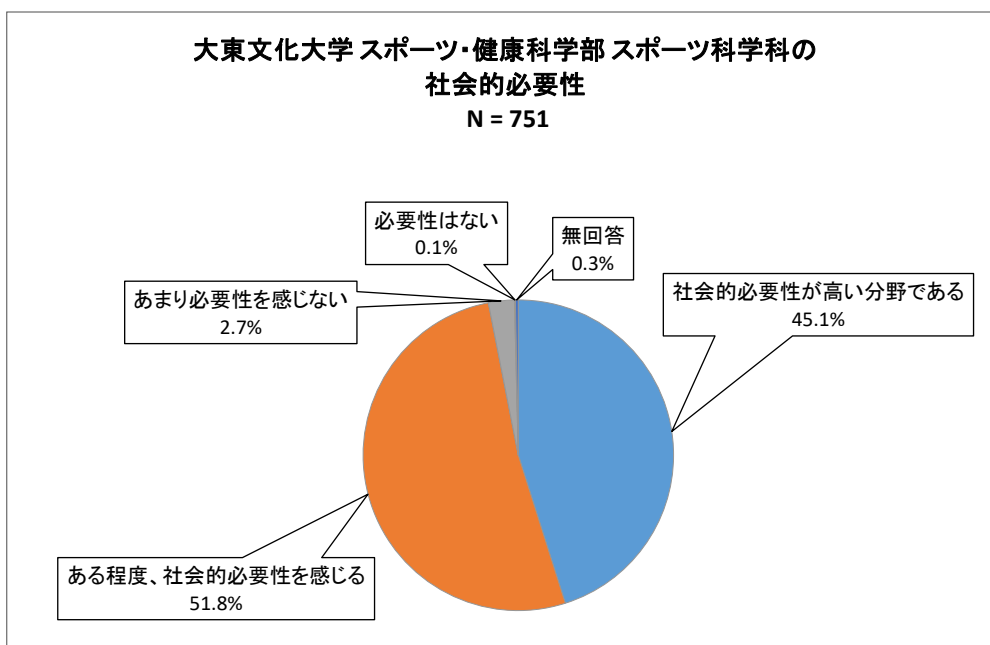
今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	576	76.3
2	できれば、毎年安定的に採用していくと思う	128	17.0
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していくと思う	30	4.0
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	13	1.7
5	欠員が出た場合に、採用を考える	4	0.5
6	当面、採用は行わないと思う	2	0.3
	無回答	2	0.3
N	(%ベース)	755	100



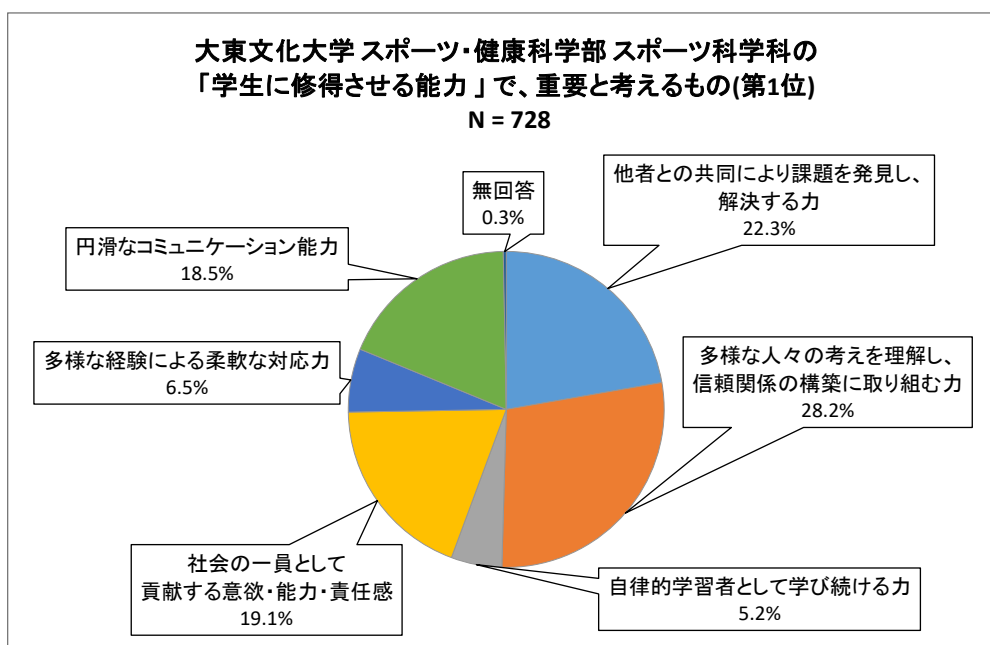
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	339	45.1
2	ある程度、社会的必要性を感じる	389	51.8
3	あまり必要性を感じない	20	2.7
4	必要性はない	1	0.1
	無回答	2	0.3
	N (％ベース)	751	100



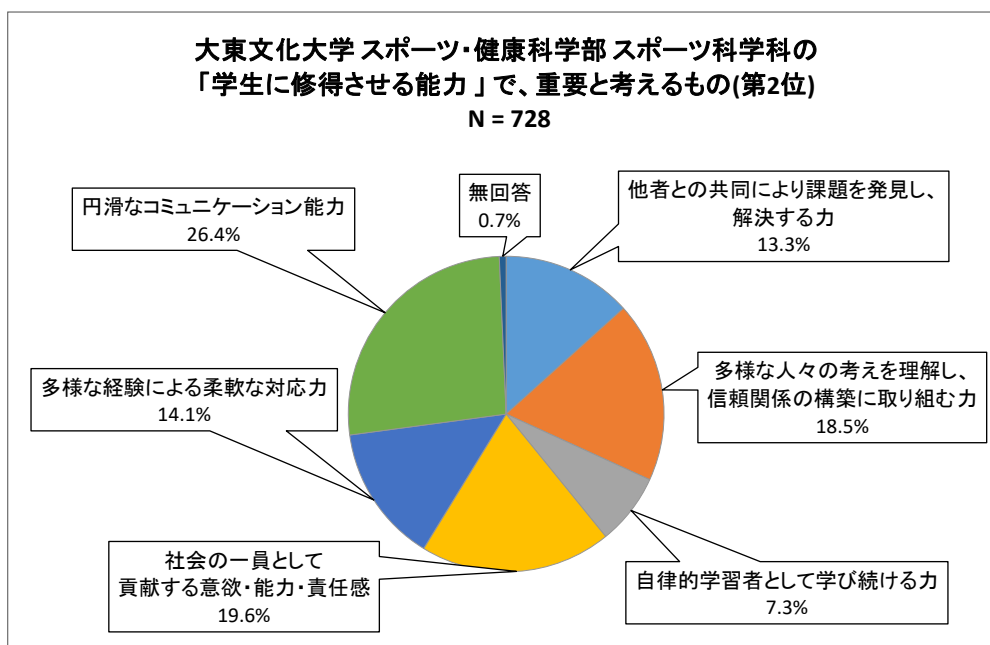
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他者との共同により課題を発見し、解決する力	162	22.3
2	多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力	205	28.2
3	自律的学習者として学び続ける力	38	5.2
4	社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感	139	19.1
5	多様な経験による柔軟な対応力	47	6.5
6	円滑なコミュニケーション能力	135	18.5
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	728	100



大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の「学生に修得させる能力」で、重要と考えるもの(第2位)

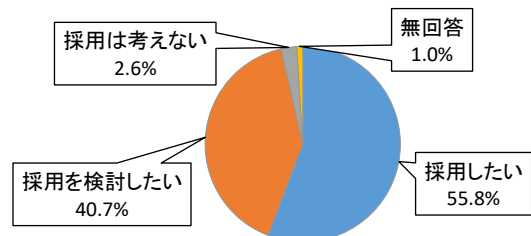
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他者との共同により課題を発見し、解決する力	97	13.3
2	多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組む力	135	18.5
3	自律的学習者として学び続ける力	53	7.3
4	社会の一員として貢献する意欲・能力・責任感	143	19.6
5	多様な経験による柔軟な対応力	103	14.1
6	円滑なコミュニケーション能力	192	26.4
	無回答	5	0.7
	N (%ベース)	728	100



大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	406	55.8
2	採用を検討したい	296	40.7
3	採用は考えない	19	2.6
	無回答	7	1.0
	N (%ベース)	728	100

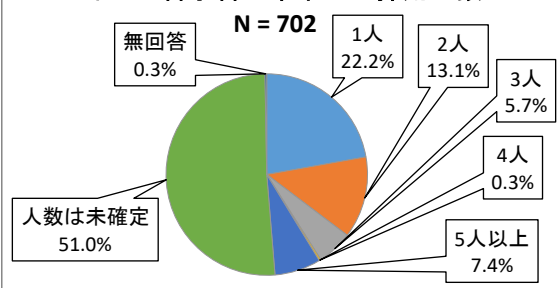
大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科の卒業生の採用意向
N = 728



大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	156	22.2
2	2人	92	13.1
3	3人	40	5.7
4	4人	2	0.3
5	5人以上	52	7.4
6	人数は未確定	358	51.0
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	702	100

大東文化大学 スポーツ・健康科学部
スポーツ科学科の卒業生の採用人数
N = 702



大学案内 / About Daito

大東文化大学の基本方針

大学案内

About Daito

ごあいさつ

大東文化について

建学の精神・教育の理念

大東文化大学の基本方針

創設からのあゆみ

大東文化歴史資料館

百年史編纂サイト

校歌

活躍と未来への取り組み

情報公開

コンプライアンス等の取り組み

自己点検・評価/大学FD活動

組織・付設校

青桐会・同窓会

大東文化大学基本方針

大東文化大学基本方針は、本学の教育研究等に係る様々な基本方針を定めたものです。大学の教育研究活動および運営の軸となる事項について基準別に構成されています。

方針	承認日
大学の理念・目的 (386KB) 	2014年2月17日 自己点検・評価基本事項検討委員会
内部質保証に関する方針 (186KB) 	2022年3月7日 大学評議会
教育研究組織の編制方針 (200KB) 	
教員・教員組織に関する方針 (194KB) 	
学生支援に関する方針 (196KB) 	
教育研究等環境に関する方針 (245KB) 	
社会連携・社会貢献に関する方針 (214KB) 	
大学運営・財務に関する方針 (271KB) 	
国際化に関する方針 (174KB) 	

Who are you?

対象者別メニュー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

2018.2.19

大東文化大学は、建学の精神である「東西文化の融合」および大学の理念である「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」に基づき、学問の理論と応用を教授・研究して真理と正義を愛する自主的精神に充ちた良識ある人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的とする。この目的を実現するために、以下に3つの基本方針（ポリシー）を定める。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大東文化大学・各学部学科においては、厳格な成績評価に基づき、基礎教育科目、専門教育科目、全学共通科目の所定の単位を修得し、豊かな教養と確かな専門的知識、高い倫理性を備えていると認定した人に学士の学位を授与する。本学が学位授与にあたって求める能力、見識は下記のようなものである。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

1. 豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している。
2. 自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

1. 国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている。
2. 自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

1. 生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている。
2. 修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている。
3. 広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

1. 本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す。
2. 本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。

大東文化大学大学院・各研究科専攻(修士課程・博士課程)においては、高度な専門的知識の修得に留まらず、物事を多角的・多面的に考察し見定めていく批判的思考力(いわゆる「クリティカル・シンキング」)を備え、「世界水準の研究」や「地域活性化のための中核的研究」に挑戦し続ける資質と意欲を獲得したと認定した人に修士または博士の学位を授与する。

本学が学位授与にあたって求める能力、見識は下記のようなものである。

博士前期課程・修士課程

博士後期課程

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

大東文化大学の学士課程は文学部、経済学部、外国語学部、法学部、国際関係学部、経営学部、環境創造学部、スポーツ・健康科学部、社会学部から構成されている。このうち国際関係学部とスポーツ・健康科学部は、全学年の教育を埼玉県東松山市にある東松山キャンパスで行い、他の学部は1年次と2年次の教育を東松山キャンパスで、3年次と4年次の教育を東京都板橋区にある板橋キャンパスで行っている。

本学における学部のカリキュラムは、大きく分けて、主に基礎教育科目、専門教育科目、全学共通科目の3つの科目群から成っている。このうち基礎教育科目と全学共通科目は主として、全学部の1、2年生が学ぶ東松山キャンパスで、専門教育科目は、国際関係学部とスポーツ・健康科学部は東松山キャンパスで、他の学部は主として板橋キャンパスで開講されている。

学部における3つの科目群およびそれを支える科目等は下記のような特徴を持っている。

学部学科のカリキュラム・ポリシー

1. 教育内容

1. 各学部学科は、英語・中国語など外国語の運用能力を高める科目、ICTやデータサイエンス、数量的スキルの習得を目指す情報科目などの分野横断的な基礎教育科目を設置する。
2. 広範な知識を修得させるために、基本科目群、課題（テーマ）科目群、発展科目群からなる全学共通科目を開設する。
3. 各学部学科は、それぞれの教育目標を達成するために専門教育科目を独自に設置する。
4. 初年次において導入教育科目を開設する。
5. キャリアデザインや就職を支援するために、学部学科の学びに固有のキャリア科目を設置する。
6. 本学の建学の精神や教育の理念に関する科目を設置する。

2. 教育方法

1. 主体的な学びを促進するために、教育内容に掲げた各科目群等においては、通常の講義形式のほか、演習や実験実習、フィールドワーク、インターンシップなどの教育方法を導入する。
2. インタラクティブ（双方向）な授業を展開するため、初年次から4年次まで少人数の演習形式を活用する。
3. 学部学科を問わず、海外研修や留学を推奨する。
4. ポートフォリオなどを活用し、学びの振り返りを推進する。

3. 評価方法

1. 学位授与方針（DP）に掲げられた各種能力は、卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、卒業論文、取得した資格（国家試験や教職を含む）、その他のアセスメント等の結果を参考に、多角的かつ総合的に評価する。
2. 学位授与方針（DP）に掲げられた各種能力の評価のために、各種アセスメントに加えて、学生ポートフォリオを活用して評価する。

大東文化大学大学院（法科大学院を除く）は、文学研究科、経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科、アジア地域研究科、経営学研究科、スポーツ・健康科学研究科から構成されており、研究科の専攻ごとに、博士課程前期課程および博士課程

後期課程（一部の専攻は修士課程のみ）の課程が設置されている。また、別途、経済学研究科経済学専攻と法学研究科政治学専攻が連携して「公共政策学専修コース」を開設している。アジア地域研究科とスポーツ・健康科学研究科の教育は埼玉県東松山市にある東松山キャンパスで行い、他の研究科の教育は東京都板橋区にある板橋キャンパスで行っている。

大学院研究科のカリキュラム科目群は、主に演習形式の科目群、講義形式の科目群から成っている。また、その教育内容、教育方法、評価方法は下記のような特徴を持っている。

※ 詳細は各研究科専攻のカリキュラム・ポリシーを参照のこと。

大学院研究科のカリキュラム・ポリシー

博士前期課程・修士課程

博士後期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大東文化大学は1923年(大正12年)に、東洋の文化を教授・研究するために創立された歴史ある大学であり、これまで10万人をこえる卒業生を社会に輩出してきた。また、アジアを中心に100をこえる世界の大学、研究機関と交流協定を結び、多くの留学生を受け入れるとともに、学生を海外に派遣し続けている。

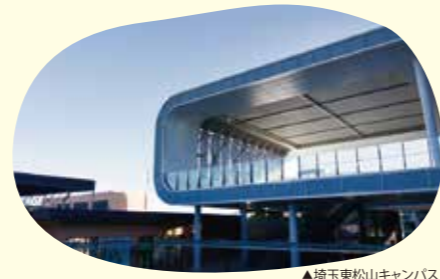
「東西文化の融合」を建学の精神に掲げる本学では、以下のようなアドミッション・ポリシーを定め、一層多様性が高まる社会において自立と共生に向けた適切に行動できる人材を育成する学びの場を提供する。

1. 知識・技能
2. 思考力・判断力・表現力
3. 主体的に学習に取り組む態度

大学院研究科のアドミッション・ポリシー

Faculties and departments of Daito Bunka University
大東文化大学の全学部と学科

大東文化大学 学部	文学部	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科
	経済学部	社会経済学科	現代経済学科				
	外国語学部	中国語学科	英語学科	日本語学科			
	法学部	法律学科	政治学科				
	国際関係学部	国際関係学科	国際文化学科				
	経営学部	経営学科					
	スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科			
	社会学部	社会学科					



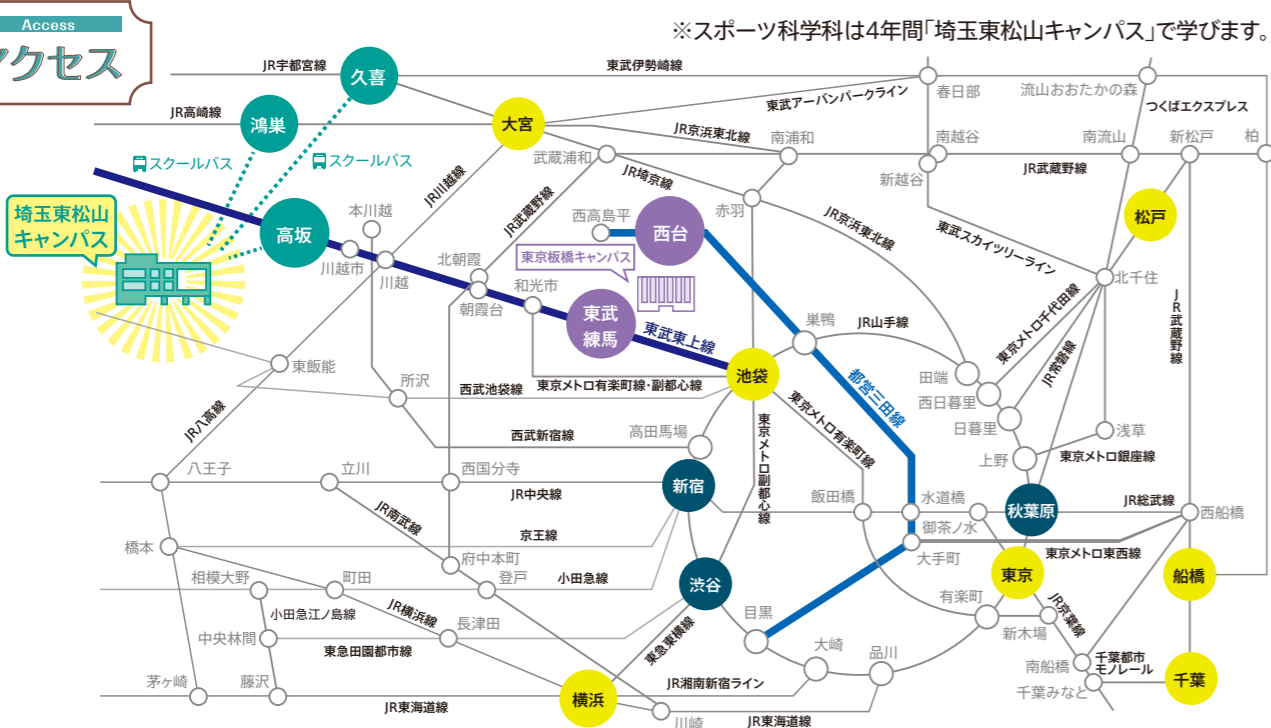
大東文化大学の建学の精神

漢学(特に儒教)を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づく道義の確立を期し、更に東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す。

大東文化大学の教育の理念

大東文化大学は、建学の精神に基づき、東洋の文化を中心として広く全世界の文化に関する諸学を研究・教授し、その振興を図ると共に、東洋固有の文化を尊重し、その伝統的な美德を身につけて豊かな人格の形成に努め、併せて国際的な視野を持ち、世界の文化の進展と人類の幸福の実現に寄与できる有為な人材を育成することを目指す。

アクセス



埼玉東松山キャンパス

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560 【設置学部】全学部の1・2年次、国際関係学部、スポーツ・健康科学部の1～4年次

東武東上線(有楽町線・副都心線直通)〈高坂駅〉西口下車

▶ 無料スクールバスで約7分

路線バス(川越観光)鳩山ニュータウン方面行き大東文化大学バス停下車

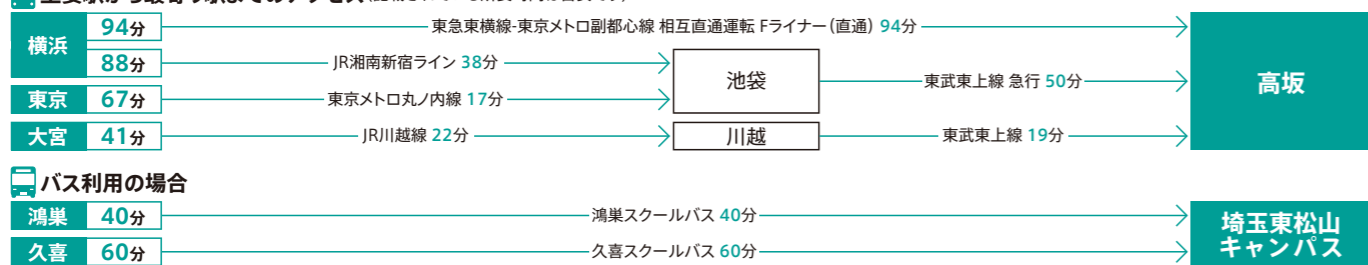
JR高崎線〈鴻巣駅〉東口下車

▶ スクールバスで約40分(片道100円)

JR宇都宮線・東武伊勢崎線〈久喜駅〉東口下車

▶ スクールバスで約60分(片道200円)

主要駅から最寄り駅までのアクセス(記載されている所要時間は目安です)



スポーツ・健康科学部スポーツ科学科
〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560
https://www.daito.ac.jp

収容定員増加及びカリキュラム改編に関する問い合わせ

大東文化大学スポーツ・健康科学部事務局
☎ 0493-31-1552



2024年4月より、入学定員を増加することを構想中(収容定員増加)及びカリキュラムを充実させます(予定)



資料 1 4



スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

Up 入学定員が増えます 125名▶165名(予定)

Change カリキュラムが変わります 演習系授業の充実(予定)



スポーツのマナビを未来のチカラに。

※入学定員増加(収容定員増加)及びカリキュラム改編の構想概要は予定であり、変更する場合があります。

スポーツのマナビを未来のチカラに

広大で自然豊かなキャンパスで、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材育成を目指し、2024年4月より「**入学定員増加(収容定員増加)**」と「**カリキュラム改編**」を構想しています。

Objectives of Daito Sports science 大東スポ科の目的



01. 知識を得る

スポーツ科学を構成する学問の基礎・応用を中心に、語学や一般教養も学ぶことによって、スポーツの価値を社会に伝えるために、知識を活用する基盤を身につけます。



02. 技能を高める

陸上、体操、水泳から各種球技種目、武道、ダンスまで、それらのスキルアップと指導法に関する専門的知識の修得に力を注ぎます。



03. 指導力を高める

トップアスリートの育成をはじめ、スポーツの楽しさを伝えることや、年齢や体力レベルに応じた指導法について、スポーツ科学に裏付けされた知識や技能の伝達ができるまで高めていきます。

Four-year flow 4年間の学び

1年次 スポーツ科学の基礎知識と一般教養に加えて、大学生としての学ぶ姿勢やマナー、モラルを身につける

2年次 球技や武道などの実技授業も充実。専門知識の学修を進めながら自分の将来像と8つの履修モデルを照らし合わせ進むべき方向性を整える

3年次 2年次に得た専門知識の学修をさらに深めるべく、充実した演習科目群により、自らが決めた学問領域をさらに探求し4年次の卒業研究に向けての準備を行う

4年次 セミナールや卒業研究を通して、将来を実現するための具体的な知識と技能を磨く

8 study models of Daito Sports science 大東スポ科 8つの履修モデル

履修モデル	想定される進路・社会的役割	目指せる資格・免許
保健体育教員	中学・高等学校保健体育教員など	中学校教諭一種免許状(保健体育) 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
トレーナー	フィットネスクラブ、公共運動施設、パーソナルトレーナー、トレーニング指導者など	NSCA認定資格試験受験資格(CSCS、CPT)、日本トレーニング指導者協会認定資格試験受験資格(JATI-ATI)
ヘルスプロモーション	フィットネスクラブ、健康増進施設、メディカルフィットネスセンター、ヘルスケア産業など	(公財)健康・体づくり財団認定健康運動指導士認定試験受験資格
スポーツマネジメント	地域スポーツクラブ運営・管理者、一般企業など	(公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー
ダイバーシティスポーツ	障がい者支援、ジュニアスポーツ指導員、女性スポーツ指導員など	(公財)日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員、(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員
アウトドアスポーツ	アウトドアスポーツメーカー、野外活動インストラクター、野外活動施設スタッフなど	キャンパインストラクター、スクーパダイビング(Cカード)、スキー・スノーボード級別テスト、水上バイク(特殊小型船舶操縦士免許)
アスリート&コーチング	プロスポーツ選手、企業スポーツ選手、地域スポーツクラブ指導者など	(公財)日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント(共通科目1)
スポーツアナリスト	大学教員、スポーツ用具開発、スポーツ科学研究者など	大学院修士号 *卒業後の大学院進学が必要

※履修モデルの概要は予定であり、変更する場合があります。

5points of Department of Daito Sports Science 大東スポ科 5つのポイント



“豊か”な学び

7千人の学生が集う豊かなキャンパスで幅広くスポーツを学ぶことは総合大学ならではの強み。全学共通授業や課外活動を通じてスポーツ科学科以外の学生との交流も図ることができます。



“壮大”な学び

東京ドーム6個分の広さを誇る埼玉東松山キャンパス。広大な敷地にあるスポーツ施設とスポーツ関連実験施設を使用してスポーツ科学を学ぶことができます。



“体験する”学び

講義に加え、演習、野外実習、各種スポーツイベントでのボランティア体験などで、実践的なスキルを身につけることができます。



“大東スポ科ならではの”学び

サッカーやランニングサイエンス、スポーツデータサイエンス、スポーツとジェンダー、アウトドアスキルなど、大東スポ科ならではの科目が充実しています。



“未来へつながる”学び

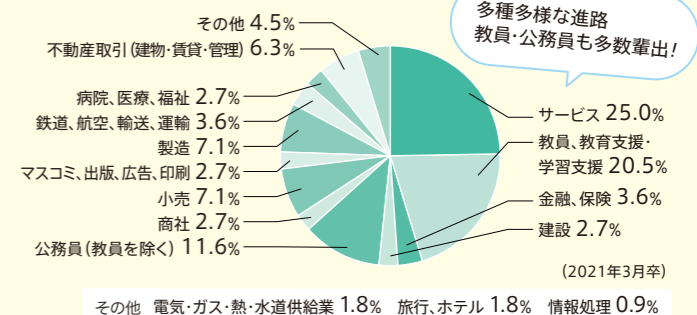
教員採用試験や、就職活動にも役立つ資格取得への手厚いサポート体制で、あなたの未来を支援します。

And into the future... そして未来へ...

卒業後の主な進路

- ・国家公務員
- ・地方公務員
- ・高等学校教員
- ・中学校教員
- ・アスリート
- ・インストラクター
(公立・私立の体育館・運動施設)
- ・スポーツ関連業界従事者
- ・マスコミ(出版・放送ほか)
業界従事者
- ・サービス業界従事者
- ・金融・保険業界従事者
- ・NGO・NPO団体職員
- ・大学院への進学

業種別就職先



※入学定員増加(収容定員増加)及びカリキュラム改編の構想概要は予定であり、変更する場合があります。

資料 15

スポーツ科学科で取得できる資格一覧

1. 授業を受けて所定の単位を修得すれば得ることができる資格

資格名称	認定・公認団体名
中学校教諭一種免許状『保健体育』	各都道府県教育委員会
高等学校教諭一種免許状『保健体育』	各都道府県教育委員会
初級パラスポーツ指導員	公益財団法人日本パラスポーツ協会 (JPSA)
JPSUスポーツトレーナー (JPSU-ST)	一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会 (JPSU)
スポーツ指導者 共通科目Ⅲ 免除	公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)
コーチングアシスタント	公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)

2. 授業を受けて所定の単位を修得し、且つその中で実施される資格試験に合格すれば得ることができる資格

資格名称	認定・公認団体名
キャンプインストラクター	公益社団法人日本キャンプ協会
スクーバ Cカード (オープンウォーター)	セントラルスポーツダイビング協会 (DACS)
スキーバッチテスト	公益財団法人 全日本スキー連盟
スノーボードバッチテスト	公益財団法人 全日本スキー連盟
水上バイク (特殊小型船舶操縦士免許)	国土交通省

3. 授業を受けて所定の単位を修得すれば受験資格又は受験科目の免除を得ることができ、その後団体等の実施する試験に合格すれば得ることができる資格

資格名称	認定・公認団体名
健康運動指導士	公益財団法人健康・体力づくり事業財団
トレーニング指導者 (JATI-ATI)	特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会 (JATI)
CSCS (認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト)	NATIONAL STRENGTH AND CONDITIONING ASSOCIATION (NSCA)
NSCA-CPT (NSCA認定パーソナルトレーナー)	NATIONAL STRENGTH AND CONDITIONING ASSOCIATION (NSCA)
アシスタントマネジャー	公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)
ジュニアスポーツ指導員	公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)

教育課程の変更状況

【令和4年4月】

【定員増・教育課程変更後】

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
基礎教育科目	英語A	1			→	英語A	1			新設	
	英語B	1				英語B	1				
	フレッシュマンセミナーA	2				フレッシュマンセミナーA	2				
	フレッシュマンセミナーB	2				フレッシュマンセミナーB	2				
	情報科学	2				スポーツ情報科学A	2				
	応用情報科学	2				スポーツ情報科学B	2				
	スポーツ基礎教養	2				スポーツ基礎教養	2				
	スポーツキャリアセミナーA	2				スポーツキャリアセミナーA	2				
	スポーツキャリアセミナーB	2				スポーツキャリアセミナーB	2				
	コミュニケーション英語A	1				コミュニケーション英語A		1			
	コミュニケーション英語B	1				コミュニケーション英語B		1			
	中国語A		1			中国語A		1			
	中国語B		1			中国語B		1			
	韓国語A		1			韓国語A		1			
韓国語B		1		韓国語B		1					
フランス語A		1		フランス語A		1					
フランス語B		1		フランス語B		1					
ドイツ語A		1		ドイツ語A		1					
ドイツ語B		1		ドイツ語B		1					
専門教育科目	スポーツ科学概論	2			スポーツ科学概論	2			→	新設	
	解剖学	2			解剖学	2					
	生理学	2			生理学	2					
	スポーツコーチング論	2			スポーツコーチング概論	2					
	水泳(基礎)	1			ストレングス&コンディショニングベーシック		2				
	陸上競技(基礎)	1			スポーツ実技A(水泳)		1				
	器械運動(基礎)	1			スポーツ実技A(陸上競技)		1				
	バスケットボール(基礎)		1		スポーツ実技A(器械運動)		1				
	バレーボール(基礎)		1		スポーツ実技B(バスケットボール)		1				
	サッカー(基礎)		1		スポーツ実技B(バレーボール)		1				
	ラグビー(基礎)		1		スポーツ実技B(サッカー)		1				
	ハンドボール(基礎)		1		スポーツ実技B(ラグビー)		1				
	ソフトボール(基礎)		1		スポーツ実技B(ハンドボール)		1				
	バドミントン(基礎)		1		スポーツ実技B(ソフトボール)		1				
	テニス(基礎)		1		スポーツ実技B(バドミントン)		1				
	剣道(基礎)		1		スポーツ実技B(テニス)		1				
	柔道(基礎)		1		スポーツ実技C(剣道)		1				
	ダンス(基礎)		1		スポーツ実技C(柔道)		1				
	マリン	2			スポーツ実技C(ダンス)		1				
	キャンプ	2			マリン		2				
	カヌー	2			キャンプ		2				
	ゴルフ	2			カヌー		2				
	スキー	2			ゴルフ		2				
	スケート	2			スキー		2				
	スポーツ原理	2			スケート		2				
	健康科学概論	2			スポーツ原理		2				
	レクリエーション概論	2			健康科学概論		2				
	スポーツ測定法	2			レクリエーション概論		2				
	生涯スポーツ論	2			スポーツ測定法		2				
	体育・スポーツ史	2			生涯スポーツ論		2				
	スポーツ心理学	2			健康と経済		2				
	スポーツバイオメカニクス	2			体育・スポーツ史		2				
	スポーツ生理学	2			スポーツ心理学		2				
	トレーニング生理学	2			スポーツバイオメカニクス		2				
スポーツ社会学	2			スポーツ生理学		2					
スポーツ運動学	2			トレーニング生理学		2					
スポーツ法学	2			スポーツ社会学		2					
				スポーツ運動学		2					
				スポーツ法学		2					

教育課程の変更状況

【令和4年4月】

【定員増・教育課程変更後】

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容			
		必修	選択	自由				必修	選択	自由				
専門 教育 科目	スポーツ外傷・障害学		2		→	スポーツ外傷・障害学		2		→	スポーツ外傷・障害学		2	
	アスレチックコンディショニング論		2	廃止		リコンディショニング論		2			新設			
	スポーツ医学		2			スポーツ医学		2						
	スポーツ栄養学		2			スポーツ栄養学		2						
	安全教育及び救急法		2			安全教育及び救急法		2						
	スポーツ経営学		2			スポーツ経営学		2						
	衛生学・公衆衛生学		2			衛生学・公衆衛生学		2						
	発育発達論		2			発育発達論		2						
	野外活動論		2			野外活動論		2						
	予防医学概論		2			予防医学概論		2						
	スポーツ文化論		2			スポーツ文化論		2						
	スポーツ政策論		2			スポーツ政策論		2						
	スポーツ指導のリスクマネジメント		2			スポーツ指導のリスクマネジメント		2						
	スポーツマネジメント		2			スポーツマネジメント		2						
	英語でスポーツ科学		2			英語でスポーツ科学		2						
	スポーツ産業論		2	廃止		スポーツビジネス		2			新設			
	アスレチックトレーニング論		2	廃止		ストレンクス&コンディショニング論		2			新設			
						スポーツとジェンダー		2			新設			
						アダプテッドスポーツ論		2			新設			
						武道論		2			新設			
						スポーツコーチング学		2			新設			
						ヘルスプロモーション論		2			新設			
	体力トレーニング論		2	廃止		体力科学		2			新設			
						トップアスリート論		2			新設			
	スポーツ統計学		2	廃止		スポーツデータサイエンス		2			新設			
	教科教育法(保健Ⅰ)		2			教科教育法(保健Ⅰ)		2						
	教科教育法(保健Ⅱ)		2			教科教育法(保健Ⅱ)		2						
	教科教育法(体育Ⅰ)		2			教科教育法(体育Ⅰ)		2						
	教科教育法(体育Ⅱ)		2			教科教育法(体育Ⅱ)		2						
	スポーツ・健康科学特殊講義		2	廃止		応用スポーツデータサイエンス		2			新設			
	生理学実験演習		2	廃止										
						体力科学演習		2			新設			
	スポーツ生理学演習		2			スポーツ生理学演習		2						
	スポーツバイオメカニクス演習		2			スポーツバイオメカニクス演習		2						
	スポーツ心理学演習		2			スポーツ心理学演習		2						
スポーツ社会学演習		2		スポーツ社会学演習		2								
				スポーツ運動学演習		2		新設						
				ヘルスプロモーション演習		2		新設						
				ランニングサイエンス演習(有酸素系)		2		新設						
				ランニングサイエンス演習(スプリント)		2		新設						
				サッカーサイエンス演習		2		新設						
				アウトドアスキル演習		2		新設						
スポーツパフォーマンス分析演習		2		スポーツパフォーマンス分析演習		2								
アスレチックコンディショニング演習		2	廃止	ストレンクス&コンディショニング演習		2		新設						
				リコンディショニング演習		2		新設						
				アスレチック・トリートメント演習		2		新設						
スポーツボランティア演習		2	廃止	スポーツボランティア・インターンシップ演習		2		新設						
水泳(発展)	1		廃止											
コーチング水泳		2		コーチング水泳		2		統合						
コーチング陸上競技(長距離)		2		コーチング陸上競技(長距離)		2								
陸上競技(発展)	1		廃止											
コーチング陸上競技(短距離)		2		コーチング陸上競技(短距離)		2		統合						
器械運動(発展)	1		廃止											
コーチング体操競技		2		コーチング体操競技		2		統合						
テニス(発展)	1		廃止											
コーチングテニス		2		コーチングテニス		2		統合						
バドミントン(発展)	1		廃止	コーチングバドミントン		2		新設						

教育課程の変更状況

【令和4年4月】

【定員増・教育課程変更後】

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
専門教育科目	ソフトボール(発展)		1		廃止	専門教育科目	コーチングソフトボール・野球		2		統合
	コーチングソフトボール・野球		2				コーチングラグビー		2		統合
	ラグビー(発展)		1		廃止		コーチングバレーボール		2		統合
	コーチングラグビー		2				コーチングハンドボール		2		統合
	バレーボール(発展)		1		廃止		コーチングサッカー		2		統合
	コーチングバレーボール		2				コーチングバスケットボール		2		統合
	ハンドボール(発展)		1		廃止		コーチング剣道		2		統合
	コーチングハンドボール		2				コーチング柔道		2		統合
	サッカー(発展)		1		廃止		コーチングダンス		2		統合
	コーチングサッカー		2				野外活動演習サマー		2		
	バスケットボール(発展)		1		廃止		野外活動演習ウィンター		2		
	コーチングバスケットボール		2				ティーチング保健体育A		2		
	剣道(発展)		1		廃止		ティーチング保健体育B		2		
	コーチング剣道		2				ゼミナール		10		廃止
	柔道(発展)		1		廃止		生化学A		2		廃止
	コーチング柔道		2				生化学B		2		廃止
	ダンス(発展)		1		廃止		血液学		2		
	コーチングダンス		2				免疫学		2		
	野外活動演習サマー		1				化学		2		廃止
	野外活動演習ウィンター		1				分子生物学		2		
	ティーチング保健体育A		2				環境衛生学		2		
	ティーチング保健体育B		2				健康情報学A		2		
	スポーツフィールドワークI						健康情報学B		2		
	スポーツフィールドワークII						メディカル英語		2		
	スポーツフィールドワークIII						健康科学演習A		2		
	スポーツフィールドワークIV						健康科学演習B		2		
	ゼミナール(3年用)						保健医療福祉概論		2		
	ゼミナール(4年用)						臨床医学総論		2		
	生化学										
	血液学										
免疫学											
病理学									新設		
栄養学(基礎と応用)									新設		
基礎化学A									新設		
解剖生理学A									新設		
分子生物学											
病態学概論									新設		
環境衛生学											
全学共通科目	A系					全学共通科目	A系				
	B系						B系				
	C系						C系				
	D系	総合体育A	1				D系	総合体育A	1		
	課題科目	総合体育B	1				課題科目	総合体育B	1		

教育課程の変更状況

【令和4年4月】

【定員増・教育課程変更後】

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
資格科目	健康運動指導士			-	運動プログラムの管理 運動負荷試験 救急処置法 健康運動指導士実技実習 健康産業施設等現場実習 健康運動指導士総合演習	資格科目	健康運動指導士			2	統合
	健康産業施設等現場実習			-			救急処置法			2	
	健康運動指導士実技実習			-			健康運動指導演習			2	新設
	健康産業施設等現場実習			-			健康産業施設等現場実習			2	
ナトシ系 資格	障がい者スポーツ演習			-	障がい者スポーツ演習 障がい者福祉論	資格科目	ナトシ系 資格			2	統合
	障がい者福祉論			-			障がい者福祉論			2	新設
教員養成	学校保健				旧専門科目	教員養成	ナトシ系 資格			2	新設
		2					2	新設			
							教員養成			2	資格科目へ変更

DAITO VISION 2023

大学案内

About Daito

ごあいさつ

大東文化について

活躍と未来への取り組み

DAITO VISION 2023

大東文化とピアトリクス・ポター

エコキャンパス

パブリシティ

情報公開

コンプライアンス等の取り組み

自己点検・評価/大学FD活動

組織・付設校

青桐会・同窓会

寄附をお考えの方

大東文化大学は、1923年の創立以来、建学の精神に基づき、またその時代ごとの要請に応じ、教育研究活動に取り組んで、社会とつながってきました。今、時代は大きく変化し、大学をはじめとする学校にも変革が求められています。

そこで本学は、これからも持続的に発展していくために、2023年に迎える百周年への連続性を視野に入れた計画を策定することを決め、将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定しました。この計画は本学の教育研究および経営の両面における将来像を構想したものです。

DAITO VISION 2023では、建学の精神「東西文化の融合」を基に、「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を百周年に向けた新たな大学の理念に据えました。

大東文化大学は、この新理念の下、さまざまな文化的背景をもつ人々が相互理解を深め新たな価値を不断に育む開かれた「場」となることを地域社会との協力のもとで目指していくことを宣言します。

I 建学の精神と理念

II 大東文化大学の目的と社会的使命 — どのような学生を育てるか

III 創立百周年に向けた6つのヴィジョン

IV ヴィジョンを実現するための具体的施策

I 建学の精神と理念

大東文化大学は、今年（2013年）創立90周年を迎えた。創立百周年に向けて大学の歴史を検証しつつ、来るべき2023年の大学の将来像を明らかにしていく。

本学は、当時の帝国議会において決議された建議によって1923年に設立された。建学にあたっては、「漢学（特に儒教）を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づく道義の確立を期し、更に東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目ざす」（1985年『大東文化大学の建学の精神』学園長期教育研究計画策定委員会報告書）ことが掲げられた。

建学の精神は、社会の進展と時代の変化の中で検証されてきた。『中期経営計画「CROSSING」（2009-2023）』（2008年理事会）では、「東西文化の融合」という建学の精神は、「多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」と読み替えられた。これは、1990年代に始まり、21世紀に入って加速するグローバリゼーションの現実と課題に対応する新しい理念として打ち出されたものである。

しかし、「東洋の文化」の研究から出発した本学の歴史においては、アジアに軸足を置いた研究と教育に最も蓄積がある。さらに現在は、欧米を含む世界に広げ、国際的な視野に立った研究と教育を特色としている。そのことから、「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を大学の理念として掲げる。

II 大東文化大学の目的と社会的使命 — どのような学生を育てるか

グローバリゼーションの急速な進展によって世界は相互に関連するひとつのシステムとなり、その影響はあらゆる国、地域の人々の生活に及んでいる。他方、文明・文化の衝突、環境、貧困と福祉問題などが人類的な課題として浮上している。大学は、「学術の中心」（学校教育法第83条）として、基礎的研究と教育を通じて、社会が要請する新しい課題の解決に貢献することが求められている。

本学は、アジアを中心として国際的な文化研究と異文化交流を行ってきた歴史があり、学術・教育の創造を通じて文化を世界に発信し、国際的に貢献していくことができる強みを持っている。

わが国の大学政策も「グローバル人材の育成」を掲げ、大学自体が「国際標準」化することを求めている。他方、COC (Center Of Community)構想に見るように、大学が地域再生の中核としての役割を果たすことを求めている。グローバリゼーションが進むなかで、それと関わりながら、地域が経済的に自立し、独自の地域文化を発展させることが必要になっている。またそこで働き働く人間は、「地域・日本・世界を貫く教養」が必要になる。その点での大学の役割が求められているのである。

本学は、学則第1条において、「建学の精神に基づき、学問の理論と応用を教授・研究して真理と正義を愛する自主的精神に充ちた良識ある人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的とする」と謳っている。これは、戦後教育法と新制大学の理念を踏まえた教育の目的である。

本学が教育の目的とする能力と人格（大東学士力）は、以下のようなものである。

1. 地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を持ち、諸問題の解決に貢献できる。
2. 豊かな人間的教養と高度な専門的知識・技術を持ち、現代社会の諸問題にチャレンジできる。
3. 修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている。
4. 自分の意見を持ち、それを適切に表現し、他者と協力・共同する能力を持っている。
5. 大東人として、また人間としての誇りと自信、社会の担い手としての強い使命感・モラルを持ち、行動できる。

III 創立百周年に向けた6つのヴィジョン

大東文化大学は創立百周年に向けた施策を6つのヴィジョンとして示し、大学の理念「アジアから世界へー多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を実現します。

- 1 主体的な学びにより、大東学士力※を育てる「教育の大東」を実現する
- 2 自主・参加・共同による学生生活を支援する
- 3 「開かれた知の共同体」をつくり、大東文化らしい高度な研究を創造する
- 4 国際的な学術・教育のネットワークの拠点となり、世界に向けて発信する
- 5 「学術の中心」として地域と連携・共同し、社会の発展に貢献する
- 6 人権と自由を尊重し、公正な大学運営を行い、社会に信頼される組織となる

IV ヴィジョンを実現するための具体的施策

1 主体的な学びにより、大東学士力を育てる「教育の大東」を実現する

2 自主・参加・共同による学生生活を支援する

3 「開かれた知の共同体」をつくり、大東文化らしい高度な研究を創造する

4 国際的な学術・教育のネットワークの拠点となり、世界に向けて発信する

5 「学術の中心」として地域と連携・共同し、社会の発展に貢献する

6 人権と自由を尊重し、公正な大学運営を行い、社会に信頼される組織となる

前の画面に戻る

Who are you?



お問い合わせ | サイトポリシー | プライバシーポリシー | ソーシャルコンピューティングガイドライン

教員公募 | 職員公募 | 教員情報検索 | 大東文化大学機関リポジトリ | コンプライアンスの取り組み

大東文化大学 東京板橋キャンパス 〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1
大東文化大学 埼玉東松山キャンパス 〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

対象者別メニュー

大学案内	入試情報	学部・大学院	学生生活	国際交流	キャリア・就職支援
ごあいさつ	入試トビックス	文学部	学生支援センターのご案内	国際交流センターからのお知らせ	キャリアセンターからのお知らせ
大東文化について	受験生サイトCR OSSING	経済学部	学年暦（総合カレンダー）	国際交流センターのご案内	キャリアセンターのご案内
活躍と未来への取り組み	大学院入試	外国語学部	授業・試験について	留学・研修制度	就職支援
情報公開	外国人留学生特別選抜試験	法学部	生活面サポート	海外留学希望者への支援	就職実績
コンプライアンス等の取り組み	社会人特別選抜試験	国際関係学部	施設の利用	入試情報	就職行事カレンダー
自己点検・評価/大学FD活動	編入学試験	経営学部	困った時/ヘルプが欲しい時	外国人留学生への支援	ダブルスクール講座
組織・付設校	科目等履修生	スポーツ・健康科学部	障がい学生支援	語学検定試験受験料助成制度	教員・公務員をめざす方へ
青桐会・同窓会	研究生制度	社会学部	証明書の発行	協定校	卒業生の声
寄附をお考えの方	教職特別課程	全学教育	学費・奨学金制度	海外拠点	内定者の声
	障がいのある方へ	教職課程・免許取得	課外活動(クラブ・サークル)	海外同窓会	求人のお願い
		大学院	コンテスト一覧	海外教員派遣	卒業生の方へのサポート
		教育・研究	スクールバス時刻表	各種留学データ	教職課程センター
		図書館	災害時の対応について	国際交流センター開講科目	
		研究所案内	学生調査		
		研究推進	お問い合わせ		
		地域連携			
		リカレント教育			



DP1

知識・理解・技能



DP2

思考・判断・表現



DP3

関心・意欲・態度



DP4

建学の精神・理念・多様性

●必修科目
★専門教育科目



4年

ゼミナール(選択)

3年

テニス(発展)
ソフトボール(発展)
ラグビー(発展)
バレーボール(発展)
ハンドボール(発展)
サッカー(発展)
バスケットボール(発展)
バドミントン(発展)
柔道(発展)
剣道(発展)
ダンス(発展)

コーチング水泳
コーチング陸上競技(短距離)
コーチング陸上競技(長距離)
コーチング体操競技
コーチングテニス
コーチングソフトボール・野球
コーチングラグビー
コーチングバレーボール
コーチングハンドボール
コーチングサッカー
コーチングバスケットボール
コーチング柔道
コーチング剣道
コーチングダンス
ティーチング保健体育 A
ティーチング保健体育 B

野外活動演習
サマー
野外活動演習
ウィンター

発育発達論
学校保健
衛生学・公衆衛生学
野外活動論
スポーツ政策論

スポーツ指導の
リスクマネジメント
スポーツ統計学
スポーツ産業論
スポーツマネジメント
スポーツ文化論

生理学実験演習
スポーツ生理学演習
スポーツバイオメカニクス演習
アスレチックコンディショニング演習
スポーツパフォーマンス分析演習
スポーツ心理学演習
スポーツ社会学演習
スポーツボランティア演習

★演習系

保健医療福祉概論
臨床医学総論
英語でスポーツ科学

2年

テニス(基礎)
ソフトボール(基礎)
ラグビー(基礎)
バレーボール(基礎)
ハンドボール(基礎)
サッカー(基礎)

バスケットボール(基礎)
バドミントン(基礎)
柔道(基礎)
剣道(基礎)
ダンス(基礎)

マリン
ゴルフ
キャンプ
カヌー
スキー
スケート

スポーツ生理学
トレーニング生理学
スポーツ測定法
スポーツ栄養学
スポーツ心理学
体育・スポーツ史
スポーツ社会学
スポーツ法学
レクリエーション概論

スポーツ医学
予防医学概論
安全教育及び救急法
アスレチックコンディショニング論
アスレチックトレーニング論
体カトレーニング論
スポーツ外傷・障害学
スポーツ経営学
生涯スポーツ論

●スポーツキャリア
セミナー A・B
●コミュニケーション
英語 A・B

分子生物学
健康情報学 A・B
メディカル英語

★野外系

1年

●水泳(基礎)
●陸上競技(基礎)
●器械体操(基礎)

●水泳(発展)
●陸上競技(発展)
●器械体操(発展)

●生理学
●解剖学
●スポーツ
コーチング論

●スポーツ科学概論
●スポーツ運動学
●スポーツ原理
●健康科学概論

●フレッシュマン
セミナー A・B
●スポーツ基礎教養
●情報科学
●応用情報科学

●英語 A・B
●中国語 A・B
●フランス語 A・B
●ロシア語 A・B
●ドイツ語 A・B

化学
生化学 A・B
血液学
免疫学
環境衛生学
スポーツ・健康科学特殊講義

★実技系

★講義系

基礎教育科目

自由科目

資格科目

教職系(保健体育)

4年
教職実践演習(中高)

2年
教科教育法(保健Ⅰ)
教科教育法(保健Ⅱ)
教科教育法(体育Ⅰ)
教科教育法(体育Ⅱ)

健康運動指導士

4年
健康運動指導士総合演習

3年
救急処置法
健康運動指導士実技演習
健康産業施設等現場実習

2年
運動プログラムの管理
運動負荷試験

初級障がいスポーツ
指導員

3年
障がい者スポーツ演習
障がい者福祉論

全学共通科目 ●総合体育 A・B ほか

資料 19

				ディプロマ・ポリシー							
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
(1) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2) スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。				(1) スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。 (2) スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。				(1) スポーツ科学に関する課題を探索し、主体的・継続的に学修することができる。 (2) 社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行動持続力をもって対処することができる。		(1) 多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。 (2) 本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
1	英語 A	半期	講義	○	○					○	○
2	英語 B	半期	講義	○	○					○	○
3	コミュニケーション英語 A	半期	講義	○	○					○	○
4	コミュニケーション英語 B	半期	講義	○	○					○	○
5	情報科学（スポーツ科学科用）	半期	講義	○	○				○		
6	スポーツ科学概論	半期	講義	○							
7	解剖学	半期	講義	○							
8	生理学	半期	講義	○							
9	スポーツ運動学	半期	講義	○							
10	スポーツバイオメカニクス	半期	講義	○							
11	スポーツ測定法	半期	講義	○							
12	スポーツ栄養学	半期	講義	○							
13	スポーツ心理学	半期	講義	○							
14	発育発達論	半期	講義	○							
15	体育・スポーツ史	半期	講義	○							
16	スポーツ社会学	半期	講義	○							
17	スポーツ法学	半期	講義	○							
18	レクリエーション概論	半期	講義	○							
19	学校保健	半期	講義	○							
20	スポーツ医学	半期	講義	○							
21	スポーツ外傷・障害学	半期	講義	○							
22	スポーツ経営学	半期	講義	○							
23	野外活動論	半期	講義	○							
24	生涯スポーツ論	半期	講義	○							
25	スポーツ政策論	半期	講義	○							
26	スポーツ指導のリスクマネジメント	半期	講義	○							
27	フレッシュマンセミナー A	半期	演習	○					○	○	○
28	フレッシュマンセミナー B	半期	演習	○					○	○	○
29	スポーツキャリアセミナー A	半期	演習	○	○	○			○	○	
30	スポーツキャリアセミナー B	半期	演習	○	○	○			○	○	
31	応用情報科学	半期	演習	○	○				○		
32	スポーツ原理	半期	講義	○							
33	安全教育及び救急法	半期	講義	○	○						
34	体力トレーニング論	半期	講義	○							
35	衛生学・公衆衛生学	半期	講義	○							

カリキュラムマップ：スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2) スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。		(1) スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。 (2) スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。		(1) スポーツ科学に関する課題を探究し、主体的・継続的に学修することができる。 (2) 社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行動持続力をもって対処することができる。		(1) 多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。 (2) 本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
36	マリン	半期	実習	○	○			○			
37	ゴルフ	半期	実習	○	○			○			
38	キャンプ	半期	実習	○	○			○			
39	カヌー	半期	実習	○	○			○			
40	スキー	半期	実習	○	○			○			
41	スケート	半期	実習	○	○			○			
42	野外活動演習 サマー	半期	演習	○	○			○			
43	野外活動演習 ウィンター	半期	演習	○	○			○			
44	スポーツ基礎教養	半期	演習	○	○	○				○	
45	スポーツコーチング論	半期	講義	○							
46	水泳（基礎）	半期	演習	○	○			○			
47	水泳（発展）	半期	演習	○	○			○			
48	陸上競技（基礎）	半期	演習	○	○			○			
49	陸上競技（発展）	半期	演習	○	○			○			
50	器械運動（基礎）	半期	演習	○	○			○			
51	器械運動（発展）	半期	演習	○	○			○			
52	健康科学概論	半期	講義	○							
53	スポーツ生理学	半期	講義	○							
54	トレーニング生理学	半期	講義	○							
55	アスレチックコンディショニング論	半期	講義	○							
56	アスレチックトレーニング論	半期	講義	○							
57	スポーツ統計学	半期	講義	○	○						
58	スポーツ産業論	半期	講義	○							
59	スポーツマネジメント	半期	講義	○							
60	スポーツ文化論	半期	講義	○							
61	テニス（基礎）	半期	演習	○	○			○			
62	テニス（発展）	半期	演習	○	○			○			
63	ソフトボール（基礎）	半期	演習	○	○			○			
64	ソフトボール（発展）	半期	演習	○	○			○			
65	ラグビー（基礎）	半期	演習	○	○			○			
66	ラグビー（発展）	半期	演習	○	○			○			
67	バレーボール（基礎）	半期	演習	○	○			○			
68	バレーボール（発展）	半期	演習	○	○			○			
69	ハンドボール（基礎）	半期	演習	○	○			○			
70	ハンドボール（発展）	半期	演習	○	○			○			

カリキュラムマップ：スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2) スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。		(1) スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。 (2) スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。		(1) スポーツ科学に関する課題を探究し、主体的・継続的に学修することができる。 (2) 社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行動持続力をもって対処することができる。		(1) 多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。 (2) 本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
71	サッカー（基礎）	半期	演習	○	○			○			
72	サッカー（発展）	半期	演習	○	○			○			
73	バスケットボール（基礎）	半期	演習	○	○			○			
74	バスケットボール（発展）	半期	演習	○	○			○			
75	バドミントン（基礎）	半期	演習	○	○			○			
76	バドミントン（発展）	半期	演習	○	○			○			
77	剣道（基礎）	半期	演習	○	○			○			
78	剣道（発展）	半期	演習	○	○			○			
79	柔道（基礎）	半期	演習	○	○			○			
80	柔道（発展）	半期	演習	○	○			○			
81	ダンス（基礎）	半期	演習	○	○			○			
82	ダンス（発展）	半期	演習	○	○			○			
83	コーチング水泳	半期	演習			○	○	○	○		
84	コーチング陸上競技（長距離）	半期	演習			○	○	○	○		
85	コーチング陸上競技（短距離）	半期	演習			○	○	○	○		
86	コーチング体操競技	半期	演習			○	○	○	○		
87	コーチングテニス	半期	演習			○	○	○	○		
88	コーチングソフトボール・野球	半期	演習			○	○	○	○		
89	コーチングラグビー	半期	演習			○	○	○	○		
90	コーチングバレーボール	半期	演習			○	○	○	○		
91	コーチングハンドボール	半期	演習			○	○	○	○		
92	コーチングサッカー	半期	演習			○	○	○	○		
93	コーチングバスケットボール	半期	演習			○	○	○	○		
94	コーチング剣道	半期	演習			○	○	○	○		
95	コーチング柔道	半期	演習			○	○	○	○		
96	コーチングダンス	半期	演習			○	○	○	○		
97	ティーチング保健体育 A	半期	演習		○	○	○	○	○		
98	ティーチング保健体育 B	半期	演習		○	○	○	○	○		
99	アスレチックコンディショニング演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
100	スポーツパフォーマンス分析演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
101	生理学実験演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
102	スポーツ生理学演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
103	スポーツバイオメカニクス演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
104	スポーツ心理学演習	半期	演習		○	○	○	○	○		
105	スポーツ社会学演習	半期	演習		○	○	○	○	○		

カリキュラムマップ：スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有し、スポーツ科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2) スポーツ科学に関する実践的知識・技能を修得し理解している。		(1) スポーツ現場のさまざまな課題に対して、スポーツ科学に関連する研究方法を用いて考察することができる。 (2) スポーツをはじめさまざまな場面において、自ら判断して科学的・体系的に指導することができる。		(1) スポーツ科学に関する課題を探索し、主体的・継続的に学修することができる。 (2) 社会の一員として自分の役割を自覚し、与えられた課題に対して挑戦力、問題解決力、及び行動持続力をもって対処することができる。		(1) 多様な社会のニーズを理解し、人間がもつ様々な能力を理解し、尊重することができる。 (2) 本学の理念（多文化共生）に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
106	スポーツボランティア演習	半期	演習		○	○	○	○	○	○	○
107	ゼミナール（3年用）	連年	演習			○		○	○		
108	ゼミナール（4年用）	連年	演習			○		○	○		
109	英語でスポーツ科学	半期	演習		○					○	○
110	教科教育法（保健Ⅰ）	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○	
111	教科教育法（保健Ⅱ）	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○	
112	教科教育法（体育Ⅰ）	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○	
113	教科教育法（体育Ⅱ）	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○	
114	スポーツ・健康科学特殊講義	半期	講義	○							
115	健康産業施設等現場実習	半期	実習	○	○	○		○	○		
116	運動プログラムの管理	半期	講義	○	○			○	○		
117	運動負荷試験	半期	演習	○	○	○					
118	健康運動指導士実技実習（トレーニング・エアロビクス）	半期	実習	○	○			○	○		
119	健康運動指導士総合演習	半期	演習		○	○	○	○			
120	障がい者スポーツ演習	半期	演習		○	○	○	○		○	○
121	障がい者福祉論	半期	講義	○	○	○	○	○		○	○
122	化学	半期	講義	○							
123	生化学A	半期	講義	○							
124	生化学B	半期	講義	○							
125	血液学	半期	講義	○							
126	免疫学	半期	講義	○							
127	環境衛生学	半期	講義	○							
128	分子生物学	半期	講義	○							
129	健康情報学A（医療情報学）	半期	講義	○	○				○		
130	健康情報学B（医療統計学）	半期	講義	○	○				○		
131	メディカル英語	半期	講義	○	○					○	○
132	健康科学演習A	半期	講義	○							
133	健康科学演習B	半期	講義	○							
134	保健医療福祉概論	半期	講義	○							
135	臨床医学総論	半期	講義	○							

教育課程等の概要														
(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	スポーツ運動学	2前		2		○			1					
	スポーツ法学	2後		2		○			1					
	スポーツ外傷・障害学	2後		2		○			1					
	リコンディショニング論	2前		2		○					1			
	スポーツ医学	2前		2		○			1					
	スポーツ栄養学	2後		2		○								兼1
	安全教育及び救急法	2前・後		2		○			1					
	スポーツ経営学	2前		2		○								兼1
	衛生学・公衆衛生学	2後		2		○								兼1
	発育発達論	2前		2		○								兼1
	野外活動論	2前		2		○			1					
	予防医学概論	2後		2		○								兼1
	スポーツ文化論	2前		2		○				1				
	スポーツ政策論	2前		2		○				1				
	スポーツ指導のリスクマネジメント	2前		2		○			1					
	スポーツマネジメント	2後		2		○								兼1
	英語でスポーツ科学	2後		2		○			1					
	スポーツビジネス	2前		2		○								兼1
	ストレングス&コンディショニング論	2前・後		2		○				1				
	スポーツとジェンダー	2後		2		○				1				
	アダプテッドスポーツ論	2後		2		○				1				
	武道論	2前		2		○			1					
	スポーツコーチング学	2後		2		○				1				
	ヘルスプロモーション論	2後		2		○				1				
	体力科学	2後		2		○				1				
	トップアスリート論	2前		2		○				2				共同
	スポーツデータサイエンス	2前・後		2		○					1			
	教科教育法（保健Ⅰ）	2前		2		○			1					
	教科教育法（保健Ⅱ）	2後		2		○			2					
	教科教育法（体育Ⅰ）	2前		2		○			2					
	教科教育法（体育Ⅱ）	2後		2		○			2					
	応用スポーツデータサイエンス	3前		2		○					1			
	体力科学演習	3後		2			○			1				
	スポーツ生理学演習	3前		2			○			1				
	スポーツバイオメカニクス演習	3後		2			○			1				
	スポーツ心理学演習	3後		2			○			1				
	スポーツ社会学演習	3前		2			○			1				
	スポーツ運動学演習	3前		2			○			1				
	ヘルスプロモーション演習	3前		2			○				1			
	ランニングサイエンス演習（有酸素系）	3後		2			○			1				
	ランニングサイエンス演習（スプリント）	3前		2			○				1			
	サッカーサイエンス演習	3後		2			○			2				共同
	アウトドアスキル演習	3後		2			○			1				
	スポーツパフォーマンス分析演習	3後		2			○				1			
	ストレングス&コンディショニング演習	3前・後		2			○			1				
リコンディショニング演習	3前		2			○				1				
アスレチック・トリートメント演習	3後		2			○				1				
スポーツボランティア・インターンシップ演習	3後		2			○			2	1				
コーチング水泳	3前		2			○				1				
コーチング陸上競技（長距離）	3後		2			○			1					
コーチング陸上競技（短距離）	3前		2			○				1				
コーチング体操競技	3前		2			○				1				
コーチングテニス	3後		2			○			1					
コーチングバドミントン	3前		2			○				1			兼1	
コーチングソフトボール・野球	3前		2			○			1					
コーチングラグビー	3後		2			○				1			兼1	
コーチングバレーボール	3前		2			○			1					
コーチングハンドボール	3後		2			○				1			兼1	

教育課程等の概要														
(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	コーチングサッカー	3後		2			○		1					
	コーチングバスケットボール	3前		2			○				1			兼1
	コーチング剣道	3後		2			○							兼1
	コーチング柔道	3前		2			○							兼1
	コーチングダンス	3後		2			○				1			兼1
	野外活動演習サマー	3前		2			○		1					
	野外活動演習ウィンター	3後		2			○		1					
	ティーチング保健体育A	3前		2			○		3					兼1
	ティーチング保健体育B	3後		2			○		3					兼1
	スポーツフィールドワークI	2前		2			○			1				
	スポーツフィールドワークII	2後		2			○			1				
	スポーツフィールドワークIII	3前		2			○			1				
	スポーツフィールドワークIV	3後		2			○			1				
	ゼミナール（3年用）	3通		4			○		11	9	2			兼1
	ゼミナール（4年用）	4通		6			○		11	9	2			兼1
	生化学	1		2			○							兼1
	血液学	1		2			○							兼1
	免疫学	1		2			○							兼1
	病理学	1		2			○							兼1
	栄養学（基礎と応用）	1		2			○							兼1
基礎化学A	1		2			○							兼1	
解剖生理学A	1		2			○							兼1	
分子生物学	2		2			○							兼1	
病態学概論	2		2			○							兼1	
環境衛生学	2		2			○							兼1	
小計（120科目）	—		8	224	0		—		12	9	2	0	0	兼24
全学共通科目	1. 基本科目 A系 人間と文化（人文系）	哲学A	1・2前・後		2		○							兼1
		哲学B	1・2前・後		2		○							兼1
		文学A	1・2前・後		2		○							兼2
		文学B	1・2前・後		2		○							兼2
		論理学A	1・2前・後		2		○							兼1
		論理学B	1・2前・後		2		○							兼1
		倫理学A	1・2前・後		2		○							兼2
		倫理学B	1・2前・後		2		○							兼2
		宗教学A	1・2前・後		2		○							兼1
		宗教学B	1・2前・後		2		○							兼1
		歴史学A	1・2前・後		2		○							兼2
		歴史学B	1・2前・後		2		○							兼2
		考古学A	1・2前・後		2		○							兼1
		考古学B	1・2前・後		2		○							兼1
		文化史A	1・2前・後		2		○							兼1
		文化史B	1・2前・後		2		○							兼1
		芸術学A	1・2前・後		2		○							兼4
		芸術学B	1・2前・後		2		○							兼4
		地理学A	1・2前・後		2		○							兼2
		地理学B	1・2前・後		2		○							兼2
言語学A	1・2前・後		2		○							兼2		
言語学B	1・2前・後		2		○							兼2		

教育課程等の概要															
(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	B系 社会と生活（社会系）	法学A	1・2前・後	2		○									兼2
		法学B	1・2前・後	2		○									兼2
		社会学A	1・2前・後	2		○									兼2
		社会学B	1・2前・後	2		○									兼2
		政治学A	1・2前・後	2		○									兼2
		政治学B	1・2前・後	2		○									兼2
		経済学A	1・2前・後	2		○									兼1
		経済学B	1・2前・後	2		○									兼1
		心理学A	1・2前・後	2		○									兼2
		心理学B	1・2前・後	2		○									兼2
		教育学A	1・2前・後	2		○									兼2
		教育学B	1・2前・後	2		○									兼2
		民俗学A	1・2前・後	2		○									兼1
		民俗学B	1・2前・後	2		○									兼1
		文化人類学A	1・2前・後	2		○									兼1
	文化人類学B	1・2前・後	2		○									兼1	
	C系 自然と環境（自然系）	数学A	1・2前・後	2		○									兼1
		数学B	1・2前・後	2		○									兼1
		地学A	1・2前・後	2		○									兼1
		地学B	1・2前・後	2		○									兼1
		生物学A	1・2前・後	2		○									兼2
		生物学B	1・2前・後	2		○									兼2
		生態学A	1・2前・後	2		○									兼1
		生態学B	1・2前・後	2		○									兼1
		現代科学A	1・2前・後	2		○									兼2
		現代科学B	1・2前・後	2		○									兼2
		情報科学A	1・2前・後	2		○									兼1
		情報科学B	1・2前・後	2		○									兼1
		自然科学A	1・2前・後	2		○									兼1
	自然科学B	1・2前・後	2		○									兼1	
	D系 （健康とスポーツ）	総合体育A	1前・後	1					○		7	7	1		兼1
		総合体育B	1前・後	1					○		7	7	1		兼1
	E系 （知識創造と実践）	データサイエンスA	1・2前・後		1		○								兼2
		データサイエンスB	1・2前・後		1		○								兼2

教育課程等の概要															
(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	2・課題(テーマ)科目	第1群 地域・国家・民族の考察A	1・2前・後	2			○								兼2
		第1群 地域・国家・民族の考察B	1・2前・後	2			○								兼2
		第2群 女性・子ども・老人への視点A	1・2前・後	2			○								兼2
		第2群 女性・子ども・老人への視点B	1・2前・後	2			○								兼2
		第3群 人権・民主主義・平和を考えるA	1・2前・後	2			○								兼1
		第3群 人権・民主主義・平和を考えるB	1・2前・後	2			○								兼1
		第4群 現代社会の諸問題A	1・2前・後	2			○								兼2
		第4群 現代社会の諸問題B	1・2前・後	2			○								兼2
		第5群 異文化・世界にふれるA	1・2前・後	2			○								兼2
	第5群 異文化・世界にふれるB	1・2前・後	2			○								兼2	
科目展	第6群 自己・人間をみつめるA	1・2前・後	2			○								兼4	
	第6群 自己・人間をみつめるB	1・2前・後	2			○								兼4	
	第7群 キャリアデザインA	1・2前・後	2			○								兼2	
	第7群 キャリアデザインB	1・2前・後	2			○								兼2	
	第8群 インターンシップA	1・2前・後	2			○								兼2	
	第8群 インターンシップB	1・2前・後	2			○								兼2	
	第9群 全学共通特殊講義A	1・2前・後	2			○								兼2	
	第9群 全学共通特殊講義B	1・2前・後	2			○								兼2	
	科目展 日本国憲法	1・2前・後	2			○								兼1	
小計(75科目)		—	2	144	0	—			7	7	1	0	0	兼52	—
外国人留学生に関する日本語科目等	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2			○								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2			○								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2			○								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2			○								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2			○								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2			○								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2			○								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2			○								兼1
	(発展)コース	理解とコミュニケーションA	1・2前	1				○							兼2
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1				○							兼2
科目展	資料・文献読解A	1・2前	1				○							兼2	
	資料・文献読解B	1・2後	1				○							兼2	
	日本語文章表現A	1・2前	1				○							兼2	
日本語文章表現B	1・2後	1				○							兼2		
小計(14科目)		—	0	22	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—
資格科目	指導する科目	健康運動プログラムの管理	2後			2		○			1				
		救急処置法	3後			2		○			1				
		健康運動指導演習	3前			2		○				1			
		健康産業施設等現場実習	3後			2		○				1			
		健康運動指導士総合演習	4後			2		○				1			
指導員に	パラスポーツ	パラスポーツ演習	3前			2		○						兼1	
資格に	トレーナー系	スポーツトレーナー実践論	3前			2		○			1	1		オムニバス	
養成に	教員養成	教職実技演習	3後			2		○				2		オムニバス	
		体育授業指導法	3後			2		○			1				
		学校保健	3前			2		○			1				
小計(10科目)		—	0	0	20	—			3	4	1	0	0	兼1	—

教育課程等の概要																
(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
留學(英語) 副専攻科目	語学系科目	初級	Basic Skills (Reading, Listening, Writing, Speaking)	1前・後		1			○						兼1	
		中級(必修)	Reading and Writing I	1前・後		1			○							兼1
			Reading and Writing II	1前・後		1			○							兼1
	Communication and Discussion I		1前・後		1			○							兼1	
	Communication and Discussion II		1前・後		1			○							兼1	
	上級	Academic Writing	1前・後		1			○							兼1	
		Discussion and Presentation	1前・後		1			○							兼1	
	教養系科目	グローバルスタディ1	1前・後		2				○						兼1	
		グローバルスタディ2	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ3	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ4	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ5	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ6	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ7	1前・後		2			○							兼1	
		グローバルスタディ8	1前・後		2			○							兼1	
小計 (15科目)		—	0	23	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—	
合計 (253科目)			—	26	423	20	—			12	9	2	0	0	兼96	
学位又は称号		学士 (スポーツ科学)			学位又は学科の分野			体育学								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
『基礎教育科目』のうち18単位以上 (必修科目16単位、選択科目2単位)、 『専門教育科目』のうち74単位以上 (必修科目8単位、選択科目66単位以上)、 『全学共通科目』のうち10単位以上 (必修科目2単位、選択科目8単位以上) の合計124単位以上を修得すること。 外国人留学生は、外国人留学生に関する日本語科目のうち、内容コース及び言語コース (発展) の中から12単位までを選択科目の単位とすることができる。 (履修科目の登録の上限: 1~3年次 [44単位]、4年次 [49単位])							1学年の学期区分			2期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。